		冊	函	號	
社會思想史	フオルレンダア著 高橋正男譯 大正一五	一	五六五	八三	社
社會思想史研究 第一卷	河合榮治郎 再版 大正一三	一	五一三	三七	社
社會思想社パンフレット	社會思想社發行 大正一二	一	五一五	八一	社
第二 英露二國に於ける勞働者教育	(同社編)		七	五三九	三五
社會思想叢書	弘文堂發行 大正一四、一五				
第一編	マルクス經濟學大綱 (ボルハルト著 田中九一譯)	一	五〇三	一三〇イ	社
第二編	マルクスとエンゲルス (嘉治隆一、後藤信夫)	一	五〇〇	三七	社
第三編	社會民主黨綱領解說 (エルフルト綱領) (カウツキー著 三輪壽壯譯)	一	五四六	一七〇	社
第四編	マルクス價値論の社會的研究 (ベートリ著 友岡久雄譯)	一	五四八	三〇	社
第五編	附錄 マルクスとラッサールの價値論 (グリゴロヴイツチ著 同譯) 英國價値學說史 (リイプクネヒト著 八木澤善次譯)	一	五三九	三五	社
第六編	唯物史觀經濟學史 (住谷悅治)	一	五三三	六八	社
第七編	各國無產政黨發達史 (社會思想社編)	一	五三五	一六九	社
社會思想と其人々	北澤新次郎 再版 大正一一	一	五三三	五五	社
社會思想の變革	トーマス・カーカップ著 町野血樹譯 三版 大正一〇 (新生會叢書第五編)	一	五四六	一七〇	社
社會思想八講	カールデキール著 河野密譯 大正一五	一	五四八	三〇	社
社會思想文藝叢書	人文會發行 大正一五	一	五二七	五五	社
第一編	無產階級藝術論 (ボグダノフ著 麻生義譯)				
社會史政治史及經濟史上より現代支那を論ず	田崎仁義 (長崎高等商業學校) 創立二十週年記念講演及論文集ノ內 大正一五)	五	五一八	二〇六	社
社會疾患	エリクール著 宮崎三郎譯 大正一五 (フラマリオン社自然科學叢書第五輯)	一	五三〇	二一	社
社會教育勅語新衍義	建部遯吾 大正一〇	一	四五	五八八	社
實理					

		冊	函	號	
社會思潮 第一編	三田社會學會編 大正一一	一	一四五	六五	社
社會思潮十講	(建設者同盟講演集) 平野力三編 大正一一	一	五〇二	二六	社
「新國家學概論」の講演について	(大山郁夫)				
ソヴイエット・ロシアの文化	(平林初之輔)				
社會改造の哲學と文化主義	(土田杏村)				
土民一揆と農民一揆	(日本階級爭鬪史の一節) (佐野學)				
苦痛の中に生きんとする藝術	(長谷川如是閑)				
對社會の性問題諸相	(矢口達)				
代議制度論	(今中次麿)				
文藝上より見たる近代佛蘭西文明	(北澤新次郎)				
ギルド・ソシアリズムに就て	(中澤辨次郎)				
農村問題	特に小作問題に就いて				
社會思潮の基礎	桑木嚴翼 (實業補習教育講演集ノ內 大正一一)			二九〇	三八
社會常識講話	黒田湖山 (實際生活修養と技藝家庭女學講習錄下卷第一四編 大正一四)	五	五四二	一一〇	社
社會上に於ける關稅の地位	手塚庄三郎 (最近經濟學の進歩ノ內 大正一〇)	五	一二	一二四	社
社會主義運動史	箕作元八 大正一一 (「第一八世紀佛蘭西文化史」ト合綴)	五	一二	四一	社
社會主義運動と第二憲政擁護運動	內藤順太郎 大正一三	一	五二三	六八	社
社會主義及び社會運動	ゾムバルト著 林要譯 大正一四	一	五三五	一六九	社
社會主義及無政府主義	プレハノフ著 河野密譯 大正一三	一	五三三	五五	社
社會主義講話叢書	民聲社發行 大正一三	一	五二七	五五	社
第一 常識の社會主義	(北原龍雄)				
社會主義か資本主義か	(英國下院論戰速記) 郡山幸男譯 大正一三	一	五二三	一七〇	社
社會主義公爵	ダイソーン著 斯波貞二譯 大正一〇	一	五〇六	二四一	社
社會主義古典叢書	同人社發行 大正一五	一	五四五	三八	社
第一冊	社會に關する新見解 (別名 性格構成の原則並に其の原則の實際適用論) (オーウエン著 大林宗嗣譯)				

		冊	函	號	
社會主義サウエット共和國聯邦商工銀行と聯邦の工業	公門仲譯 大正一四 (横濱正金銀行調査課) 調査資料第一八號)	一	一四五	四九	社
社會主義史	ベーア著 西雅雄譯 大正一四、一五	五	五三九	三三	社
第一篇	古代の社會鬪爭				
第二篇	中世の社會思想				
第三篇	近古の農民戰爭				
第四篇	近世勞働階級の擡頭				
第五篇	マルクス主義の時代				
同	〔各本〕 大正一五	一	五四六	一七三	社
社會主義宗教批判	スバーゴ著 田村浩譯 大正一〇	一	三九二	二六九	社
社會主義思想の史的解說	久保田明光 大正一四	一	五四六	二五	社
社會主義社會學	リユウス著 高畠素之譯 訂再版 大正一〇	一	五〇二	二九九	社
社會主義社會觀	ラファルグ著 千葉雄次郎譯 大正一一	一	五〇二	七一	社
社會主義者のバイブル	英國統一黨本部編 大石熊吉譯 大正一〇 (政治社會研究叢書第一編) (「マルクス資本論ノ梗概」)	一	五〇五	一〇	社
社會主義隨論集 第一	解放社編 大正一五 (解放群書第六編)	一	五四八	二七	社
社會主義的諸研究	高畠素之 三版 大正一〇	一	五〇二	二九一	社
社會主義とデモクラシー	宇野宙人 大正八 (平民叢書第一編)	一	三八九	一三	社
社會主義と農業問題	ミルユーテイン著 河西太一郎譯 大正一四	一	五三五	一八八	社
社會主義とは何ぞや	カーカップ著 島中雄三譯 大正一〇	一	五〇二	四六	社
社會主義と婦人	ベーベル著 村上正雄譯 大正八	一	三六二	一六三	社
社會主義に對する諸觀察	スペングラー著 阿部秀助譯 大正一四 (中外名著叢書第八)	一	三七五	六〇	社

		冊	函	號	
社會主義になつた漱石の猫	遠藤無水 大正八	一	三六二	一二三	社
社會主義の實驗と歸着	尾原亮太郎 (社會問題十五講ノ內 大正一二)	五	五〇二	二四〇	社
社會主義の新解釋	バラノヴスキー著 矢部周譯 大正一五 (社會哲學新學說大系第一八卷)	一	五二七	六八	社
社會主義の本體	藤本月城 大正一三 (萬有叢書第二)	一	五一六	一九三	社
社會主義は危險思想にあらず	安部磯雄 大正一二 (科學思想叢書第一)	一	五一五	四七	社
社會主義批判	マロツク著 尾原亮太郎譯 大正一一	一	三五五	一三〇	社
社會主義批判	室伏高信 大正一五 (室伏高信著作集第二)	一	五四八	五一	社
社會進化思想講話	高畠素之 大正一四	一	五三五	二三〇	社
社會進化と生物進化	リユキス著 荒畑寒村譯 大正一二 (民衆科學叢書第八編)	一	五〇〇	四三	社
社會進化論	キツド著 佐野學譯 大正一四 (社會科學大系第二期第二)	一	五〇八	二〇イ	社
社會進化論	ケラー著 志水義暲譯 大正七 (大日本文明協會刊行書第四期第三〇卷)	一	三五五	三一	社
社會人の誕生	杉森孝次郎 大正一一 五五六頁	一	五〇三	二〇	社
社會進歩の意義	笠田長繼 大正一〇 (通俗社會學叢書第二卷)	一	三五五	九九	社
社會進歩の純粹原則	杉森孝次郎 大正一三	一	五二三	一七五	社
社會進歩の哲學	ウルイツク著 世界思潮研究會譯 大正一〇 三〇頁	一	三九三	二六七	社
社會心理學	エルウード著 佐野勝也譯 大正一〇 (歸一協會叢書第八輯)	一	三四二	四九二	社
同		一	三四二	四九三	社
社會心理學	大道和一 大正二	一	三四九	一〇三	社
社會心理學	福島經 大正一五 (最新心理學叢書第五編)	一	五三九	三三	社

		冊	函	號
社會心理學	ロッス著　高部勝太郎譯　大正六	一	三六	一〇三
社會心理學概論	マクドーガル著　宮崎市八譯　大正一四	一	五六	一〇七
社會生活學	落合昌太郎　大正九	一	三六	二四八
社會生活と精神生活	オイツケン著　高橋正熊譯　大正一四（社會哲學新學說大系第六卷）	一	五二	六八
社會生活と理想哲學	野村兼太郎　大正一〇	一	五〇	三三
同		一	五〇	三三イ
社會生活の形式としてのデモクラシー	菰田萬一郎（社會問題十五講ノ內　大正一二）		五〇	二四〇
社會生活の進化	森本厚吉（北海道廳主催社會改善講習會講演集ノ內　大正一二）		五二	七〇
社會生活の進化と經濟學	酒井正三郎（商業經濟論叢第三卷ノ內　大正一五）		五〇七	一九九
社會生活の法則	高窪喜八郎　大正一三		一五三	一八〇
社會生活より見たる個人主義	菱川精一（山口高等商業學校開校第二十周年記念講演及論文集ノ內　大正一五）		五八	三三
社會政策	（大正一三年度東京帝國大學講義）　金井延　謄寫版　大正一四		一〇	一四　七九
社會政策	河合榮治郎（國勢院統計講習會講演錄ノ內　大正一二）		五八	四八
社會政策	河原田稼吉（內閣統計局統計講習會講演錄ノ內　大正一五）		五八	四八ロ
社會政策	（總論）スエーデンホルスト著　波多野鼎譯　大正一四		一五三〇	六九
社會政策	田中貢　大正一一		一五二	九六
社會政策	生江孝之（北海道廳主催社會改善講習會講演集ノ內　大正一二）		五二	七〇
社會政策	菰田萬一郎（社會問題十五講ノ內　大正一二）		五〇二	二四〇
社會政策概論	ヘンデルソン著　栗原基譯　大正三		一	三五〇　三九七
社會政策概論	堀江歸一（慶應義塾大阪講演ノ內　大正三）		二五三	一二八
社會政策學會論叢	同會編　明治四五至大正一一		九	七八　九三
第五册	勞働保險			
第六册	生計費問題			
第七册	勞働爭議			
第八册	小農保護問題			
第九册	社會政策より見たる關稅制問題			
第一〇册	官業及保護會社問題			
第一一册	小工業問題			
第一二册	婦人勞働問題			
第一五册	貸銀制度並純益分配制度			
社會政策研究	福田德三　大正一五（經濟學全集第五集上、下）		二	五三九　三一
社會政策時報	協調會發行　第一號（大正九年九月）ヨリ		雜	二三　一七
社會政策上の重要問題	堀江歸一（神戸經濟會講演集第一號ノ內　大正六）		三六	四三
社會政策上より觀たる失業問題	桑田熊藏（最近經濟學の進歩ノ內　大正一〇）		五二	一三四
社會政策新原理	林癸未夫　大正一五		一	五六一　五三
社會政策大系	大東出版社發行　大正一五		五	五五五　二

		冊	函	號
社會政策	安井英二（公民教育講演集第二輯ノ內　大正一四）	二	五五	一八
社會政策概論	ヘンデルソン著　栗原基譯　大正三	一	三五〇	三九七
社會政策概論	堀江歸一（慶應義塾大阪講演ノ內　大正三）		二五三	一二八
社會政策學會論叢	同會編　明治四五至大正一一		九	七八　九三
第五册	勞働保險			
第六册	生計費問題			
第七册	勞働爭議			
第八册	小農保護問題			
第九册	社會政策より見たる關稅制問題			
第一〇册	官業及保護會社問題			
第一一册	小工業問題			
第一二册	婦人勞働問題			
第一五册	貸銀制度並純益分配制度			
社會政策研究	福田德三　大正一五（經濟學全集第五集上、下）		二	五三九　三一
社會政策時報	協調會發行　第一號（大正九年九月）ヨリ		雜	二三　一七
社會政策上の重要問題	堀江歸一（神戸經濟會講演集第一號ノ內　大正六）		三六	四三
社會政策上より觀たる失業問題	桑田熊藏（最近經濟學の進歩ノ內　大正一〇）		五二	一三四
社會政策新原理	林癸未夫　大正一五		一	五六一　五三
社會政策大系	大東出版社發行　大正一五		五	五五五　二
社會政策と階級鬪爭	福田德三　訂一〇版　大正一一（五一四頁）		一	五〇三　一〇一イ
同	訂一一版　大正一一　五一四頁		一	五〇三　一〇一
社會政策に就て	河津暹（松島講演集ノ內　大正八）		一	三七〇　一一六
社會政策汎論	田島錦治（社會事業研究所講義錄ノ內　大正一一）		五二	七三
社會政策論	戸田海市　大正一四（戸田海市著作集第三卷）		一	五三〇　一〇四
社會政策論	ユーア等著　高畠素之、安倍浩譯　大正一三（經濟學說體系第一〇）		一	五〇八　二五
社會制度の諸研究	佐野學　三版　大正一一		一	五〇二　二八四
社會小說叢書	新潮社發行　大正一五		一	五四八　三三
第一　赤い星	（ボグダノフ著　大宅壯一譯）			
社會叢書	國文堂發行　大正九		二	三九〇　三一
い　利益分配法	（瀧本誠一）			
ろ　勞働組合論	（堀江歸一）			
社會組織	クーリー著　井上吉次郎譯　大正一一		一	五〇五　三三
社會組織の解剖	ギルバート・キヤナン著　飯田敏雄譯　大正一二		一	三九〇　六三
同			一	三九〇　六三イ
社會組織の經濟理論的批評	小泉信三　大正一〇		一	五〇三　一〇〇
社會組織の根本原理	川面凡兒　大正一〇　六七六頁		一	四五　五六五
社會體育	附　文化體操　大谷武一　大正一一		一	三九三　四四五
社會道德上の共同責任	歸一協會編　大正五（歸一協會叢書第一輯）		一	三四三　四九二
同			一	三四三　四九三
社會道德論	一條忠衞　大正一五		一	五三六　一八〇
社會調査	廣島市役所發行　大正一五		一	一四五　一七八
社會的近代文藝	馬場孤蝶　大正四（生活と藝術叢書第一編）		一	三五　二六〇
社會的國民教育	一名　青年義勇團　田中義一　大正四		一	二七九　二
社會的の自己實現教育進化の六千年	三浦關造　大正六		一	二五三　一六三
社會的福音の神學	ラウシエンブッシュ著　友井楨譯　大正一四		一	五三三　四八
社會哲學原論	土田杏村　大正一四		一	五三〇　一六〇
社會哲學新學說大系	新潮社發行　大正一三至一五		一九	五二七　六八
第一卷	唯物史觀の改造　（バラノウスキイ著　高畠素之譯）			
第二卷	社會學的認識論　（ラッツエンホーファー著　宮崎市八譯）			
第三卷	時間と自由意志　附　物質と記憶　（ベルグソン著　北昤吉譯）			
第四卷	田園、工場、仕事場　（クロポトキン著　中山啓譯）			
第五卷	富國論　（スミス著　神永文三譯）			
第六卷	社會生活と精神生活　（オイツケン著　高橋正熊譯）			
第七卷	政黨心理の研究　（ミヒエルス著　西村二郎譯）			
第八卷	社會學通俗教科書　（ギツヂングス著　神永文三譯）			
第九卷	マルクス經濟學入門　（カウツキー著　石川準十郎譯）			
第一〇卷	社會學思想の人生的價値　（スモール著　高畠素之譯）			
第一一卷	理想國　（プラトーン著　津久井龍雄譯）			
社會學思想	第五卷　（遊佐敏彥譯）			
勞働立法	（採田秀春）			
勞働保險	（森莊三郎）			
工場法制	（吉阪俊藏）			
工場管理法	（神田孝一）			
工場衞生	（鈴木孔三）			
產業能率	（上野陽一）			
	第六卷			
農村問題	（氣賀勘重）			
產業組合	（西垣恒矩）			
消費組合の基本觀念	（長岡保太郎）			
都市問題及住宅政策	（弓家七郎）			
寺院と農村問題	（木津無庵）			
失業問題				

		冊	函	號
第一二卷	財産の進化　（ラファルグ著　高畠素之譯）			
第一三卷	實踐理性批判　（カント著　高井篤譯）			
第一四卷	科學と臆說　（ポアンカレー著　村上正已譯）			
第一五卷	遺傳法則論　（メンデル著　西村二郎譯）	一	五二	一三三
第一六卷	機能的社會國家論　（ベートソン著　石川準十郎譯）			
第一七卷	判斷力批判　（カント著　齋藤要譯）	一	五三五	一九〇
第一八卷	社會主義の新解釋　（パラノヴスキー著　矢部周譯）			
第一九卷	宗教哲學　（ヘフディング著　河合讓譯）	一	五三六	五二
社會哲學大系	マツケンヂー著　淺野利三郎譯　大正一三	一	五三五	三一
社會哲學體系	而立社發行　大正一三、一四	三	五三〇	一四
第一	社會學（ゾムバルト著　景山哲雄譯）	一	五一二	八三
第二	國家哲學（シュテルンベルヒ著　高橋正男譯）	一	三九〇	九二
第三	宗教哲學（ウオツベルミン著　影山哲雄譯）	一	五三五	一三〇
社會哲學の諸問題	鈴木宗忠　大正一二	一	五三五	二四四
社會傳統論	グラハム・ウラス著　岡島龜次郎譯　大正一四	一	三三五	三一七イ
社會と意志	恒藤恭　大正一三	一	五一〇	四八
社會統計學史研究	第一卷　高野岩三郎　大正一四	一	三四三	五
社會統計論綱	財部靜治　訂再版　大正一三	一	三八八	二九二
社會鬪爭と社會主義先驅者	ベーア著　栗原古城解　大正一四（日本讀書協會叢書第五）	一	二七五	六一
社會統制論	エドワード・エー・ロッス著　高橋正熊譯　大正二（大日本文明協會刊行書第二期第一五編）	一	五四五	三八
社會と階級	バリー著　坪內士行譯　大正九	對	六〇	四三七
社會德育及教化の研究	中島力造、足立栗園　大正三	一	五一六	三一
社會讀本	永井亨　大正一五	一	三八七	七三
社會と經濟	津村秀松　大正六（大日本圖書株式會社發行　第一卷第一號（大正一〇年一月）至第三卷第七號（大正一二年七月）〔缺アリ〕）	一	三九三	一四
社會と教化	高田保馬　大正一一	一	五二一	一三三
社會と國家	遺傳法則論　（メンデル著　西村二郎譯）			
社會と宗教と藝術	林癸未夫　大正一四	一	五三五	一九〇
社會と思想	高木斐川　大正一三	一	五三六	五二
社會と自分	夏目漱石　大正二	一	三四九	七
社會と新人	帆足理一郎　大正一〇	一	五〇三	三四
社會と人生	浮田和民　大正四	一	三六〇	三三五
社會と人生	墨岩周六　大正八	一	三七六	二五〇
社會と人生	帆足理一郎　大正一三	一	五三五	一六五
社會と道德	井上哲次郎　大正四　九六六頁	一	三五六	一四九
社會と我	チヤールス・ホルトン・クーレー著　網武津譯　大正一〇	一	三八七	一九五
社會に關する事項	戶田貞三（公民教育講演集第一輯ノ內　大正一二）		五 二七五	八
社會に關する新見解	（別名　性格構成の原則並に其の原則の實際適用論）　オーウエン著　大林宗嗣譯（社會主義古典叢書第一册）　大正一五	一	五四五	三八
社會に醫師の警告	新家實次郎　大正五	一	六〇	四三七
社會の覺醒	小鹽高恒　大正一一	一	五一六	三一
社會の徽	前田蓮山　大正八	一	三八七	七三
社會の缺陷を指摘して	鷲崎林八　大正一一	一	三九三	三九四
社會の缺陷と道德の新紀元	アルフレッド・ウオラス著　佐久間鼎、同ふき譯　大正一一	一	五〇三	一四三
社會の構成並に變革の過程	福本和夫　大正一五	一	五三〇	二〇二
社會の宗教	椎尾辨匡　大正一五	一	五三三	二一五
社會の心理的解剖	グラハム・ウアーラス著　大鳥居奈三譯　大正一〇	一	三五五	一〇七
社會の生物學的基礎	デンディ著　納武津解　大正一四（日本讀書協會叢書第七）	一	五三〇	四八
社會の動搖と精神的覺醒	姉崎正治　大正九	一	五〇三	一八九
社會の話	納武津　大正二（吾等何を學ぶべき乎第三編）	一	五〇五	三五
社會の見方	淺野利三郎等編　大正一四（現代常識大系第八編）	一	五二七	六九
社會の民衆化	沼法量編　大正八（問題叢書第二編）	一	三九〇	一二
社會法令集	帝國地方行政學會編　大正一二　六三九頁	一	一四七	二七五
社會病ト其良藥	教學研鑽和佛協會編　大正四	一	三三五	三七六
社會病理の研究	元田作之進　大正一二	一	六〇	七三八
社會文化と人間改造	帆足理一郎　大正一五	一	五〇三	二六五イ
社會文藝叢書	金星堂發行　大正一五	三	五四八	三六
第一編	夜（マルセル・マルチネ著　佐々木孝丸譯）			
第二編	藥術の危機（ゲオルゲ・グロス著　麻生義譯）　傳記に代へて（同）　劇場と社會主義（同）　麻生義譯（ゴツトワルト・マイスネル著）　現代劇場論（ケルセンツエフ著　麻生義譯）　第三編　解放されたドン・キホーテ（ルナチヤルスキイ著　千田是也等譯）	一	三九〇	三五
社會文藝叢書	聚英閣發行　大正九			
第一	生存を拒絕する人　（上司小劍）			
社會文庫	三省堂發行　大正三	六	三四〇	五〇
肺と健康	（志賀潔）			
實用の地質學	（神保小虎）			
選擧法大意	（美濃部達吉）			
戰爭と城塞	（大類伸）			
世界の武器	（靑木保）			
魚と人生	（岸上鎌吉）			
社會奉仕の仕方	西川光二郎　增訂版　大正一三	一	五三三	一一三
社會保險概論	森莊三郎　大正一五　八一頁	一	五四九	一三四
社會保護事業講話	山岡萬之助　大正一〇	一	三五二	一五三
社會本位と個人本位	今井政吉　明治四五	一	三四二	九九
社會民主黨綱領	（エルフルト綱領）　三輪壽壯譯　大正一一　カウツキー著	一	五〇二	二〇三
社會民主黨綱領解說	（エルフルト綱領）　カウツキー著　三輪壽壯譯　大正一四（社會思想叢書第三編）			
社會問題	神戶正雄　大正九（財政經濟及社會叢書第二册）	一	五三九	三五
社會問題	齋藤樹（社會事業講演集第二編ノ內　大正一二）	一	三九〇	四〇
社會問題	エヴラ・セーヤー・タウン著　堀江湖譯　大正八（大日本文明協會刊行書第四期第三六卷）	一	四五	五九四
社會問題	內務省地方局編（戰時列國地方資料第六輯ノ內　大正七）	一	三五五	三一
社會問題	財部靜治（布教研究會講演集第一〇回ノ內　大正一〇）	一	三三六	二一
社會問題一般		一	三三四	五九一
社會問題煙害論	鈴木千代吉　大正三	一	三四九	四二三
社會問題及社會運動	河田嗣郎　大正八	一	三八二	三五
社會問題概說	水野和一　大正一一　九〇頁	一	三九三	五二八
社會問題綱要	河田嗣郎　大正一五	一	五六一	七〇

シヤク

		冊	函	號
社會問題講話	平沼淑郎　大正九	一	三六二	二〇四
社會問題管見	河上肇　改版　大正九	一	三六二	一九〇
社會問題研究	小泉信三　大正九	一	三五三	一六二
同　改訂　大正一四		一	三五三	一六二イ
社會問題研究叢書	岩波書店發行　大正一一、一四	二	五〇八	九
第一篇　社會問題としての物價低落論（横濱社會問題研究所編）				
第二篇　新カント派の社會主義觀（同）				
同　第二篇　大正一四		一	五〇八	九イ
社會問題研究批判時潮に對して	文明批評社編　大正八	一	三六八	一六六
社會問題辭典	高畠素之編　大正一四	一	五二三	二七三
社會問題十五講	神代峻通編　大正一二	一	五〇二	二四〇
勞働組合に就て（河津遘）				
社會主義の實驗と歸着（尾原亮太郎）				
社會原理としての機能主義を論ず（友枝高彦）				
サボタージユの批判的考察（深作安文）				
ミユンスターベルグの平和觀（松本亦太郎）				
大學と勞働者の教育（阿部重孝）				
我國民性より觀たる社會問題（阿部秀助）				
新マルクス主義に就いて（島本覺之助）				
プロレタリアの社會的機能（綿貫哲雄）				
思想上より觀たる勞働組合問題斷案（尾原亮太郎）				
社會生活の形式としてのデモクラシー（蔀田萬一郎）				
農村及農民論（大森金五郎）				
露西亞見聞談（今井時郎）				
最近の遺傳學（三宅驥一）				
德川時代の穢樂論と今日の改造論（春山作樹）				
社會問題叢書	同人社發行　大正一五	一	五六〇	四
第一册　資本蓄積再論（ローザ・ルクセンブルグ著　宗道太譯）				
社會問題叢書	福永書店發行　大正八、九	四	二八九	九
第一編　勞働運動（久留弘三）				
第二編　英國社會運動史上の人々（野坂鐵）				
第四編　經濟史より見たる修道院の研究（宮崎力藏）				
第五編　中世獨逸奴隸史（内山俊雄）				
社會問題叢書	文化學會發行　第一編三版、第二編再版　大正一四、一五	一〇	五三九	九
第一編　現代社會生活の不安と疑問（堺利彦）				
第二編　勞農露西亞の勞働（山川均）				
第三編　日本勞働運動發達史（赤松克麿）				
第四編　無產階級の世界史（上田茂樹）				
第五編　產兒制限の理論と實際（安部磯雄、馬島僩）				
第六編　資本主義と戰爭（松下芳男）				
第七編　自由戀愛と社會主義（守田有秋）				
第八編　婦人問題と婦人運動（山川菊榮）				
第九編　インタナショナル發達史（淺野研眞）				
第一〇編　資本主義と農村問題（中澤辨次郎）				
社會問題總覽	高畠素之編　大正九	一	三六二	二〇三
社會問題大觀	藤田浪人、水谷憲風編　大正一一	一	五〇二	二七三
社會問題體系	第一至三卷　河田嗣郎　大正一四、一五	三	五三〇	二一四
社會問題と金融政策	松崎壽　大正一五（大阪高等商業學校銀行業務研究室）調査報告第一二册	一	一四五	三九
社會問題と教育問題	歸一協會編　大正七（歸一協會叢書第五輯）	一	二四二	四九三
社會問題と財政	小川鄉太郎　大正九	一	三六二	一七九
同		一	三六二	一七九イ
社會問題と宗教問題	姉崎正治（時局講演集第三回ノ内）大正九	三	七〇	五五
社會問題に就いて	海野幸德（布敎研究會講演集第一〇回ノ内）大正一〇	三	二四	五九一
社會問題の改造的解釋	エルウード著　歸一協會譯　大正九（歸一協會叢書第七輯）	一	二四二	四九二
同		一	二四二	四九三

社會問題の梗概	大河原重行（布敎研究會講演集第九回ノ内）大正九	三	二四	五九一
社會問題の建設的解釋	附　文明の熱病、戰後の精神的覺醒（姉崎正治）エルウード著　歸一協會譯編（歸一協會叢書第一輯）大正六	一	二四二	四九二
同		一	二四二	四九三
社會問題の根本觀念	飯島幡司　大正二（國民經濟叢書第二册）	一	二三〇	二四
社會問題ノ調査方法タル「アンケート」ニ就テ	山崎覺次郎　政策ノ内　大正五（金井敎授在職二十五年記念最近社會）	三	六六	五
社會問題パンフレット	社會問題研究會發行　大正一五	一	五二四	二五二
哲學の貧困（プルードン氏の「貧困の哲學」への一抗辯）（マルクス著　淺野研眞譯）				
社會問題批判	渡邊鐵藏　大正八	一	三八二	六九
社會問題批判叢書	聚英閣發行　大正九	一	三九〇	三六
第一編　恐怖、鬪爭、歡喜（堺利彦）				
社會勞働問題と產兒制限論	瀧本二郎　大正一〇	一	五〇二	四九
同		一	五〇二	四九イ
社會理想學	コール著　竹内泰譯　大正一三	一	三九〇	六九
社會理想主義	ナトルプ著　久保正夫譯（近世文化叢書第三編）　大正一二	一	五〇五	四六
社會力	遠藤隆吉　大正五（大日本學術叢書第四）	一	三五三	一八
社會連帶主義	丸山岩吉　大正一二	一	五〇二	二三〇
シヤクンタラー姫（印度劇）	上、下　カーリ・ダーサ著　河口慧海譯　大正一三（世界文庫第一八、一九）	二	五一六	一八五

シヤクーシヤサ

邪敎立川流の研究	水原堯榮　大正一二	一	五〇四	一八三
射撃敎育ノ參考	野砲兵第一聯隊編　大正一〇	一	三一八	四五四
射撃指揮詳說	士峰生　大正二	一	三一九	二八二
邪劇集	邦枝完二　大正八	一	三九一	三三
射撃と劍術並に航空術の心理	下澤瑞世編　大正八	一	三一九	四一四
社業餘談	萩原錄太郎　大正五	一	三五六	二三八
煮繭「ニマユ」ヲ見ヨ				
鷸鴕と鶉	間島謙一　大正一五（小鳥の飼ひ方叢書第四編）	一	五四一	一九五
社債及社債信託論	栗栖赳夫　大正一五	一	五六一	六
社債之十年	日本興業銀行調査部編　大正一〇	一	三九五	一九四
社債法十講	板橋菊松編　大正一五	一	五六一	九五
車窓	眞繼雲山　大正八	一	三一	八五三
社倉考	宇佐美灊水（日本經濟叢書卷一一ノ内　大正四）	一	三四六	一八
社倉私議	中井竹山（大日本風敎叢書第五輯ノ内　大正八）	一	三六九	二
同	（日本經濟叢書卷一六ノ内　大正四）	一	三四六	一八
社倉法師說	淺見絅齋（續日本經濟叢書第一卷ノ内　大正一二）	一	四四	三七三
同		一	三四六	一八
社倉法大意	宇井小一郎（續日本經濟叢書第四卷ノ内　大正一二）	一	四四	三七三
煮繰分業沈繰論	大道幸一郎　大正二	一	三四九	一三四

シヤサ―シヤシ

		冊	函	號
煮繰分業浮繰法	田村熊次郎 大正一三 九〇頁	一	三九三	七〇四
蔗作試驗成績	沖繩縣立糖業試驗場編 大正一一（同場特別報告第二號）	一	一四、二	三三九
同		一	一四、イ	三三九
寫山樓印譜	大正七（藝苑叢書ノ內）	一	一九八	三七七
寫山樓記	野村文紹（國書刊行會本新燕石十種第三ノ內 大正二）		三四三	四ろ
寫山樓描法	谷文晁 大正八（藝苑叢書ノ內）	一	一九八	三八七
邪宗門	芥川龍之介 大正一一	一	一五一六	三〇
社寺雜事錄	寫本（明治六至九年間ノ山口縣所管ノ社寺調ベ記錄ナリ）	一	八二六	九三
車室にて	モウパツサン著 平野威馬雄譯（モウパツサン全集第一二卷ノ內 大正一一）		三九〇	四一
同	（モオパツサン選集ノ內 大正九）		三九六	三五
奢侈と資本主義	ゾンバルト著 田中九一譯 大正一四（社會科學大系第二期第一）	一	五〇八	二〇
社寺の經營	赤堀又次郎 大正一五	一	五三三	二三八
這次の災厄と法律思想の改造	牧野英一（災後の法律問題ノ內 大正一二）		五二	一九六
奢侈品關稅と其影響	大阪商業會議所書記局編 大正一三	一	五二四	一〇一
蔗汁ノ鹽素精製ニ就テ	第一回報告 越智主一郎等（東京工業試驗所報告第一〇回第六號鹽素製糖法ニ關スル研究第一輯ノ內 大正一四）		一四二、イ	一二七、ロ
同			一四二、イ	一二七、ロ
車掌及火夫其他鐵道從事員受驗參考書	大日本通信鐵道學校編 大正四	一	七〇	三〇八
車上の學問	秋山四郎 大正四	一	三七	四〇五
車掌の爲めに（問答）	高久甚之助、川西實夫 大正一五（鐵道實務叢書ノ內）	一	五六四	一六六
じや〳〵馬馴らし	シエークスピア著 坪內逍遙譯 大正九	一	三九一	一九四
同	（沙翁傑作集第一七編）	一	五三一	一七六
同	（逍遙選集第四卷ノ內 大正一五）		五五五	一四
同			五五五	一四イ
邪正問答鈔	高辨（日本大藏經第四二卷ノ內 大正八）		三五三	六
社寺領性質ノ研究	三上參次等 大正三（東京帝國大學文科大學紀要第一）	一	三三一	一〇五
寫眞遊覽	黑田久吉編 大正五	一	四一二	一九
寫眞畫入金花猫	寫本（勝進助芝居臺帳第一六）	二	一九一	七六五
蛇身厭離	勝本清一郎（現代戲曲全集第一八卷ノ內 大正一五）		五三〇	二五
寫眞學	上、下卷 高橋司 大正一五	二	五六四	一四五
寫眞機を携へて（探勝―）	須藤鐘一 大正一〇	一	三九四	一三三
寫眞畫のつくり方	森芳太郎 大正一三	一	五三八	一七六
寫眞藝術	東新商店出版部發行 第一卷第一號（大正一〇年六月）至第三卷第九號（大正一二年九月）	四	雜三五	二〇六
寫眞藝術のしるべ	上田貞次郎編 大正一四	一	五四一	一三三
寫眞現像藥製造試驗	第一、二報 堀井正、小守久功 大正一一、一三（大阪工業試驗所報告第三回第四號、第四回第一五號）	二	一四二、イ	四九八
同	第一至三報 大正一一、一三（大阪工業試驗所報告第三回第四號、第四回第一五號、第五回第一三號）	三	一四二、イ	四九八、イ
寫眞現像藥ニ關スル研究	第一報 下光太郎（大阪工業試驗所報告第七回第一二號ノ內 大正一五）	一	一四二、イ	四九八、イ
寫眞原紙製造試驗	小澤武（東京工業試驗所報告第一六回第二號ノ內 大正一〇）	一	一四二、イ	二一七
寫眞原紙製造試驗	小澤武（東京工業試驗所報告第一六回第二號ノ內 大正一〇）	一	一七	四七五、ロ
寫眞原板修整術全書	上田寫眞機店編 大正八	一	一七	四七五、ハ
寫眞五十講	高桑勝雄 大正一一	一	五四七	八七
寫眞師と哲學者	ストリンドベルヒ著 小山內薰譯（世界短篇小說大系南歐及北歐篇ノ內 大正一五）	一	五三〇	四五
寫眞集報	大正一一年春、秋季號 大阪朝日新聞社編 大正一一	二	四二三	八六
寫眞術自修文庫	藝術寫眞社發行 大正一〇	一	五〇五	一二
寫眞術之化學	糟谷美一 大正一一	一	五三	一四
寫眞術の新研究	吉川速雄 大正一二	一	五一六	一二四
寫眞術の話	原田良雄 大正一一	一	五一三	一二九
寫眞處方集	鈴木八郎編 大正一五	一	五六四	一三八
邪人親鸞	里山善郎 大正一五	一	五三三	一三七
寫眞小話	須藤憲三 大正一一	一	三八一	一九二
寫眞通信（教育資料―）	大正寫眞通信社發行 大正三	一	四〇八	一一七
寫眞圖解盆景の作り方	村田宗次郎、小山正一 大正七	一	六	三五五
寫眞の原理（通俗講話―）	ミース著 森芳太郎譯 大正一四	一	五四二	一〇三
寫眞の失敗と其原因	鈴木八郎 大正一三	一	五一六	二五七
寫眞の手引	森芳太郎 大正九（アサヌマ・シリーズ第一編）	一	三五五	九六
寫眞のとりかた	上條實編 大正三	一	三三九	四八四
寫眞原紙製造試驗	小澤武（東京工業試驗所報告第一六回第二號ノ內 大正一〇）	一	一七	四七五、ロ
寫眞同業通信（教育資料―）	大正寫眞通信社發行 大正三	一	四〇八	一一七
寫眞圖解盆景の作り方	村田宗次郎、小山正一 大正七	一〇	六	三五五
寫眞の原理（通俗講話―）	ミース著 森芳太郎譯 大正一四	一	五四二	一〇三
寫眞の失敗と其原因	鈴木八郎 大正一三	一	五一六	二五七
寫眞の手引	森芳太郎 大正九（アサヌマ・シリーズ第一編）	一	三五五	九六
寫眞のとりかた	上條實編 大正三	一	三三九	四八四
寫眞原紙製造試驗	小澤武（東京工業試驗所報告第一六回第二號ノ內 大正一〇）	一	一四二、イ	一二七、ロ
寫眞原板修整術全書	上田寫眞機店編 大正八	一	一七	四七五、ハ
寫眞五十講	高桑勝雄 大正一一	一	五四七	八七
寫眞師と哲學者	ストリンドベルヒ著 小山內薰譯（世界短篇小說大系南歐及北歐篇ノ內 大正一五）	一	五三〇	四五
寫眞集報	大正一一年春、秋季號 大阪朝日新聞社編	二	四二三	八六
寫眞術自修文庫	藝術寫眞社發行 大正一〇	一	五〇五	一二
寫眞術之化學	糟谷美一 大正一一	一	五三	一四
寫眞術の新研究	吉川速雄 大正一二	一	五一六	一二四
寫眞術の話	原田良雄 大正一一	一	五一三	一二九
寫眞處方集	鈴木八郎編 大正一五	一	五六四	一三八
邪人親鸞	里山善郎 大正一五	一	五三三	一三七
寫眞小話	須藤憲三 大正一一	一	三八一	一九二
寫眞通信（教育資料―）	大正寫眞通信社發行 大正三	一	四〇八	一一七
寫眞圖解盆景の作り方	村田宗次郎、小山正一 大正七	一〇	六	三五五
寫眞の原理（通俗講話―）	ミース著 森芳太郎譯 大正一四	一	五四二	一〇三
寫眞の失敗と其原因	鈴木八郎 大正一三	一	五一六	二五七
寫眞の手引	森芳太郎 大正九（アサヌマ・シリーズ第一編）	一	三五五	九六
寫眞のとりかた	上條實編 大正三	一	三三九	四八四
寫眞原紙製造試驗	小澤武（東京工業試驗所報告第一六回第二號ノ內 大正一〇）	一	一四二、イ	一二七、ロ
寫眞原板修整術全書	上田寫眞機店編 大正八	一	一七	四七五、ハ
寫眞五十講	高桑勝雄 大正一一	一	五四七	八七
寫眞師と哲學者	ストリンドベルヒ著 小山內薰譯（世界短篇小說大系南歐及北歐篇ノ內 大正一五）	一	五三〇	四五
寫眞集報	大正一一年春、秋季號 大阪朝日新聞社編	二	四二三	八六
寫眞術自修文庫	藝術寫眞社發行 大正一〇	一	五〇五	一二
寫眞術之化學	糟谷美一 大正一一	一	五三	一四
寫眞術の新研究	吉川速雄 大正一二	一	五一六	一二四
寫眞術の話	原田良雄 大正一一	一	五一三	一二九
寫眞處方集	鈴木八郎編 大正一五	一	五六四	一三八
邪人親鸞	里山善郎 大正一五	一	五三三	一三七
寫眞小話	須藤憲三 大正一一	一	三八一	一九二
寫眞通信（教育資料―）	大正寫眞通信社發行 大正三	一	四〇八	一一七
寫眞圖解盆景の作り方	村田宗次郎、小山正一 大正七	一〇	六	三五五
寫眞の原理（通俗講話―）	ミース著 森芳太郎譯 大正一四	一	五四二	一〇三
寫眞の失敗と其原因	鈴木八郎 大正一三	一	五一六	二五七
寫眞の手引	森芳太郎 大正九（アサヌマ・シリーズ第一編）	一	三五五	九六
寫眞のとりかた	上條實編 大正三	一	三三九	四八四

シヤシ―シヤタ

		冊	函	號
寫眞原紙製造試驗	小澤武（東京工業試驗所報告第一六回第二號ノ內 大正一〇）	一	一四二、イ	一二七、ロ
寫眞原板修整術全書	上田寫眞機店編 大正八	一	一七	四七五、ハ
寫眞五十講	高桑勝雄 大正一一	一	五四七	八七
寫眞師と哲學者	ストリンドベルヒ著 小山內薰譯（世界短篇小說大系南歐及北歐篇ノ內 大正一五）	一	五三〇	四五
寫眞集報	大正一一年春、秋季號 大阪朝日新聞社編	二	四二三	八六
寫眞術自修文庫	藝術寫眞社發行 大正一〇	一	五〇五	一二
寫眞術之化學	糟谷美一 大正一一	一	五三	一四
寫眞術の新研究	吉川速雄 大正一二	一	五一六	一二四
寫眞術の話	原田良雄 大正一一	一	五一三	一二九
寫眞處方集	鈴木八郎編 大正一五	一	五六四	一三八
邪人親鸞	里山善郎 大正一五	一	五三三	一三七
寫眞小話	須藤憲三 大正一一	一	三八一	一九二
寫眞通信（教育資料―）	大正寫眞通信社發行 大正三	一	四〇八	一一七
寫眞圖解盆景の作り方	村田宗次郎、小山正一 大正七	一〇	六	三五五
寫眞の原理（通俗講話―）	ミース著 森芳太郎譯 大正一四	一	五四二	一〇三
寫眞の失敗と其原因	鈴木八郎 大正一三	一	五一六	二五七
寫眞の手引	森芳太郎 大正九（アサヌマ・シリーズ第一編）	一	三五五	九六
寫眞のとりかた	上條實編 大正三	一	三三九	四八四
寫眞原紙製造試驗	小澤武（東京工業試驗所報告第一六回第二號ノ內 大正一〇）	一	一四二、イ	一二七、ロ
寫眞原板修整術全書	上田寫眞機店編 大正八	一	一七	四七五、ハ
寫眞五十講	高桑勝雄 大正一一	一	五四七	八七
寫眞師と哲學者	ストリンドベルヒ著 小山內薰譯（世界短篇小說大系南歐及北歐篇ノ內 大正一五）	一	五三〇	四五
寫眞集報	大正一一年春、秋季號 大阪朝日新聞社編	二	四二三	八六
寫眞術自修文庫	藝術寫眞社發行 大正一〇	一	五〇五	一二
寫眞術之化學	糟谷美一 大正一一	一	五三	一四
寫眞術の新研究	吉川速雄 大正一二	一	五一六	一二四
寫眞術の話	原田良雄 大正一一	一	五一三	一二九
寫眞處方集	鈴木八郎編 大正一五	一	五六四	一三八
邪人親鸞	里山善郎 大正一五	一	五三三	一三七
寫眞小話	須藤憲三 大正一一	一	三八一	一九二
寫眞通信（教育資料―）	大正寫眞通信社發行 大正三	一	四〇八	一一七
寫眞圖解盆景の作り方	村田宗次郎、小山正一 大正七	一〇	六	三五五
寫眞の原理（通俗講話―）	ミース著 森芳太郎譯 大正一四	一	五四二	一〇三
寫眞の失敗と其原因	鈴木八郎 大正一三	一	五一六	二五七
寫眞の手引	森芳太郎 大正九（アサヌマ・シリーズ第一編）	一	三五五	九六
寫眞のとりかた	上條實編 大正三	一	三三九	四八四
寫眞實鑑	秋山轍輔編 三版 大正二	一	一七	四七五、ロ
同	四版 大正四	一	一七	四七五、ハ
寫眞發明百年祭記念講演集	朝日新聞社編 大正一五	一	五四七	八七
寫眞引伸シ法	掛札功 大正一二	一	五三三	一七一
寫眞物語	吉川速男 大正一〇	一	三九五	二三三
寫眞問答	（フイルム寫眞術續篇） 高桑勝雄 大正一二	一	三九六	三三
寫眞藥品解說（通信―）	高桑勝雄 大正九	一	三八五	八六
寫眞用ぜらちんニ就テ	西松勇 大正一五（大阪工業試驗所報告第六回第一三號）	一	一四二、イ	四九八、イ
寫眞類聚店頭裝飾及看板	帝國建築協會編 大正一五	一	五四七	一二八
寫眞鏡玉の知識	糟谷美一（霧川） 大正一五	一	五四七	一四一
蛇精（支那小說―）	田中貢太郎 大正一五	一	五一七	三四九
寫生を主綴方新教授細案	駒村德壽、五味義武 大正四	二	二六三、一	七九
寫生畫と構圖	萬富三 大正一三（圖畫教授第一卷）	一	二六三、三	二〇七
寫生新說	石川欽一郎 大正三	一	三四九	三三六
寫生地	上野山清貢 大正一五	一	五一七	四二四
寫生圖解大震記	信定瀧太郎編 大正一二	一	五二六	五〇
沙石集	無住撰 一〇卷（大日本風教叢書第二輯ノ內 大正六）	一	三六九	二
同		一	三六九	二イ
蔗糖生產費比較論	米國商務省商務局編 大正一三 九二六頁 水田榮雄譯	一	五九	二〇

	冊	函	號
蔗糖存在液中ノ還元糖定量法ニ就テ 神谷俊一（臺灣總督府研究所報告第七回ノ內 大正七）	一	一四、三 イ	二八五
〔社中合同圖案展覽會〕作品集 第一至三回 安田翠僊社編 大正八、九	一	四、一九	一四三
砂鐵 「サテツ」ヲ見ヨ			
四夜傳 圓仁稿 覺超記（日本大藏經第四六卷ノ內 大正九）	一	三、四	三六一
ジヤドソン傳（東洋傳道の開拓者） エドワード・ジヤドソン著 佐藤清譯 大正二	一	三、四	三六一
遮那經王疏傳 空海說 實慧記（日本大藏經第二四卷ノ內 大正六）	一	三、五	六
遮那經王不思議疏傳 空海說 實慧記 二卷（日本大藏經第二四卷ノ內 大正六）	一	三、五	六
砂防 「サハウ」ヲ見ヨ			
瓜哇及印度茶業報告 大和眞人編 大正一一	一	三七	二四一
瓜哇海水路誌 水路部編 大正一〇	一	水	三五
瓜哇古面譜 三浦秀之助編 大正一二	一	四、八 特	七七
瓜哇史 フロイン・メース著 松岡靜雄譯 大正一四	一	五、四	二八
瓜哇實生第一六一號種成績 （調查第三號）明治製糖株式會社編 大正六	一	三、六	二七六
瓜哇「シトロネラ」種香茅精油ニ就テ 加福均三（臺灣總督府研究所報告第五回ノ內 大正六）	一	四、三 イ	二八五
瓜哇製糖金融管見 瀨川英雄（海外旅行調查報告大正七年夏期ノ內 大正八）	一	三、六	三五七
瓜哇糖業生產組織發達の傾向 日蘭通交調查會編 大正一五	一	五四九	二五
瓜哇糖業の概略とその取引に於ける邦商の地位 平野計太郎（海外旅行調查報告大正一四年夏期ノ內 大正一五）		三、六	三五七
瓜哇糖業の發達は自然乎人力乎 梶原保人 大正二	一	三、九	一八二
瓜哇糖業論 東郷實編 大正二（殖產局出版第二五號）	一	四、三 イ	二九八
瓜哇島に對する我商品の販路開拓に關する參考事項 和田信純（海外旅行調查報告大正一〇年夏期ノ內 大正一一）		三、六	三五七
瓜哇糖の取引 下里巳之助（海外旅行調查報告大正一一年夏期ノ內 大正一二）		三、六	三五七
瓜哇茶に就て 北川政治郎（海外旅行調查報告大正一〇年夏期ノ內 大正一二）		三、六	三五七
瓜哇とセレベス 附 地圖 八木實通 大正五	一	三、四八	三七〇
瓜哇に於ける和蘭植民政策私觀 福田敬太郎（海外旅行調查報告大正六年夏期ノ內 大正七）		三、六	三五七
瓜哇ニ於ケル支那品ノ商況 伊藤賢道編（南支那及南洋調查第四四輯ノ內 大正一二）		四、三 イ	四七八
瓜哇に於ける「タピオカ」に就て 田中太郎（海外旅行調查報告大正一四年夏期ノ內 大正一五）		三、六	三五七
瓜哇に於ける電氣事業 谷田俊雄（海外旅行調查報告大正六年夏期ノ內 大正七）		三、六	三五七
瓜哇に於ける勞働問題と瓜哇糖業 濱宇津英一（海外旅行調查報告大正九年夏期ノ內 大正一〇）		三、六	三五七
瓜哇に輸入さるゝ綿布に就て 日本輸出綿織物同業組合聯合會編 大正一五	一	五、四	三〇四
瓜哇ノ金融及日瓜貿易 芳川顯正（商工彙纂第五一號） 大正七	一	三七	一三〇
瓜哇之糖業 岡部尤一（〔橫濱正金銀行〕調查報告第一九號） 大正九	一	四、五	二九
瓜哇の旅 加藤朝鳥 大正一一	一	三九四	三三一

	冊	函	號
瓜哇のタピオカに就て 山本太手雄（海外旅行調查報告大正八年夏期ノ內 大正九）		三三六	三五七
瓜哇の地方と糖業 南洋協會編（南洋研究叢書第一六篇） 大正一三	一	五〇〇	三
闍婆ボロブヅウル 第一至三帙 附 解說（三浦秀之助）ボロブヅウル刊行會編 大正一四		四 特	四一四 二
闍婆佛蹟ボロブヅウル解說 三浦秀之助 大正一四	一	五四〇	一三
ジヤバ北岸バタビア泊地 水路部製 大正五 二·一×三·一	一	枚 洋	三〇 ロ
ジヤバンツーリスト ビューロー事業報告 大正五、六年度 ジヤバン·ツーリスト·ビューロー編 大正六、七		二	三六四 二〇六
煮沸沈澱元（診斷治療一之一指針） 鳥潟陸三 大正五	一		六〇 三六八
差摩婆帝授記經 元魏、菩提流支譯（大正新脩大藏經第一四卷經集部一ノ內 大正一四）		特	四四 三七四
同			
シヤマン教 （世界聖典全集後輯第一五世界聖典外纂ノ內 大正一二）			八六 三九一
シヤマン教より見たる朝鮮の巫子 鳥居龍藏（明治聖德記念學會紀要第九卷ノ內 大正七）			三三五 三七二
沙彌威儀 宋、求那跋摩譯（大正新脩大藏經第二四卷律部 特）			四四 三七四
沙彌十戒並威儀經疏 法進撰 五卷（日本大藏經第二二卷ノ內 大正六）			三五三 六
沙彌十戒法幷威儀（大正新脩大藏經第二四卷律部三ノ內 大正一五）			四四 三七四
沙彌十戒法並威儀 鹽崎達人譯（現代意譯根本佛教聖典叢書第九卷ノ內 大正一二）			五一五 一〇四
三味線音宮新書 吉川由郎 大正一〇			一〇
沙彌尼戒經 （大正新脩大藏經第二四卷律部三ノ內 大正一五）		特	一二 五二〇 四四 三七四
沙彌尼戒經 鹽崎達人譯（現代意譯根本佛教聖典叢書第九卷ノ內 大正一二）			五一五 一〇四
沙彌尼離戒文 （大正新脩大藏經第二四卷律部三ノ內 大正一五）		特	四四 三七四
沙彌羅經 （大正新脩大藏經第一七卷經集部四ノ內 大正一四）		特	四四 三七四
同			
遲羅 內藤民治（世界實觀第一二卷ノ內 大正五）		枚 洋	四〇八 一二〇 を
遲羅 山口武 大正一〇			八六 三九一
遲羅海灣コー、シチヤン港 水路部製 大正五 二·二×一·六		枚	一 五五 イ
遲羅海灣馬來半島東岸カバス島至ラコン泊地 水路部製 大正三 二·一×三·一		枚	一 支 一七〇 イ
遲羅國の稻作及精米業 安原繁次（南洋叢書第四卷） 大正八			一 一四五 八〇
遲羅事情 在遲日本人會編 大正一一 六四六頁			一 三九八 一一五
遲羅事情 三隅寮藏（海外移住ノ內 大正一二）			五一二 二〇三
遲羅事情 吉岡幸造（經濟時事講演集第二輯ノ內 大正七）			三七三 一九五
遲羅と墨西哥（日本人の一斧鉞を待つ） 林久次郎、古谷重綱 大正一五			一 五五六 一三八
遲羅に於ける各種會社利益配當率一覽 臺灣總督官房調查課編（南支那及南洋調查第一二七輯） 大正一五			一 一四、二 イ 四七八
遲羅の治外法權と本邦人の將來 福井佐太郎（海外旅行調查報告大正六年夏期ノ內 大正七）			三三六 三五七
遲羅の財政 臺灣總督官房調查課編（海外調查第六輯） 大正八			一 一四五 五三
ジヤムピング 佐々木等（日本體育叢書第二篇） 大正一一			一 五〇五 二七

		冊	函	號
沙門果經	羽溪了諦・林五邦彌（現代意譯根本佛教聖典叢書第一卷ノ內 大正一二）		五一五	一〇四
沙門良寛詩集	大宮季貞編 大正七	一〇	一八六	二三六
沙門良寛全傳（北越偉人）	西郡久吾編 大正三 六九七頁	一	三二四	三七三
斜陽と鐵血（旅順に於ける乃木將軍）	津野田是重 大正一五	一	三一八	五三一
沙羅	（青木浪子遺稿集） 中村恒夫編 大正一三	一	五一四	二三三
寫樂	仲田勝之助（アルス美術叢書第八編） 大正一四	一	五四一	六一
寫樂	野口米次郎（野口米次郎ブックレット第九編） 大正一五	一	五四八	五
舍利	近松門左衛門（近松門左衛門全集第一〇卷ノ內 大正一三）		五〇五	五八
同	近松門左衛門著 藤井乙男校註（近松全集第一卷ノ內 大正一四）	特	五三〇	四〇
同		特	五三〇	四〇イ
舍利	山崎紫紅（現代戲曲全集第一八卷ノ內 大正一五）		五三〇	二五
舍利考	並附錄 行智 寫本 一三枚	一〇	二〇五	二六三
砂利に關する調査	附表 大正一四（經濟調書第一編） 東京鐵道局運輸課編	二	一四五	一三六
這裏に生死ありや	蘆津實全 大正一一	一	五〇四	七九
舍利弗阿毘曇論	姚秦、曇摩耶舍、曇摩崛多等譯（大正新脩大藏經第二八卷毘曇部三ノ內 大正一五） 二〇卷	特	四四	三七四
同			八六	三九一
舍利弗摩訶目連遊四衢經	後漢、康孟詳譯（大正新脩大藏經第二卷阿含部下ノ內 大正一三）	特	四四	三七四
同			八六	三九一
舍利弗目連經	泉芳璟譯（現代意譯根本佛教聖典叢書第五卷ノ內 大正一三）		五一五	一〇四

		冊	函	號
舍利弗問經	（大正新脩大藏經第二四卷律部三ノ內 大正一五） 鹽崎達人譯（現代意譯根本佛教聖典叢書第九卷ノ內 大正一三）		五一五	一〇四
車輛一班	松繩信太 大正一一	一	三一五	一八六
社令記	（諏訪史料叢書第三卷ノ內 大正一五）	一	三一八	五三一
車輪造者經	赤沼智善譯（現代意譯根本佛教聖典叢書第四卷ノ內 大正一三）		五一四	二三三
車輪、車軸及働軸箱	渡邊博道譯（機關車製作第二編） 大正一〇	一	三八五	一三一
シヤルル・アシヤル氏講演集	木島孝藏編 大正一五	一	六〇	六九四
シヤルル・ブランシヤアル	フイリップ著 小牧近江譯（フイリップ全集第一輯） 大正一五	一	五四五	四〇
シヤルル・ルイ・フイリップ	ジイド著 小牧近江譯 大正一五	一	五五〇	五三
シヤルル・フィリップ短篇集	フイリップ著 堀口大學譯 大正一二	一	五一七	二六九
シヤロック・ホウムズ（全）（譯）	コナン・ドイル著 石川正通譯 三版 大正一一	一	五〇六	二三三
シヤロック・ホルムス	第一至三編 コナン・ドイル著 加藤朝鳥譯 大正五	三	三五七	一一三
ジヤン・クリストフ	第一至六卷 ロマン・ロオラン著 後藤末雄譯 大正六、七（泰西近代名著文庫第一部ノ內）	六	三五五	六九イ
同	第一至四編 ロマン・ロオラン著 豐島與志雄譯 大正九至一二	四	三六九	四三
同	第一卷 大正一三（世界文藝全集第二七編） ジヤン・ソ・闇を破つて ロマン・ローラン著 三浦關造譯	一	五〇〇	一五
	クリストフ 大正三	一	三三八	二九二
ジヤングル	シンクレエア著 前田河廣一郎譯 大正一四	一	五五一	二三
ジヤングルブック（少年小說）	黑田湖山抄譯 大正二	一	三三八	一八三
ジヤンジヤック・ルソオ	シューケ著 神部孝譯 大正一五（文豪評傳叢書第三）	一	五四八	六

		冊	函	號
ジヤン・ジョレス	柳澤健 大正一四	一	五三三	七六
シヤントクレエル	ロスタン著 岡野馨譯（世界童話大系第二〇卷童話劇篇 二ノ內 大正一三）	一	五二〇	一〇
ジヤンとビイタア	ウェルズ著 加藤朝鳥譯 大正一五	一	五五一	一二六
ジヤンヌダーク一代記	筧舜亮 大正二	一	三五〇	二三
ジヤンヌ・ダルク	アナトオル・フランス著 吉江喬松譯 大正六	一	三六三	一六〇
ジヤンヌ・ダルク孤忠史譚（殉國烈女）	木村靜哉 大正八	一	三六四	一三八
ジヤンヌ・ダルクに就て	箕作元八（日蓮鑽仰天晴會講演錄第三輯ノ內 大正四）	一	三三四	一六五
ジヤンヌダルクの援助（史劇）	ドラボール著 教學研鑽和佛協會譯 大正一〇	一	五〇一	二〇三
上海印象記	三宅孤軒 大正一二	一	五一四	一三八
上海衞生狀況	內務省衞生局（入倉榮暐）編 大正五	一	一四六	九三
上海を中心とする支那生絲業	森村順一郎（海外旅行調查報告大正一三年夏期ノ內 大正一四）			三六 三五七
上海を中心とする石油販賣業及其組織	馬場鍬太郎（南支那及南洋調查第八一輯） 大正一三	一	一四二	四七八
上海及營口事情	大槻清三・荒岡清（商工彙纂第三四號） 大正四	一	三三七	二二〇
上海海產物事情	大槻清三（商工彙纂第三三號） 大正四	一	三三七	二二〇
上海居留地に於ける越界築路と支那人參政權問題	中華義久（支那研究第一〇號ノ內 大正一五）			四五 四八
上海外國居留地行政概論	中濱義久（滿鐵調查資料第五五編） 大正一五	一	一四五	一七イ
上海貨價季刊	中華民國一四年第一至四季（財政部駐滬調查貨價處編） 中華民國一四、一五	一	一四四	一七一

		冊	函	號
上海現行法規輯覽	附錄付 吉田東州（昉）編 大正三	二	一四七	一三一
上海事件に關する報告	附 上海事件に關する工部局ステートメント 高久肇編（滿鐵調查資料第四九編） 大正一四	一	一四五	一七イ
上海視察報告	岡山縣果物同業組合編 大正三	一	一四二	一四三
上海市場に於ける支那棉花	福渡龍（海外旅行調查報告大正一四年夏期ノ內 大正一五）	一	三二六	三五七
上海商港に就きて	陰山太八（海外旅行調查報告大正一二年夏期ノ內 大正一三）	一	三二六	三五七
上海新建築條例譯文	加藤登譯 大正一〇	一	一四七	二〇五
上海地方產數種の水による日本酒の試釀	山崎百治（支那研究第一一號ノ內 大正一五）	一	一四五	四八
上海に於ける金融事情に就きて	太田鯛（海外旅行調查報告大正一〇年夏期ノ內 大正一二）			三二六 三五七
上海に於ける苦力	小柳六郎（海外旅行調查報告大正一〇年夏期ノ內 大正一一）			三二六 三五七
上海に於ける外國爲替及金融	吉田政治 大正一四	一	五三五	九五
上海に於ける建築用語	青木喬（支那研究第一號ノ內 大正九）		一四五	四八
上海ニ於ケル兒童勞働調查書	附 支那勞働問題（勞働保護資料第一七輯） 社會局編 大正一四	一	一四五	一七三
上海に於ける支那人と外國人間の爭議に關する審理制並に治外法權の撤廢	武田藏之助（法學論叢ノ內 大正一四）		五三〇	一七三
上海に於ける醬油製造法	大村欣一（「在支外人設立學校概觀」等ト合綴） 大正一〇		三六八	一四一
上海に於ける動亂直後の印象	森盛一郎 大正一四	一	五三四	三八五

		冊	函	號
上海に於ける邦人紡績業	尾山正一（海外旅行調査報告大正一三年夏期ノ内 大正一四）		三六	三五七
上海に於ける本邦輸出海産物に就きて	水谷安平（海外旅行調査報告大正一三年夏期ノ内 大正一四）		三六	三五七
上海に於けるメリヤス業	谷澤源太郎（海外旅行調査報告大正一〇年夏期ノ内 大正一二）		三六	三五七
上海に於ける勞働者	大阪市商工課編（支那貿易叢書第二輯） 大正一三		一	五二〇 二
上海年鑑	上海日報社編 大正一五		一	一四、四 七五四
上海百話	池田信雄（桃川）訂再版 大正一二		一	五一四 一四九
上海貿易統計	（中華民國一四年） 大阪市産業部調査課編 大正一五		一	五二四 二六五
上海棉花市場に於ける邦商の地位	繁益繁治郎（海外旅行調査報告大正一三年夏期ノ内 大正一四）		三六	三五七
上海輸入貨物關價指數表	杉田保（海外旅行調査報告大正一三年夏期ノ内 大正一四）		三六	三五七
ジヤン・バティスト・セイ經濟學	財政部駐滬調查貨價處編 中華民國一四		一	四一九 一六七
ジヤン・フランソア・ミレエ	上卷 セイ著 增井幸雄譯 大正一五（經濟學古典叢書ノ內）		一	五三〇 二五三
ジヤンミショオの小帆船	ジユリア・カートライト著 福田久道譯 大正一〇		一	三八〇 一二三
壽阿彌の手紙	ロバアツ著（谷口武譯（世界短篇小說大系亞米利加篇ノ內） 大正一五）			五二〇 四五
同	森鷗外（鷗外全集第七卷ノ內 大正一二）	特	一	五二〇 一
思惟略要法	姚秦、鳩摩羅什譯（大正新脩大藏經第一五卷經集部二ノ內 大正一四）	特	一イ	五二〇 一
同		特	四四	三七四
			八六	三九一
取因假設論	陳那造 唐、義淨譯（大正新脩大藏經第三一卷瑜伽部下ノ內 大正一四）	特	四四	三七四
同			八六	三九一
朱印船貿易史	川島元次郎 大正一〇 六一六頁		一	三九八 三六
シユウエル近世史	シユウエル著 岩井勳譯 大正元		一	三三九 一五五
壽々（じゅーじゅー）	〔第一期〕 一、二 山內神斧 〔手彩色〕	特	一〇	二〇五 二八三
同	大正七 〔色摺〕	特	一〇	二〇五 二八三イ
同		特	二〇	二〇五 二八三ロ
同	〔第三期〕 二 大正一四	特	二〇	二〇五 二八三
同	一 大正一四	特	一〇	二〇五 二八三イ
雌雄淘汰	ダーウイン著 大畑達雄譯 大正一五		一	五五二 一四六
Jute及其製品	藤村爲次郎（商品研究一）（第五二號） 大正一三 調查報告		一	一四五 二九
シユーベルト	門馬直衛（音樂家と音樂第二） 大正一三		一	五五 一二三
シユーマン	門馬直衛 再版 大正一三（音樂家と音樂第三）			五一五 一二三
壽永二年轉法輪法記	（續群書類從第二六輯ノ上釋家部ノ內 大正一四）			八〇 二二一
同				八〇 二二一イ
壽永秋大佛供養	寫本（勝進助芝居臺帳第一）		一〇	一九一 七六五
壽榮錄萬物藏	壽達翁 寫本			二四五 二一七
	第五冊 春雨徒然草 第六冊 三則正辨 第七、八冊 難字節用集 第九冊 風流反故集			

		冊	函	號
主要教材縱的研究國定算術書の地方化と其活用	尋常科第一至四學年 山本孫一 大正八、九		四	二六三 五六
主要工業概覽	農商務省工務局編 明治四五		一	一四二ロ 六九
同 再版	大正三		一	一四二ロ 六九イ
主要工業概覽	第一至四部 農商務省工務局編 大正一〇		一	一四二ロ 六九ロ
同	大正一一		一	一四二ロ 六九ハ
主要工場就業規則集	協調會編 大正一四		一	一四七 三一〇
主要國財政經濟要覽	大正一二年三月調 大藏省理財局臨時調查課編 大正一二		一	五八 三七
主要國ノ食糧政策ニ關スル資料	農商務省食糧局編 大正一三（食糧調查資料第七號）		一	一四二イ 五二四
主要材木種子水選ノ價値及其方法	小山光男（（農商務省）林業試驗報告第一一號ノ內 大正二）		一	四二イ 一二五
主要商品騰貴事情	日本銀行調查局編 大正八		三	三七八 七二
主要食糧農作物ノ品種改良奬勵指針	農商務省農務局編 大正一〇（食糧增殖奬勵資料第六號）		一	一四三イ 四六一
主要食糧農作物品種改良事業要覽	農商務省農務局編 大正九（農務局報第一二號）		一	一四三イ 三七三
主要食糧農產物改良增殖奬勵規則及ビ之ニ關スル通牒	農商務省農務局編 大正八		一	三七八 四五
主要食糧農產物改良增殖奬勵規則ニ依リ奬勵金ヲ交付シタル事業要覽	農商務省農務局編 大正一一（農務局報第二八號）		一	一四三イ 三七三
主要食糧農產物改良增殖奬勵事業要覽	農林省農務局編（農務局報第四五號） 大正一五		一	一四三ロ 三七三
主要貨物統計年報	大正一二、一三年分 東京鐵道局編		二	一四三ロ 一五三イ
主要貨物府縣別發着數量表	大正七年度 鐵道省運輸局編		一	一四三ロ 一五三

		冊	函	號
主要食糧農産物改良增殖奬勵ニ關スル參考資料	農商務省農務局編（農務局報第六號） 大正七	一	一四、二イ	三七三
主要ナル咽腔疾患ノ診斷及療法	久保猪之吉（消化器疾患ノ內） 大正五		五三	一三〇
主要なる殺菌劑驅蟲劑	兵庫縣立農事試驗場編（大正六）	一	三三九	九五六
主要ナル上氣道疾患ノ診斷及治療	久保猪之吉 大正七	一	五八	一二
主要農作物生産調査	栽培戶數、作付面積、臺灣總督府殖産局編（大正一〇年一一）	一	一四、三イ	四九七
同	生産收量、耕種法（農業資本調査第六七） 大正一〇至一二年 大正一三	二	一四、三イ	四九七
主要農作物病害論	堀正太郎 大正二	一	三三九	二九二
主要農産物改良增殖協議會要錄	（大正一二年一月開催） 農商務省農務局編 大正一二	一	五八	七三
同	（大正一五年一月開催） 農林省農務局編 大正一五	一	五八	七三
主要農産物ノ改良增殖奬勵ニ關スル注意事項	農商務省農務局編 大正一一 二四頁	一	三九七	四一四
主要販賣肥料ニ關スル調査	農林省農務局編（農務局報第四八號） 大正一五	一	一四、三イ	三七三
主要病蟲害防除劑	和歌山縣立農事試驗場編（同場彙報第一號） 大正七	一	一四、二イ	三三三
受益者負擔制度	ウヰリアム・エー・バセット著 飯沼一省譯 大正一五（道路改良叢書第六號）	一	五四三	五五
受益者負擔ニ關スル外國法制及實際ニ就テ	復興局長官官房計畫課編（復興局調査彙報第三號） 大正一三	一	一一四、五	四九七
受益談	並同附記、同續錄、同附說、同或問、同東語、同後語 陶山鈍翁（改訂日本經濟叢書第四卷ノ內） 大正一二	一	一四、三イ	四九七
樹葉竝ニ野草ノ飼料及肥料的價値	守屋重政、大迫元雄（農商務省）林業試驗報告第一八號ノ內 大正八		一四、三イ	一三五
酒害の眞相	フーゴー・ホッペ著 片山國嘉譯補 大正二	一	六一	一五二
脂油硬化法ニ就テ	岡田徹平（南滿洲鐵道株式會社中央試驗所報告第一輯ノ內 大正四）	一	一四、二イ	四五一
儒學綱要	宮井眞良 大正一二	一	五一〇	二二
同		一	五一〇	二二イ
同		一	五一〇	二二ロ
儒學史	上卷 宇野哲人 大正一三	一	五一〇	八二
儒家小誌（書書鑑ノ一）	渡俊治編 大正一一	一	三七四	八七
儒家哲學本義	內田正 大正六	一	三五六	二八七
儒家の修養法につきて	宇野哲人（懷德堂文科學術講演集第一輯ノ內 大正一四）		一四、五	一三八
同			一四、五	一三八イ
儒家理想學認識論	內田正 大正三	一	三四四	四〇八
主銲及側銲	渡邊博道譯（機關車製作第一編） 大正一〇	一	三八五	一三二
樹幹折解ノ際各齡階所屬樹高算定ノ新法	第一、二回 中島廣吉（北海道帝國大學農學部演習林研究報告第一卷第七號、第二卷第一號ノ內 大正九、一二）		三三一	一五三
主眼點を根柢とせる	吉田謙治 大正一一	一	二六三 四	七八
主眼點を高等小學國史教材詳說	第一、二學年用 中野八十八、手島繁雄 大正一四、一五	二	二六三 六	一〇〇
樹間の光（愛する者の死）	古屋芳雄 大正一〇	一	五〇一	二〇
樹幹ノ胸高以上任意ノ高サニ於ケル直徑算定ノ補助表	山本和藏（農商務省）林業試驗彙報第四號ノ內 大正一〇		一四、三イ	一二五ロ
樹幹橫斷面積算出法ニ就キテ	第一、二回 小出房吉等（北海道帝國大學農學部演習林研究報告第一卷第六、七號ノ內） 大正七、九		三三一	一五二
壽喜集	飯田唐治編 大正一〇	一	三九三	一六二
衆經撰雜譬喩	道略集 姚秦、鳩摩羅什譯 二卷（大正新脩大藏經第四卷本緣部下ノ內 大正一三）特		四四	三七四
同			八六	三九一
修行道地經	西晉、竺法護譯 七卷（大正新脩大藏經第一五卷經集部二ノ內 大正一四）特		四四	三七四
同			八六	三九一
修行本起經	後漢、竺大力、康孟詳譯 二卷（大正新脩大藏經第三卷本緣部上ノ內 大正一三）特		四四	三七四
同			八六	三九一
珠玉抄（泰西五名家箴言集）	松本苦味 大正五	一	七一	五五一
朱切紙十二通	酉仰撰（淨土傳燈輯要卷上ノ內 大正七）		一五九	八九
宿曜經撰日捷法	栗原信充稿本 寫本 七枚	特	一〇	二五
淑香傳	朝鮮、李圭琮著 清水鏡吉抄譯（鮮滿叢書第八卷ノ內 大正一二）		五〇五	五五
祝賀弔祭演說と文章	大日本雄辯會編 大正五	一	三五七	一〇〇
祝賀弔祭式辭演說大觀	高木斐川編 大正七	一	三七七	九六
祝賀弔祭式辭と挨拶	高木斐川編 大正一四	一	五〇一	二〇
熟語集成漢和大辭典	古川喜九郎編 大正一一	一	八五	一九二イ
同	二〇版 大正一三	一	八五	一九二ロ
熟語詳解新註漢和大辭典	中村德五郎 大正二	一	八五	二三〇
熟語類聚漢和新辭典	小宮永心 大正一四	一	五一六	三〇五
祝祭曲と小劇場曲	ストリンドベルク著 楠山正雄譯（ストリンドベルク戲曲全集第五卷） 大正一三	一	五〇五	六五
祝祭日要義	河野省三 大正五	一	三三九	七六三イ
祝祭日及び講話資料	相島龜三郎、宮部治郎吉 大正一四	一	二六三 五	三三
縮刷名家文庫	東亞堂發行 大正三至八	三三		三七六
縮刷名著叢書	第四編 當世策士傳（鶚崎鷺城）			
	第五編 立志立功（幸田露伴）			
	第八編 道は近きにあり（大內青巒）			
	第九編 桃太郎主義の教育（巖谷小波）			
	第一二編 成功の時機（村上專精）			
	第一二編 男の中の男（大町桂月）			
	第一三編 增補處世講話（加藤咄堂）			
	第一四編 禪學眞髓（近重眞澄）			
	第一六編 女らしく（棚橋絢子）			
	第一七編 向上の一路（新井石禪）			
	第一八編 歷史の教訓（塚原渋柿園）			
	第一九編 修養の極致（前田慧雲）			
	第二〇編 禪の活用（秋野孝道）			
	第二一編 英雄と修養（加藤咄堂）			
	第二二編 人物と事業（橫山健堂）			
	第二三編 花より實を取れ（嘉悅孝子）			

	冊	函	號
第二五編　讀史の趣味　（萩野由之）	一	三七	イ
第二六編　人間と自然　（大町桂月）			
第二七編　心の修練　（大内青巒）	一	五一七	二三一
第二九編　無駄なき生活　（山脇房子）			
第三〇編　人生の裏面　（村上浪六）	一	四〇	一〇八
第三二編　無一物處　（日置黙仙）			
第三四編　禪學新論　（忽滑谷快天）	一	三九一	四四
第三五編　修省論　（幸田露伴）			
第三九編　我が日蓮主義　（佐藤鐵太郎）	一	三九一	四四
第四〇編　向上論　（南條文雄）			イ
第四一編　奮闘哲學　（井上圓了）			
第四二編　衛中の樂地　（釋宗演）	一	五三五	三一五
第四三編　陽明主義の修養　（高瀬武次郎）			
第四四編　急がば廻れ　（江原素六）		八〇	三二 ロ
第四五編　禪機世機　（高津柏樹）	一〇	四二〇	六三
第四六編　皇國の興廢　（佐藤鋼次郎）	一	三八二	一〇九
第四七編　生きるの道　（田尻稻次郎）	二	三二七	六六〇
縮刷名著叢書　第一編　東亜堂發行　大正四	一帖	五〇七	一五九 イ
祝枝山行書鐵龍帖　明、祝允明書　油谷博文堂發行　明治四五	一帖	五〇七	一五九 イ
祝枝山正書離騷經　明、祝允明書　油谷博文堂發行　大正二	一帖	二三五	一六三
熟字拔萃　田上恭譲編　寫本	二〇	二一七	二七七
肅親王　石川安次郎　大正五	一	三四八	三七八
塾制　三浦晉（梅園全集下卷ノ內　大正元）		三四二	一九六
淑女鑑　田島教惠　大正三	一	三四八	一四九
淑女か猛虎か　ストックトン著　木村信兒譯（世界短篇小說探偵家庭小說篇ノ內　大正一五）		五三〇	四五
淑女書報　博文館發行　第三卷第七號（大正三年六月）至第一二卷第九號（大正一二年九月）〔缺アリ〕	四〇	雜五一	二七
縮圖面延長、面積及傾斜度早見表　湯淺辰彥編　大正三	一	三二九	五一四
祝杯　泉鏡花（鏡花全集第四卷ノ內　大正一五）			
祝福　古屋芳雄　大正一二			
宿命　（原稿）　沖野岩三郎　寫本			
同　大正八			
同　改版　大正一五			
宿命論者のことば　沖野岩三郎　大正一五			
宿蘆稿　（續群書類從第一三輯ノ下文筆部ノ內　再版　大正一五）			
珠光筆蹟　宮友會編　大正九			
主觀經濟の原理　賀川豐彥　大正九			
主觀原理羽黑式測定法　期米編、株式編　佐々木英鷹　明治四五			
主觀的評定と統計尺度　古賀行義（商業經濟論叢第四卷ノ內　大正一五）			
同			
主觀の謙遜、現實修飾の悲哀　島村抱月（抱月全集第二卷ノ內　大正九）			
手藝　大妻一惠（家事文庫第二編）			
同			
手藝講義　大妻コタカ（實際生活修養と技藝家庭女學講習錄中卷第七編　大正一四）			
綜藝種智院式並序義解　大乘寺良一　大正五			
手藝叢書　集文館發行　大正二、三			
第一編　編物獨習法（寺西綠子）			
第二編　袋物細工法（同）			
第三編　最新造花法（同）			

	冊	函	號
手藝圖案の描き方（素人のための一）　附應用圖案百種　藤井達吉　大正一五	一	五四〇	九三
儒教新議　內田正　明治四二	一	二四四	四〇九
儒教道德及其原理　服部宇三郎　大正一一	一	五〇三	六六
儒教と家族制度　稻葉君山（足利學校釋奠講演筆記第一一卷ノ內　大正一二）		三四四	八六
儒教と現代思想　服部宇之吉　大正八（國民思想滷養叢書第三編）	一	三九〇	一五
儒教と日本文化　中村久四郎　大正一一（文化叢書第一五編）	一	五〇五	二六
儒教と佛教　井上哲次郎（統合大講習會講演集ノ內　大正四）		三三四	四六三
儒教復原論　朝鮮、李炳憲編　大正一四	一〇	一六三	一一七
授決圓多羅義集唐決　圓珍傳　二卷　四三卷ノ內（日本大藏經第大正九）		三五三	六
授決集　圓珍撰　二卷（大日本佛教全書第二六册ノ內　大正六）		三五三	一〇
同　（智證大師全集上卷ノ內　大正七）		三三四	五六八
儒龜井南冥　高野江基太郎　大正二	一	二四八	一七
修驗一派引導作法　（日本大藏經第三七卷ノ內　大正八）		三五三	六
修驗慧印三昧耶引導法　元杲撰（日本大藏經第一七卷ノ內　大正五）		三五三	六
修驗慧印總漫拏攞　（日本大藏經第一七卷ノ內　大正五）		三五三	六
修驗慧印六壇漫拏攞　（日本大藏經第一七卷ノ內　大正五）		三五三	六
受驗要項　附試驗問題集　岡田齋次郎編　大正一〇	一	二五九	四四六
受驗應用マッサージ講義　新井卯之助　大正二	一	三四四	三四〇
修驗學則　僧牛撰（日本大藏經第三八卷ノ內　大正八）		三五三	六
修驗行滿雜記　良運記（日本大藏經第三八卷ノ內　大正八）		三五三	六
修驗極印灌頂法秘口決　勝覺撰（日本大藏經第一七卷ノ內　大正五）		三五三	六
修驗極秘灌頂印明　勝覺撰（日本大藏經第一七卷ノ內　大正五）		三五三	六
修驗故事便覽　日榮　五卷（日本大藏經第三八卷ノ內　大正八）		三五三	六
修驗最勝慧印三昧耶極印灌頂法　聖寶撰（日本大藏經第一七卷ノ內　大正五）		三五三	六
修驗最勝慧印三昧耶護摩法　聖寶撰（日本大藏經第一七卷ノ內　大正五）		三五三	六
修驗最勝慧印三昧耶柴燈護摩法　聖寶撰（日本大藏經第一七卷ノ內　大正五）		三五三	六
修驗最勝慧印三昧耶聲明集　成覺撰（日本大藏經第一七卷ノ內　大正五）		三五三	六
修驗最勝慧印三昧耶得度作法　成覺撰（日本大藏經第一七卷ノ內　大正七）		三五三	六
修驗最勝慧印三昧耶普通次第　聖寶撰（日本大藏經第一七卷ノ內　大正五）		三五三	六
修驗最勝慧印三昧耶法　義範撰（日本大藏經第一七卷ノ內　大正五）		三五三	六
修驗最勝慧印三昧耶法口決　（日本大藏經第一七卷ノ內　大正五）		三五三	六
修驗最勝慧印三昧耶法玄深口決　仁海纂（日本大藏經第一七卷ノ內　大正五）		三五三	六
修驗最勝慧印三昧耶六檀法儀軌　聖寶撰（日本大藏經第一七卷ノ內　大正五）		三五三	六
受驗參考消化器系統ノ解剖ト組織　誰ニモ分ル檢鏡ノ手引　阿部敏雄、笹川久吾　大正一四	一	四九	七八
受驗參考徵分學問題詳解　山崎榮作　大正一五	一	三四一	四九三 イ
同　訂再版　大正一五	一	三四一	四九三

受驗參考民法提要	原友己	大正八	一冊 函號
修驗三十三通記	卽傳撰（日本大藏經第三七卷ノ內 大正八）	二卷	三 八五三 六
修驗三正流儀教	覺晉撰（日本大藏經第三八卷ノ內 大正八）	二卷	三 五三 六
修驗宗神道神社印信	（日本大藏經第一七卷ノ內 大正五）		三 五三 六
修驗宗法具祕決精註	常圓註 義親補（日本大藏經第一七卷ノ內 大正五）	二卷	三 五三 六
修驗指要辯	等空（日本大藏經第三八卷ノ內 大正八）		三 五三 六
修驗十二箇條	（本山方）（日本大藏經第三八卷ノ內 大正八）		三 五三 六
修驗十二箇條	（當山方）日賢記（日本大藏經第三八卷ノ內 大正八）		三 五三 六
修驗常用集	覩弘纂（日本大藏經第一七卷ノ內 大正五）	二卷	三 五三 六
修驗常用祕法集	尊海集（日本大藏經第一七卷ノ內 大正五）		三 五三 六
修驗常用祕法集	尊海集（日本大藏經第一七卷ノ內 大正五）	三卷	三 五三 六
受驗者練習用獨文和譯例題集	獨逸語學雜誌社編 大正三		一 三七 二七五
同	再版 大正八		一 三七 二七五イ
修驗修要祕決集	蓮覺傳（日本大藏經第三七卷ノ內 大正八）	二卷	三 五三 六
修驗心鑑書	聖寶撰（日本大藏經第一七卷ノ內 大正五）		三 五三 六
修驗心鑑鈔	常圓註（日本大藏經第一七卷ノ內 大正五）	二卷	三 五三 六
修驗深祕行法符咒續集	（日本大藏經第三七卷ノ內 大正八）	日本大藏經編纂會編 二卷	三 五三 六
受驗生の手記	久米正雄（ダヱストポケット傑作叢書第一五編ノ內 大正一二）		三 六九 五六

受驗叢書	三寶閣發行 訂再版 大正一五		一冊 函號
	第一編 憲法提要（三寶閣編）		一 一〇 三八
修驗道	三井豐眞 大正七		三 五三 六
修驗道引導之軌	元泉撰（日本大藏經第一七卷ノ內 大正五）		三 五三 六
修驗道十八個條警策	滿濟撰（日本大藏經第一七卷ノ內 大正五）		三 五三 六
修驗道初學辯談	卓盈撰（日本大藏經第三八卷ノ內 大正八）	二卷	三 五三 六
修驗道諸神勸請通用	行存集（日本大藏經第一七卷ノ內 大正五）		三 五三 六
修驗道峰中火堂書	秋月纂（日本大藏經第一七卷ノ內 大正五）	二卷	三 五三 六
修驗道無常用集	鑛清輯（日本大藏經第三七卷ノ內 大正八）	二卷	三 五三 六
修驗摘要記	細川孝源 大正五		一 三三五 四〇九
受驗適用鍼灸按摩術全書	附 療病篇 小野田範司 大正元		一 六〇 三六
修驗頓覺速證集	卽傳撰（日本大藏經第三七卷ノ內 大正八）	二卷	三 五三 六
受驗の爲めの用器畫法詳解講義	宮崎茂三 訂再版 大正四		一 三五一 二三イ
同			一 三五一 二三ロ
修驗柱源神法	本山相傳（日本大藏經第三七卷ノ內 大正八）		三 五三 六
修驗祕奧鈔	旭蓮記（日本大藏經第一七卷ノ內 大正五）	二卷	三 五三 六
修驗祕記略解	房演撰（日本大藏經第一七卷ノ內 大正五）		三 五三 六
受驗必携最新理科學寶典	秦專章、中根信一 大正六		一 三六一 一四〇
受驗必携日働車學	藁瀨幸三郎 大正一三		一 五二八 四六

受驗必携生藥學粹	岸市五郎編 訂補八版 明治四四		一 五〇 一五三ト
受驗必携藥用植物學粹	岸市五郎編 訂補九版 明治四五		一 五〇 一五三リ
受驗秘錄官試驗學び方と受驗法	星野武雄 大正一五		一 五六五 八〇
修驗峰中祕傳	雲外撰（日本大藏經第一七卷ノ內 大正五）		三 五三 六
修驗名稱原儀	淨諦（日本大藏經第一七卷ノ內 大正五）		三 五三 六
受驗用行政法通論	日本法律研究會編 大正一二		一 五〇三 二三八
受驗用刑事訴訟法通論	日本法律研究會編 大正一一		一 五〇三 一四九
受驗用刑法通論	日本法律研究會編 大正一二 五一二頁		一 五一三 一三
受驗產婆學	異常論 白木正博 大正一五		一 五六 二三五
受驗用民法通論	總則編、債權編、物權編 日本法律研究會編 大正一一—一二		三 五〇三 一八五
受驗ロマンス	松前三郎 大正七（學生生活叢書第七編）		一 二九五 四〇
手工科	池田榮三郎（日曜學校講習會講義錄第四回ノ內 大正八）		二八五 二
手工科應用教材玩具研究資料	木製玩具製作法 小泉吉兵衞 大正八		三 二五三 六
手工科應用教材としての	玩具の研究及製作法 藤五代策 大正四		一 二六三 一四六
手工科教材及其の解說	高野常政 大正六		一 二九五 三三五
手工科教授細目	石川縣教育會編 大正七		一 二六三 一三七
手工科教授細目（教科兼用一）	橫井曹一編 大正七		一 二六三 一四五
手工科研究錄	前後編 茨城縣小學校聯合教授法研究會編 大正八		二 二六三 一五二
手工科新教材集成	紙細工篇、粘土細工篇、簡易木工篇 岡山秀吉編 大正五至八		三 二六三 二一〇
手工教育農業教育彙細工	小泉吉兵衞、堀卯三郎 大正七		一 二六三 一四一
手工教育論	アルウイン・パブスト著 山崎大次郎解說 大正三		一 二九三 五一
手工教授資料集成（教材解說）	同教授研究會編 大正八		一 二六三 一五四
手工教授の實際的新主張	山田義郎 大正一〇		一 二六三 一六一
手工業ノ發達ニ關スル施設	農商務省山林局編（副業資料第二ノ內 大正二）		三 四四 一五三
手工實習法	藤岡龜三郎 大正二		一 二九三 五〇
手工適用木工製圖及製作法	木檜恕一、下川兵次郎 大正二		一 四一九 一八
守護國界章	最澄 九卷（傳教大師全集第一ノ內 明治四五）		三 三四 三〇六
同	（日本大藏經第四四卷ノ內 大正九）		三 五三 六
守護國家論	日蓮撰（日蓮宗全書本典部日蓮上人全集卷一ノ上祖書錄內ノ內 大正三）		二 四六 二〇三
酒庫寶鑑	青山茂 大正二		一 三三九 二八三
修業要決	證空撰（大日本佛教全書第六三冊ノ內 大正三）		三 五三 一〇
守根經	赤沼智善譯（現代意譯根本佛教聖典叢書第四卷ノ內 大正三）		五一五 一〇四
酒造業ニ關スル調查	日本銀行調查局編 大正九		一 三五〇 一六四
酒造家の顧問	同文社編 大正三		一 三四九 三四六
同	訂再版 大正四		一 三四九 三四六イ
酒造業ニ關スル調查	灘五鄉ニ於ケル酒造業（日本銀行大阪支店編） 伏見ニ於ケル酒造業（同京都支店編）		一 三七八 一〇〇

酒造研究法私見　花岡正庸　大正一二　四三頁　一冊　函號　三六　一九五

酒造參考書　名古屋稅務監督局鑑定部編　大正一〇　一　二九六　二一

酒造稅法新解　富澤敬次郎　訂補再版　明治四五　一　九一　二四三イ

酒造の心得　日本釀造協會近畿支部編　大正一一　一　五一三　五九

珠算　吉永專吉　再版　大正七　一　三六五　九一

修刪阿彌陀經　太宇泰臺（眞宗全書續編第三卷ノ內）　大正五　二四六　七

修刪阿彌陀經論　履善　一二卷（眞宗全書續編第三卷ノ內）　大正五　二六三四　六六

珠算教授細目　小井戶方三郎　大正一〇　一　二六三四　九七

珠算教授眞義（教材—精說—）　水戶部寅松　大正一四　一　二六三四　五九

珠算教授法（能率—中心—）　岡田藤十郎　大正八　一　二六三四　二九

珠算教授法精義　岡千賀衛　大正三　一　五二四　九二

授產事業に關する調査　東京市社會局編　大正一三　一　三六五　二三五

珠算集成　石橋梅吉　大正七　一　三五一　五

珠算精義　玉置哲二、石橋梅吉　大正二　一　三六三四　六二

珠算は斯くして教授した　岡本助左衞門　大正八　一　五五五　一

主從心得書　伴蒿蹊（通俗經濟文庫第一二卷ノ內　大正六）　三五五　五三

種子及種苗店の研究　二川原久作　大正一四　一　五四一　四三

朱子家訓私抄　（先哲遺著漢籍國字解全書第二卷ノ內　大正一五）　五五五　一

壽氏家誌略部　壽達翁　寫本（壽氏錄萬物藏第三四至三七册）　一〇四　二四五　二一七

朱子集註殘稿　長尾槇太郎編　大正七　一〇　一一八　二一三

種子壽命論　近藤萬太郎（農學研究第八卷ノ內　大正一五）　雜　三八　二イ

種子の改良と種類の改善　菊地稈（農業叢書第一輯農業講演集ノ內　大正二）　三四六　二

同　二イ

朱子の哲學　後藤俊瑞（世界哲學大系ノ內）　大正一五　一　五二五　三一七

種子のとりかたとこやし（農產物增收法—）　見波定治　大正三　一　三三九　四三〇

衆集經　羽溪了諦、甲斐實行譯（現代意譯根本佛教聖典叢書第一〇卷ノ內　大正一三）　五一五　一〇四

修習止觀坐禪法要帳中記　七卷　宣順（木公山人）編　大正一四　一　五二一　九五

受十善戒經　（大正新脩大藏經第二四卷律部三ノ內　大正一五）　世友造　宋求那跋陀羅、菩提耶舍譯　特　四四　三七四

衆事分阿毘曇論　一二卷（大正新脩大藏經第二六卷釋經論部下毘曇部一ノ內　大正一五）　特　四四　三七四

同　八六　三九一

守正護國章　日講（日蓮宗宗學全書ノ內　大正一二）　三五三　三〇り

衆生心　島村抱月（抱月全集第六卷ノ內　大正八）　三七九　二

授賞審查要旨　明治四五至大正四年　帝國學士院編　明治四五至大正四　四　三三七　七三六

授手印決答聞書　良天（續淨土宗全書第一四ノ內　大正一三）　三三四　六三

授手印決答受決抄　良心（古活字版）　二二枚　特　一〇　二〇五　二六〇

授手印請決　慶善撰（淨土傳燈輯要卷下ノ內　大正一〇）　一九　八九

授手印請決清濁　愚底撰（淨土傳燈輯要卷下ノ內　大正一〇）　一五九　八九

授手印傳心鈔　（淨土傳燈輯要卷中七卷書講錄ノ內　大正八）　一五九　八九

種々御振舞御書　日蓮（修養文庫第二編賢哲傳下ノ內　大正八）　三七五　三五

朱舜水　同紀念會編　明治四五　一　三四四　三一

朱舜水記事纂錄　彰考館編　大正三　一　三四四　四三三

朱舜水全集　稻葉岩吉編　明治四五　七七六頁　一　三四三　八一

朱舜水先生文集　二八卷（附錄行實、安積覺編）　明朱徵君集（全井弘濟、安積覺編）　泊舟稿（一〇卷欠、五、九卷缺）　附錄　朱子瑜別傳　朱文恭遺事（海東遺史編）（安積覺編）　（五十川剛伯編）

修證義講話　大內青巒　大正一一（布教文庫第三編）　一　三三五　三九二

主食の改善　稻垣乙丙（社會教育講演集ノ內　大正一〇）　六　二七五　一九

主人と雇人　トルストイ著　宮原晃一郎譯（トルストイ全集第三卷ノ內　三版　大正九）　三九〇　三元

主人のない母子　北尾龜男（日本戲曲集第二輯ノ內　大正一五）　五二七　六一

主親論　笹倉新治（中島敎授在職二十五年記念論文集ノ內　大正八）　三七〇　一〇八

數珠功德經鈔　亮汰（日本大藏經第三四卷ノ內　大正七）　三二五　六

主稅局統計年報書　第三八至五一回（明治四四至大正一三年度）　大藏省主稅局編　大正元至一五　一四　一四四　三〇一

酒精製造法　丹波敬三編（化學工業全書第一一册ノ內　明治四三）　四五　一九〇ニ

酒精ノ電解的合成ニ就テ　第一報　角谷清明　大正一二（大阪工業試驗所報告第四回第四號）　一　一四、二イ　四九八

同　一　一四、二イ　四九八イ

酒精問題研究　青木匡濟財團編　大正一五　一　五六五　六八

酒說養生論　守部正稽（醫聖堂叢書ノ內　大正一二）　五三　一九七

同　五三　一九七イ

修禪和尙留芳集　日本大藏經編纂會編（日本大藏經第四六卷ノ內　大正九）　三五三　六

修善雜記　寫本〔日光山勅會之日錄ナリ〕　一〇　一九二　二六

修善寺溫泉誌　天幽山人編　大正六　一　二七三　三五

修禪寺相傳口決　最澄撰　二卷（日本大藏經第四四卷ノ內　大正九）　三五三　六

修善寺雜記　岩野泡鳴（泡鳴全集第一一卷ノ內　大正一〇）　五〇〇　一

修善寺繁昌記　附　北豆溫泉、史蹟、名勝　鑛泉研究會（三澤素竹）編　大正一三　一　五二四　一一〇

修善寺物語　岡本綺堂　大正七　一　三一　六七二

同　（綺堂戲曲集第一卷ノ內　明治四五）　三二八　七三

同　（綺堂戲曲集第一卷ノ內　大正一三）　五二七　一六

同　（現代戲曲全集第二卷ノ內　大正一四）　五二〇　二五

守錢奴　モリエール著　井上勇譯（古典劇大系第七卷佛蘭西篇一ノ內　大正一三）　五二九　一

授洗の日　モウパッサン著　平野威馬雄譯（モウパッサン全集第一三卷ノ內　大正一一）　三九〇　四一

呪詛　德田秋聲　大正一一　一　五一七　五

呪詛（詩集—）　深尾須磨子　大正一四　一　五二八　一三

呪詛の足尾銅山　堀田善太郎　大正一一　一　五〇二　一八一

修道禪話　新井石禪　三版　大正四（禪學文庫第四編）　一　三二五　二三五

修道叢書　佛敎學會發行　大正一〇　三　五〇〇　九

第一編　信の開展（山邊習學）

第二編　永遠の生命（富岡敎雲）

第三編　意義ある生活（藤岡勝二）

		冊	函	號
修道用心偈六百首	陸鍼巖　大正一四			
須達多經	高楠順次郎譯（現代意譯根本佛教聖典叢書第六卷ノ內　大正一三）	一〇	一六二	一三七
須達哆經	鳥越道眼譯（現代意譯根本佛教聖典叢書第三卷ノ內　大正一三）		五二五	一〇四
須達長者經	泉芳璟譯（現代意譯根本佛教聖典叢書第五卷ノ內　大正一三）		五二五	一〇四
Stammer氏比色計による醸造製品の色度測定法及一二の實驗成績	平友恒（臺灣總督府中央研究所工業部報告第七號ノ內　大正一四）		一四二イ	二八五イ
酒中日記（脚本）	國木田獨歩著　眞山青果脚色　大正八	一	三八八	一二三
同　大正一五	（「富岡先生」ト合綴）		五五〇	五一
主智教	鈴木宗忠（世界聖典全集後輯第一五世界聖典外纂ノ內　大正一二）		三三五	三七三
受持七佛名號所生功德經	唐、玄奘譯（大正新脩大藏經第一四卷經集部一ノ內　大正一四）	特	四四	三七四
同			八六	三九一
主張と閑談	吉野作造　大正一三至一五		四	五三七　四九
	第一輯　新井白石とヨワン・シローテ 第二輯　露國歸還の漂流民幸太夫 第四輯　公人の常識 第五輯　問題と解決			
手杖論	迦稱造　唐、義淨譯（大正新脩大藏經第三二卷論集部ノ內　大正一四）	特	四四	三七四
同	蘭叔（國書刊行會本三十輯第四ノ內　大正六）		八六	三九一
酒茶論			三三〇	五一
出曜經	姚秦、竺佛念譯　三〇卷（大正新脩大藏經第四卷本緣部下ノ內　大正一三）	特	四四	三七四
出曜經	姚秦、竺佛念譯　三〇卷（大正新脩大藏經第四卷本緣部下ノ內　大正一三）	一〇	一六二	一三七
出征軍隊慰問の急務	藤井直喜　大正七		三七三	二七一
出征信徒の跡	田北功　大正一〇			
出世鯉千代家土產	（通俗經濟文庫卷五ノ內　大正五）	一	五〇一	二三七
出世景清	近松門左衞門	特	五二〇	四〇イ
出世物語（成功—實例—）	實業之日本社編　大正二		五二〇	四〇
出定笑語	一名佛道大意　平田篤胤　三卷（平田翁講演集ノ內　大正二）		五二〇	四〇イ
出定笑語原本	平田篤胤（平田篤胤翁講演集號外ノ內　大正四）		三七七	二四一
出定笑語附錄	平田篤胤　三卷（平田翁講演集ノ內　大正二）		五〇五	五八
出陣千句	（續群書類從第二七輯連歌部ノ內　明治四五）		五〇五	三六
出陣日記	（解說註釋大近松全集第二卷ノ內　大正一三）		五〇五	三六イ
出陣備忘錄	黑木勘藏校（近松名作集上卷ノ內　大正一五）		五四五	三三
出陣備忘錄	寫本（明治元年一〇月至同二年六月）	一〇	一九一	七六三
出纏大綱	榮西記（日本大藏經第四八卷ノ內　大正九）		三五三	六
術としての馭術教育	安西理三郎編　大正九		三二九	四二〇
術としての教育	イラ・ウツヅ・ハウアルス著　千葉命吉譯　大正六		二五三	一五七
出發前半時間	ヴエデキント著　森鷗外譯（鷗外全集第一二卷ノ內　大正一二）	特	五二〇	一
同			五二〇	一イ
同		特	五二〇	一ロ
同（一幕物ノ內　大正元）			九三	三二イ
出發の準備	三宅雄二郎　大正八		一	二六八
出版關係法令集	綴松堂編　大正一五		一	一四七
出版年鑑	一九二六年　讀書人編輯部編　大正一五		一	五一七
出世の階段（立志—成功—）	日比谷平左衞門著　菊地曉汀編　明治四五	一	三三七	六四〇
出世の礎	安田善次郎　大正六		一	二六四
出世貯金の奬め	大日本貯金奬勵團編　大正七		一	三七三
出世の礎	狂仙亭春笑（通俗經濟文庫卷九ノ內　大正六）		三三五	五三
出世隅田川（吉野一重櫻—吾妻二本柳—）	市川團十郎　元祿一四　一〇枚（元祿十四年三月中村座狂言）	別	一〇	乙京　三四九
出世鯉千代家土產	（通俗經濟文庫卷五ノ內　大正五）	一	三五〇	一八三
出世物語（成功—實例—）	實業之日本社編　大正二		三四二	三四三
出定笑語	一名佛道大意　平田篤胤　三卷（平田翁講演集ノ內　大正二）		三四二	三四三
出定笑語原本	平田篤胤（平田篤胤翁講演集號外ノ內　大正四）		三四二	三四三
出定笑語附錄	平田篤胤　三卷（平田翁講演集ノ內　大正二）		三四二	三四三
出陣千句	（續群書類從第二七輯連歌部ノ內　明治四五）		八〇	二二一
出陣日記	（續群書類從第二五輯ノ上武家部ノ內　大正一三）		八〇	二二一
同			八〇	二二一イ
出陣備忘錄	田村謙藏　寫本（明治元年一〇月至同二年六月）	一〇	一九一	七六三
出纏大綱	榮西記（日本大藏經第四八卷ノ內　大正九）		三五三	六
術としての馭術教育	安西理三郎編　大正九		三二九	四二〇
術としての教育	イラ・ウツヅ・ハウアルス著　千葉命吉譯　大正六		二五三	一五七
出發前半時間	ヴエデキント著　森鷗外譯（鷗外全集第一二卷ノ內　大正一二）	特	五二〇	一
同			五二〇	一イ
同		特	五二〇	一ロ
同（一幕物ノ內　大正元）			九三	三二イ
出發の準備	三宅雄二郎　大正八		一	二六八
出版關係法令集	綴松堂編　大正一五		一	一四七
出版年鑑	一九二六年　讀書人編輯部編　大正一五		一	五一七
出曜經	姚秦、竺佛念譯　三〇卷（大正新脩大藏經第四卷本緣部下ノ內　大正一三）	一〇	一六二	一三七
出曜經以後筑豐之現代人	筑豐研究會編　大正一五		五六	三〇
出火之節出馬心得之留	寫本（堀大和守同石見守留書第二）	一〇	一五八	五九
出火之節取計等心得	寫本（堀大和守同石見守留書第一）	一〇	一五八	五九
出家授戒作法	源信撰（大日本佛教全書第三三册ノ內　大正五）		三五三	一〇
出家授戒法	實範（日本大藏經第一五卷ノ內　大正五）		三五三	六
出家と聖貧	宮崎安右衞門　大正一一	一	五〇四	二八
出家とその弟子	倉田百三　六版　大正七	一	三七七	七七
出家略作法	（日本大藏經第一三卷ノ內　大正五）		三五三	六
出獄人保護	谷田三郎（時局講演集下卷ノ內　大正八）		三七〇	一〇五
出獄人保護	原胤昭　大正二　七三四頁	一	二四九	一三
出獄人保護會に就て	伊藤俊光（布教研究會講演集第九回ノ內　大正九）		三三四	五九一
出塞紀略	清、錢良擇（滿蒙叢書第二卷ノ內　大正八）		三七九	七
同			三七九	七イ
出產	德田秋聲（世界短篇小說大系日本篇中ノ內　大正一五）		五二〇	四五
出生本位投入花と盛花	小林鷲洲　大正一一	一〇	一一	五五七
出水	田山花袋（花袋全集第七卷ノ內　大正一二）		五一五	三六
出世	菊池寬（菊池寬全集第三卷ノ內　大正一一）		五〇五	三三
出征軍隊慰問の急務	藤井直喜　大正七		三七三	二七一

		冊	函	號
出版物法論	宇野愼三 再版 大正一二	一	五二	九五
出兵より撤兵まで シベリヤ秘史	山田封介 大正一二	一	五一四	六六
出兵論	大谷誠夫編	一	三七二	八二
シュテラ	ゲーテ著 吉田豐吉譯（ゲーテ全集第五卷ノ內 大正一五）		五三九	一九
酒顚童子	大正一五（複製）（珍書大觀金平本全集ノ內）	一〇	一七一	一八
同		一〇	一七一	二八イ
酒呑童子枕言葉	近松門左衞門（近松門左衞門全集第五卷ノ內 大正一一）		五〇五	五八
同	近松門左衞門著 木谷蓬吟註（解說註釋大近松全集第一一卷ノ內 大正一二）		五〇五	三六
種痘龜鑑	久我克明〔明治四〕一一枚〔大學東校ノ官版ナリ〕	一〇	二一	三三五
種痘活人十全辨	本間玄調〔弘化三〕七枚	一〇	二一	三三四
手投彈	秋田雨雀（現代戲曲全集第一四卷ノ內 大正一四）		五二〇	二五
主として倫理講話者のために	坪內逍遙（逍遙選集第六卷ノ內 大正一五）		五五五	一四
同			五五五	一四イ
主として少青年のために	坪內逍遙（逍遙選集第六卷ノ內 大正一五）		五五五	一四イ
シュトルツとシャーム	杉森南山（孝次郎） 大正三	一	三五〇	二三
受難華	上、中、下卷 菊池寬 大正一四、一五	三	五四四	六六
同	上、下卷 大正一五	二	五四四	六六イ
受難の親鸞	石丸梧平 大正一一	一	五一七	一七

		冊	函	號
受難の微笑	小林要吉 大正一五	一	五二	九五
受難のロシア	エドワアド・アルスヲース・ロッス著 荒畑寒村譯 大正一四	一	五三五	二〇三
受肉者耶蘇	上、下卷 デヴキツト・スミス著 日高善一譯 大正一一、一二	二	五〇四	一二七
朱日記	泉鏡花（鏡花全集第八卷ノ內 大正一四）		五二〇	四四
授日課法則	大支撰（淨土傳燈輯要卷中ノ內 大正八）		一五九	八九
シュニッツレル戲曲集	シュニッツレル著 三井光彌譯 大正一三	一	五三一	二〇九
シュニッツレル選集	シュニッツレル著 楠山正雄、山本有三譯 大正一一 五五六頁	一	五〇六	二四〇
同		一	五〇六	二四〇イ
シュニッツレル短篇集	シュニッツレル著 伊藤武雄譯 大正一〇	一	五〇一	一〇五
ジュネーブ議定書に對するグレー卿の批判	國際聯盟協會編 大正一四（同會）パンフレット第五一輯）	一	五一五	五二
脂油ノ硬化ニ就テ	上野誠一（東京工業試驗所報告第一〇回ノ內 大正五）	一四	二	二七
種の起原	ダーウキン著 松平道夫譯 大正一三	一	五二八	九七
種の起源	ダーウイン著 文獻書院編（世界名著現代叢書第一〇） 大正一一	一	五一五	八
種の起原の基礎	ダーウィン著 阿部文夫譯 大正四（大日本文明協會刊行書第三期ノ內）	三	四五三	四八五よ
主の生涯の山巓	ヒル著 遠藤能定、ライク譯 大正一五	一	五三三	二〇六
酒飯論	一名三論 寫本〔原岡土佐光元、詞書一條兼良ナリト云フ〕	一	輔	ん 八九
主婦	ドストイエフスキー著 市橋善之輔譯（ドストイエフスキー全集第六卷ノ內 大正一〇）	三	七五	四七
同	（ドストイエフスキー全集第二卷ノ內 大正一五）	三	七五	四七イ

		冊	函	號
受難の微笑	小林要吉 大正一五	一	五二	九五
受難のロシア	エドワアド・アルスヲース・ロッス著 荒畑寒村譯 大正一四	一	五三五	二〇三
受肉者耶蘇	上、下卷 デヴキツト・スミス著 日高善一譯 大正一一、一二	二	五〇四	一二七
朱日記	泉鏡花（鏡花全集第八卷ノ內 大正一四）		五二〇	四四
授日課法則	大支撰（淨土傳燈輯要卷中ノ內 大正八）		一五九	八九
シュニッツレル戲曲集	シュニッツレル著 三井光彌譯 大正一三	一	五三一	二〇九
シュニッツレル選集	シュニッツレル著 楠山正雄、山本有三譯 大正一一 五五六頁	一	五〇六	二四〇
同		一	五〇六	二四〇イ
シュニッツレル短篇集	シュニッツレル著 伊藤武雄譯 大正一〇	一	五〇一	一〇五
ジュネーブ議定書に對するグレー卿の批判	國際聯盟協會編 大正一四（同會）パンフレット第五一輯）	一	五一五	五二
脂油ノ硬化ニ就テ	上野誠一（東京工業試驗所報告第一〇回ノ內 大正五）	一四	二	二七
種の起原	ダーウキン著 松平道夫譯 大正一三	一	五二八	九七
種の起源	ダーウイン著 文獻書院編（世界名著現代叢書第一〇） 大正一一	一	五一五	八
種の起原の基礎	ダーウィン著 阿部文夫譯 大正四（大日本文明協會刊行書第三期ノ內）	三	四五三	四八五よ
主の生涯の山巓	ヒル著 遠藤能定、ライク譯 大正一五	一	五三三	二〇六
酒飯論	一名三論 寫本〔原岡土佐光元、詞書一條兼良ナリト云フ〕	一	輔	ん 八九
主婦	ドストイエフスキー著 市橋善之輔譯（ドストイエフスキー全集第六卷ノ內 大正一〇）	三	七五	四七
同	（ドストイエフスキー全集第二卷ノ內 大正一五）	三	七五	四七イ
儒佛一如	石田羊一郎（日蓮講演仰天晴會講演錄第三輯ノ內 大正四）	一	三四	一六五
儒佛訓 下	有馬賴政等編（修養文庫第八編） 大正一〇	一	三七五	三三
一休和尚法語	（一休）	一	三七二	八〇八
澤庵法語	（澤庵）	一	三三〇	四九ハ
不動知神妙錄	（同）	一	三五三	一〇
學政辨	（德龍）	一	三五三	一〇
假名法語	（白隱）	一	三五三	一〇
御代の腹皷	（同）	一	三五三	一〇
執齋日用心法	（三輪希賢）	一	三五三	一〇
學語	（塚田虎）	一	三五三	一〇
滑川談	（同）	一	三五三	一〇
修養訓	（松平定信）	一	三五三	六
自敎鑑	（同）	一	三五三	一〇
告志篇	（德川齊昭）	一	三五三	一〇
開聖漫錄	（會澤安）	一	三五三	一〇
啓發錄	（橘本左內）	一	三五三	一〇
樂訓（補遺）	（貝原篤信）	一	三五三	六
主婦のしるべ	川崎甫 大正一二	一	五一三	一一三
主婦之友	同社發行 第八卷第一號（大正一三年一月）ヨリ〔缺アリ〕	雜	五一	三六
主婦之友婦人家庭叢書	主婦之友社發行 大正一五	一	五四八	二八
第一編	現代婦人職業案內（主婦之友社編）			
主婦への化學	西澤勇志智 大正一三	一	五二八	一〇四
酒譜料	青山延光自筆稿本 寫本	特 一〇	八二七	八四
朱文恭遺事	青山勇編 寫本	一〇	八二七	六九
朱文恭遺事	安積覺撰（朱舜水全集附錄ノ內 明治四五）		三四三	八一
種苗鑑定の話（わかりやすい）	工藤齋（農家經營叢書第九編） 大正九	一	三五	二五三
種苗の病害蟲	島根縣立農事試驗場編（同場）臨時要報第二五號） 大正一一	一	一四二イ	三六五
樹苗養成指針	第一、二冊 朝鮮總督府編 大正一〇	一	一四二イ	三六五
鷲峰登山記念帖	岡垣益太郎編 大正五	一	三一七	八〇八
入木道傳書目錄	森井祥（國書刊行會本日本書畫苑第一書部ノ內 大正三）	三	三〇	四九ハ
授菩薩戒儀	三卷（大日本佛敎全書第七二冊ノ內 大正六）	三	五三	一〇
授菩薩戒儀	圓珍撰（大日本佛敎全書第二六冊ノ內 大正六）	三	五三	一〇
授菩薩戒儀	最澄撰 圓珍註（日本大藏經第四四卷ノ內 大正九）	三	五三	六
授菩薩戒儀	濕然撰（大日本佛敎全書第二四冊ノ內 大正二）	三	五三	一〇
授菩薩戒儀則	（大日本佛敎全書第七二冊ノ內 大正六）	三	五三	一〇
受法經	鳥越道眼譯（現代意譯根本佛敎聖典叢書第三卷ノ內 大正一三）	一	五一五	一〇四
殊法大姉行狀	〔三井文庫編カ〕 大正一四	一	一六六	三四一
須摩提經	唐、菩提流支譯（大正新脩大藏經第一二卷寶積部下涅槃部ノ內 大正一四）	特 四四	三七四	三六五
同			八六	三九一
須摩提女經	赤沼智善譯（現代意譯根本佛敎聖典叢書第四卷ノ內 大正一三）		五二五	一〇四
須摩提女經	吳、支謙譯（大正新脩大藏經第二卷阿含部下ノ內 大正一三）	特	四四	三七四
同			八六	三九一
須摩提女經	（別本）吳、支謙譯（大正新脩大藏經第二卷阿含部下ノ內 大正一三）	特	四四	三七四
同			八六	三九一
趣味	橫山健堂 明治四五	一	三三	二三五
趣味を中心としたる實驗理化講壇	堀七藏、五十嵐卯太郎 大正九	一	三八一	八三

趣味を求めて　黒田鵬心　大正五　一冊　函號　一七一　五七六

趣味講座　趣味普及會發行　大正六至一一　一三　三六九　八

第一篇　美學及藝術學概論　上卷　（黒田鵬心）
第二篇　日本の彫刻　上卷　（佐々木恒清）
第三篇　日本の繪畫　上卷　（春山武松）
第四篇　大日本美術史　第一卷　（黒田鵬心）
第五篇　西洋の彫刻　上卷　（水谷鐵也）
第六篇　美學及藝術學概論　下卷　（黒田鵬心）
第七篇　日本の彫刻　下卷　（佐々木恒清）
第八篇　大日本美術史　第二卷　（黒田鵬心）
第九篇　音樂通論　上卷　（田邊尚雄）
第一〇篇　大日本美術史　第三卷　（黒田鵬心）
第一一篇　同　第四卷　（同）
第一二篇　同　第五卷　（同）
第一三篇　同　第六卷　（同）

趣味か海藻と人生　岡村金太郎　大正一一　一　二九五　二六三

趣味教訓四季の田園　天野藤男　大正五　一　三六〇　四〇七

趣味教養美術と音樂の知識　加藤美命　大正一三（人間叢書第九編）　一　五一五　三三

趣味研究大江戸　附　江戸庄圖　江戸研究會編　大正二　一　三四二　四三三

趣味研究介類叢話　矢倉和三郎　大正一一　一　三八五　二一九

趣味研究動物妖怪譚　日野巖　大正一五　一　五五八　二一

趣味雜話　黒田鵬心　大正三（趣味叢書第二篇）　一　三四〇　二九

趣味修養國民堂典　馬場直美編　大正三　一　三五七　一

趣味史實傑の面影　高木斐川編　大正八　一　三八八　四七

趣味實益鶉の飼養　白松新　大正七　一　三八六　一四

趣味實益家藝大辭典　福田滋次郎編　明治四五　一　八五　二五

趣味實益小鳥の飼ひ方　山崎光美　大正一五　一　函號　五七六

趣味實益最新養鯉法　目黒辰美　大正一四　一　五四三　九

趣味實用編物の研究　江藤春代　再版　大正一四　一　五三七　三〇

趣味實利三坪花園　今村猛雄　大正六　一　三六一　八三

須彌山圖譜　禿氏祐祥編　大正一五　一　四二〇　八七

趣味叢書　秀山堂文庫發行　大正一五　一　五六〇　一四

第一篇　民衆藝術夜話　（三浦藤作）

趣味叢書　同發行所發行　大正三、四　一三　三四〇　二九

第一篇　都市の美觀と建築　（黒田鵬心）
第二篇　趣味雜話　（同）
第三篇　日本美術史講話　上卷　（同）
第四篇　建築雜話　（同）
第五篇　古美術行脚　（同）
第六篇　日本美術史講話　下卷　（同）
第七篇　畫室にて　（南薫造）
第八篇　ラスキン抄　（澤村寅二郎譯編）
第九篇　家と人と　（山崎樂堂）
第一〇篇　青山より　（黒田鵬心）
第一一篇　藝術家と藝術運動　（森田龜之助）
第一二篇　美術と社會　（岩村透）

趣味叢書　東盛堂發行　大正七　二　三一　六二四

い　春夏秋冬新派の俳句　（水郷庵主人編）
ろ　趣味の美文　（同）

趣味中心啓發主義國語教授法講話　赤坂清七　大正六　一　二六三　二九七

趣味的化學實驗法　三澤隆茂　大正七　一　四七　三三七

趣味と科學　聚芳閣發行　第一卷第一至五號（大正一四年一至五月）　一　雜　二六　八

趣味と研究佛樣の戸籍調べ　醍醐惠端　大正七　一　三三五　二六一

趣味と研究名僧の戸籍調べ　大橋戒俊　大正一〇　一　三九二　一六七

趣味と栽培四季の園藝　前田曙山　大正五　一　三六四　四一

趣味と修養　高木斐川編　大正一〇　一　五〇一　四三

趣味と修養　附　大栗小栗　八波則吉　大正二　一　三四九　一五

同　大正七　一　三四九　イ一五

趣味實益科學の話　藤井作男、西脇義二　大正六　一　三六一　八一

趣味實益今日の科學　大久保昶彥　大正一三　一　五一三　二三三

趣味實益農家の副業　笹澤三善　大正一五　一　五六四　一三三

趣味實益の親玉偉人の戸籍調べ　多田正敏編　大正一〇　二　三九四　二四

趣味實用鴿（ハト）の飼ひ方　武知彥榮　大正一四　一　五四一　一九

趣味實用をかねた日本名所めぐり　大村卿吉　大正一五　一　五五六　六四

趣味と實用の日本料理　水町たづ子　大正一四　一　五四一　二一三

趣味と滋味の和洋季節料理　手塚かね子　大正一五　一　五四七　九七

趣味と常識現代婦人寶典　小林良一　大正四　九五四頁　一　三四七　二七

趣味と常識何んでも世界一　栗山茂武　大正一五　一　五二五　三〇五

趣味と人物　横山健堂　大正一　一　三四二　四一七

趣味と致富飼禽叢書　資文堂發行　大正一五　三　五四五　四三

第三篇　カナリヤとセキセイインコ　（森忠蒐）
第四篇　薄雪鶫と錦淸鳥その他　（同）
第五篇　珍鳥巢引の秘訣　（古川龍城）

趣味と研究名僧の戸籍調べ　大橋戒俊　大正一〇　一　三九二　一六七

趣味と栽培四季の園藝　前田曙山　大正五　一　三六四　四一

趣味と修養　高木斐川編　大正一〇　一　五〇一　四三

趣味と修養　附　大栗小栗　八波則吉　大正二　一　三四九　一五

同　大正七　一　三四九　イ一五

趣味實益科學の話　藤井作男、西脇義二　大正六　一　三六一　八一

趣味實益今日の科學　大久保昶彥　大正一三　一　五一三　二三三

趣味實益農家の副業　笹澤三善　大正一五　一　五六四　一三三

趣味實益の親玉偉人の戸籍調べ　多田正敏編　大正一〇　二　三九四　二四

趣味實用鴿（ハト）の飼ひ方　武知彥榮　大正一四　一　五四一　一九

趣味實用をかねた日本名所めぐり　大村卿吉　大正一五　一　五五六　六四

趣味と實用の日本料理　水町たづ子　大正一四　一　五四一　二一三

趣味と滋味の和洋季節料理　手塚かね子　大正一五　一　五四七　九七

趣味と常識現代婦人寶典　小林良一　大正四　九五四頁　一　三四七　二七

趣味と常識何んでも世界一　栗山茂武　大正一五　一　五二五　三〇五

趣味と人物　横山健堂　大正一　一　三四二　四一七

趣味と致富飼禽叢書　資文堂發行　大正一五　三　五四五　四三

第三篇　カナリヤとセキセイインコ　（森忠蒐）
第四篇　薄雪鶫と錦淸鳥その他　（同）
第五篇　珍鳥巢引の秘訣　（古川龍城）

趣味と培養盆栽　金井紫雲　大正一四　一　五四一　七三

シュミト半島植物調査報告書　工藤祐舜　大正一二　謄寫版　一〇　一六三　一一〇

趣味と副業小鳥の飼方　月湖園主人　大正一五　一　五六四　一三三

趣味の厚紙建築（最新手工）　附錄付　岡山秀吉　大正一五　二　五五三　一

趣味の郵便切手　三井高陽　大正一一　四九頁　一　三九七　二六四

趣味の郵便切手　三井高陽　大正一二　一　五一三　二六二

同　補再版　大正一四　一　五一三　イ一六三

趣味の泉（名著選評）　高木斐川編　大正九　一　五六四　一三三

趣味の英語（一日一文）　栗原基　大正一四　二　三九四　二四

趣味の英文叢話（對譯詳註）　鈴木芳松　大正一二　一　五四一　一九

趣味の園藝　金井紫雲　大正六　一　五五六　六四

趣味の海洋小話　中島武　大正一五　一　三六一　四三

趣味の講話集（實演）　山北清次等　大正一五　一　五四七　二三六

趣味の家庭園藝（誰にも出來る）　坂内又藏　大正一五　一　五一〇　一七一

趣味の紀行文　田山花袋　大正六　一　五四七　一五六

趣味の紀行文　三島東州　大正六　一　三六四　二七一

趣味の科學　第一、二卷　川島源司　大正一四、一五　一　三一　五五〇

趣味の科學叢書　金星堂發行　大正一四　二　五四七　四〇

第三　世界進化物語　（小杉花影）　一　五四五　二一

		冊	函	號
趣味の教養	藤代禎輔（朝日講演集第三輯ノ内 大正六）	一	三三五	三三三
趣味の建築講話	大熊喜邦 大正一〇	一	三八五	一三三
趣味の小唄	湯朝竹山人 大正九	一	三九一	一二一
趣味の國史教材集成	上卷 内外教育資料調査會編 大正一四	一	五三四	八五
趣味の湖沼學	田中阿歌麿 大正一一 七三四頁	一	三八五	一九四
趣味の昆蟲界	荒川重理 大正七	一	三六五	九六
趣味の銃獵（百發百中）	日本銃獵會編 大正一一	一	五一六	一〇
趣味の乘馬	芝田清吾 大正一二	一	五一三	一四六
趣味の乘馬と高等馬術	宍吹弘 大正一四	一	五四七	四三
趣味の植物春秋	石川光春 大正一四	一	五四一	一一七
趣味のスキー	東孝太郎 再版 大正一三	一	五一八	二五
趣味のスケツチ	第一輯 風景篇 三輪捨三郎 大正一三	一	四一三	一五三
趣味の西洋史	上、下卷 龜倉順一郎 大正一一	二	三九四	一七六
同	上卷 大正一四	一	五一三	二三九
趣味の生理及病理	田中祐吉 大正一三（田中香涯先生叢書第三編）	一	六〇	七六七
趣味の小學國史	尋常五年上、下、六年上 桂田金造 大正一一（自學文庫第一編）	三	五〇五	五三
趣味の小學地理	日本の部 上、下 及川泰治 大正一五（自學文庫第五、六編）	二	五〇五	五三
趣味之染色	渡邊誠、上野正 大正一〇	一	三八〇	一四六
趣味の體操教授	藤山快隆 大正一四	一	二七六	三六〇

		冊	函	號
趣味の旅	古社寺をたづねて 齋藤隆三 大正一五	一	五五〇	八九
趣味の旅	古跡めぐり 笹川臨風 大正八	一	三八八	六七
同	訂八版 大正一四	一	三八八	六七イ
趣味の旅	南都と西京 佐々木恒清 大正九	一	三八四	一七五
趣味の旅	名物をたづねて 松川二郎 大正一五	一	五五〇	一四〇
趣味の探偵談	小酒井不木 大正一四	一	五四六	五五
趣味の住宅圖集	建築趣味社發行 大正一四 第一輯 門 其の一（本間乙彦編） 第二輯 主入口 其の一（同）	二	五四一	一三九
趣味の地理	日本の山水美 第一編 白井規一、島田牛稚 大正七、八 世界の千山萬水 第二編 世界の名勝くらべ 第四編 南極北極の探檢 第五編 天界地界の秘密 第六編	五	三七五	六
趣味の地理	世界各國人種と風習 栗山芳雄（日本兒童文庫第一二） 大正一三	一	五一五	九七
趣味の地理	地と人 五味金平 明治四五	一	三三四	一九八
趣味の地理	傳說と舊蹟 葉田默太郎 大正一三（日本兒童文庫第九）	一	五一五	九七
趣味の地理	名所と史蹟 仲側紅葉 大正一三（日本兒童文庫第一〇）	一	五一五	九七
趣味の圖集	三春人形 杉山壽榮男編 大正一四	一	三三七	二六四
趣味のテニス	鷹部屋福平 大正一一	一	五一三	七七
趣味の電氣	木村駿吉 大正三	一	三五一	一六
趣味の電氣學	關口定伸 大正一一	一	五〇七	四八

		冊	函	號
趣味の傳說	五十嵐力 大正二	一	三三八	一六五
趣味の天體觀測	中村要 大正一五	一	五六四	一三四
趣味之天文	一戸直藏 大正五	一	三二八	二〇〇イ
趣味の獨逸語會話（詳註）	粕谷眞洋 大正一五（粕谷獨逸語學叢書第七卷）	一	三二三	七三五
趣味の東京	星野武男（梅耀） 大正一一	一	三九四	二〇八
趣味の東京物語（地理と歷史）	漆藤早泉 大正一四	一	五三三	二四〇
趣味の動物	飯塚啓 大正一〇	一	三八五	一三九
趣味の動物	谷津直秀 大正七	一	三六一	二四九
趣味の動物界（國民知識）	伊藤隼 大正一三	一	五六八	一〇五
趣味の動物科學	神野淺次郎 大正一四	一	五四一	二〇五
趣味の登山（徒歩者のための）	朝枝利男 大正一二	一	五一四	一一七
趣味の日清日露戰史	及川源七 大正一五	一	三一九	四六一
趣味の日本史	上、中、下卷 新保聲火 大正五至一〇	三	三四八	三六八
同	第一至五卷 大正一三至一五	五	三四八	三六八イ
趣味の野草（採集栽培）	前田曙山 大正七	一	三六一	二三九
趣味の煙火	渡邊祐吉 大正七	一	三一	七六二
趣味の美文	水鄕庵主人編（趣味叢書ノ內） 大正七	一	三一	六三ろ
趣味の副業叢書	文化生活研究會發行 大正一五 第二篇 副業としての飼鳥（古川龍城） 第三篇 金魚とその飼ひ方（白木正光、秋山吉五郎） 第四篇 食用蛙 飼ひ方 賣り方 料理法（大村清友）	三	五四八	六〇

		冊	函	號
趣味の服裝	和田憲一郎 大正一五 六五頁	一	五四九	二六
趣味の佛像	木村小舟 大正一四	一	五三三	七八
趣味の文がら	磯千鳥（一宮榮） 大正七	一	三一	七八九
趣味の變化	島村抱月（抱月全集第一卷ノ內 大正八）	三	七九	一二
趣味のペン習字帖	黑柳勳編 大正一二	一	三三三	五三三
趣味之北海道（自然と人文）	早坂義雄 大正一五	一	五五六	八二
趣味の無線電話	苫米地貢 大正一三	一	五一三	二〇五
趣味の名所案內	森永規六 大正六	一	三六三	一六六
趣味之蔦縮染	上野正 大正一二（「扉ノ冠稱ニ「家庭實用」トアリ）	一	五一三	一九一
趣味の俚謠	作山美八編 大正九	一	三九三	一〇
趣味放浪	下田薔薇閑 大正一五	一	五三六	二四三
壽命と保險	奥田操 大正八	一	三一	八六〇
趣味旅行	吉田三男也編 大正一四（愛讀叢書第四編）	一	五四五	一九
主馬判官盛久	近松門左衞門（近松門左衞門全集第三卷ノ內 大正一一）	五	〇五	五八
同	近松門左衞門著 藤井乙男校註（近松全集第二卷ノ內 大正一四）	五	三〇	四〇
同	近松門左衞門著 三木竹二、水口薇陽校（原作近松全集前編ノ內 大正一一）	特 五	三〇	四〇イ
樹木材部ノ着色及防腐試驗	三村鐘三郎（農商務省林業試驗報告第一七號ノ內 大正七）	二	七	二六六イ
樹木製材速成法算實驗錄	古藤田源太郎 大正一三	一四二イ		一二五
同		一	五三	二八四

			冊	函	號
樹木とその葉	若山牧水	大正一四	一	五八	九一
樹木根廻運搬並移植法	上原敬二	大正七	一	三七一	一二八
樹木百話	上村勝爾	大正七	一	三八五	七
手紋と銀行	福田常水	謄寫版 三枚	一	二一三	五六四
シュライエルマッヘル宗教論	シュライエルマッヘル著 石原謙譯	大正三	一	三三四	三七〇
シュライエルマッヘル獨語錄	シュライエルマッヘル著 木場了本譯	大正四	一	三七	四六七
聚樂式教授法講話要目	第二編 廣田虎之助	大正六	一	二六三	四七
聚樂物語	（續群書類從第三〇輯ノ上雜部ノ內	大正一四）	一	八〇	二二一
修羅八荒	前、中、後編 行友李風	大正一五	三	五五一	八一
ジユリアス・シーザー	シエークスピヤ著 戸澤正保、淺野和三郎譯 四版	大正元（沙翁全集第七卷）	一	七八	六九
朱利槃特經	泉芳璟（現代意譯根本佛教聖典叢書第五卷ノ內	大正一三）	一	五一五	一〇四
壽量品大觀	關田日城（統合大講習會講演集ノ內	大正四）	一	三三四	四六三
ジユリヤス シーザー	シエークスピヤ著 坪內逍遙譯	大正二	一	三三八	一四三
同	九版（沙翁傑作集第五編）	大正一一	一	五二三	一七六
首楞嚴經	山田孝道譯（國譯大藏經經部第四卷ノ內	大正六）	三	六九	五
首楞嚴經略疏折衷	養存補 一〇卷（日本大藏經第一二卷ノ內	大正五）	三	五三	六
首楞嚴經鑒測	交易撰 一〇卷（日本大藏經第一二卷ノ內	大正五）	三	五三	六
首楞嚴壇場修證儀	宋、淨源編叙（大日本續藏經第四七五冊ノ內	明治四五）	三	三五	二
儒林墨寶	第一至三 大正九至一二（藝苑叢書ノ內）		帖 三	一九八	四二〇

			冊	函	號
酒類醬油容器端石數表	山崎好平編	大正四	一	二九	四四九
同	大正五		一	二九	四四九イ
酒類醬油容器容量一分算表	芦田俊一編	大正四	一	七〇	三一四
酒類醬油容器容量速算表	河原陶編	大正四	一	三三九	六三三
酒類醬油容器容量速算表	國民租稅協會編	大正一三	一	三九三	六七九
酒類製造用容器容量測算方法	窒谷仙吉	大正三	一	三三九	四七七
酒類中毒ト「ゴーテンブルグ」制度	ラケール著 內務省衞生局保健衞生調査室譯	大正八	一	六一	二五四
酒類醸造法講義	鴨田修治編	大正六	一	三六一	一三
酒類密造犯調査	仙臺稅務監督局編	大正元	一	三五〇	四
衆寮葬鑑（温故一）	大耕編 寫本（可睡齋ノ史錄ナリ）		二	八一	三五九
狩獵	川瀨善太郎 明治四五（經濟全書第二卷經濟各論第一部第五編）		一	八七	一六四
狩獵及鳥獸保護ニ關スル各國法令	農商務省農務局編	大正一一	一	四七	二三九
狩獵關係法規	農商務省農務局編	大正一〇	一	四七	二〇三
同	大正一四		一	四七	二〇三イ
狩獵鳥類圖解	農商務省農務局編	大正九	一	三五	五九
狩獵鳥類ノ方言	農商務省農務局編	大正一〇	一	三八五	一六三
狩獵ニ關スル統計表	狩獵調查會編	大正一二 六二頁	一	四四	五五五
狩獵法規沿革	農商務省農務局編	大正一一	一	四七	三三五

			冊	函	號
狩獵法規沿革	農商務省農務局編	大正一三	一	四七	三五イ
狩獵法釋義	有光金兵衞	大正一一	一	五〇三	一七四
狩獵法釋義	庄田助太郎	再版 大正一四	一	五四三	一〇七
修練祕要義	歡驗撰 七卷（日本大藏經第一七卷ノ內	大正五）		三五三	六
純愛詩集	生田春月譯	大正一一	一	五一六	一二三
春鶯囀（短篇小說集一）	山上貞一	大正一五	一	五五一	六八
春遊草	三浦梅園（晉）（梅園全集下卷ノ內	大正元）	三	四三	一九六
潤一郎喜劇集	谷崎潤一郎	大正一五	一	五一七	四〇八
潤一郎戲曲傑作集	谷崎潤一郎	大正一二	一	五三	四九
潤一郎傑作全集	谷崎潤一郎	大正一〇、一一	五	五〇〇	四
第一卷	少年 神童 あくび 恐怖時代			戀を知る頃	
第二卷	異端者の悲しみ The Affair of Two Watches 麒麟 前科者 人面疽			刺青 饒太郎 魔術師 捨てられる迄	
第三卷	惡魔 前、後編 讒生 恐怖 ハツサン・カンの妖術 獨探 西湖の月			戀を知る頃 秘密	
第四卷	鬼の面 病蓐の幻想 人魚の嘆き 法成寺物語			金と銀 呪はれた戲曲 二人の稚兒	
第五卷	お艷殺し 春の海邊 富美子の足 玄奘三藏 盧山日誌 母を戀ふる記 惑る少年の怯れ			お才と巳之助 ちいさな王國 柳湯の事件 秦淮の夜 晩春日記 十五夜物語	
春雲樓遺稿	越智通桓 寫本	九枚			
春祭禮之圖	勝川春英畫 三枚（日本橋天王祭ナリ）				
春影小品集	三津木春影著 內藤鎭策編（三津木春影遺稿第一）	大正六			
春葉全集	柳川春葉	大正八、九			
第一卷	かたおもひ 第一至三				
第二卷	同 第四、五				
第五卷	生さぬなか				
舜海尼及び其他（法醫學と犯罪研究一）	小南又一郎	大正一五 五版	別帖 一	一〇五	二四七
春夏秋蠶一代雜種蠶兒飼育法	平石宇三郎	大正五	一	三五八	一三
同	增訂四版 大正六		一	三五八	一三イ
春夏秋蠶一代雜種飼育要訣	淺見好雄	大正七	一	三七三	一七六
春夏秋蠶一代雜種飼育要訣	牧野純三	大正八	一	三七一	一六八
春夏秋蠶應用給桑原論	倉澤運平	四版 大正六	一	六三	一〇三イ
同	五版 大正九		一	六三	一〇三ロ
春夏秋蠶應用外國系交雜蠶兒飼育法	大久保久逸	大正六	一	三七三	二九
春夏秋蠶應用外國系養蠶法	飯塚山五郎	大正五	一	三三七	八四〇

春夏秋蠶應用濕布育蠶法　渡邊孫七　大正一四　七四頁　一　一五二四　一七〇
春夏秋蠶種保護及冷藏法　横田長太郎　大正元　一　一三四四　七九
春夏秋蠶石灰撒布密閉育　中村小四郎　大正一三　一　三九三　六八五
春夏秋冬　正岡子規編　大正四　一　七一　四八五
春夏秋冬一代交配種育法　鈴木一治　大正七　一　三五六　四三イ
春夏秋冬救急顧問　旅行の衞生　中野時一郎　大正元　一　六一　一三一
春夏秋冬新派の俳句　水郷庵主人編　大正七（趣味叢書ノ内）　一　三一　六二四ハ
春夏秋冬何處へ行かうか　谷口梨花　大正一〇　一　三九六　一八六
春夏秋冬俳句手ほどき　水郷庵主人編　大正五　一　二六四　三八
春夏秋冬俳句の手びき　水郷庵主人編　大正一五　一　五五〇　六〇
浚河茅議　中井履軒（日本經濟叢書卷一六ノ内　大正四）　三四六　一八
春夏模様　白木屋呉服店圖案課編　大正九　一〇　四三三　一七
春記　長久二年二月　藤原資房（珍書同好會本）　謄寫版　大正六　一〇三　三八九
春記　藤原資房（國書刊行會本丹鶴叢書ノ内　明治四五）　三四三　四ハ
春季競馬成績書　大正一四、一五年　帝國競馬協會編　大正一四、一五　二　五二八　一七一
春學畫譜　卷五、六　四、五　山元春擧畫　山田直三郎編　大正　二　一九二　七三
春華　狩野秀峰編　大正九　一　二六四　三八
巡回書庫圖書選擇目錄　大正七年度　大正七　茨城縣立圖書館編　一　三一七　九四

淳化閣帖（翁覃谿一校拓本一）　法書會發行　大正四、五　二　二三四　二六七
俊寬　小山內薰（小山內薰戲曲全集第一卷ノ内　大正一五）　五一七　四四八
俊寬　菊池寬（菊池寬全集第四卷ノ内　大正一一）　五〇五　二三
同（代表的名作選集第三六編ノ内　大正一〇）　七一　六〇〇
循環器系疾患各論　安達溫（內科學第五卷下）　大正一三　一　五三　一三六
循環器系疾患總論　安達溫（內科學第五卷上）　大正九　一　五三　一三六
循環器疾患治療法　稻田龍吉（治療全書卷四ノ内　大正四）　六〇　三三五
循環式講堂訓話（傳記一）　羽山好作　明治四五　六七二頁　一　二七五　四五
俊寬僧都島物語　曲亭馬琴著　幸田露伴校（文藝叢書第二冊ノ内　大正元）　三四五　一ろ
循環論證の新世界觀と錯覺自我說　古谷榮一　大正一五　一　五二五　二八五
春慶漆工系統記（飛田國特產一）　福田吉良兵衞編　寫本（小杉本）　一〇　八三〇　七五
順曉阿闍梨付法文　（日本大藏經第四三卷ノ内　大正九）　三五三　六
殉教史譚日講上人　若山甲藏編　大正一〇　一　三三七　三八
殉教の兄弟　デボラ・アルコック著　原成吉譯　大正一四　一　五五一　八
殉教の處女ミルラ　ルメエトル著　井上勇譯（世界短篇小說大系佛蘭西篇下ノ内　大正一四）　五二〇　四五
殉教秘話血は輝く　佐々木教正　大正一四　一　五三三　一〇七
殉國志士三偉人　富山縣教育會編（通俗講話第九編）　大正六　一　三三七　一〇〇八
殉國餘芳　村山半牧　大正九　一　三七二　三四八

殉國烈女ジヤンヌ・ダルク孤忠史譚　木村靜哉　大正八　一　三六四　一三八
順權方便經　西晉、竺法護譯　二卷（大正新脩大藏經第一四卷經集部一ノ内　大正一四）　特　四四　三七四
同　八六　三九一
春草書集　菱田春草畫　春草遺墨展覽會編　明治四五　一　三三七　七八
春草畫譜　菱田春草畫　小林壽一編　大正六　一〇　四一　四六
春草堂集　太田元貞著　海保元備自寫並校　寫本　二一枚　特　一〇　京乙　三三
巡査志願者の指針　田邊久吉　大正一三　一　五三三　一〇八
巡査職務上ノ判例ト攻究　前田龜太郎編　四版　大正九　一　三六八　三四五
巡査日記　岩野泡鳴（泡鳴全集第三卷ノ内　大正一〇）　五〇〇　一
春蠶飼育法ニ關スル調査　附　特殊飼育法ニ關スル調査　農商務省農務局編　大正一一　二一一頁　一　三六八　一五九
同　大正一二　一一頁　一　三六八　一五九イ
同　大正一三　一一頁　一　三六八　一五九ロ
鶉山詩鈔　杉田定一　大正七　一〇　一〇　三六
春蠶全莽育標準表　廣瀨次郎　大正八　一枚　一九　七〇五
春蠶ニ散發セル卒倒狀軟化病蠶ニ見出サレタル細菌ニ就テ　（蠶ノ軟化病ノ研究細菌學的檢索第九報告）　青木藁、山內爲壽（農商務省蠶業試驗場報告第四卷第四號ノ内　大正九）　一四イ　三六九
荀子　大正一一（漢文叢書第八）　一　三七五　四三
同　大正一二　一　三七五　四三イ
荀子　笹川臨風譯註（國譯漢文大成經子史部第八卷ノ内　大正九）　一　三九九　二
同　清、王先謙等註（漢文大系第一五卷）　服部宇之吉校　大正二　一　三一六　一三八
同　一　三一六　一三八イ
荀子（現代語譯一）　加藤常賢譯　大正一二（支那哲學叢書第五）　一　五五一　三〇
同　再版　大正一五　一　五五一　三〇
春秋左氏傳　上　大正一五（漢文叢書第二四）　一　五三三　一〇八
同　上、下卷　大正九、一〇（國譯漢文大成經子史部第五、六卷）　兒島獻吉郎譯註　公田連太郎補校　一　三七五　四三
春秋左氏傳國字辨　上、中、下卷（先哲遺著漢籍國字解全書第一三至一五卷）　加藤正庵　明治四五至大正二　一　三七五　四三
春秋左傳年表（增補一）　杉原直文增訂　寫本（杉原本）　三　三一六　二三七ロ
春秋社童話文庫　同社發行　大正一三　一〇　八三一　八五
第一輯　第四　第五　グリム童話（グリム著　本間富三郎譯）　世界童話選集（英米の卷）（松原至大譯）　二　五二五　一五七
春秋社日醴儀　大江匡弼（日本經濟叢書卷一一ノ内　大正四）　三四六　一八
春秋純系種交配種適用自在經濟養蠶法　藤間大治郎　大正九　一　三八〇　五五
春秋命歷序考　平田篤胤（平田篤胤全集第六ノ内　大正元）　三三五　一五五
春秋養蠶理想飼育法奧義　小暮善作　大正五　一　三三九　六八一
春秋曆本術編　平田篤胤（平田篤胤全集第五ノ内　大正元）　三三五　一五五
俶湫論集　鶩澤總明　大正五　一　三五三　一〇八

巡視五年　山本神勵　大正五　　一　二五七　四一

荀子全書　狩谷棭齋（望之）自筆校　延享二　　一〇　二五　二

春城句集　室賀文武　大正一〇　　一　三九六　三三〇

春城隨筆　市島春城（謙吉）　大正一五　　一　五三六　三三一

純情小曲集　萩原朔太郎　大正一四　　一　五四四　三三

純情の人平野二郎國臣　大川周明　大正一三（日本精神研究第四）　　一　五二〇　四

巡錫餘集　第一編　土館全靈　大正一〇　一四頁　　一〇　一八六　三四四

蠢々翁著作集　河崎了空　大正一四　　四　五二九　二七

第一卷　僕の男振
第二卷　別天地
第三卷　閲典自鑑
第四卷　夢園小記

俊乘上人奉納大般若伊勢神宮記　　三三　一〇

（大日本佛教全書第一二二册ノ内　大正一一）

殉職遺影　中田武雄　大正一五　　一　五四九　一〇八

殉職訓導小野さつき女史　宮城縣教育會、宮城縣刈田郡教育會編　大正一一　　一　五二四　二

春色戀廼染分解　朧月亭有人（人情本刊行會「叢書」第一五輯ノ内　再版　大正一五）　　五四五　二六

潤色三十六花撰　國周畫　明治一四　三六枚　別帖　一　三三四　九一

殉職田口看護婦　岐阜縣加茂郡第四部教育會編　大正一三　四五頁　　一　三九三　六五四

春色雪の梅　狂言亭春雅　貞秀畫　一二卷（人情本刊行會「叢書」第一九輯ノ内　再版　大正一四）　　五四五　二六

春色淀の曙　松亭金水（人情本刊行會「叢書」第八輯ノ内　再版　大正一五）　　五四五　二六

春曙夢　ダヌンチオ著　鷲尾浩譯（ダヌンチオ全集第一卷ノ内　大正一〇）　　一　四〇六　四九

淳信院全貞慧明大姉葬儀之圖　加藤正治發行（大正二）　　一　四〇五　一

純神道　田中義能（明治聖德記念學會紀要第六卷ノ内　大正五）　　一　五〇四　二九五

純眞なる宗教　飯田忠雄　大正一三　　一　五二三　一〇七

春翠花鳥畫譜　小山春翠畫　大正一三　　一　二〇三　一〇七

純粹教育學の理念　大關增太郎　大正一四（教育叢書第一編）　　一　二五九　七二

純粹種一代雜種之交雜種講話　河野茂盛　大正八　純粹種多元雜種

純粹美學原論　小笠原秀實　大正一三　　一　三八六　一八三

純粹フランス料理　澤本清嗣（アルス婦人叢書第二〇）　大正一四　　一　五一〇　九五

詢芻邇言　古屋鴻（日本經濟叢書卷一七ノ内　大正四）　　一　五一五　五七

純正家相法　芳野松柏軒　大正三　　三　四九六　一八

俊成卿萬葉集時代考　萬時考（續群書類從第一六輯ノ下和歌部ノ内　再版　大正一四）　　二　一八　二七四

淳正公家傳　永山近彰編　大正一〇　　一　八〇　三二　ロ

純正日蓮主義　荒木英一（清男）　大正一〇　　一　二一　四四六

春世二老維新風雲談　末松謙澄編　三版　大正七　　一　二八六　三三六

純正法理學（現代法律思想の新潮）　岡村玄治　大正一二　　一　八一　五〇八　イ

純正理學の基本問題　眞田豐治　大正一五　　一　五二三　四〇

春宵和尚奇緣（江戸奇談）　大佛次郎編　大正一五　　一　四六　二九九

春宵綺語　田中貢太郎　大正九　　一　五一七　五二九

春宵島原巷譚　澤田撫松　大正一四（讀物文藝叢書第一三篇）　　一　五二七　四一

春宵亭遺吟　大信田方高　大正五　　一〇　一〇　三一〇

春雪偉談　海後宗親（水戸藩關係文書第一ノ内　大正五）　　三八　三七九　ほ

浚渫及掘鑿機械　山下修弐　大正一二　　一　五二一　三四

純「セメント」ノ耐伸强試驗ヲ排ス　服部武彦（臺灣總督府研究所報告第六回ノ内　大正七）　　一四、二　二八五　イ

純銑鐵製造用木炭ニ關スル研究（第一、二回報告）　三村鐘三郎（農商務省林業試驗報告第一五、一六號ノ内　大正六、七）　　一四、三　一一五　イ

春湊浪話　土肥經平（國書刊行會本三十輯第一ノ内　大正六）　三卷　　三三〇　五一

春臺上書　太宰春臺（日本經濟叢書卷六ノ内　大正三）　　三四六　一八

同（改訂日本經濟叢書第六卷ノ内　大正一二）　　四四　三七三

春濤詩鈔　森魯直　明治四五　二〇卷　　六　六七　三三三

純糖製造秘法　グランド社農藝化學部編　大正一五　　一　五四九　五七

春晝　泉鏡花（鏡花全集第六卷ノ内　大正一四）　　五二〇　四四

同　　五二〇　四四　イ

春晝　戸川貞雄　大正一四（現代短篇小說選集第四編）　　一　五三九　四五

春晝後刻　泉鏡花（鏡花全集第六卷ノ内　大正一四）　　五三〇　四四

同　　五二〇　四四　イ

純古川松根　（楢園歌傳）　內柴二男童編　大正一五　　一　五五六　一五五

順定阿闍梨起請文　寫本　　軸　一　八三三　二九三

春貞記錄　春貞（眞宗全書第三八卷ノ内　大正三）　三卷　　三四六　七

春汀采藻（江畔漫錄）　桑山益二編　大正八　　一〇　一九五　一八二

順天主義と東洋思想　井田麟鹿　大正一四（「扉等ニハ「順天主義と東洋精神」トアリ」）　　一　五二六　四三

順德院御記　（列聖全集宸記集上卷御記纂ノ内　大正六）　　三二八　三七八

順德院御卽位記　（續群書類從第一〇輯ノ下公事部ノ内　再版　大正一五）　　八〇　三二　ロ

峻德公略傳　岡本由喜三郎、小出植男　大正八　　一　三七二　二三一

順德天皇の眞野山御陵　羽田清次編　大正六　　一　三六四　二四六

淳和天皇御卽位記　（續群書類從第一〇輯ノ下公事部ノ内　再版　大正一五）　　八〇　三二　ロ

殉難遺芳　菊池孝編　大正三　殉難　一　三四四　四三〇

殉難十六志士略傳　櫻山同志會編　大正七　　一〇　一〇　三〇一

殉難前後草　外二種　青雲閣叢文編　芳賀矢一校　明治四五（名著文庫卷四六）　　一　九四　一一三

純日本室四方面及洋室盛花投入の研究　第一、二卷　大正一三　　二　五一三　二九七

純日本的普通選擧家長選擧論　後藤武夫　再版　大正一一　　一　五〇二　一七〇

純日本童話集　國民書院發行　大正一〇　　一　五〇〇　一三

第一集　滑稽童話集（藤澤衛彥）

純白色硬質磁器製造の一試驗　赤塚幹也（陶磁器試驗所報告第一號ノ内　大正一一）　　一四、二　五二七　イ
　　一四、二　五二七　イ

同

春波樓筆記　司馬江漢（日本經濟叢書卷一二ノ内　大正四）　冊 三四六　函 一八
順番　菊池寛（菊池寛戯曲全集第一巻ノ内　大正一〇）　三九六　一二九
同　（現代戯曲全集第五巻ノ内　大正一三）　五三〇　二五
純飛館詞續　支、徐珂編（天蘇閣叢刊二集六ノ内）　一六二　九七
春風館詩鈔　賴千齡　大正一三　一〇
春風秋雨錄　内藤久寛　大正八　一六二　九四
春服　芥川龍之介　大正一二　一三八四　一四三
純文學叢書　高野山時報社發行　大正一一　一五一七　二七〇
春夢艸　肖柏（續群書類從第一七輯連歌部ノ内　明治四五）　一五一五　六
春夢獨談　澤近嶺　寫本　八〇　三一
春夢庵詩鈔　無著　二卷（眞宗全書第四八卷ノ内　大正三）　三一二　一七八
春陽會パンフレツト　木村莊八編　大正一三　四二頁　三四六　七
春陽堂譯述叢書　同堂發行　大正一三、一四　一　五二四　五三
巡禮と戰塵　山邊若學　大正一〇　一　五二四　五三
巡禮唄　直木三十三（大衆文藝新作仇討全集第一卷ノ内　大正一四）　五四八　一六
巡禮後のおせい　岩野泡鳴（泡鳴全集第八卷ノ内　大正一〇）　五〇〇　一
巡禮所作次第　豪圓記（日本大藏經第三八卷ノ内　大正八）　三五三　六
巡禮と戰塵　山邊若學　大正一〇　一　五二四　五三
ジョアイゼル　マーテルリンク著　鷲尾浩譯（マーテルリンク全集第七卷ノ内　大正一一）　三九〇　五一
諸阿闍梨眞言密教部類總錄　安然撰　二卷（大日本佛教全書第二册ノ内　大正三）　三五三　一〇
ジョアゼル　マーテルリンク著　二階堂眞壽譯　大正一〇　一　三九六　一五三
諸鞍日記　（續群書類從第二四輯ノ上武家部ノ内　大正一四）　八〇　三一
同　八〇　三一

春浪快著集　押川春浪編　大正五至七　冊 三五七　函 一六

第二卷
空中大飛行艇　大復讐
頑强壯漢　巖窟の珍寶
鐵車王國　黄金の腕環
老愛國者　頑骨先生
怪人鐵塔

第三卷
銀山王　樹上の俠士美人
海峽の悲劇　世界の巨盜
航海奇談　鐵血紅涙
日米の決闘　雪子孃
世界丸　萬國幽靈怪話
競馬少年　人外魔境

第四卷
武俠の日本　腕環の行衛
豪快老書生　幽靈旅館
巖窟の海賊　魔島の奇跡
女俠姫　猛犬檜臺
美少女冒險談　海底寶窟

春林軒膏方便覽　寫本　一〇　一一　三五
巡禮　ヴィルドラック著　山田珠樹譯（フランス文學の叢書劇の部第八編ノ内　大正一五）　五三九　四八
巡禮唄　直木三十三（大衆文藝新作仇討全集第一卷ノ内　大正一四）　五四八　一六
巡禮後のおせい　岩野泡鳴（泡鳴全集第八卷ノ内　大正一〇）　五〇〇　一
巡禮所作次第　豪圓記（日本大藏經第三八卷ノ内　大正八）　三五三　六
巡禮と戰塵　山邊若學　大正一〇　一　五二四　五三
ジョアイゼル　マーテルリンク著　鷲尾浩譯（マーテルリンク全集第七卷ノ内　大正一一）　三九〇　五一
諸阿闍梨眞言密教部類總錄　安然撰　二卷（大日本佛教全書第二册ノ内　大正三）　三五三　一〇
ジョアゼル　マーテルリンク著　二階堂眞壽譯　大正一〇　一　三九六　一五三
諸鞍日記　（續群書類從第二四輯ノ上武家部ノ内　大正一四）　八〇　三一
同

諸鞍日記　（國書刊行會本丹鶴叢書故實ノ内　大正三）　い 四　冊 三四三
所有權觀念ノ變遷　牧野（英一）（地主會講演集ノ内　大正一一）　三九七　三六六
所有權の起原　原始社會と土地所有權　西田已四郎（最近經濟學の進歩ノ内　大正一〇）　五二一　二四
諸位灌頂祕密目錄　圓仁錄（日本大藏經第四三卷ノ内　大正九）　三五三　六
書院飾付幷違棚圖　寫本　特 一〇　八三一　二四六
承安五節圖粉本　浮田一蕙摸　寫本　特 軸 一　八三一　二九八
ジヨヴアンニパピー　自叙傳　（終りし人）　パピーニ著　新居格譯　一　五三三　一二
勝友叢書　監獄協會發行　大正三至一二　九　三二五　五

第一編　共同生活　上、下卷　（河野純孝編）
第三編　覺めたる友　（藤井惠照編）
第四編　惱める人のために　（刈谷哲公）
第五編　教壇の上より　（監獄協會編）
第六編　獄中假出獄まで　（原卓一、下井香潤）
第七編　日記假出獄まで　（原卓一、下井香潤）
第八編　平和の光　（監獄協會編）
第九編　恩愛のたより　（田中秀寧編）
忠良なる臣民　（尾原靖乘）

稱謂私言　那珂通世　（那珂通世遺書雜著ノ内　大正四）　三四八　三〇九
松蔭醫談　雨森宗眞（杏林叢書第四輯ノ内　大正一四）　八〇　六五三
松蔭吟稿　（續群書類從第一三輯ノ上文筆部ノ内　大正一四）　八〇　三一ロ
松蔭快談　長野豐山　大正八　四卷（擊苑叢書ノ内）　一〇　一九八　三九九
同　（日本詩話叢書第四卷ノ内　大正九）　三三五　三七三
松陰私語　關東の騒亂（續群書類從第二二輯ノ上合戰部ノ内　大正一三）　八〇　三一一ロ
同　八〇　三一一

松陰神社溫故錄　山口縣立萩中學校々友會編　大正六　一　三二五　二五八
松陰と左内（驚天動地）　高橋淡水　大正一〇　一　三九六　二三八
松陰とその門下　高橋淡水　大正一一　一　三九四　二三〇
松宇遺稿　國枝成卿著　伊藤仁兵衛編　大正七　一　一〇　三三七
松宇家集　伊藤松宇　大正一五　一　五五一　四三
松雨山房印譜　泰水先生遺印、聿菴先生遺印　賴彌次郎編　大正元　二〇　六七　三三七
松雲神田翁　和久松洞　大正一五　一　五五四　一〇八
松雲公御夜話　中村典膳　大正五（日本偉人言行資料ノ内）　一　三五五　一八ち
松葉脚本集　松居松葉　大正四　一　三五七　三八
神主の娘　暮の二十一日
茶を作る家　雪のふる夜
松葉傑作集　松居松葉　再版　大正七　一　三一　七九七
燈籠大臣　光悦の母
夏のはじめ　鰹船
堀河夜討　結婚反對倶樂部
承應圓牆記　祐後（眞宗全書續編第二五卷ノ内　大正四）　三四六　七
松翁戯曲集　松居松翁　大正一五　一　五六〇　八
第一卷　阪崎出羽守　老松、若松　鷹擧と蘆雪
堀川夜討　江藤新平　茶を作る家
松翁道話　布施松翁（婦人文庫第五回教訓ノ内　大正三）　三四〇　三七　ほ
證契大乘經　唐、地婆訶羅譯　二卷（大正新脩大藏經第一六卷經集部三ノ内、大正一四）　特 四四　三七四
同　八六　三九一

		冊	函	號
松鶴園詠草	毛受富教　大正五	一	一〇	一
松鶴遐齡集	谷謹一郎編	一	一一	一九六
松鶴集	貴壽會編　大正一〇（松平乘承古稀祝賀ノ詩歌文ヲ輯ム）	一	二〇	八三二
松下集	正廣（和學講談所本）	一	特六	二九三
鍾馗	岡本保孝自筆稿本　寫本（況齋隨筆第一册ノ內）	一	特	二九八
承久軍物語	六卷（國史叢書ノ內　大正六）	一	特	八三一
承久繪卷	岡本綺堂（綺堂歌曲集第一〇卷ノ內　大正一四）	一	二四〇	二三
承久記	二卷（國史叢書ノ內　大正六）	一	五二七	一六
同	池邊義象等校註（校註國文叢書第二五册ノ內　大正四）	一	三四〇	三
承久記	（慈光寺本）二卷（國史叢書ノ內　大正六）	一	三四五	二
承久記	（前田本）二卷（國史叢書ノ內　大正六）	一	三四〇	三一
承久兵亂記	承久物語（續群書類從第二〇輯ノ上合戰部ノ內　大正一二）	一	三四〇	三二
同		一	八〇	三一
蒸汽機關	內丸最一郎　四版　明治四五（熱機關第二）	一	六三	一八四
同	六版　大正三	一	六三	一八四
同	一〇版　大正七	一	六三	一八四
同	一二版　大正九	一	六三	一八四
蒸汽機關	藏田美知雄　大正一〇	一	二八五	一五三
承久記	（慈光寺本）二卷（國史叢書ノ內　大正六）	一	三四〇	三一
承久記	（前田本）二卷（國史叢書ノ內　大正六）	一	三四〇	三二
承久記	（流布本）二卷（國史叢書ノ內　大正六）	一	三四〇	三三
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	三
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	四
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	五
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	六
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	七
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	八
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	九
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一〇
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一一
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一二
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一三
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一四
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一五
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一六
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一七
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一八
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一九
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二〇
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二一
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二二
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二三
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二四
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二五
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二六
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二七
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二八
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二九
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	三〇
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	三一
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	三二
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	三三
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	三四
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	三五
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	三六
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	三七
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	三八
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	三九
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	四〇
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	四一
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	四二
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	四三
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	四四
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	四五
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	四六
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	四七
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	四八
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	四九
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	五〇
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	五一
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	五二
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	五三
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	五四
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	五五
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	五六
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	五七
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	五八
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	五九
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	六〇
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	六一
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	六二
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	六三
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	六四
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	六五
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	六六
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	六七
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	六八
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	六九
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	七〇
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	七一
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	七二
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	七三
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	七四
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	七五
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	七六
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	七七
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	七八
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	七九
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	八〇
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	八一
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	八二
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	八三
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	八四
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	八五
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	八六
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	八七
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	八八
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	八九
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	九〇
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	九一
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	九二
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	九三
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	九四
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	九五
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	九六
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	九七
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	九八
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	九九
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一〇〇
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一〇一
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一〇二
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一〇三
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一〇四
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一〇五
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一〇六
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一〇七
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一〇八
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一〇九
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一一〇
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一一一
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一一二
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一一三
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一一四
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一一五
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一一六
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一一七
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一一八
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一一九
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一二〇
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一二一
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一二二
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一二三
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一二四
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一二五
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一二六
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一二七
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一二八
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一二九
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一三〇
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一三一
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一三二
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一三三
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一三四
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一三五
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一三六
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一三七
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一三八
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一三九
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一四〇
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一四一
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一四二
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一四三
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一四四
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一四五
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一四六
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一四七
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一四八
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一四九
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一五〇
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一五一
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一五二
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一五三
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一五四
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一五五
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一五六
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一五七
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一五八
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一五九
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一六〇
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一六一
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一六二
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一六三
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一六四
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一六五
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一六六
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一六七
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一六八
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一六九
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一七〇
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一七一
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一七二
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一七三
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一七四
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一七五
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一七六
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一七七
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一七八
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一七九
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一八〇
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一八一
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一八二
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一八三
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一八四
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一八五
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一八六
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一八七
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一八八
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一八九
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一九〇
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一九一
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一九二
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一九三
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一九四
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一九五
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一九六
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一九七
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一九八
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	一九九
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二〇〇
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二〇一
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二〇二
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二〇三
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二〇四
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二〇五
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二〇六
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二〇七
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二〇八
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二〇九
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二一〇
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二一一
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二一二
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二一三
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二一四
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二一五
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二一六
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二一七
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二一八
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二一九
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二二〇
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二二一
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二二二
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二二三
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二二四
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二二五
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二二六
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二二七
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二二八
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二二九
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二三〇
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二三一
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二三二
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二三三
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二三四
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二三五
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二三六
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二三七
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二三八
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二三九
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二四〇
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二四一
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二四二
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二四三
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二四四
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二四五
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二四六
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二四七
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二四八
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二四九
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二五〇
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二五一
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二五二
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二五三
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二五四
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二五五
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二五六
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二五七
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二五八
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二五九
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二六〇
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二六一
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二六二
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二六三
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二六四
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二六五
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二六六
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二六七
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二六八
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二六九
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二七〇
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二七一
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二七二
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二七三
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二七四
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二七五
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二七六
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二七七
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二七八
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二七九
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二八〇
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二八一
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二八二
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二八三
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二八四
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二八五
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二八六
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二八七
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二八八
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二八九
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二九〇
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二九一
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二九二
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二九三
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二九四
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二九五
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二九六
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二九七
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二九八
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	二九九
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	三〇〇
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	三〇一
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	三〇二
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	三〇三
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	三〇四
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	三〇五
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	三〇六
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	三〇七
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	三〇八
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	三〇九
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	三一〇
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	三一一
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	三一二
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	三一三
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	三一四
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	三一五
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	三一六
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	三一七
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	三一八
承久記	大成經（大日本續藏經第一輯第二套第二編）	一	二四	三一九
承久記	大成經（大日本續

ショウ

		冊	函	號
ジョウジ・ワシントン	矢代幸雄、井上越（英傑傳叢書第一編）大正六	一	三四九	四七二
松雪堂集	巻一至三　崔松雪堂　大正一一	三〇	二四二	一五
松竹梅雪曙	寫本（松島松作芝居臺帳第一五ノ内）	一	三六四	二
乘除表	光岡義一譯　大正六	一	三六四	一五三
松亭行紀	清、高士奇（滿蒙叢書第二卷ノ内　大正八）	三七九	七	イ
同		三七九	七	七
訟廷立證之原理	梅原錦三郎　大正一〇	一	五一三	一〇六
勝天王般若波羅蜜經	陳、月婆首那譯　七卷（大正新脩大藏經第八卷般若部四ノ内　大正一二）　特	四四	三七四	一
同		八六	三九一	一
松洞作品集	第一至四回　岸本松洞編　大正一〇、一一	四	一四六	二六〇
使用人及職工訓練待遇法	中外產業調查會編（大正一二）（能率增大科學的始末法報告書第五册）	一	五一〇	四八
使用人の心理及ストライキ鎭撫策	中外產業調查會編（大正一二）（能率增大科學的始末法報告書第二册）	一	五一〇	四八
稱念上人行狀記	妙阿　二卷（淨土宗全書第一七卷ノ内　大正二）	三三四	六三	
勝敗	須藤鍾一　大正一〇（新進作家叢書第二九編）	一	三一	五五四
勝寶感神聖武皇帝銅板詔書	聖武天皇御撰（大日本佛教全書第一二二册ノ内　大正四）	三五三	一〇	
勝白粉本	山岡勝白畫　寫本	二	四一	特
松帆樹句集	錢屋五兵衞（龜巢）著　藏尚太郎編　大正五	一	三一七	八一〇
ショウ一幕物全集	ショウ著　市川又彥譯　大正一一（世界文藝全集第一〇編）	一	五〇〇	一五
勝負	里見弴（ヴエストポケツト傑作叢書第一六編ノ内　大正一一）	三八九	三五	
松風閣琴譜	附 抒懷操　清、程雄編	二	八三	一九八
松竹梅雪曙	寫本（松島松作芝居臺帳第一五ノ内）	一	三六四	二
松風餘音	岩田宗祐　大正一四	一	一六六	三五〇
松風餘韻	日置謙編　大正一〇	一	三九七	一二〇
勝福寺鑄鐘勸進帳	（續群書類從第二七輯ノ下釋家部ノ内　大正一五）	八〇	三二	
勝負事	菊池寬（菊池寬全集第三卷ノ内　大正一一）	五〇五	三	
昇平夜話	上、下篇（續日本經濟叢書第一二卷ノ内　大正一二）	四四	三七三	
同	ショウペンハウアー宗教問答　ショウペンハウアー著　櫛田保之助、ハウアー譯　大正一五	一	五三	一九六
	ショウペンハウエルの研究　征矢野晃雄　大正五　五六八頁	一	三六〇	三八〇
勝北地誌	村川素川編　大正四	一	二一	三五七
證菩提山等緣起	盛嚴記（日本大藏經第三八卷ノ内　大正八）	三五三	六	
勝鬘經（漢藏對譯）	河口慧海譯　大正一三（世界文庫第一八）	一	五一六	一八五
勝鬘經義疏	聖德太子御撰　三卷（大日本佛教全書第四册ノ内　大正三）	三五三	一〇	
同（日本大藏經第二五卷ノ内　大正六）		三五三	六	
勝鬘經義疏私鈔	唐、明空撰　六卷（大日本佛教全書第四册ノ内　大正三）	三五三	一〇	
勝鬘經顯宗鈔	普寂撰　三卷（日本大藏經第二五卷ノ内　大正六）	三五三	六	
勝鬘經疏詳玄記	卷六至一八　凝然撰（卷一至五缺）（大日本佛教全書第四册ノ内　大正三）	三五三	一〇	
勝鬘經通解	小林一郎　大正一一	一	五〇四	三

		冊	函	號
勝鬘經物語	加藤咄堂　大正五	一	三三五	四六二
同	大正一二	一	五〇四	一五一
勝鬘師子吼一乘大方便方廣經	劉宋、求那跋陀羅譯（大正新脩大藏經第一二卷寶積部下涅槃部ノ内　大正一四）　特	四四	三七四	
同	境野黃洋譯（國譯大藏經經部第二卷ノ内　大正七）	八六	三九一	
勝鬘師子吼一乘大方便方廣經	隋、吉藏撰　六卷（大正新脩大藏經第三七卷經疏部五ノ内　大正一五）　特	三六九	五	
勝鬘師子吼經顯宗鈔	普寂撰　三卷（大日本佛教全書第四册ノ内　大正三）	三五三	一〇	
勝鬘寶窟	隋、吉藏撰　六卷（大正新脩大藏經第三七卷　特	四四	三七四	
稱名信樂二願希決	順藥　二卷（眞宗全書第四二卷ノ内　大正四）	三四六	七	
乘務員規程全集	鐵道講習會編　大正三	一	一四七	一三
乘務員に必要なる身體上並に心性上の要件	東京市電氣局調查課編（同課調查資料第三卷第三號ノ内　大正一一）	一四五	七七	
證文の書き方	日本法律研究會編　大正八	一	三六二	一三四
承陽大師行狀訂補建撕記布薩	陸錢叢譯　大正一〇	一〇	二三五	七
承陽大師御傳記講話	岡田宜法　大正七	一	三三五	二九五
從容錄講話	卷下　秋野孝道　大正一一	一	五一	五
從容錄講話	第一卷　神保如天（櫟堂）　大正三　五九六頁	一	三三四	三九〇
從容錄講話	上、下卷　日置默仙　大正六、七	二	三三四	五四一
從容錄通解	神保如天（櫟堂）　大正四（禪學通解全書第一）	一	三三四	四六七
從容百書餅	大塚洞外　大正一四	一	五一一	一〇四
頌流生花記附錄	一陽齋芳祇著　龍齋逸馬畫　文化一二	一〇	一八三	三八六
蒸餾飲料及リキユール酒	谷井千次郎編（化學工業全書第一一册ノ内　明治四三）	四五	一九〇	二
蒸流眼科書	寫本	一〇	一六五	二一〇
松柳問答	池上休柳（日本書談大觀上編書論ノ内　大正六）	三五六	三一六	
勝利を前にして	島田清次郎　七版　大正一一	一	五〇六	七〇
勝利者と敗北者	ゴルズワージイ著　山田松太郎譯　大正一三（海外文學新選第四編）	一	五一五	一三〇
蒸里志略	清、葉世熊編（官統年中）	二〇	一六一	四一
承曆元年法勝寺供養記	（續群書類從第二七輯ノ上釋家部ノ内　大正一四）	八〇	三二	
同		八〇	三二	
松隣夜話	（越後史集天ノ内　大正五）	三六〇	三八六	
ショーウキンドウ	現代圖案工藝社編　大正一三	一	五二八	一八九
ショーウキンド裝飾	和田斐太　大正一三	一	四一六	九七
ショーカードの書き方	倉本長治　大正一四（廣告實務叢書第一編）	一	五二九	五七
ジョージ・ウイリアムス傳	露無文治　大正一〇	一	三九二	三三〇
ジョージ・フオックスの生涯と使命	ジョーンズ著　井上澄譯（基督教思想叢書ノ内）　大正一五	一	五一六	三一
George Moore の研究	鳴澤寬慈（英文學研究第三册ノ内　大正一一）	三九〇	二四	

ショウ—ショオ

		冊	函	號
諸御觸留	上、下 享和元年至萬延元年 田宮邦救編 寫本〔江尻、丸子、清水町等ノ觸留ナリ〕	二	一二六	三三五
ショーペンハウエル隨想錄	增富平藏譯 大正二	一	三五〇	一九三
ショーペンハウエルの哲學（哲學大系一）	松永材 大正一五	一	五一〇	一六九
〔ショヲペンハウエル〕論文集	ショヲペンハウエル著 佐久間政一譯 大正九（杜翁紀念文庫第一）	一	三五五	一〇〇
書及び書方の研究	松本亦太郎 大正八（心理叢書第八至一〇册）	三	三五五	六三
諸織物縞本集帳	附錄 古代切帳〔縞本ハ桐生新町絹貿次商ヨリ差出ノ分、附錄ハ綿類更紗等ノ見本張交ナリ〕	別二	ひ	八四
初夏	長田幹彥（幹彥全集第三卷ノ內 大正一一）		五〇〇	五一
諸家「ショケ」ヲモ見ヨ				
初學圍棋講義錄	卷一至三 日本棋院編 大正一四、一五	三	一六六	三三三
書學楷梯	入澤賢治 大正七	一	三七六	二一三
初學考鑑	武者小路實篤著 佐佐木信綱、芳賀矢一校註（校註和歌叢書第七册和歌作法集ノ內 大正四）		三四五	三
初學機織法	橫井寅雄 明治四五	一	三二七	六三三
初學詩體便覽	竹內貞（東仙） 大正一四	一〇	一七三	七一
初學詩法	貝原益軒（日本詩話叢書第三卷ノ內 大正一〇）		三五五	三七三
初學題額集	良山撰 三卷（大日本佛教全書第二册ノ內 大正三）		三五三	一〇
初學重寶算法智惠輪	曉鐘成著並畫 文政七	一〇	一六五	一四七
初學獨修佛蘭西語詳解	前田越嶺、同雪子 大正四		三三三	一五五
初學獨修露語研究	西海枝靜 大正六		三三三	三五一

		冊	函	號
初學獨習圍碁の定石	一名 師匠泣かせ 鳥居鍋次郎 大正六	一〇	一二六	二四七
初學年教育の實際	岸原德四郎、廣瀨佐平 明治四五五七六頁	一	三五二	二一〇
初學年算術教授者の爲めに	山本孫一 大正一一	一	二六三	四 六六
同 改訂	大正一四	一	二六三	四 六六 イ
初學年兒童訓練法と假名教授眞髓	大川義行 大正五	一	二六三	二四四
初學年兒童の希望に就いて	山下米太郎（兒童教育研究會紀要第二卷ノ內 大正九）	一	二七二	九一
初學年兒童の教育と其の取扱法	淺野誠 大正一四	一	二七二	六四
初學年新教育（最新心理學ヲ應用せる）	下澤瑞世 大正三	一	二五三	一三〇
初學俳句講話	中村守雄（芙峯） 大正一四	一	五五〇	一
初學必携死活定石圍碁速成圖解	第二至四編 森田幸次郎編 大正五	三	二〇三	四一〇
初學必携互先の手筋	森田幸次郎 大正二	一〇	二四九	一二五
書家書家題字便覽	松雲堂編 大正二	一	三三九	二三三
初學和歌談	武島羽衣（和歌寶典第二編） 大正三	一	三四〇	三三
諸貸金取立法と貸倒れ復活法	武智彌三郎 大正二	一	三五〇	一九四
諸家隨筆集	高力積信編（國書刊行會本扇葉十種第一ノ內 大正五）		三三〇	五〇
諸家短冊帖	〔宣長、千蔭、蒿溪、信友、景樹、馬琴、京傳、一九等〕	別一帖	ニ ち	三七
諸葛亮	杉浦重剛、猪狩又藏（偉人傳叢書第一册） 大正二	一	三四六	一三
諸家の紀行文短評	田山花袋（花袋紀行集第三輯ノ內 大正一二）		五二五	七七
初夏の夢	名越國三郎 大正五	一	三二七	九〇三

		冊	函	號
諸家秘說鑑刀集成	羽皐隱史編 大正二	一	三四九	九一
書簡故實	（續群書類從第二四輯ノ下武家部ノ內 大正一四）		八〇	三二 イ
同			八〇	三二 イ
書翰集	第一 日本史籍協會編 大正一二	一	六四	三三
所感十年	內村鑑三 大正二	一	三二五	一七六
書簡卓上文範	服部嘉香 大正九	一	三三八	三七四
書簡の方式と書法	松坂善吉、加藤貞次郎 大正六	一	三六三	一五五
書翰文（作法例一）	大町桂月等 大正三（新式作文大成第二編）	一	三二五	二
書翰文講話及文範	芳賀矢一、杉谷虎藏編 大正二	二	三四二	四四三
同 一二版	大正三	二	三四二	四四三 イ
書翰文教授の新研究	久保榮一、花田甚五郎 大正三	一	二六三	七三
書翰文作法及文範	高木尙介 大正五	一	三五六	二四六
書翰文精義	中川靜 訂三版 大正六	二	三五六	八八 イ
同 大正一四		二	三五六	八八 ロ
書翰文大觀（作法文範一）	內海月杖 大正六	一	三六三	一三六
書翰文大觀（作法文範一）	大町桂月編 大正五	一	三五六	二一三
書翰文大全（作法文範一）	關根正直、高木尙介 大正四六一八頁	一	三五六	一三八
書簡文の準備	長田幹彥 大正七（文藝研究叢書第五編）	一	三七五	九
書簡文法式	廣島縣立廣島高等女學校編 大正五	一	三二九	七五八

		冊	函	號
書疑	宋、王栢著 赤松勳校 寫本〔藤田幽谷ノ序跋書入アリ〕 明和三	特一〇	八三〇	一九八
諸儀軌傳授目錄	淨嚴撰（大日本佛教全書第二册ノ內 大正三）		三三三	一〇
諸儀軌禀承錄	第一二、一三卷 眞常 大正六	一〇	二四六	二七六
諸機關名稱	第二編 河本市松 大正二	一	九四	四九二
初期肉筆浮世繪	岸田劉生 大正一五	一	五五三	六六
初期肺結核診斷及療法	眞島隆輔 大正一一	一	五三	一九一
初期微動繼續時間ト震動距離トノ關係	今村明恒（震災豫防調査會報告第九五號ノ內 大正一〇）		一四四	一一五
初級幹部測圖學教程	軍友協會編 大正五	一	三一八	三二九
初級輜重戰術之研究	軍事學指針社編 大正三	一	三一九	三三五
初級戰術講授手簿	室兼次 大正三 六一四頁	一	三一八	二八九
初級戰術講授錄	第一至四卷 井上繁 大正六	四	三一九	三八〇
初級戰術講授錄	卷上 大村有隣 大正一〇	一	三一九	四三三
初級戰術學理	第一、二卷 獨逸陸軍教育總監部編 司馬亨太郎譯 大正三	二	三一九	三〇五
書經	服部宇之吉、山口察常譯註（國譯漢文大成經子史部第二卷ノ內 大正一一）	一	三九九	二
同	（國譯漢文大成經子史部第二卷ノ內 三版 大正一四）	一	三九九	二 イ
諸經要集	立花俊道譯（國譯大藏經經部第一三卷ノ內 大正七）	二	三六九	五
書經講義	第二至八講 小牧櫻泉 大正六、七	二	三三七	一〇〇七
書經講義	林泰輔 大正七（漢文註釋叢書第五編）	一	三五五	六八

		冊	函	號
所行藏	立花俊道譯（國譯大藏經經部第一三卷ノ內 大正七）	三	三四	六三
諸行三心具不生論義	良天 大正一三	三	三四	六三
諸行三心具不定義	良榮（續淨土宗全書第一四ノ內 大正一三）	三	三四	六三
諸行無常	曉烏敏（にほひくさ第六卷） 大正一一	一	三三八	三七八
諸經論大意	清原秀惠 大正三	一	三三四	三八四
諸經論大意	脇谷撝謙 大正三	一	三三四	四〇三
食行脚	東京の卷 奥田謙二郎（優曇華） 大正一四	一	五一六	三三三
職員私抄	寫本〔右筆ノ職掌沿革等ヲ記セルモノ〕	三	〇 二〇五	一七五
職員生活狀態調查	大正九年一〇月一日現在 名古屋鐵道局編 大正一〇 八二五頁	一	一四四	五一六
職員負傷人員表	大正二年度 鐵道院總裁官房編 大正三	一	四一九	三五
職員錄	中華民國八年第三期 支、印鑄編	四	〇 一七一	八四
職員錄	明治四五至大正九、同九追錄、同一〇至一五年 內閣印刷局編 明治四五至大正一五	三三	一四一	五〇
同	大正一四、一五年 大正一四、一五	二	一四一	五〇 イ
觸穢考	（續群書類從第三輯ノ下神祇部ノ內 再版 大正一四）	八〇	三三一	ロ
觸穢問答	（續群書類從第三輯ノ下神祇部ノ內 再版 大正一四）	八〇	三三一	ロ
食鹽	（化學工業全書第一册ノ內 四版 大正二）	四五	一九〇	イ
同		四五	一九〇	ニ
食鹽及アルカリー工業	臺灣總督官房調查課編 大正九（海外調查第九輯）	一	一四五	五三
職を抛ちて	田淵巖 大正一二	一	五一七	二六一

		冊	函	號
植學啓原	宇田川榕庵譯 三卷（國書刊行會本文明源流叢書第二ノ內 大正三）	三四三	六三	
織機保全法	加藤捨吉 大正五	一	三六四	七三
續紀歷朝詔詞解	本居宣長著 同豐穎校 同清造再校（增補本居宣長全集第五ノ內 大正一五）	三三四	六三	
續紀歷朝詔詞解目錄	伴信友校（伴信友遺書ノ內）	特 一〇	せ	七〇
觸光手記	曉烏敏 大正八	一	三九二	五七
食貨志略	橫山由清 寫本	三	〇 八三〇	二九
食貨辨	（日本經濟叢書卷二六ノ內 大正五）	三四六		一八
職業組合仲裁及仲裁々判並ニ賃率契約ニ關スル立法例	（佛伊白（闢國之部）、（埃國及瑞西之部）、（丁抹瑞典、諾威之部）、（英國）加奈陀之部、（南亞之部）、（豪洲之部）、（米國之部）、（司法省調查課譯） 大正一一、一三（司法資料第三四至三六、三九、四一至四三號）	七	一四五	五四
職業教育の必要に就て	阪谷芳郎（商工補習教育講演集ノ內 大正三）	二	九〇	一七
職業指導	上、下 文部省編 大正一三	二	五三五	四一
職業指導資料	東京市社會局編 大正一一、一二 第一輯 智能檢查に關する報告 第二輯 少年智能檢查法に關する研究報告	二	五二八	四〇
職業指導叢書	職業指導研究會發行 大正一五	一	五四六	二〇一
我子の職業	（稻葉幹一、小野磐彥）	一	二五九 五	七三
職業指導と學校教育	櫻井香織（教育叢書第二編） 大正一四	一	二五九	七三
職業指導と學校教育	乘杉嘉壽（最近思潮教育夏季講習錄大正一三年度ノ內 大正一三）	二	五八 一	三九
職業指導と學校教育	文部省普通學務局編（社會教育叢書第一輯） 大正一三	一	二九 五	六〇
職業指導と職業教育	小山文太郎 大正一五	一	五四七	九五
職業指導の心理學的背景	古賀行義（商業經濟論叢第三卷ノ內 大正一五）		五〇七	一五

		冊	函	號
職業紹介	八濱德三郎（社會事業研究所講義錄ノ內 大正一一）	五一三		七三
職業紹介公報	第一至八號 大正一二、一三 中央職業紹介事務局編	三	一四五	七〇
職業紹介事業概勢	大正九年六月至一〇年六月 中央職業紹介局編 大正一一	一	三七八	二六〇
職業紹介事業ニ關スル參考資料	東京市中央職業紹介所編 大正一三、一四 第三輯 工業（職名解說 第二） 第五輯 求職事情ニ關スル調查 第一卷 第六輯 職工名別解說 第四 第七輯 求職事情ニ關スル調查 第二卷	四	五二四	一二五
職業紹介事業年報	大正一二至一四年度 東京地方職業紹介事務局編 大正一三、一五	一	一四五	一二八
職業紹介成績季報	大正一一年一〇月至同一二年三月 中央職業紹介局編 大正一三	一	一四五	九九
職業紹介年報	大正一二至一四年 大阪地方職業紹介事務局編 大正一三至一五	一	一四五	一〇二
職業紹介年報	大正一二、一三年 大正一四、一五 中央職業紹介事務局編	二	一四五 イ	九九
職業紹介法關係法規	中央職業紹介事務局編 大正一五	一	一四七	三七三
職業紹介便覽	東京市社會局職業課編 大正一四	一	五一六	三五五
職業選擇法	附 選擇用器械使用法 谷口政秀 大正一五 三二頁	一	三三七	四〇五
職業選定知識（適世ー男女ー）	附 人の使ひ方及人に使はれ方 坪江二二編 大正一四	一	五三〇	一〇〇
職業第一	棟居喜九馬 大正七	一	三一	七六八
職業統計摘要	長野縣編 大正一一（同縣勢調查第四編）	一	一四四	五三三
職業と武士道	澁澤榮一（十八名士の觀たる學問及職業の選擇ノ內 大正四） 總論 第一 職工問題解決法	三六〇	四七	
職業と理想	島村抱月（抱月全集第一卷ノ內 大正八）	三七九		一一

		冊	函	號
職業に貴賤なし	添田壽一（十八名士の觀たる學問及職業の選擇ノ內 大正四）	三六〇		四七
職業の研究（現代生活ー）	一名 最新職業案內 東京職業研究所編 大正一二	一	五〇三	二七三
職業婦人調查	（女給）中央職業紹介事務局編 大正一五（「題簽ノ冠稱ニハ「東京大阪兩市に於ける」トアリ）	一	一四四	七三三
職業婦人に關する調查	東京市社會局編 大正一三	一	五一八	一三〇
職業婦人の研究	東京日日新聞社編（研究叢書第二編） 大正一〇	一	五〇〇	四四
職業別新東京商業便覽	附 關東 須川三郎編 大正一三 六〇〇頁	一	五二一	六三
職業別信用調查錄	日本秘密探偵社編 大正一四	一	三四三	一七三
職業別統計	長野縣編 大正一一（同縣）縣勢調查第三編）	一	一四四	五三三
職業別番地入東京商業地圖	附 索引簿 細谷松太郎製 大正一〇 二·四×三·四	一枚	四一六	三三
職業別復興調查錄	東京、橫濱 東京商工通信社編 大正一三	一	三四七	九三
同	三版 大正一四	一	三四七 イ	九三
職業問題	田子一民（海外移住ノ內 大正一二）		五二一	二〇二
職原抄	〔伏見宮家御藏版〕	別 一〇	ひ	八八
職原抄	〔田中尚房書入〕	特 二〇	八三一	六
職原抄（古ー）	〔慶長勅版本〕	別 三〇	ひ	八五
（標註）職原抄補正	小中村清矩自筆寫 寫本	二〇	八三一	一〇四
食後（小ー）	島崎藤村 明治四五	一	三三八	七八
職工優遇論	宇野利右衞門 大正四 總論 第一 職工問題解決法	一	三三二	七四 イ
職工永續策論集	工業教育會編（職工問題叢書第一册） 大正九	一	三三三	二九

	冊	函	號
職工繪鏡 一〇枚〔節用集ノ内〕	一	一三九	一三
職工解雇ノ場合ニ於ケル待遇概要 東京府商工課編 大正一〇	一	三九七	二一六
職工學講習錄 第一輯 工業教育會編 大正八	一	三七一	一九五
職工から大臣へ ジョージ・エヌ・バアンス著 武藤山治譯 大正一三	一	五二四	二七四
職工具及荷造器具取扱法 兵用圖書株式會社發行 大正三	一	三七	三九
職工組合論 賣文社編 大正八（勞働問題叢書第二編）	一	三九〇	一八
職工組合論 山縣憲一 大正四	一	三五二	六〇 イ
同	一	三五二	六〇 イ
職工教育方針 桑田熊藏（商工補習教育講演集ノ内 大正三）	一	九〇	一七
職工工場取締規則 工業教育會編 大正九（職工問題叢書第二册）	一	三五三	二九
職工採用法 宇野利右衞門 大正一一（宇野職工學各論第三）	一	五〇五	一五
職工實踐十則講義 岡善惠 大正九	一	三九三	三〇
職工需給の趨勢 名古屋商業會議所經濟調査部編 大正八（時局影響調査第一二回）	一	三七八	二〇
職工生計狀態調査 社會局健康保險部編 大正一二	一	三六八	二〇三
職工勞働常識 長澤洲吉編 大正八（職工店員）	一	三八七	一〇〇
職工取扱ニ關スル調査 官業工場之部 東京高等商業學校編 大正元（同校）調査部報告第三回）	一	三三七	五〇六
職工に對する宣傳 工業教育會編 大正一〇（職工問題叢書第四册）	一	三五三	二九
職工の怪我 大正一一年度 北海道廳警察部工場課編 大正一二年度	一	五一八	七三
職工の現狀と補習教育の實際 秋保安治（商工補習教育講演集ノ内 大正三）	一	九〇	一七
職工の住居と生活 宇野利右衞門 大正一二（職工問題資料第二輯）	一	三九七	二一六
職工の小さき叫び 栃木縣警察部保安課編 大正一〇	一	三七一	一九五
職工ノ福利增進施設概要 大正一二年七月一日現在 東京府編 大正一三	一	五二四	二七四
職工負傷死亡及工場災害事故狀況 農商務省工務局編（工場資料第一輯） 大正八	一	三六	二七〇
職工保健狀態調査書 大正一三年 福井縣警察部工場課編 大正一四	一	一四六 ハ	二〇二
職工募集從業者必携 中央蠶絲新聞社編 大正八	一	三七三	三九九
職工募集法の理論と其改善策の研究 宇野利右衞門 大正一〇（宇野職工學各論第一）	一	五〇五	一五
職工村の經營 西村正雄 大正六	一	三六一	一〇五
職工名別解說 第四 東京市中央職業紹介所編 大正一三（職業紹介事業ニ關スル參考資料第六輯） 大正四	一	五二四	二一五
職工問題解決法 宇野利右衞門（職工優遇論總論第一）	一	三五二	七四 イ
職工問題資料 工業教育會發行 明治四五、大正二 第一輯〔日本現時の職工問題〕（宇野利右衞門） 第二輯 職工の住居と生活（同）	二	三六	二四
職工問題叢書 工業教育會發行 大正二 第一號 職工問題諸大家の意見（宇野利右衞門に對する） 第二號 火災防備論（同）	二	三四六	八
職工問題叢書 工業教育會發行 大正九、一〇 第一册 職工永續策論集（工業教育會編） 第二册 職工工場取締規則（同） 第三册 防災と防疫（同） 第四册 職工に對する宣傳（同）	四	三五三	二九
職工養成法 宇野利右衞門 大正一二（宇野職工學各論第五）	一	五〇五	一五
諸供作法集 中野達慧編（日本大藏經第三七卷ノ内 大正八）	一	三五三	六 イ
穢山金鑛鑛床調査報文 附 附圖（保科正昭（朝鮮鑛床調査報告第九卷ノ内 大正一〇）	一	三三一	一〇九 イ
蜀山人とは 江森庵 大正三	一	三五〇	四三〇
蜀山道中記 辰巳老人編 大正五	一	七一	五四三
植產と石灰問題 田所哲太郎 大正六	一	三九八	一六〇
蜀山百首 附錄付 奥村金次郎發行 大正五	一	二四	二三六
殖產略說 寫本〔狩野良信等筆繪入〕	特 一	三〇	八三〇 四五
食餌及營養 附錄 十二指腸營養法 アインホルン著 平山金藏譯 明治四五 七六頁	一	六〇	二九四
食事戒 高井伴寬（日本衞生文庫第二輯ノ内 大正六）	一	六一	二〇四
辱死綱目 佐久間義和（洞巖）（仙臺叢書第三卷ノ内 大正一二）	一	五〇八	一三
食事の作法 松崎蕾葉 大正九	一	三八〇	七六
觸手ある都會（ゼルハレン詩集） ゼルハレン著 新城和一譯 大正九	一	三九一	一九五
食餌療法 食品學之部 佐々廉平 大正九	一	六〇	四九六
同 榮養概論及食品學之部 五版 大正一四	一	六〇	四九六 イ
食餌療養病人食物の調理法 手塚敏子 大正一三	一	六〇	七四九
食人島の曙（傳道一）（美談一） ジョン・ベートン著 大正八 山崎馨譯	一	三九二	六
食人風俗志 寺石正路 大正四	一	三三九	五八八
蜀石經校記 清・繆荃孫（古學彙刊第一編上ノ内 中華民國元）	一	六四	五五
食道鏡檢查法 久保猪之吉（消化器疾患ノ内 大正五）	一	五三	一三〇
食道疾患治療法 吉光寺錫（治療全書卷三ノ内 大正三）	一	六〇	三三五
食道樂（縮刷一） 村井弦齋 大正九	一	三八八	二七一
食道樂續編（增補註釋一） 冬の卷 村井弦齋 五版 大正元	一	一〇	二一六 二五五
食通の喜ぶ日本支那西洋珍料理 服部茂一 大正一五（家庭料理叢書ノ内）	一	五四七	一〇六
食肉衞生警察 上卷 津野慶太郎 再訂三版 明治四五	一	三三	五七五 ロ
同 合卷訂正 大正二	一	三三	五七五 ハ
同 訂四版 大正五	一	三三	五七五 ニ
續日本紀 菅野眞道等奉勅撰 大正三 四〇卷（國史大系六國史ノ内）	一	三八八	一〇八
同 再版 大正六	一	三八八	一〇八 イ
續日本後紀 藤原良房等奉勅撰（國史大系六國史ノ内 大正二）	一	三四八	一〇八
同（國史大系六國史ノ内 再版 大正七）	一	三四八	一〇八 イ
同 山崎知雄校 寫本	一	八三〇	一三
同（校定一） 立野春節校 寫本	特 一	八三一	一一
續日本後紀纂詁 邨岡良弼 明治四五 二〇卷	一	二四九	五八
續日本後紀私記 矢野玄道 寫本（明治一一）	特 二	八三〇	一八六
職人歌合 齋藤彦麿自筆 寫本 一三枚	特 一	八三〇	九三
職人繪盡 久保田米齋編 大正七	一	四一三	一〇
職人盡歌合 甘露寺親長歌詞 土佐光信畫（通俗經濟文庫卷六ノ内 大正五）	一	三五五	五三

		別	冊	函	號
職人盡繪詞	原圖 鍬形蕙齋 詞書 山東京傳等 寫本	三	一	ん	九七
嗜欲の一皿	大月隆仗 大正一四		一	五三八	九七
	S殿下の計 馮き物 スケート 駈け出し記者 夢現の境				
	菊二題 嗜欲の一皿 首縊り 江の島				
食パン新書(器械不要ノ輕便實行ノ)	食料品研究會編 大正七		一	三一	五七三
食品學圖譜	丸本彰造編 大正一五 二六頁		一	三三七	四三七
食品化學	田所哲太郎 大正七		一	三六五	一二九
同	前、後編 補三版 大正一一		二	三六五	二九イ
同	訂五版 大正一三		二	三六五	二九ロ
食品市場規則(廳府縣ノ制定)	商工省商務局編 大正一四		一	五八	一五八
食品としての牛乳	沖本佐一 大正一一		一	三九五	二八三
食品論	樺太廳編 明治四五 九一頁		一	三四四	五三
織布工場管理法	大日本紡織學會編 謄寫版 大正一〇		一	一一	四三〇
織布工女養成法	大日本紡織學會編 謄寫版 大正一〇		一	一一	四三一
植物育成の新研究	鈴木力治 大正元		一	三四四	一三四
植物妖異考	白井光太郎 大正一四		一	五四七	四八
同	上、下 大正三 (甲寅叢書第二、五編)		二	三四〇	三五
植物界之智囊	松山亮藏著 畠山久重訂 大正一五 (新國民理學叢書第一編)		一	五二〇	五四
植物學講義	河南休男 訂補 大正二		一	六三	三六イ

		別	冊	函	號
植物學講義	齋田功太郎 大正四 (新選百科全書第一三一編)		一	七	九三
植物學講義	牧野富太郎 大正二、三		七	三二五	八一
	第一卷 植物記載學 前篇 第二卷 同 後篇 第三卷 植物採集標品製作並整理貯藏法 第四卷 羊齒及種子植物ノ形態 正篇 第五卷 同 續篇 第六卷 植物自然分科檢索表 第七卷 植物分類學 卷一				
植物學講義(綱要)	市村塘 大正三		一	三四九	三九六
同	訂九版 大正一三		一	三四九	三九六イ
植物學講義(實驗觀察)	上、中卷、中卷補遺 神田悌正、神野淺治郎 大正七至一二		三	三六五	一二三
植物學棟說(宮部理學博士就職二十五年祝賀紀念)	高橋良直編 大正元		一	三三一	五九
植物學上より觀たる日光	白井光太郎(史蹟名勝天然紀念物保存協會報告第三回「日光」ノ內 大正四)		三	三三五	三三五イ
同			三	三三五	三三五ロ
植物學の研究法	畠山久重 大正一五 (新國民理學叢書第一編附錄)		一	三四四	五三〇
植物記載學	前、後篇 牧野富太郎 大正二 (植物學講義第一、二卷)		二	三一五	八一
植物化學分析法	窪美溫編 大正五		一	四七	二〇七
植物形態學汎論	田原正人 大正一五		一	五四二	一九八
植物系統學	上、下卷 池野成一郎 再版 大正三		二	三四	二八四イ
同	上卷 增訂三版 大正七		一	三四	二八四ロ
植物檢查彙報	橫濱稅關植物檢查課發行 大正一五		一	一四五	一六三
	第一號 苗木ニヨリ傳播スル病害 (辻良介)				

		別	冊	函	號
植物檢查所要覽	農商務省植物檢查所編 大正一二 五六頁		一	一四五	七四
植物採集標品製作並整理貯藏法	牧野富太郎 大正二 (植物學講義第三卷)		一	三五	八一
植物細胞及組織學講義	田原正人 大正三		一	三四二	四七三
植物雜種ニ關スル試驗	メンデル著 永井威三郎譯 大正五		一	三三七	八四七
植物自然分科檢索表	牧野富太郎 大正二 (植物學講義第六卷)		一	三一五	八一
植物實驗室(研究ノ自在ノ)	神戸伊三郎 大正一四		一	五四一	九六
植物生産原理	菊池謹彌 大正三		一	三四九	三七七
植物生態美觀	三好學 增訂改版 大正元		一	八六	二六五ロ
植物性蛋白ノ正常及免疫血淸ニ對スル生物學的反應ニ就テ	山口謹爾(臺灣總督府研究所報告第一回ノ內 明治四五)		一	四二	二八五イ
植物性電池(廢物利用ノ)附簡易實驗電氣機製作法	今西宗吉 大正八		一	三六八	七七
植物生物學	松本巍 大正一四		一	五四三	四三
植物纖維ノ形態及ヒ偏光性	小澤武(東京工業試驗所報告第一六回第二號ノ內 大正一〇)		一	四二	二一七
同			一	四二	二一七ロ
植物纖維の構造	桐生高等工業學校色染會編 (色染叢書第六ノ內 大正一一)		三	六〇	一六五
植物纖維の利用	樫本竹治 大正四 (國民教育科學叢書第二編)		一	三五	一一
植物染料應用試驗成績報告	第一、二回 高松德治郎、齋藤修 大正五、六 (東京工業試驗所報告第一回第一號、第一二回第五號)		二	一四二	二一七イ

		別	冊	函	號
植物染料綿布直接捺染試驗成績報告	加藤淺四 大正五 (東京工業試驗所報告第一一回第四號)		一	一四二	一一七イ
植物治病學汎論	逸見武雄 大正一五		一	五三七	一六七
植物と人生	科外教育叢書刊行會編 大正七 (科外教育叢書第五七)		一	三五五	八四
植物の遺傳と變異	永井威三郎 大正五		一	三五一	一四九
植物の構造と生殖	石川光春 大正五		一	三六〇	四八三
同	三版 大正一〇		一	三六〇	四八三イ
植物の心	アール・エッチ・フランス著 山川均譯 (民衆科學叢書第七編) 大正一一		一	五〇〇	四三
植物の採集と培養	金澤堂編 大正二		一	八八	三五八
植物ノ採集ト標品ノ製作整理	牧野富太郎 大正一三		一	五三	三九
植物の生活現象	(春夏の卷) 原田三夫 大正九 (通俗理科教育叢書第一編)		一	三三五	三七五
植物の文學的研究	酒井眞兄 大正二 八一六頁		一	三五〇	一三
植物病害講話	第一、二編 堀正太郎 大正五		二	三三八	二一七イ
植物病原菌分類表	堀正太郎 大正六		一	九	六七三枚イ
植物病理論文襍	川上孝一郎 大正一〇		一	三六一	一六四
植物分類學	卷一 牧野富太郎 大正三 (植物學講義第七卷)		一	三一五	八一
植物名彙	前編(漢名之部)後編(和名ノ部) 松村任三 訂九版 大正四五		二	四五	二六三イ
同	訂一〇版 大正一〇、一一		二	四五	二六三ロ
植物名鑑(圖解)	東京博物學研究會編 大正一三		一	五一六	二七一

		冊	函	號
植物油ニ關スル試驗報告	其一、二 辻本滿丸、上野誠一（東京工業試驗所報告第九回ノ內 大正四）	一	四二イ	一一七
食兵宗旨	陶山鈍翁（日本經濟叢書卷四ノ內 大正三）	三	四六	一八
同	（改訂日本經濟叢書卷四ノ內 大正一二）	四	四	三七三
食兵宗旨續錄	陶山鈍翁（日本經濟叢書卷一三ノ內 大正四）	三	四六	一八
植民及移民の見方	松岡正男 大正一五（通俗財政經濟大系第一九編）	一	五二七	六六
植民及植民政策	矢內原忠雄 大正一五	一	五三〇	二六〇
植民講座	植民活躍の地は何處 三田祐一 大正一五（新文化叢書第一編）	一	五四八	五四
植民講話	拓殖大學出版部編 大正八	一	三七六	二八
植民原論	永井柳太郎 大正一〇	一	三五二	一六六
植民國策論	平元兵吾 大正一五	一	五六一	四九
殖民政策	稻田周之助 明治四五（政治學叢書第二編）	一	三三〇	四五
同	再版 大正七	一	三三〇	四五イ
同	三版 大正七	一	三三〇	四五ロ
植民政策	オット・ケブナー著 鹽澤昌貞譯 大正二（大日本文明協會刊行書第二期第二〇編）	一	三四三	五
殖民政策	ゾルフ著 拓殖局譯 大正一一	一	三九七	三五六
殖民政策	（大正一三年度東京帝國大學講義） 矢內原忠雄 謄寫版 大正一三	一	一〇	一四 七三〇
植民政策綱要	第一分冊 河津暹 大正一二	一	五〇八	三
植民政策講義案	矢內原忠雄 大正一三	一	五三〇	八六
殖民政策下の臺灣	（弱少民族の悲哀） 山川均 大正一五 八三頁	一	五四九	二〇一
殖民政策研究	山本美越乃 大正九	一	三八二	八三
植民政策上英佛の對抗	グスターフ・ロロッフ著 時野谷常三郎譯 大正九（興亡史論第二期第一二卷史論叢錄後第七編）	一	三五五	八九
植民政策通解	稻田周之助 大正一三	一	五一三	二四三
植民政策と民族心理	東郷實 大正一四	一	五四六	二〇
殖民政策に就て	江木翼（朝鮮文化の研究ノ內 大正一二）	一	三九八	九六
殖民地要項一覽	拓殖局編 大正八	一	四一三	五六
殖民地要覽	拓殖局編 大正九	一	三八三	八四
殖民地銀行論	岡樂二 明治四五（最近經濟問題第一七卷）	一	三三〇	四
殖民地教育	幣原坦 大正元	一	二五六 二	三八
殖民地財政論	小林丑三郎 大正二	一	三三六	一三四
植民地制度論	ツエプル著 永田大三郎譯（拓殖關係資料合本ノ內 大正六）	一	三三六	二五五
植民地大鑑	東洋タイムス社編 大正五	一	三四七	四六
植民地統治論	泉哲 大正一〇	一	三五三	一四九
同	訂再版 大正一三	一	三五二	一四九イ
植民地としてのブラジル	河田嗣郎 大正三	一	三七	二七八
植民地の暗黑面	立川芳 大正二	一	三五〇	九三
殖民地便覽	大正一〇年 拓殖事務局編 大正一二（四九頁）	一	三九七	四三〇
同	大正一二年 內閣拓殖局編 大正一四	一	三九七	四三〇イ
植民地便覽	大正一三年 內閣拓殖局編 大正一五	一	三九七	四三〇ロ
植民地問題私見	山本美越乃 大正一〇	一	五〇三	二七〇
殖民統計	第二至九報 東洋拓殖株式會社編 大正元至九	七	一四、四	三九〇
植民讀本	小林活版所編 大正四	一	三三七	七六八
殖民ニ附與スル特典ニ關スル假規則	一九二一年四月二〇日發布 外務省通商局編 大正一四	一	一四七	二四〇
植民ノ目的ヲ論シテ諸國戰後ノ植民政策ニ及フ	河津暹（穗積先生還曆祝賀論文集ノ內 大正四）			三五二 七〇
植民夜話	東郷實 三版 大正一二	一	五三三	三九
同	大正一五	一	五三三	三九イ
食物	澤村眞 大正五（家事文庫第一編）	一	三五五	四三
食物彙纂	相模嘉作 增訂三版 大正三	一	九三	二七五イ
食物及榮養概論	須藤憲三 大正二	一	六〇	三三七
食物化學	澤村眞 大正六	一	三六五	七
同	增訂 大正一〇	一	三六五	七イ
同	三訂 大正一三	一	三六五	七ロ
食物化學講話	第一卷 澤村眞 大正一五	一	五六三	六七
食物化學の話	澤村眞 大正一一	一	五一三	八
食物研究百話	南拜山 再版 大正六	一	三六一	二一八
食物史	宇都宮黑龍 大正一二（文化叢書第二三編）	一	五〇五	二六
食物摘要	新井玄圭編（延寶年間）	七	二〇五	一三九
食物と榮養	古武彌四郎（婦人文化講座第一輯ノ內 大正一一）		五〇〇	五七
食物と健康	二木謙二 大正一〇	一	六一	三〇七
食物の經濟	澤村眞 大正七（食物の營養價と經濟、家庭に於ける化學の應用、歐米視察所感講演誌・荒川曉等 大正一〇）	一	三九七	一二六
食物の養生	石塚食療所發行 第一卷第一號（大正四年九月）ヨリ（缺アリ）	一	三八六	一一
食物服用之卷	（續群書類從第一九輯飲食部ノ內 大正元）		雜一九	八八
同	（續群書類從第一九輯ノ下飲食部ノ內 再版 大正一五）		八〇	三一
食養研究會講演集	同會編 大正一四 第一回 小兒の榮養に就て（唐澤光德） 偏食に就て（照內豐）		八〇	三一ロ
食養生（臨床實典一）	松本シカ、同百之助 大正三		一五二四	三七四
食養春秋	湯川玄洋 大正一四			
食養道	飯田彬編 七版 大正一一			
食養の技折	佐々木吉四郎 大正六			
食養篇	甲斐久子 大正一五（家事研究大系第一卷）			
食用蛙	飼ひ方 賣り方 料理法 大村清友 大正一五（趣味の副業叢書第四篇）			
食用蛙飼養法	蒼浦治太郎編 大正一二 五五頁			
食用蛙に關して	部坂正一 大正一四 六八頁			

		冊	函	號
食用魚類及其用途	田中茂穗 大正一五	一	五六四	二四
食用作物各論	吉川祐輝 大正一四	一	六四	八イ
食糧政策に關する諸問題	岡出幸生 大正九	一	三七三	四七七
食糧政策の見方	八木長人 大正一五（通俗財政經濟大系第一三編）	一	五二七	六六
食糧增殖奬勵資料	農商務省農務局編 大正八至一一	八	一四二イ	四六一
第一號	馬鈴薯飯ノ調理法			
第二號	馬鈴薯飯ノ調理及馬鈴薯米ノ製造方法			
第三號	籾穀ヲ燃料ニ用ウル方法			
第四號	肥料ノ改良增殖奬勵指針			
第五號	日本內地ニ於ケル主要食糧農產物需要供給ノ大勢			
第六號	主要食糧農作物ノ品種改良奬勵指針			
第七號	紫雲英ノ腐敗スル病害（菌核病）豫防奬勵ノ急務			
第八號	米穀ノ長期貯藏ニ關シ特ニ注意スベキ事項			
食糧調查資料	農商務省食糧局（後、農林省農務局）編 大正一一至一五	四	一四二イ	五二四
第一號	米穀統計（日本ノ部）			
第二號	同（世界ノ部）			
第三號	米穀管外移出數量調 大正一二年度			
第四號	米麥ノ用途別消費高調 大正一三年九月			
第五號	米穀統計 第二次（日本之部）			
第七號	主要國ノ食糧政策ニ關スル資料			
第八號	米穀管外移出數量調 大正一三年度			
第一〇號	米穀統計 第二次（世界之部）			
第一二號	米價ノ趨勢一覽 大正元年至一五年			
第一二號	米穀統計年報 大正一三年度（日本之部）			
第一三號	同 大正一四年度（日本之部）			
食糧ト營養關係調查成績	新潟縣編 大正九	一	三七八	二六
食糧と國民生活	井口丑二 大正九	一	三七三	四六六
食糧と社會	河田嗣郎 大正一〇	一	五〇二	二七一
食糧の經濟と調節	中島信虎 大正九	一	三七三	四七一
食糧評論	同社發行 第三卷第一號（大正七年一月）至第八卷第三號（大正一二年三月）	六	雜三七	一〇〇
食糧問題	石川六郎編 大正九（新時代叢書第八卷）	一	三七五	四一
同		一	三七五	四一イ
食糧問題	建部遯吾 大正一四（現代社會問題研究第六卷）	一	三七五	四九
食糧問題	渡邊鐵藏（時局講演集下卷ノ內 大正八）	二	七〇	一〇五
食糧問題解決策	矢作榮藏 大正九	一	三九三	四七三
食糧問題の解決として產兒制限の價值	杉山重義 大正一五	一	五四六	一三〇
食料	吉田弘（自然算の話第一〇編ノ內 大正一〇）	五一五		三四
食料自給問題	矢作榮藏（國產奬勵會主催比叡山講演集ノ內 大正七）	三七一		一四六
食料品市場及市場館	リヒハルト・シアハナー著 東京市建築局譯 大正一四	一	五八	一四九
食料品問題に關する調查事項	東京市役所庶務課商工掛編 大正七	一	三三六	三三九
食療法（強身原理）	小野勇次郎編 大正五	二	六〇	四三四
諸外國ニ於ケル小作制度（小作參考資料一）	第一卷 農商務省農務局編 大正一〇	一	三七八	一六八
同	第一卷 大正一三	一	三七八	一六八イ
諸外國ニ於ケル產業及經濟組合法	上、中 農商務省農務局編 大正六（農政資料第一、二）	二	三三六	二〇七
諸外國ニ於ケル產業組合狀況	農商務省農務局編 大正六（農政資料第三）	一	三三六	二〇七
諸外國ニ於ケル產業組合其ノ他ノ組合ヲ中心トスル住宅供給策	農商務省農務局編 大正一〇（產業組合參考資料第一）	一	一四二イ	五〇五

		冊	函	號
諸外國ニ於ケル產業組合中央金融機關概要	農商務省農務局編 大正一二（產業組合參考資料第五）	一	一四二イ	五〇五
諸外國ニ於ケル產業組合ニ關スル法令	上、下 農商務省農務局編（產業組合參考資料第六、七） 大正一三、一四	二	一四二イ	五〇五
諸外國ニ於ケル食料品ノ價格ト時局ノ影響 其一	農商務省農務局編 大正五	一	三五四	五七
諸外國ニ於ケル小農地設定ニ關スル法律（小作參考資料一）	第一卷 農商務省農務局編 大正一三	一	三七八	三五四
諸外國ニ於ケル農業團體ニ關スル調查	農商務省農務局編 大正一四	一	五八	二七
諸外國に於ける辯護士制度概觀	マグヌス編（司法省調查課譯 大正一五（司法資料第九五號）	一	一四五	五四
諸會社之解剖	甲編 かぶと新報社編 大正六	一	三七一	三三
書畫一斑	小杉榲邨編 寫本	特一〇	八三〇	七四
書畫光	後藤靜香 大正九	一	三六七	一六一
曙光	白木屋吳服店圖案部編 大正一三	一〇	四一八	八六
曙光	土井晩翠 大正八	一	三八八	一三
曙光の支那	附錄 支那笑話集 佐々木凡禪 大正一五	一	五三三	二五八
書畫苑	法書會發行 第一卷第一至三號（大正九年五至七月）〔「書苑」改題〕	一	雜三三	五三イ
書畫家及名工便曆	鹽見保太郎編 大正九	一	一八六	二九五
書畫鑑賞談	井上力之助 大正五	三	一〇九	二三四
書畫鑑賞の栞	山本元編 大正一一	一	一	五九七
書畫鑑定指針（眞僞評價）	木挽町狩野系、華山及系統、椿山及系統、草雲及文晁系、文晁及直系 吉岡班嶺編 大正一五	一	一〇五	九六
書畫鑑定法	平渡緒川編 大正五	二	三五六	二三八
書畫鑑定必携儒家小誌	渡俊治編 大正一一	一	三七四	八七
書畫過眼錄	新見正路自筆稿本 寫本	特二	八三七	八九
書畫研究法	草法 前田圓 大正四	一	二四〇	四九
書畫五拾三驛	曉齋等畫	一	二三四	一〇〇
書畫五十三驛	附 江戶自慢三十六興、芳虎等畫	一	別七	五〇七
書畫骨董あきめくら	足立欽一 大正九	一	三八六	一九九
書畫骨董鑑賞及鑑定の仕方	今泉雄作 大正九	一	三八六	二四三
書畫骨董建築裝飾是丈は心得おくべし	加藤美喬 大正八（實用叢書第六編）	一	三七五	二六
書畫骨董雜誌	同社發行 第六七號（大正三年一月）ヨリ		雜三三	一〇〇
書畫骨董叢書	同刊行會發行 大正九至一一			
第一卷	日本畫の知識及鑑定法（今泉雄作）	九	三九九	一
第二卷	西洋畫及支那畫（中村不折）			
第三卷	現代の繪畫及彫刻（書畫骨董叢書刊行會編）			
第五卷	書道及書蹟（犬養木堂、黑木欽堂）			
第六卷	書道實習法（田口米舫）			
第八卷	也軒翁骨董談（今泉雄作）			
	骨董の知識及鑑定法（同）			
第九卷	茶道茶器及陶磁器（高橋箒庵、今泉雄作）			
第一〇卷	工藝美術及室內裝飾（岡田三郎助）			
第一一卷	和洋建築及彫刻（朝倉文夫）			
書畫骨董に關する雜話	市島謙吉（美術講話集第一輯ノ內 大正一五）	五六四		一八三

書畫大觀　乾坤　附　解說　乾坤　同刊行會編　大正五、六　特　五〇　四一　二四
同　坤　附　解說　乾　大正六　特　三〇　四一　二四イ
書畫道　山雨樓主人　大正一五　一　五五六　四七
書畫珍本雜誌　同社發行　第三號（大正九年七月）ヨリ　雜　三三　一〇三
書畫帖　淺井庄次郎編　大正三　一　三五〇　四九八
書畫篆刻展覽會出品圖錄　好古印社編　大正六　一〇　三　一三八　二〇四
書畫と骨董の鑑定法　山本春雄　大正一〇　一　三九六　八四
同　大正一三　一　三九六　八四イ
書畫賣買の手引　島內登志衞編　大正一一　一　三七四　九一
書畫贋物語　湯淺半月（吉郎）　大正八　一　三八六　四八
書畫寶典（損害一豫防一）　笑花山人　大正九　一　三七三　四九一
書畫筆意鏡　其一　東洋美術株式會社編　明治四五　一〇　一　四一八　一三
書畫百詠　卷二、三　菊池三九郎　大正六、一〇　二　三四六　一三五
書畫文人弄筆便益　楠瀨恂（日年）編　大正一五　一　五四七　二一一
書畫別號集覽（標一註一）　並續編、附錄　近古藝苑名數　杉原夷山　大正四　一〇　一八六　一五六
書畫別號大觀　齋藤政德、田谷弘吉　大正四　一　七一　四八〇
諸火藥製造秘法　寫本　一〇　一一　三〇三
書畫落款式　氷壺軒主人　大正三　一　三七　三八四
諸官省用達商人名鑑　第二回　大正二　前編　山口晉一編　一　九四　六九六

叙勳　モウパッサン著　平野威馬雄譯（モウパッサン全集第一二卷ノ內　大正一二）　三　五〇　四一
同　（モオパッサン選集ノ內　大正九）　三九六　三五
諸家　「ショカ」ヲモ見ヨ
諸藝小鏡　彈松軒閑窓（國書刊行會本雜藝叢書第二ノ內　大正四）　三三〇　四九ち
叙景文（作法一作例一）　大町桂月等編　大正五（新式作文大成第七編）　一　三五三　二
叙景文作法及文範　生田長江　大正九（新文章作法文範叢書第二編）　一　三七五　一八
叙景文練習法　金子薰園　大正五（文藝練習法叢書第五編）　一　三二九　一七八
諸契約と證書の書き方　附　借家借地法通解　湯川忠一　大正一三　一　五三三　八三
諸教要義略辨　普寂撰（大日本佛教全書第三冊ノ內　大正三）　三五三　一〇
諸教決定名義論　慈氏造　宋、施護譯（大正新脩大藏經第三二卷論集部ノ內　大正一四）　特　四四　三七四
同　八六　三九一
諸家御手傳年表　寫本　一〇　一六六　二九二
諸家奇方集　寫本　一〇　一二　三二四
諸家記錄文書　（天草郡史料第二輯ノ內　大正三）　三四八　二〇〇
諸家會席記　寫本（茶道叢書第二二四至二三〇冊）　七〇　八三三　一六五
諸家軍配記（近世正說一）　卷一至八　洛九二軒主人　享保三　特　八〇　乙京　四〇三
諸家教相同異集　圓珍撰（大日本佛教全書第二四冊ノ內　大正二）　三五三　一〇

諸家教相同異略集　圓珍撰（大日本佛教全書第二六冊ノ內　大正六）　三五三　一〇
諸家參會記　（續群書類從第二四輯ノ下武家部ノ內　大正一四）　八〇　三二
同　八〇　三二イ
諸家悉曇　行智編　寫本　一〇　二〇　八三一　三七
諸家珍藏稀書解題　稀書複製會編　大正八　一　三七三　二四
書訣　日下部鳴鶴著　池田常太郎編　大正六　一　三七〇　一五
諸家百泉撰譜　寫本（榮壽堂錢譜第四冊）　特　一〇　一二四　二三四
諸家名器集　寫本（茶道叢書第一六一至一六六、一七一冊）　二〇　八三三　一一五
怨軒遺稿　信夫粲　大正七　一　二九四　一二三
怨軒義士の眞相　信夫粲著　同淳平編　大正一〇　一　二九四　一二三
諸國行脚名物津久誌　松本久吉編　大正一一　一　二九四　二一九
同　再版　大正一一　一　二九四　二一九イ
諸國繪馬集　西澤笛畝編　大正七　帖　二　一〇九　二四三
諸國御關所覺書　寫本　一〇　一〇　八一　三九一
諸國お伽競へ　松浦政泰譯註　大正五　一　三三三　一八六
諸國鍛冶系圖　（續群書類從第三三輯ノ上雜部ノ內　大正一五）　八〇　三三一
同　八〇　三三一イ
諸國鍛冶寄　（續群書類從第三三輯ノ上雜部ノ內　大正一五）　八〇　三三一
同　八〇　三三一イ

諸國關劃考　速水行道　寫本（行道稿本第四冊）　一〇　八三六　二五
諸國古傳秘法　衣關順庵　寫本　文化一四　一〇　一六三　一〇四
諸國舍號　廣瀨尹壽編（手島堵庵舍中ノ諸國定席ノ舍號ヲ輯錄セルモノ）　一〇　一八九　三五一
諸國心中女　五卷（國書刊行會本德川文藝類聚第一事實小說ノ內　大正三）　三三〇　四九ろ
諸國陶器集說　附　七寶燒　寫本　特　一〇　八三〇　四〇
諸國人數　寫本（天保五年ノ調査）　一〇　一二一　二九四
諸國年中行事　操巵子　四卷（國書刊行會本民間風俗年中行事ノ內　大正五）　一〇　三三〇　五〇に
諸國年中行事圖會　速水恒章（春曉齋）　大正一一　一〇　一四六　二七八
諸國ノ刑法草案　マッゲル著　司法省調査課譯　大正一四（司法資料第六九號）　一〇　一四五　五四
諸國拜見日和下駄　吉野臥城編　大正九　一　二八四　二一七
諸國羽子板　清水晴風畫　大正一一　一〇　一六〇　九八
諸國羽子板集　清水晴風寫　寫本　二二枚　別　一〇　京　三六八
諸國はなし　井原西鶴著　幸田露伴校　四卷（西鶴文集ノ內　大正二）　帖　二　一〇九　二四三
諸國碑銘文　寫本　一〇　一〇三　二一一
諸國漫遊最明寺時賴　無漏道人編　大正三　五七八頁　一　三三八　三〇三
諸國湊圖　寫本　帖　三　二七　一七〇
諸國六玉川　廣重畫　六枚　別　一　ゑ　二八
諸國名橋奇覽　（かめるど天神たいこばし）　北齋畫　枚　一　ぬ　三三
諸國名勝志　齋藤是一撰　寫本　別　一　二　三
四　八三〇　二一六

諸國名所書譜　初編　英泉畫　天保一四　冊一〇　函一三　號二七

諸國名所古寺略緣起　小杉楹邨編　特二〇　八三〇　九一

諸國名所百景　廣重畫　六五枚　別一帖　ゑ　二五八

諸國名所百景奥州松ヶ濱　廣重畫　別一枚　別七　一七三

諸國名所百景伊勢宮川の渡し場　廣重畫　別一枚　別七　一六九

諸國物語　朝日新聞社編　大正一三　一　五三九　六一

諸國物語　森鷗外譯　大正四　(泰西名著文庫ノ内)　一　三四五　ほ一二

尼（キイド）　薔薇（キイド）
クサンチス（サマン）　橋の下（ブテエ）
田舍（ブレヲオ）　復讐（レニエエ）
不可說（レニエエ）　猿（クラルテエ）
一疋の犬が二疋になる話　聖ニコラウスの夜
（ベルジエエ）　（モンニエエ）
防火栓（ヒルシュフェルド）　己の葬（エエルス）
刺絡（ストロオブル）　アンドレアス・タアマイエル
正體（フオルミヨルレル）　が遺書（シュニッツレル）
老人（リルケ）　祭日（リルケ）
破落戸の昇天（モルナル）　騙落（リルケ）
最後の午後（モルナル）　辻馬車（モルナル）
バアテル・セルギウス　襟（ゴオモッフ）
（レオ・トルストイ）
鰡（ドストエウスキイ）　樺太脫獄記（コロレンコ）
板ばさみ（チリコフ）　センツアマニ（ゴルキイ）
死（アルチバシエッフ）　笑（アルチバシエッフ）
馬丁（アレクセイ・トルストイ）　フロルスと賊と（クスミン）
病院横町の殺人犯（ボオ）　うづしほ（ボオ）
十三時（ボオ）

諸國俚諺傑作集　湯朝竹山人編　大正四　一　三三八　一四九　イ

渚滑村發展現勢圖　三田佐五郎製　大正一一　四・三×二・四　一枚　八九　二八七

ジョコンダ　ダヌンチオ著　鷲尾浩譯　(ダヌンチオ全集第一卷ノ内　大正一〇)　五〇〇　三

初齋遺稿　海浦篤彌　大正一四　一　五四四　二

書齋獨語　第二　山路愛山　大正二　冊一　函三五〇　號五一

書齋より街頭に　田中王堂　三版　明治四四　一　三四三　四一

同　五版　大正元　一　三四二　四一イ

書齋より社會へ　春日賢一　大正一五　一　五四六　二一三

書齋より田園へ　横井時敬　(横井博士全集第八卷ノ内　大正一四)　五三〇　三

同　特　五三〇　三イ

書窓事窓　加藤咄堂　大正二　(大正文庫第九編)　一　三五〇　五九

所作事淨瑠璃集　河竹默阿彌　大正一五　(默阿彌全集第二〇卷)　一　五三七　四三

所作事淨瑠璃の卷　河竹默阿彌　大正一一　(默阿彌脚本集第二五卷)　一　三九〇　二

助産婦學講義　上、下卷　鬼頭英　大正一四　二　五六　二一四

助産婦に必要なる法規註解　佃貞寬　大正一四　一　五六〇　二二六

諸寺異說彈妄　先啓　(眞宗全書第三三卷ノ内　大正二)　三四六　七

諸宗經疏目錄　源空撰　(大日本佛教全書第一册ノ内　大正二)　三五三　一〇

諸宗教理同異釋　賴瑜撰　(大日本佛教全書第三册ノ内　大正三)　三五三　一〇

諸宗御條目控　寫本　(可睡齋藏本)　二〇　一八一　三五八

諸宗章疏錄　謙順撰　三卷　三五三　一〇

(大日本佛教全書第一册ノ内　大正二)

諸宗評判記　三卷　(國書刊行會本德川文藝類聚第一二評　三三〇　四九　ろ

判記ノ内　大正三)

同　鷲尾順敬等註　五九　六七

(國文東方佛教叢書第九卷文藝部上ノ内　大正一五)

諸寺緣起集　淸簡輯　(大日本佛教全書第一一八册ノ内　大正二)　三五三　一〇

助字考證（新刊）　伊藤東涯編　同東所補解　寬延四　特二〇　ほ　七三

書式插入地主借地人の顧問　吉田敬三　大正元　一　六八　五九九

書式詳說訴訟の顧問　金子龜次郎、藤苗代　明治四五　一　六八　五八五

書式總攬　第一、三、五輯　中村秀雄等編　大正一三、一四　三　五三〇　六三

諸寺供養部類　(續群書類從第二六輯ノ下釋家部ノ内　大正一四)　八〇　三一

同　八〇　三一イ

叙事詩人ホーマア　ストロング著　佐藤淸譯　(宗教と文藝叢書第三編)　大正九　一　三五五　九二

庶子私生子の知識　小林峰次　(實用法律叢書第三編)　大正一二　一　五二五　二九

諸司四分配當圖　中村靜之編　(大澤本)　寫本　特一〇　八三〇　一五六

諸寺社御朱印御條目類　大河內輝和編　寫本　特四〇　け　二九

諸司職掌　(續群書類從第一〇輯ノ上官職部ノ内　再版　八〇　三二ロ

大正一五)

諸子神髓　長島萬里　大正四　一　三六〇　一八五

諸師製作目錄　(大日本佛教全書第二册ノ内　大正三)　三五三　一〇

書史千字文　陸島立誠撰　明和四　(杉原本)　一〇　八三一　八〇

諸集　(大日本佛教全書第一二三册ノ内　大正一一)　三五三

叙事文（作法）　久保天隨等　大正三　一　三三五　二

（作例）　(新式作文大成第三編)

敍事文の作り方　附　作例評釋と修辭　藤森政次郎　大正一一　一　五〇六　一九一

助辭本義一覽　橘守部　(國書刊行會本橘守部全集第　三三〇　五八

一二卷ノ内　大正一一)

諸將遺辭　寫本　八枚　一〇　一二四　二四二

助字考證　伊藤東涯編　同東所補解　寬延四　冊二〇　函七三

助正釋問　僧敬　(眞宗全書續編第二五卷ノ内　大正四)　三四六　七

助正釋問酬讀　僧敬　(眞宗全書續編第二五卷ノ内　大正四)　三四六　七

助正箋　道命　(眞宗全書續編第二五卷ノ内　大正四)　三四六　七

助正芟柞　僧叡　(眞宗全書續編第二五卷ノ内　大正四)　三四六　七

諸上善人詠　道祐　(續淨土宗全書第一六ノ内　大正一五)　三三四　六三

叙日本大震災史　田中貢太郎、高山辰三　大正一三　一　五二六　四八

六五〇頁

叙情文（作法）　武島羽衣等　大正四　一　三五三　二

（作例）　(新式作文大成第四編)

諸社禁忌　(續群書類從第三輯ノ下神祇部ノ内　再版　八〇　三一ロ

大正一四)

書寫山舊記　(大日本佛教全書第一一七册ノ内　大正二)　三五三　一〇

書寫請來法門等目錄　宗叡撰　(大日本佛教全書第二册　三五三　一〇

ノ内　大正三)

書寫用「インキ」試驗成績　服部武彦、田崎佐市　(臺灣總督府研究所報告第　一四一イ　二八五

一回ノ内　明治四五)

叙述と迷信　野上俊夫　大正元　一　三四三　二七七

黍稷稻粱辨　龜田鵬齋　(日本經濟叢書卷一九ノ内　大正四)　三四六　一八

諸職賃銀表並紙直段書上　寫本　(明治二年頃ノ賃銀幷　五〇　一八九　三七三

ニ直段書ナリ)

諸職模様雛形　菊池勇　大正二　二〇　六七　三四三

(題箋ニ「和洋建具模様雛形」トアリ)

諸寺略記　(續群書類從第二六輯ノ下釋家部ノ内　八〇　三一

大正一四)

同　八〇　三一イ

初心要義鈔　日輝著　鷲尾順敬等註　(國文東方佛教叢書　一〇　一八一　三五三

第一卷宗義部ノ内　大正一五)　五三九　六七

初心暗誦要文　光映編　(萬延頃)

初心集　寫本（茶道叢書第一二一至一二九册）　冊　函　號
初心示六端　良山（續淨土宗全書第一四ノ內　大正一三）　八〇　八三　八四
初心詰將棋講義　土居市太郎編　大正七　三三四　六三
獨習書信文作法　久保天隨　再版　明治四三　二　一八六　二三三
諸神本懷集講義　義譲　三卷（眞宗全書第三一卷ノ內　大正三）　一　九五　五一イ
諸神本懷集講義　義順（眞宗大系第二〇ノ內　大正八）　三四六　七
如水會館（寫眞集）　洪洋社發行　再版　大正八　三六九　一五
如水集　綱德治編　大正八〔松井承珠古稀ノ賀詞及同人ノ吟詠、記行文等ヲ輯ム〕　一　三五九　六〇
如水帖　第一　島田登喜男編　大正九　一　一五九　一三五
處世要訣人心觀破法　一名「讀心術讀顏術と骨相學」　無々庵子　大正一三　一　一三五　一三
同　八版　大正一三　一　一五三　一三イ
處世應用栞根譚講話　加藤咄堂　大正四　一　一五六　五五
處世應用孫子講話　上、中、下編　塚原澁柿園　大正三、五　三　三八　一六一
同　上、中編　大正四　二　三八　一六一イ
處世講話　足立栗園（教訓叢書ノ內）　大正四　一　三五五　一九ろ
處世講話　加藤咄堂　大正二　一　三四三　三四二
同（增補一）　大正四（縮刷名著叢書第一三編）　一　三七　三七六
處世の講話　處世の中と修養　朝倉孝海（修養叢書ノ內）　大正五　一　三五五　五一は
處世學　渡部萬藏　大正一一　一四頁　一　二　五五六

處世活法　一名成業百科辭典　藤井秀五郎（巨石）編　大正一五　冊　函　號
處世莊子講話　笹川臨風　大正八　一　三七〇　一〇〇
處世訓　桂太郎著　田中收吉編　明治四五　一　三四四　一〇一
處世訓　澁澤榮一　大正八（柚珍名家文庫第六）　一　三一　八四九
處世訓餅　和田垣謙三　大正六　一　二五　八六九イ
處世教科書知らぬと損　樋口龍陽　大正九　一　三八七　一〇八
處世根底佛教講話　先づ爾に與へん　佐々木珍龍　大正一〇　一　三九二　一七九
處世修養青年の道　木村荻村　大正一〇　一　三九六　二四九
初生兒及哺乳兒ノ中耳炎　神尾友修　大正元　一　五八　四八
初生兒疾患　唐澤光德（日本小兒科叢書第一編ノ內　大正元）　五六　八七
初生兒體重統計　內務省衞生局編　大正九　一　五六　一六三
處世十訓　間宮英宗　大正一一　一　五〇三　一五五
初生兒發啼術　緒方正清　大正三　一　五六　一〇三
處世術　三輪田元道　大正四　一　三六〇　一七一
處世小訓　德富猪一郎　大正一三　一　五一〇　一〇八
處世禪（殺活自在一）　丸山小洋　大正五　一　三三五　四四七
處世哲學　ショウペンハウエル著　增富平藏譯　大正九　一　三八七　一五七
處世哲學素書解義　田尻稻次郎　大正一〇　一　三八七　三三八
處世と修養（大正講話一）　足立栗園　大正七　一　三七六　一一三

處世と修養　自己の爲めに　井上如眞　大正四　一　三六〇　三二九
處世と人生　栗津清亮　大正四　一　三六〇　九五
處世と倫理　飯塚哲英　大正一〇　一　三八七　二〇七
處世の活歷　大谷嘉兵衞著　菊池曉汀編　明治四四　一　三三五　三五三
處世の新研究（青年活學一）　本莊了一　明治四五　一　三四三　一〇六
處世の道（修養訓話一）　澁澤榮一　大正一一　六五八頁　一　三九六　二八五
處世の道　蘆川忠雄（蘆川青年叢書第三卷）　大正八　一　三一　八四二
處世之道　大內青巒　大正四　七一二頁　一　三五六　八二
處世の羅針盤　中堅國民の爲めに　弦泉社歷史研究會編　大正一四　一　五二六　一四八
處世論語　澁澤榮一　大正六　一　三六四　一七一
書籍廼煙　速水行道（行道稿本第一册）　寫本　一　一四五　一
書籍目錄につきて　和田萬吉（明治聖德記念學會紀要第一五卷ノ內　大正一〇）　一　八二六　二五
書說摘要　卷一至四　安井息軒（衡）（崇文叢書第一輯之一至四）　大正一五　四　一五四　六〇
諸說類集　木之部　寫本　一　一〇四　三五九ロ
ジョセフィン、バットラー夫人　矢島楫子　大正二　一　三五〇　一七四
ジョセフ、ヒコ　橋本政次（鄉土史話叢書ノ內）　大正六　一　三七二　二六
諸大家草稿　寫本（谷干城外一三名自筆草稿）　初代片倉兼太郎君事歷　足立栗園　大正一〇　軸一　別四　五　一　三九八　五四
徐大總統と其周圍　支沃丘仲子著　井上一葉譯　大正九　一　三八四　一八

初代豐國錦繪帖　豐國畫（文化頃）（風流役者地顏五節句、役者十二月忠臣藏十一段續）　別一帖　ゑ　一三三
書體の沿革　山田謙吉（支那研究第四、五號ノ內　大正一一、一二）　一四、五　四八
初代廣重近江八景　日本書粹社編　大正一五　一　四三一　七八
初大本經　羽溪了諦（現代意譯根本佛教聖典叢書第一卷ノ內　大正一二）　五一五　一〇四
諸大名出仕記　（續群書類從第二四輯ノ下武家部ノ內　大正一四）　八〇　三二　一〇六
同　八〇　三二イ
初對面　堀川鷺陽　大正五　一　三六〇　四一三
書道要極十字二法　小里箕水（散陸）　大正三　一　三四九　三三一
書道沿革一覽　比田井鴻　大正一五　一　四一八　九六
書道及書蹟　犬養木堂、黑木欽堂　大正一〇（書畫骨董叢書第五卷）　一　三九九　一
書道講話　玉木愛石、小野鍾山　大正三　一　三四九　三七五
書道訓　森尹祥（國書刊行會本日本書畫苑第一書部ノ內　大正三）　三三〇　四九ヘ
書道研究　同會編　大正六　一　三五六　二七九
書道實習法　田口米舫　大正一〇（書畫骨董叢書第六卷）　一　三九九　一
書道新解　上領柏畦　大正七　一　三六一　二〇四
書道の新研究　齋藤胖　大正六　一　三五六　二七〇
書道神品百碑　澁川玄耳　大正一四　一〇　四二一　四五
書道文庫　斯華會發行　大正五　一　三五五　六一

第一編　書法問答（小野鷺堂）

書卓の上　島村抱月（抱月全集第八卷ノ內　大正九）　函二七九　冊一　九一
諸檀林並精真法類　景山堯雄等編　大正七　一三四　五六七
初重指南目錄集　聖聰說　廖善記　二卷（淨土傳燈輯要卷上ノ內　大正七）　一五九　八九
恕中無慍禪師語錄　宗驢等編　六卷（大日本續藏經第六一五冊ノ內　明治四五）　二三五　二
初重和語口決之大事　聖冏撰（淨土傳燈輯要卷上ノ內　大正七）　一五九　八九
所長と所好　鎌田榮吉（十八名士の觀たる學問及職業の選擇ノ內　大正四）　三六〇　四七
處女　エンセン著　木村信兒譯（世界短篇小說大系南歐及北歐篇ノ內　大正一五）　五三〇　四五
處女　女子文壇社發行　第九年第一號（大正二年九月）至第一一年第六號（大正四年六月）「女子文壇」ノ改題）　雜六　四六
處女　ダンヌンツィオ著　田中介二譯（海外文藝叢書第七編）　大正二　一三四〇　三五
處女　中村武羅夫　大正一五　一五一七　三〇八
處女アディナとイエス　イングラハム著　門馬紫花譯　大正一二　一五〇四　一八四
處女會及其の施設經營（新時代の）　片岡重助　大正一四　二七九五　五〇
處女會及婦人會（十年間實地研究したる）　岩崎久馬吉　大正九　二七九五　二八
處女會の組織と其事業　天野藤男（地方振興叢書第三編）　大正六　三六四　三〇
處女教室　ウエルス著　中御門康親譯　大正一四　六〇　七八八
處女時代　加能作次郎　大正一〇　一五〇一　一九〇
處女地　ダンヌンツィオ著　佐藤雪夫譯（世界短篇小說大系南歐及北歐篇ノ內　大正一五）　五三〇　四五
處女地　ツルゲーニエフ著　秋葉俊彥譯（ツルゲーニエフ全集第四卷）　大正一二　一五〇〇　三〇
同　ツルゲーネフ著　相馬御風譯（西洋文藝叢書第五冊）　大正三　五六八頁　一三四五　六

處女地　ツルゲエネフ著　田中純譯　大正九　一三四　五六七
處女の戀　ツルゲーネフ著　黑田辰男譯（泰西敘事詩選第四）　大正一四　一五一六　三四
處女の頃　島成園畫　柳原白蓮著（新錦繪帖第四）　大正一〇　一三三七　二九九
處女の死　倉田百三　大正一一（藝術道場叢書第一編）　一五一五　三
同（現代戲曲全集第八卷ノ內　大正一四）　五二〇　二五
處女より主婦となる迄　山脇房子等　大正一一　一五〇三　七五
ジョッフル元帥　日佛協會編　大正一〇　二九四　一四三
ジョッフル元帥（予の知れる—遣日答禮使—）　樋口鐵太郎　大正一〇　二九四　一三七
諸鳥圖說並草木圖說　松平乘寬編　寫本　雜二　二三八
諸鳥定餌集　寫本　二〇　一〇三　一九六
敍傳マクドナルド　アイコノクラスト著　早坂二郎譯　大正一三　一五一四　二五五
初等伊太利語獨修　菊池惠次郎、石井昇三　大正九　一三三三　三六一
初等エスペラント教科書　石黑修　三六頁　一三三三　五三
初等解析學　解析幾何及微積分學　中川千之助　大正一四　一三三三　四四七
初等解析幾何學微分積分學　佐藤林藏　大正一四　一三三三　四一九
初等作圖法　エンリケス著　林鶴一譯（數學叢書第二〇編）　大正五　一四三　二八六
初等定量問題　林鶴一、中島宗治　大正九（數學叢書第二六編）　一四三　二八六
初等教育重要問題の研究　第一、二卷　島根縣女子師範學校附屬小學校編　大正四、六　二七三　二八

初等教育に關する科學的研究の進步　平田華藏（兒童教育研究會紀要第五卷ノ內　大正一三）　二七一　九一
初等工業數學講義　大澤一郎　大正八　一三八一　二五
初等工業物理學　福田爲造　大正八　四六　一九九
初等作曲法　井上武士　大正一四　一五四一　一〇三
初等作詩法　律詩　森川健藏　大正七　三一　五七三
初等作物改良論　見波定治　大正二　五八頁　二四四　二〇〇
諸等數應用問題の實驗的研究　澤源太郎（兒童教育研究會紀要第一卷ノ內　大正八）　二七一　九一
初等數學教育の根本的考察　佐藤良一郎（中等教育研究叢書第一）　大正一三　二九　五　七〇
初等數學教授に就きて　大上茂喬　大正四　二六三　四　三〇
初等中等國語教授の新潮　小谷久吉　大正七　二六三　二　一八
初冬茶話　島村抱月（抱月全集第八卷ノ內　大正九）　三七九　二
初等電氣工學　牧野賢吾　大正一〇　一三八一　一四三
初等電氣通論　電機學校編　大正七（電機學校豫科叢書第六卷）　三六九　七
同　三六九　七イ
初等電信電話　中野直信　大正一〇　三六五　一六六
同　九版　大正一三　三八五　一六六イ
初等配電法　持木勇次郎　大正一五　五五三　七六

初等方程式論　林鶴一、小野藤太　大正六（數學叢書第二二編）　一四三　二八六
初等微分積分學及び解析幾何學綱要　上、下卷　池上泰次郎、堀內平次郎　大正二　二三四一　五五
同（合本）　大正二　一四六　一九九
初等微分方程式　林鶴一、蓮池良太郎（數學叢書第二五編）　大正九　一四三　二八六
初等佛語　池田立基　大正一四　一三三三　五九八
初等葡萄牙語獨修　菊池惠次郎　大正八　一三三三　三三
初等馬來語教科書　上卷　上原訓藏編　大正一二　三八頁　一三三三　四八三
初等力學　重光蕨　大正一〇　一三四一　一五七
初等露西亞語文法　八杉貞利編　大正一五　一三三三　四一七イ
所得營業稅法はどう改つたか（舊法對照解說）　藤澤弘　大正一二　一五〇三　二六〇
所得數理　一名 利息算　森村金造　大正三　一三五一　二
同　再版　大正三　一三五一　二イ
所得稅減免と火災保險　石川文吾（復興叢書第三輯ノ內　大正一三）　五二〇　三
所得稅と會社經營　原口亮平（神戶高等商業學校）商業研究所講演集第三輯ノ內　大正一〇）　一四五　四一
所得稅に關する會計問題　東奧五郎（會計學論叢第三集ノ內　大正四）　三五六　三九
所得稅の改正が財界に及ぼす影響に就きて　矢野恒太　大正九　一三九三　一

所得税法講義　附 計算表　渡邊善藏　大正一〇　一　三五〇　四八四
所得税法詳解（實務―）（參考―）　武本宗重郎　大正八　一　三八二　六七
所得税法詳説　木村房次郎　大正三　一　六六　六一七
所得統計　汐見三郎（國勢院統計講習會講演錄ノ内）　大正一二）　一　五一八　四八
諸問屋再興調　三卷（國書刊行會本德川時代商業叢書第三ノ内）　大正三）　一　三四三　四ぬ
諸人儉約重寶記　畑銀鷲（通俗經濟文庫第二卷ノ内）　大正五）　一　三五五　五三
初年兵教育　士峰生編　大正一一　一　三一八　六八一
初年兵教育精神訓話　佐々木保次郎編　大正元　一　二九七　四五
初年兵教育參考資料　精神訓話　教育研究會編　大正五　一　三一八　三五〇
初年兵第一暦日精神訓話　鮫城生　大正二　一　三一八　二七六
初年兵之教育手段　佐藤陸一　大正一五　一　五三七　一五六
書の科學及書の教授　森島庫太　大正六　一　五〇　一七九
處方學　寫本（茶道叢書第二三一九册）〔寛政四年ヨリ文化一二年ニ至ル茶席ノ覺書ナリ〕　一〇　八三二　一七四
諸方茶之湯扣　寫本　一　六〇　三五二
處方自療寶典　富士川春也　大正三　一　五〇　一三二
處方と調劑術（ポケット―）　糸左近　大正三　五三〇　四四
處方祕箋　泉鏡花（鏡花全集第四卷ノ内　大正一五）　特三〇　京　三七一
序跋集覽　寫本　一〇　二四九　二七
書法講義　小山雲潭　大正二　一　三四三　一五二
書法三角論（能筆自在―）　諸井春畦（時三郎）　明治四五

諸病療養滋養食品詳説　井上正賀　大正三　一　二五〇　四八四
書風と書き方教授　鈴木安太郎（兒童教育研究會紀要第五卷ノ内　大正一三）　二七一　九一
諸佛要集經　西晋、竺法護譯（大正新脩大藏經第一七卷經集部四ノ内　大正一四）　特　四四　三七四
同　観無量壽經　宋、日稱等譯（大正新脩大藏經第一七卷經集部四ノ内　大正一四）　八六　三九一
庶物會要　附 庚申山道ノ記　寫本〔原岡ハ松平雪江筆ニシテ常總並ニ鎌倉附近ノ眞景ヲ寫セルモノ〕　特　四〇　や　四七
諸佛掌中要決　圓仁記（日本大藏經第四六卷ノ内　大正九）　三五三　六
諸物直段考　有澤武貞（日本經濟叢書卷五ノ内　大正三）　二四六　一八
同　（改訂日本經濟叢書第五卷ノ内　大正一一）　四四　三七三
序文義他筆鈔　第四、五卷　證空撰（西山全書第五卷ノ内　大正七）　二七九　一
同　五卷（大日本佛教全書第五、六、五七册ノ内　大正五、七）　三五三　一〇
ショペンハウエル　中西伊之助（人生論十二講ノ内　大正一四）　五三六　二八
ショペンハウエル意志と現識としての世界　下　姉崎正治譯　五版　大正九　一　三三五　七
同　上、中　上四版、中再版　明治四五　二　三三五　七イ
柔（ジョ）佛（ホール）王國の新鑛業法　石井健三郎譯　大正一一　一　三九七　三八二
諸木聞見錄　山岡伊織　寫本　一〇　一六六　二九一
諸菩薩求佛本業經　西晋、聶道眞譯（大正新脩大藏經第一〇卷華嚴部下ノ内　大正一四）　特　四四　三七四
同　初發心時　譚爾撰（大日本佛教全書第一三册ノ内　大正三）　八六　二九一
同　（日本大藏經第四二卷ノ内　大正八）　三五三　一〇
三五三　六

諸法要略抄　（續群書類從第二五輯ノ下釋家部ノ内　大正一三）　八〇　三二一イ
諸法最上王經　隋、闍那崛多譯（大正新脩大藏經第一七卷經集部四ノ内　大正一四）　特　四四　三七四
同　八六　三九一
諸法集要經　観無量壽經　宋、日稱等譯（大正新脩大藏經第一七卷經集部四ノ内　大正一四）　一〇卷　四四　三七四
同　八六　三九一
諸法無行經　姚秦、鳩摩羅什譯　二卷（大正新脩大藏經第一五卷經集部二ノ内　大正一四）　特　四四　三七四
同　八六　三九一
庶民銀行概觀　大藏省銀行局編　大正六　一　三二六　二五八
庶民金融談　小林丑三郎　大正三　一　三五二　四
同　訂三版　大正三　一　三五二　四イ
諸名家番附帖　一　三三五　一二
諸名士の財界前途觀　第一、二號（大正八、一〇）　野村商店調査部編　二　三七三　二八一
諸名士の乃木大將觀　加藤教榮編　大正元　〔國士の觀たる乃木大將トモアリ〕　一　三四八　一三
署名の話　鬼武義彦　大正一三　三三頁　一　三九三　六七五
書物問屋名前帳　寫本　嘉永六　一〇　一六五　一三一
書物往來　從吾所好社發行　第一號（大正一三年五月）ヨリ　雜　一四　一八
書物往來叢書　石川巖編　大正一四、一五　二　一七三　六三
第一輯　演劇篇　野郎蟲　垣下徒然草　剝野老　野老三座詫

		冊	函	號
	第三輯　歌謠篇　花哇一夕話（梅暮里谷峩） 青陽唱話（後狽子） 手毬謌國字解（潘青虬） 歌系圖（流石庵羽積）		○七	二〇五　一三八
諸役人系圖	寫本（舊德川幕府役人系圖ナリ）		○	二〇五　一三八
初夜權	二階堂招久　大正一五			五四六　一五四
諸由緒	（國書刊行會本史籍雜纂第三ノ內　明治四四）			四一　二九イ
所欲致患經	西晉、竺法護譯（大正新脩大藏經第一七卷經集部四ノ內　大正一四）	特		四四　三七四
同				八六　三九一
諸羅縣誌	（臺灣全誌第二卷ノ內　大正一一）			五〇八　六
如蘭社話	卷四六至五〇、後編卷一至二〇　同社發行 明治四五至大正五		○	一〇八　一〇九
諸流生花初心早學	橫田松翠編　大正三			六七　三六三
諸流花道と茶道	中澤理水　大正五		○	三七一　二四
諸流茶人系圖	寫本（茶道叢書第四五冊）		○	八三三　三八
諸流生花飾方圖解	附　投入花法　杉本文太郎　明治四五		○	六七　三三一
諸流生花獨習	古松齋主人（芦原惠一）　明治二八		○	一八六　一四八
秘傳	アルツイバアシエフ著　中村白葉譯 （世界短篇小說大系露西亞篇下ノ內　大正一四）			五二〇　四五
死よりも強し	（國書刊行會本丹鶴叢書故實ノ內　大正三）			三四三　四
諸陵雜事注文	細井知名、同知愼（勤王文庫第三編ノ內　大正一〇）			三七九　九
諸陵周垣成就記	谷森善臣（勤王文庫第三編ノ內　大正一〇）			三七九　九
諸陵徵序	モリエエル著　井上勇譯 （古典劇大系第七卷佛蘭西篇一ノ內　大正一三）			五三九　一
ジョルジユ・ダンデン				
式	白石日光利用稻作法　白石竹雄　大正一三			

		冊	函	號
杵鈴義	眞然記（日本大藏經第四七卷ノ內　大正九）		三五三	六
如露	宇野浩二（日本小說集第二集ノ內　大正一五）		五二九	五六
諸分店嵐	六卷（國書刊行會本江戶時代文藝資料第四ノ內 大正五）		三三〇	五〇ハ
ジョン・アール・モット	彼の傳記と彼の講演　東京學生基督教青年會聯盟編　大正一五			五二四　四五三 八三頁
ジョン・ガブリエル・ボルクマン	イブセン著　秋田雨雀譯（イブセン全集第八卷ノ內　大正一一）			五〇〇　四〇
同	イブセン著　楠山正雄譯（近代劇大系第三卷北歐篇三ノ內　大正一三）			五一五　二六
同	イブセン著　森鷗外譯（鷗外全集第一四卷ノ內　大正一二）			五一五　二六イ
同		特		五二〇　一
				六七　三六三
同				五二〇　一イ
John Galsworthy	澤村寅二郎（英文學研究第五册ノ內　大正一三）			三九〇　二四
同				三九〇　二四イ
ションの囚人	バイロン著　磯谷正雄譯註　大正一四			五一六　三七七
ジョン・ハリファックス	マロック著　中村千代子譯 （家庭文學名著選第四卷）　大正一二　九五七頁			五一五　七五
同（理想の青年）	マロック著　山崎直三譯　大正一二　七三六頁			三三八　二四三
ジョンブル氣質（冒險奇譚）	ベルヌ著　安東鶴城譯　大正二			三三八　一七八
シラ美學論集	上卷（哲學古典叢書第二）　シラー著　大庭米治郎譯　大正一四			五二〇　二〇
白石日光利用稻作法	白石竹雄　大正一三			五〇七　一六八

白石正一郎日記　（雜新日乘纂輯第一ノ內　大正一四）　六四　二三三

白糸と主水　大村嘉代子（ぶたば集第四卷ノ內　大正一〇）　三九六　三

自來也　岡本綺堂（綺堂戲曲集第四卷ノ內　大正一四）　五二七　一六

兒雷也豪傑譚話　河竹默阿彌（默阿彌全集第二一卷ノ內　大正一五）　五二七　四三

白魚河岸　他八編　伊原青々園　大正一三　一　五二二　二四

次郎島（家庭小說）　渡邊霞亭　大正元　一　九九　八一イ

白老コタンのアイヌの生活　（活動寫眞）
八田三郎（財團法人啓明會講演集第一八回ノ內　大正一五）　一四、五　三〇

尸羅敲髓章　英泉撰（日本大藏經第一五卷ノ內　大正五）　三五三　六

白樫（歌集）　音馬寛、寺澤亮（攝津短歌會叢書ノ內）　一　五一五　一一三

しらかしノ挿木造林試驗
柳田由藏（「農商務省」林業試驗彙報第一四號ノ內
大正一三）　一四、二　一二五ロ

しらがしぶなくりノ單木幹材積計算補助表並
材積表　寺崎渡（「農商務省」林業試驗報告第一〇號ノ內
大正二）　一四、二　一二五

白樺　同社發行　第九年一月號（大正七年一月）ヨリ　雜　四九

白河院御影　附　足利義晴等　寫本　特一軸　八三三　二八九

白河記行　飯尾宗祇（續群書類從第一八輯ノ下紀行部ノ內
再版　大正一三）　八〇　三二ロ

白河紀行　飯尾宗祇著　佐々醒雪、巖谷小波校（俳諧叢書第六册俳人逸話紀行集ノ內　大正四）　三四五　四

白樺脚本集　白樺同人　大正八　一　三七七　二〇九

老船長の幻覺　（有島武郎）

家鴨の出世　（大養健）
清盛と常盤　（近藤經一）
或る日の事　（武者小路實篤）
明るい部屋　（長與善郎）
家出の前後　（千家元麿）

白川家吉田家神職配下之儀ニ付一件　寫本　一　一八九　三六〇

白河侯戒諭　寫本（齋藤拙堂自筆跋文アリ）　特一〇　八三一　一〇七

白樺十周年記念集　小泉鐵編　大正九　一　三二九　二九八

白樺の園　白樺同人　大正八　一　三七七　一六六

白樺の林　白樺同人　大正八　一　三九一　二九

白樺の森　白樺同人　大正七　一　三七七　五一

白河風土記　白河濟編　大正元　二〇　二九九　九三

白河文庫全書分類目錄　片山成器編　寫本　二〇　二〇五　一六五

白河樂翁百話　三宅猛六編（教訓叢書ノ內）　大正六　一　三四〇　二八

新羅織ニ就テ　井野勇太郎、白石金八（朝鮮總督府中央試驗所報告第一回ノ內　大正四）　一四、二　三六三イ

新羅語と慶尙北道方言　小倉進平（「農商務省」林業試驗報告第一〇號ノ內
大正二三）　一四、五　一〇四

新羅史　福田芳之助　大正二　一　三四八　六一

新羅社服忌令　（續群書類從第三輯ノ下神祇部ノ內　再版
大正一四）　八〇　三二一ロ

刺絡　シュトローブル著　森鷗外譯（鷗外全集第一六卷ノ內　大正一三）　特　五二〇　一

同　（泰西名著文庫諸國物語ノ內　大正四）　五二〇　一イ

同　泉鏡花（鏡花全集第八卷ノ內　大正一四）　三四五　二ほ

白鷺　泉鏡花　（鏡花全集第八卷ノ內　大正一四）　三四五　四四

		冊	函	號
白鷺洲	卷一至四 木村探元(時員) 大正九、一〇 (藝苑叢書ノ內)	二〇	一九	四一五
「しらす」「うしはく」二語の表明せる根本精神を把拄せよ	筧克彥 (明治聖德記念學會紀要第一三卷ノ內 大正九)		一四、五	一
「シラス」鰻運搬試驗	川村久治郎 (水產講習所試驗報告第一一卷第四册ノ內 大正五)		一四、三 イ	四五七 イ
白杉北山丸太栽培法	日下部大助 再版 大正六	一	八一	二五九 イ
「しらす」と「うしはく」てふ言葉の異同に關する研究に就きて	加藤玄智 (明治聖德記念學會紀要第一三卷ノ內 大正九)		一四、五	一
「しらす」と「うしはく」てふ語の異同に關する研究	加藤玄智 (明治聖德記念學會紀要第一二卷ノ內 大正八)		一四、五	一
「しらす」と「うしはく」に對する本居一派の態度	星野日子四郎 (明治聖德記念學會紀要第一五卷ノ內 大正一〇)		一四、五	一
「しらす」と「うしはく」の語義	三矢重松 (明治聖德記念學會紀要第一三卷ノ內 大正九)		一四、五	一
「しらす」と「うしはく」の對立双用上の意義	山本信哉 (明治聖德記念學會紀要第一三卷ノ內 大正九)		一四、五	一
知らずに納めてる稅金	加藤美命 (納稅ノ知識) 大正一二 (ゼントルマン叢書第六編)		一五、五	二
「しらす」の研究と「よさす」の辭義	田中治五平 (明治聖德記念學會紀要第一三卷ノ內 大正九)		一四、五	一
白地引受に就いて	鳥賀陽然良 大正一三 (神戸高等商業學校)商業研究所講演集第一三輯)		一四、五	四一
白鳥省吾童謠集黃金のたんぽぽ	白鳥省吾 大正一五		一五、七	三一六
白鳥博士東洋史論叢	池內宏編 大正一四	一	五三四	一四九
還曆記念				
知らぬと損(處世—敎科書—)	樋口麗陽 大正九		一三八七	一〇八
知らぬと恥(常識—敎科書—)	樋口麗陽 大正八		一三七	五四
不知火	長田幹彥 大正七		二三七	一〇九
同 二六版	大正一四		一三七七	一〇九 イ
白ぬひ譚	寫本 (松島松作芝居臺帳第四三ノ內)		八二四	二
志らぬひ譚	河竹默阿彌 (默阿彌全集第一卷ノ內 大正一三)		五二七	四三
知らねばならぬ電氣の働き	上卷 井上讓吉 大正一三		一五一三	三二六
同 上、下卷	上再版、下三版 大正一三		二五一三	三二六 イ
シラノ・ド・ベルジュラック	ロスタン著 楠山正雄譯 (近代劇選集第二卷ノ內 大正一〇)		三八九	三〇
同	(近代劇大系第一一卷佛及南歐篇二ノ內 大正一二)		五二五	二六
同	(近代劇大系第一一卷佛及南歐篇二ノ內 大正一四)		五二五	二六 イ
同	大正一一 (泰西戲曲選集第五編)		一三八九	八三
同	ロスタン著 辰野隆、鈴木信太郎譯 大正一一		一五一七	五八
白旗か赤旗か	(日本戰記—源平篇—) 織田小三郎 大正一一 七三六頁		一五〇六	二三
白旗式狀	聖問撰 (淨土傳燈輯要卷上ノ內 大正七)		一五九	八九
白羽箭	泉鏡花 (鏡花全集第五卷ノ內 大正一五)		五二〇	四四
同			五二〇	四四 イ
調高矣洋紘一曲	カルデロン著 森鷗外譯 (鷗外全集第一二卷ノ內 大正一二)		五二〇	一

		冊	函	號
調高矣洋紘一曲	カルデロン著 森鷗外譯 (鷗外全集第一二卷ノ內 大正一二)	特	五二〇	イ一
同		特	五二〇	ロ一
白眞弓	石田羊一郎編 大正二		一三四四	二四六
白山比咩神社略誌	齋藤英夫編 大正一一 二一頁		一三九三	三六八
知られざる傑作	バルザック著 水野亮譯 (バルザック小說集ノ內 大正一三)		五二三	一五七
知られざる傑作	および其の他の評論 岡田哲藏 大正一一		一五〇六	二一四
知られぬ日本の面影	小泉八雲著 落合貞三郎等譯 大正一五 (小泉八雲全集第三卷)		一五五五	一五
同			一五五五	一五 イ
絲亂記	附 白絲劑符由緒書 高石某 七卷、附錄一卷 (國書刊行會本德川時代商業叢書第一ノ內 大正二)		三四三	四 ぬ
尻掛浦鰯漁一件、金谷村鰯漁一件、諸濱方出買一件	寫本 (魚問屋御留書第三冊)			一〇
自力と他力	脇田堯惇 (日蓮鑽仰天晴會講演錄第三輯ノ內 大正四)		一八九	三三二
尸利堀長者經	泉芳璟譯 (現代意譯根本佛敎聖典叢書第五卷ノ內 大正一三)		三三四	一六五
柴栗山手簡	小宮山昌秀編 寫本		五一五	一〇四
自律主義の敎育	フリードリツヒ・ウイルヘルム・フエルスター著 村上瑚磨雄譯 大正一三		三三五	三七三
詩律初學抄	梅堂雲洞 (日本詩話叢書第三卷ノ內 大正一〇)		一	二五三
詩律兆	中井竹山 一一卷 (日本詩話叢書第一〇卷ノ內 大正一一)		一	二五四
詩律	赤澤一堂 (日本詩話叢書第四卷ノ內 大正九)		三三五	三七三
市立尾道圖書館一覽	大正一三年二月現在 大正一三 二〇頁 同館編		二七八	八五
柴栗山手簡	小宮山昌秀編 寫本		一〇四	三四三
自律主義の敎育	フリードリツヒ・ウイルヘルム・フエルスター著 村上瑚磨雄譯 大正一三		一	二五三
詩律初學抄	梅堂雲洞 (日本詩話叢書第三卷ノ內 大正一〇)		一	二五四
詩律兆	中井竹山 一一卷 (日本詩話叢書第一〇卷ノ內 大正一一)		三三五	三七三

シラヘ—シルレ

		冊	函	號
自立獨行の活敎訓自己の鞭撻	加藤栗泉 大正六	一	三七六	一七
市立名古屋圖書館講演集	同館發行 大正一三、一五 第一回 讀書場としての圖書館 (和田萬吉) 都市と圖書館 (今井貫一) 第四回 法律書としての舊約全書 (穗積重遠)	二	二七八	八一
自立の青年(修養—講話—)	大日本國民中學會編 大正三	一	三三九	四九三
私立明治專門學校史	同校編 大正一一	一	二九二	七三
尻屋岬圖幅(地形詳圖—)	地質調査所製 大正二 一・三×一・八	一 枚	一三	五〇一
尻屋岬圖幅地質說明書	地質調査所編 大正五	一	一三	一七五
死力を竭す	原田指月 大正一〇	一	三九四	四七
史林	寶文館發行 第一卷第一號(大正五年一月)ヨリ (缺アリ)		雜一九	二四
辭林	金澤庄三郎編 明治四四	一	三一	三一九 ニ
詞林意行集	宮川一梁編 元祿三	一	三一	二七三
詞林采要抄	由阿 一〇卷 (國文註釋全書第五編ノ內 大正二)		六三	八五 イ
士林產ノ小刀ニ就テ	村井八郎 (臺灣總督府中央研究所工業部報告第一號ノ內 大正一一)		一四二 イ	二八五 イ
シルヴエストル・ボナール博士の罪	フランス著 川崎備覺譯 大正一一	一	五〇六	一四八
シルケット製造に於ける狀態變化に就て	桐生高等工業學校色染會編 (色染叢書第四ノ內 大正九)	一	五四八	二一
シルレル	高橋健一 大正一五 (世界文學大綱第一二卷)	一	五四八	二一 イ
同		一	一九四	四〇三
シルレル詩集	シルレル著 秋元蘆風(喜久雄)譯 訂補 大正二			

シルレル物語　白鳥省吾　大正三（世界名著物語第二編）　一　三四〇　四三
士禮居藏書題跋再續記　清・黃丕烈（古學彙刊第一編上ノ內　中華民國元）　一　六四　五五
指令官　ラルフ・コノア著　山本憲美譯　大正七　一　三七七　一三六
視靈者の夢　カント著　小川義章譯（ロゴス叢書第一編）　大正一一　一　五〇五　三三
史料　宇多天皇事記　卷一、二　塙忠雄編　大正八　一〇　一八六　二四四
飼料研究成績　第一回報告　齋藤道雄（（農商務省）畜産試驗場報告第二卷第一號ノ內　大正一三）　一四二イ　四八四
飼料植物試作成績報告　明治四四年一月至大正五年一二月　臺灣總督府民政部殖產局編　大正七　一　三六八　二六
史料綜覽　卷一至三　東京帝國大學文學部史料編纂掛編　大正一三、一四、一五　三　一四九　九　特三　一四九　九イ
同　　九
史料通覽　日本史籍保存會編　大正四至七　一八　三四二　四九
い　小右記　一、二（藤原實資）　白
ろ　左經記（源經頼）　一至七（藤原宗忠）　白
は　中右記（源俊房）　白
に　水左記（源經信）　白
ほ　帥記　一至三（藤原忠親）　白
へ　山槐記　一、二（藤原兼仲）　白
と　勘仲記　一、二（平信範）　白
飼料の話　香川冬夫　大正七（子安叢書第五編）　一　三五五　二六　白
史料墨寶　一　日本史籍協會編　大正六　一〇　四二三　三三　耳
死戀　ゴオチエ著　佐々木孝丸譯（世界短篇小說大系佛蘭西篇上ノ內　大正一五）　五二〇　四五　白
試煉の坩堝　田中義一　大正一四　一　五三三　二三　素人醫學
白　リルケ著　森鷗外譯（鷗外全集第一六卷ノ內　大正一三）　一八　三四二　四九　白

白　リルケ著　森鷗外譯（鷗外全集第一六卷ノ內　大正一三）　特三　五二〇　一イ　白
（世界短篇小說大系獨逸篇ノ內　大正一五）　一　六四　五五　同
城　島村民藏（現代戲曲全集第一五卷ノ內　大正一五）　一　三七七　一三六　城
まろあらし　島村抱月（抱月全集第六卷ノ內　大正八）　一　五〇五　三三　ま
白蟻調査報告　第四至六回　臺灣總督府研究所編　大正三至六　三　三三一　一二六　白
白蟻と社殿の保護　名和靖（五縣聯合神職會講演集ノ內　大正八）　三　七二　三三　白
白蟻の一般的研究及び之が被害防除に就て　附　城島白蟻研究所案內　城島德市　大正一三　一　三九三　六九四　白
五四頁
白蟻ノ研究　第一、二回報告　矢野宗幹（（農商務省）林業試驗報告第九、一〇號ノ內　明治四四、大正二）　一四二イ　一二五　白
白蟻豫防ト木材硬化法　服部武彥（臺灣總督府研究所報告第一回ノ內　明治四五）　一四二イ　二八五　白
白い家と罪　宇野千代（新進作家叢書第四二編ノ內　大正一四）　三一　五五四　白
白い鳥　田山花袋　大正八　一　三七七　一九四　白
白い鳩をたづねて　吉田絃二郎　大正一〇　一　五〇一　三三七　白
白い蘭　ロオゼンハイン著　小酒井不木譯（世界短篇小說大系探偵家庭小說篇ノ內　大正一五）　五二〇　四五　白
耳漏及其療法　和田德次郎　明治四四（近世醫學叢書第五一編）　一　六〇　三九ロ　耳
白空木（歌集）　矢部道氣　大正一四　一　五四四　二三　白
素人醫學　血壓亢進と腦溢血豫防　板澤政治　大正一五　一　五三　三三　素人醫學
素人園藝獨案內　千葉胤一　大正五　一　二一　四四四　素人園藝

素人診斷學　糸左近　一一版　大正七　一　三五　三イ　素人診斷學
同　一三版　大正一一　五一六頁　一　三五　二ロ　同
同　一四版　大正一四　一　三五　二ハ　同
素人の診斷病氣の特徵調べ　伊藤尚賢　大正一三　一　六〇　七七　素人の診斷
素人治療學（萬病一回春）　伊藤尚賢　大正一五　一　六〇　八一七　素人治療學
素詰將棋　中村乾二　大正一一　一　三九三　三七〇　素詰將棋
素人天氣豫知法　佐々木龜藏編　大正一五　一　五四七　一四三　素人天氣豫知法
素人に玉子を孵る鶏の飼ひ方　白松新（家庭實益叢書ノ內）　大正八　一　三六九　一七ほ　素人に玉子を孵る
素人に無線電話の實驗　今井紀　大正一五　一　五四七　一〇九　素人に無線電話の實驗
素人に出來る支那料理　山田政平　大正一五　一　五四七　一一三　素人に出來る支那料理
素人に樂譜の知識　田邊尚雄　大正一二　一　五一三　一二八　素人に樂譜の知識
素人に住心地よき住宅と庭園　菊地修一郎　大正一三　一　五〇七　一七　素人に住心地よき住宅と庭園
同　大正一四　一　五〇七　一七イ　同
素人のための手藝圖案の描き方　附　應用圖案百種　藤井達吉　大正一五　一　五四〇　九三　素人のための手藝圖案の描き方
素人無線眞空球式無線電話聽取裝置の作り方　伊藤賢治　大正一三　二一頁　一　三九三　六二五　素人無線眞空球式無線電話聽取裝置の作り方
素人藥物學　糸左近　訂九版　明治四五　一　五〇　九イ　素人藥物學
素人用高級眞空球式無線聽取裝置組立法　伊藤賢治　大正一三　九六頁　一　三九三　六二八　素人用高級眞空球式無線聽取裝置組立法
素人無線電話聽取裝置の製作法　伊藤賢治　大正一三　二五頁　一　三九三　六二六　素人無線電話聽取裝置の製作法
白馬嶽登山案內（日本アルプス）　高山館編　大正八　一　三八八　七三　白馬嶽登山案內
白江野用水普通水利組合沿革誌　栖原七良兵衛　大正七　一　三七六　一三四　白江野用水普通水利組合沿革誌
白金之繪圖　泉鏡花（鏡花全集第一〇卷ノ內　大正一四）　五二〇　四四　白金之繪圖
白木　白木屋吳服店意匠部編　大正七　一〇　四二〇　四三　白木
白き石の上にて　フランス著　平林初之輔譯　大正一三（現代佛蘭西文藝叢書第四）　一　五二五　七四　白き石の上にて
白木好み　白木屋吳服店圖案課編　大正一〇　一〇　四一六　二七　白木好み
白木助產婦學　前、後編　白木正博　大正一一　二　五六　一七　白木助產婦學
同　七版　大正一四、一五　二　五六　一七イ　同
次郎吉懺悔　鈴木泉三郎（現代脚本叢書第一一編ノ內　大正一一）　五二〇　三三　次郎吉懺悔
同（現代戲曲全集第一九卷ノ內　大正一五）　五二〇　二五　同
白木手拭集　白木屋吳服店意匠部編　大正一〇　一〇　四二三　三六　白木手拭集
白木の華　白木屋吳服店圖案課編　大正八　一　四一八　六一　白木の華
白き路　尾上八郎　大正三　一　三五〇　四五〇　白き路
しろ椿（俳話小品一）　沼波瓊音　明治四五　一　三三三　三〇　しろ椿
白と青　モウパッサン著　宮島新三郎譯（モウパッサン全集第六卷ノ內　大正一〇）　三九〇　四一　白と青
白薔薇公子　大久保龍　大正一二　一　五三　六九　白薔薇公子
白葡萄　辰野隆等編　大正一四　一　五四四　二二　白葡萄
城山の月　岡本綺堂（綺堂戲曲集第六卷ノ內　大正一四）　五二七　一六　城山の月

		冊	函	號
城山パンフレット	南洲會發行　訂八版　大正一五	一	五五〇	一三九イ
西郷南洲	（南洲會編）			
史論叢錄	大類伸編　大正七	二	三五五	八九
上	（興亡史論第一、二卷）			
	メソポタミヤ政權の推移　（ウインクレル著 松本重彥譯）			
	和蘭興亡史論　（パーカー著 松宮春一郎譯）			
	西班牙の極盛と其衰因　（シモン著 常田宗七譯）			
	ポーランド衰亡史　（箕作元八）			
	近世史上の一要素たる民族主義　（ローズ著 加藤政司郎譯）			
	小國家の價値　（フイツシヤー著 畑山專太郎譯）			
	文野兩種族の接觸　（ブライス著 同譯）			
	中央歐羅巴　（ナウマン著 長瀨鳳輔譯）			
下	音樂の發達と其民族の特性　（コンバリウ、フォールクナー著 田邊尚雄譯）			
	生物の存亡と國家の盛衰　（ルーズヴェルト著 加藤政司郎譯）			
	文明と衰亡の法則　（アダムス著 松宮春一郎譯）			
	現代に於ける帝國主義　（マルクス著 大類伸譯）			
	歐洲近世の經濟的進展　（オツグ著 原勇六譯）			
	戰爭は上帝の試驗　（ワイヤット著 加藤政司郎譯）			
	支那革命の特色　（支、梁啓超著 中村久四郎譯）			
	海軍力の權威　（フイスク著 松宮春一郎譯）			
同	大正八、九（興亡史論第二期第一、二卷）	二	三五五	八九
前	神國としての日本　（ハーン著 入谷智定譯）			
	西部アジヤ諸民族の興亡　（ウインクレル著 松本重彥譯）			
	遊牧民の鄉土　（パイスカー著 堀竹雄譯）			
	羅馬の盛衰と軍隊　（デルブリュック著 山中謙二譯）			
	バルカン發達史　（ウイルト著 長瀨鳳輔譯）			
	近世音樂の發達概觀　（ヘンダーソン著 田邊尚雄譯）			
	藝術品の本質　（テエヌ著 有島生馬譯）			
後	米國大觀　（エドワード・ロッス著 村川堅固譯）			
	米國精神の基礎　（モーリス・ロー著 海老名一雄譯）			
	米國人の心理的研究　（モーリス・ロー著 加藤政司郎譯）			
	米國膨脹史論　（ジョン・バセット・ムーア著 松宮春一郎譯）			
	米國對外政策の變遷　（ハルマン・オンケン著 原隨園譯）			
	內外兩政の關係と國勢の消長　（ヘルマン・オンケン著 大類伸譯）			
	植民政策上英佛の對抗　（グスターフ・ロロッフ著 時野谷常三郎譯）			
	佛蘭西文明の特色　（ヴィクトル・ジロー著 平林初之輔譯）			
四王吳惲	富岡謙藏編　大正八	一	四三〇	五七
四王天經	赤沼智善譯　（現代意譯根本佛教聖典叢書第四卷ノ內　大正一三）	五一五	一〇四	
親話應用	支那語正音韻鏡　伊澤修二　大正五	一枚	三六七	一四
親話應用	東北發音矯正法　伊澤修二　大正一〇（樂石全集第二卷）	一	三九九	一六
仕譯の統一に就て	原口亮平（會計學論叢第一集ノ內　大正四）	三	三五六	三九
仕譯票式簿記法	高野宇三郎（事務第一編ノ內　大正一四）	五二四	二一九	
史話俗談	關根正直　大正九	一	三八四	二六〇
史話と文話	萩野由之　大正七	一	三七〇	四〇
參	野上彌生子（世界短篇小說大系日本篇下ノ內　大正一五）	五三〇	四五	
新愛國論	鈴木正吾　大正四	一	三六〇	二七七
親愛なる處女へ	天野藤男　大正一一	一	五〇三	一五六
新朝顏日記	岡本綺堂（綺堂戲曲集第四卷ノ內　大正一四）	五三七	一六	
新東鑑	一至三　大正四、五（國史叢書ノ內）　二〇卷、附錄三卷、追加二卷	三	三四〇	三ｂ
新東鑑附圖	大正四（國史叢書ノ內）	一	三四〇	三一ｂ
新油繪書法と批評の仕方	窪田重太郎　大正一〇	一	三九五	一八三
新アラビヤ夜話	（全一）　スティヴンスン著 飯田敏雄譯　大正一三	一	五三三	一八三
新アラビヤンナイト	（新譯繪入一）　上卷　スティヴンソン著 三上節造譯　大正五	一	七一	五七七
新案圍碁通解	稻垣兼太郎　大正五	一	一八七	四八七
新案圍碁獨まなび	岩佐銈　大正六	一	一五	三四一
新案演說辭典	（標準活用式一）　大日本雄辯會編　大正一三	一	五三	二六〇
新案算術練習法	岡堀寅三郎　大正六	一	二六三四	四六
鍼按解剖學教科書	（點字）　川越源治　大正五	一	二三一	二四九
新加減法と餘對數の廢止	近藤精一　大正六	一	三二七	一〇三〇
鍼按灸用解剖學	（點字）　上卷　太田律馬編　明治四五	一	二九五	二六
新記憶字引	記憶速成學會編　大正六	一	三六四	三六一
鍼按化學教科書	（點字）　川越源治　大正五	一	二三一	二四七
新安國論	村田四郎　大正一四　九九頁	一	五一一	八七
新裁縫小物全書	女子手藝普及會編　大正三	一	二一八	二四七
新食品かろりー及成分計算表	附說明　石井光雄	枚二	四一八	三〇
新神經衰弱獨療法	古屋鐵石　四版　大正五	一	六〇	五一五
鍼按生理學教科書	（點字）　川越源治　大正五	三〇	三一一	二四八
新案速成圍碁奇手と定石	橋本藤三郎　大正六	一	一二	二四六
新大正日本地圖	脇水鐵五郎　大正三	一	八九	二一八
新案住宅圖集	（直ぐ間に合ふ一）　大澤一郎　大正九	一	四一三	九二
新案日本住宅設計應募圖集	（懸賞募集圖案一）　帝國建築協會編　大正一五	一	五四〇	八八
新案福引二千題	福々道人編　大正六	一	三六四	三六七
親友	池田大伍（現代戲曲全集第一六卷ノ內　大正一五）	五三〇	二五	
同（喜劇）	大正三	一	三五七	一〇
新有機化學粹	芳香體編、脂肪體編　藤井太吉、林照壽　大正四	二	四七	五〇九
同		二	四七	五〇九イ
晉右軍王公十七帖	王羲之書	一帖	一三八	二〇三
辛酉之旅	河合辰太郎　大正一一	一〇	一二	五五五
新優良町村及優良團體	（地方研究一）　石田傳吉　大正一一　一〇四五頁	一	五〇三	一一三
新醫海	（座右一）　日野信次編　大正七	一	六〇	五三三
新醫學の基礎	栗田仙堂（扉等ノ冠稱ニハ「高等講義」トアリ）　謄寫版　大正一四	一	六〇	六八三
新意匠の住宅	平林金吾、稻垣英夫　大正九	一	二八一	八六
新伊蘇布クルイロフ物語	山田枯柳（豐彥）譯　大正三	一	三八	二六三
新イソップ物語	（世界動物譚話一）　高木敏雄　明治四五	一	三二九	一三一
尋一教育の實際	山本德行（成城小學校研究叢書第一〇編）　大正一三	一	二五九五	四三
尋一の教育	志垣寬、永田與三郎　大正九	一	二六三	二八七
新一萬句	（袖珍一）　長谷川諧三　大正一〇	一	三九六	一三四
神異典釋教部紀事	（古今圖書集成）　二卷（大日本續藏經第七套第二五冊ノ內　明治四五）	三三五	二	

		冊	函	號
神異典二氏部彙考（古今圖書集成）	二卷（大日本續藏經第七四七册ノ內 明治四五）			
心意の黎明	トムソン著 小倉謙譯（科學大系第二卷第七編 大正一一）		五一五	七 イ七
同				
新色さんげ	尾崎紅葉（紅葉全作集第一卷ノ內 大正一一）		五二五	一
新色懺悔	尾崎紅葉（尾崎紅葉全集第一卷ノ內 大正一四）		五四八	一七
同（紅葉全集第一卷ノ內 一二版 明治四五）			七四	三四六 ハ
同				
新硫黃島噴出調査報文	小倉勉（震災豫防調査會報告第七九號ノ內 大正四）		七四	三四六 ニ
新院堂供養事	（大日本佛教全書第一二二册ノ內 大正一一）		一四、一四	二五
新外郎	グレン・ダブリュー・ショー著 奈倉次郎譯 大正一一		三五三	一〇
新浮世繪美人合	同刊行會編 大正七		一三三	四三八
同		別	一四二三	一三
新薄雪物語	寫本（勝進助芝居稟帳第三三、三四）		一四一三	一三 イ
新薄雪物語	（時代狂言傑作集第二卷ノ內 大正一四）		一九一	七六五
新渦巻（小說）	光子の卷 渡邊霞亭 大正三		五四五	一六
新浦嶋	アーヴィング著 森鷗外譯（鷗外全集第一五卷ノ內 大正一四）		一三三九	二〇三
同		特	五三〇	一
新浦島を評す	島村抱月（抱月全集第一卷ノ內 大正八）		五三〇	一 イ
新浦島物語	實業之日本社編 大正一一（一寸法師叢書第四編）		三七九	二
			一五〇〇	五三

		冊	函	號
新宇和島	宍戸忠士編 大正一〇			
新運命開拓論	田部井文吉編 大正八		一三七〇	八三
新運命觀	祖先教本部編 大正六		一三六三	六八
新運命論	加藤咄堂 大正一五		一三四九	三五 イ
清英交際始末	福澤諭吉（福澤全集第二卷ノ內 大正一五）		五三〇	五一
同			五三〇	五一 イ
新榮養案	ヴイタミン 松山芳彥 大正一一		一三八五	二一八
新英雄主義	茅原華山 大正五		一三六〇	三七三
晋永和後二十六癸丑脩稧詩	（大正二）		一三四四	三四八
新謠曲百番	佐佐木信綱校 明治四五		一三三二	八
心要鈔	貞慶草（日本大藏經第五卷ノ內 大正四）		三五三	六
新要目に遊戲及競技の實際準據せる	尋常科第四學年 中島海等 大正一五		一三七六	四三
新要目體操科解說教程教授の實際準據せる	眞行寺朗生 大正一五		一三六八	二六
神易	中島藤臣等口傳 寫本		一六	二六一
新江戸趣味	卷之二 宮川柯月園 大正一三		一四二 イ	一二五
針葉樹種子寄生蜂ニ就テ	矢野宗幹、小山光男（農商務省林業試驗報告第一七號ノ內 大正七）		五四三	二六
新葉和歌集	宗良親王御撰 石川椒校（有朋堂文庫ノ內 大正一五）	特	三七九	二四
同	宗良親王御撰 大澤清臣校 古寫本		一	二四
新エミール	ウエルズ著 三浦關造譯 大正八			

		冊	函	號
新エロイズ	前編 ルツソオ著 宮原晃一郎譯（大正一一（ルツソオ全集第一卷））			
深淵	アンドレーフ著 中村白葉譯（世界短篇小說大系露西亞篇下ノ內 大正一四）			
深淵	正宗白鳥 大正一〇			
同	（白鳥傑作集第四卷ノ內 大正一五）			
神苑會史料	藤井清司編 明治四四 九九五頁			
同	補遺 大正二 二三頁			
新演藝	玄文社發行 第一卷第一號（大正五年三月）ヨリ			
新演藝叢書	玄文社發行 五版 大正一三			
第一	印象より表現へ（山岸光宣）			
新燕石十種	國書刊行會編 明治四五、大正二（國書刊行會本ノ內）			
第一	飛鳥川 二卷（喜田有順）			
	續飛鳥川 二卷（喜田有順）			
	親子草 六卷（曉鐘成）			
	見聞雜錄 五卷（石上宣續）			
	近來噺の苗 六卷（曉鐘成）			
	天言筆記 五卷（飯島虛心堂）			
	於路加於比 三卷（柳亭種秀）			
	傳聞記 三卷（菅園）			
	暗記空おぼへ（瀧澤馬琴、山崎美成）			
	けんどん爭 九卷			
	浪華百事談 九卷			
	元吉原の記			
第二	ひともと草 二卷（大田澤編）			
	五月雨草紙 二卷（喜多村香城）			
	なの日並 二卷（笠亭仙果）			
	にぎはひ草 二卷 附 花鳥日記（灰屋紹益）			
	了阿遺書 三卷（村田了阿）			
	東都紀行 四卷（辻雪洞）			
	獨考論 附加、餘論（只野あや子）			
	落語家奇奴部類			
	營中刃傷記（加賀美遠齡）			
	江戸砂子補正			
第三	歌舞妓十八番考（石塚豐芥子）			
	花街漫錄 正誤（喜多村筠庭）			
	百戲述略 五卷（齋藤月岑）			
四いろ草	（滋野瑞龍軒）			
茂睡考	（山東京山）			
東作遺稿	（平秩東作）			
怪談老の杖	四卷（同）			
寫山樓記	（野村文紹）			
卯花園漫錄	五卷（石上宣續）			
第四	見世物雜志 四卷（小寺玉晁）			
	下谷通志 四卷（山崎美成）			
	相撲今昔物語 九卷（子明山人）			
	伊波傳毛乃記（瀧澤馬琴）			
	聲曲類纂補遺 三卷（齋藤月岑）			
	雅俗隨筆 三卷（笠亭仙果）			
	兎園小說 外集、別集、餘錄、拾遺各二卷（瀧澤馬琴編）			
第五	天和笑委集 一三卷			
	寢ぬ夜のすさび 四卷（片山賢）			
	本所雨やどり（加藤敬豐）			
	二國連璧談 二至四卷（平秩東作）			
	吉原十四ヶ條（柳亭種彥）			
	秀鶴隨筆（中村秀鶴）			
	贈大小心錄 三卷（上田秋成）			
	擺陽落穗集 三卷（濱松歌國）			
	見聞筆拍子 一〇卷（同）			
	大奧祕記（村山鎭）			
心園叢刻一集	支、徐珂編		二〇	一六三 一二九
振遠隊	福田忠照 大正七		一	三四九 五八
眞を慕ひて	大住舜 大正四		一	三六〇 三三
新落噺初鰹	富川吟雪畫 一五枚	別	三〇	二〇八 七四七
新大阪大觀	中川倫 大正一二 一二六六頁		一	五一九 五
新俄羅斯	原名 勞農露國 川上俊彥著 支、王揖唐譯（中華民國一二）		一	五一九 一二四
新女大學	福澤諭吉（福澤全集第六卷ノ內 大正一五）		五二〇	五一

		冊	函	號
新女大學	福澤諭吉（福澤全集第六卷ノ内 大正一五）		五二〇	五一イ
震害後觀察セル木造洋風家屋ノ腐朽並燒死樹ニ發生セル橙黃色菌ニ就テ	北島君三（農商務省）林業試驗彙報特別號ノ内 大正一一）		一四二	二三五ロ
新海事法令	吉田虎三郎編 六版 大正三	一	三七	三九
同 九版	大正五	一	三七	三九イ
同 一七版	大正八	一	三七	三九ロ
同 改版	大正一一	一	三七	三九ニ
同 增訂	大正一三	一	三七	三九ホ
新開店の商略	（客は客を集め—金は金を生む—）安藤眞吾 大正一四（繁昌商略叢書第三編）	一	五四五	一四
人界の奇異 神界の幽事	物集高見 大正一一	一〇	一二	五四一
人界の奇異と神界の幽事	物集高見 大正一四	一	五四四	一四二
信仰	ブリウ著 小山內薰譯 大正八	一	三七七	三三五
同	（近代劇大系第一一卷佛及南歐篇二ノ内 大正一一）		五二五	二六
同	（近代劇大系第一一卷佛及南歐篇二ノ内 大正一四）		五二五	二六イ
信行ありのまゝの記	（吉田清太郎先生直話）高田集藏 大正一五	一	五三三	一九八
信仰を基とせる道徳的陶冶の研究	田中廣吉 大正三	一	二七五	五九
信仰講話	關本諦承 大正七	一	三二五	三一〇
信仰革命	谷口雅春 大正一五	一	五三三	一八六
信仰五十年	松村介石 大正一五	一	五三三	二〇三

		冊	函	號
信仰古典叢書	警醒社發行 大正一四	二	五三九	六二
第一、二	ユウセビウス信仰史 前、後篇（ユウセビウス著 鐮田研一譯）			
信仰基督者列傳	警醒社編 大正一〇	一	三九二	二五二
信仰修養五十二の礎	田村直臣 大正六	一	三三五	二四〇
信仰修養拔苦與樂	小泉了諦 大正四	一	三六〇	一九一
信仰生活の指針	ウイルキンソン著 覺前政藏譯 大正五	一	三六四	五
信仰生活ノ諸現象	栗山信次郎 大正一二（日本變態心理叢書第三編）	一	五〇〇	二四
信仰清話	利井鮮妙 明治四五	一	三三五	一五三
信仰叢書	國書刊行會編 大正四（國書刊行會本ノ内）	一	三三〇	四九を
	寶鏡鈔 二卷			
	玄旨壇祕鈔 二卷			
	了養簡（日講）			
	破鳥賊論（同）			
	三田問答詰難（同）			
	御袖の下			
	法要章			
	天照理			
	神道烏傳蔽除抄 二卷（賀茂規清）			
	鎭宅靈符緣起集說 二卷（大江文坡）			
	太上惠民甲庚祕錄 二卷（同）			
	鳥橋沙摩金剛修仙靈要錄 二卷（同）			
	北辰妙見菩薩靈應編（同）			
	不二行者食行錄（北行鏡月編）			
	富士講唱文獨見祕書			
	鈴懸衣續篇（智行）			
信仰叢書	新生堂發行 大正一三	二	五二七	二
第一編	基督に倣ひて（トマス・ア・ケンピス著 中山昌樹譯）			
第二編	聖アウグスティヌス懺悔錄（アウグスティヌス著 中山昌樹譯）			
同 第一編	大正一三	一	五二七	二イ
信仰日記	附 歌ごゝろ 內村鑑三 大正八	一	三八九	六八
新講日本通史	上卷 太田亮 大正一二（最新教科講座大系ノ内）	一	三三〇	五一
新講日本文學史	岩城準太郎 大正一五	一	五四四	六三
信仰の曙（詩集）	三木露風 大正一一	一	三三四	五六二
信仰の意義	上、下卷 フオスデック著 栗原基譯 大正一〇、一二	一	二六三	二九
信仰の悲み	關根正二遺作展覽會 石河司與編 大正八	一	五〇六	一五三
信仰の歸趣	高田道見 大正三 六六六頁	一	三二四	三七九
信仰の極致	東陽圓成 再版 大正一五	一	五三三	一五三
信仰の勝利（民衆講話）	中野陸元 大正一二	一	五〇四	二〇五
信仰の勝利者	ジョージ・ミューラー 金井爲一郎 大正一五	一	五三三	三三一
信仰のすゝめ	金森通倫 大正五	一	三三五	四三九
信仰の生活	植村正久 大正一三	一	五〇四	二四九
信仰の對象	森達立（夏期講習會佛教講演集第一八回ノ内 明治四五）	一	三八	一七
信仰の哲學	ゼームス著 太田善男譯 大正八	一	三三五	三三六
信仰の悲劇	ロマン・ローラン著 新城和一譯 大正一一	一	五〇六	一一四
同	（ロマン・ローラン全集第一卷ノ内 大正一〇）		三九〇	五〇
信仰のマルティン・ルッター	佐藤繁彥（大思想家叢書第一篇） 大正一五	一	五四八	三八
信仰の論理	三谷隆正 大正一五	一	五三三	一七一
信仰異國行脚	日下部四郎太 大正一三	一	五三三	一九

信仰眞道吉日　日下部四郎太　大正二三　一　五八　一二八
物理　日下部四郎太　大正八　一　三八四　一三六
信仰佛利二人行脚　日下部四郎太　大正八　一　三八四　一三六イ
同　三五版　大正一三　一　四三二　一二三
進行名曲集　三善和氣編　大正一二　一　二九二　五六
信仰問題（百問一）　伊藤證信　大正八　一　五三三　二四〇
信仰問題の解決　野依秀一　大正一五　一　三三五　三五三
信仰より見たる人生　泉道雄　大正四　一　三六四　九四
人格　白山謙致（修養講話ノ內　大正四）　一　三四九　三五
人格　武光一　大正一四　一　五三六　七四
新學異見　香川景樹著　佐佐木信綱、芳賀矢一校註（校註和歌叢書第七册和歌作法集ノ內　大正四）　一　三四五　三
新學校園　松田良藏　大正二　一　二九一四　一三
新學校體操解說（教法を主としたる）　卷一至三（尋常第一至六學年用）　石橋利三郎　大正一四　三　二七六　三五六
新學校の實際と其の根據　志垣寬　大正一四　一　二六二　七九
新學校巡り　長田新（教育行脚と私たちノ內　大正一一）　一　二五九　四五八
人格完成自覺自修　寺內頴　大正一三　一　五二五　二四
新學藝講座　春秋社發行　大正一一、一二　九　五〇八　四
第一編　科學概論（平林初之輔）
第二編　希臘思想の研究（柳田泉）
第三編　ルツソウよりトルストイまで（木村毅）
第四編　海洋の研究（宮原知久）
第六編　新文藝講話（木村毅）
第七編　神祕主義の理論（小野實）

第八編　生物學概論（平林初之輔）
第九編　近代思想家の宗教觀（香原一勢）
臨時增刊　相對性原理讀本（岡邦雄）
新學藝叢書　至上社發行　大正一四　二　五四八　三
第一編　プロレタリア文學手引（小牧近江）
第二編　小說の創作と技巧（倉田一郎）
神學教訓抄　淺井家之　三卷（勤王文庫第二編ノ內　大正九）　三七九　九
神學研究　同會發行　第一〇卷第一號（大正七年一〇月）（「神學之研究」ノ改題）　雜　四　イ　一五　一
神學常識成功新論　中村德五郎　大正五　七〇二頁　一　七〇　三三四
人格修養大正青年及青年團講話　中村德五郎　大正六　一　三六四　九四
人格修養奮闘の日蓮　大庭青楓　大正一〇　一　三九二　三三三
心修養物語學　高橋淡水　大正九　一　三八七　一一六
新學習法に依れる尋常一・二學年の書方教授　岡本清德　大正一五　一　二六三　三　二三九
人格主義　阿部次郎　大正一一　一　五一〇　四
人格主義の社會觀　一條忠衛　大正一一　一　五〇三　二七
人格主義の否定　杉原三郎　大正一二　一　五〇二　二四二
新學生訓　大町桂月　大正二　一　二五九　四五八
新學說に基きたる算術學習指導精義　黑沼勇太郎　大正一五　一　二六三　四　一三五　二四
心學捷徑大學笑句　爲永春水（通俗經濟文庫第二一卷ノ內　大正六）　三五五　五三
心學道話（選一訂）　正、續編　依田喜一郎編　大正二　二　三五〇　一六
人格的宇宙觀　附錄付　ボルデン・バウン著　今泉眞幸、シドニー・ギユリツク譯　明治四五　一　二四二　一二五
人格的教育學と我國の教育　中島半次郎　大正四　一　二五三　一四一

人格的教育學の思潮　中島半次郎　大正三　六〇一頁　一　二五三　一二九
人格的教育と公民教育　三浦哲郎（國民教育家修養叢書第三編）　大正四　一　二九五　三四
心學手引　塚越路導編　大正八　一　三七二　二一
人格と修養　井上哲次郎　大正四　六四八頁　一　三五六　七八
人格と修養（現代名士一）　坂本辰之助　大正九　一　三八七　二一八
心學根本草　（大日本風教叢書第六輯ノ內　大正八）　二六九　二イ
人格の糧　深作安文　大正一三　一　五二五　一九五
人格の感化　佐藤鷲彥　大正二　一　三四二　四五〇
人格の出發　島本愛之助　大正一一　一　五〇三　六二
人格の生活　吉田靜致（巽軒叢書ノ內）　大正一三　一　五二〇　一六
新學の先驅　土屋元作　明治四五　一　三四二　一八
人格の力　紀平正美　再版　大正六　一　三七六　一〇〇
人格の變態　テオデュル・リボー著　葛西又次郎譯　大正一四　一　五二六　七一
人格の養成　加藤咄堂　大正一〇　一　三九六　八三
心學初入手引草　大島有隣（修養文庫第五編世俗訓ノ內　大正九）　三七五　三五
清學部圖書館善本書目　清、繆荃孫（古學彙刊第一編上ノ內　中華民國元）　一六四　五五
心學道の話　奥田頼杖（道話の泉ノ內　大正一二）　五一六　九五
心學明誠舍起源並に沿革　山本安藏編　大正一一　一　三九七　三一七
心學名話泉　野村婁水　大正一三　一　五一〇　七六

人格養成青年修養編　春花山人編（修養叢書第二編）　大正七　一　三五五　九〇
人格養成論　アーサー・ホルムス著　大日本文明協會譯　大正六（大日本文明協會刊行書第四期第一六卷）　一　三五五　三一
人格論　高楠順次郎（現代社會問題文化大學十六講ノ內　大正一二）　五二五　一七
人格論　松村介石　大正九（縮刷名家文庫第一三編）　一　三一　八四九
人格論　渡邊徹　明治四五　一　三三五　三六六
新柏崎　長谷川貞次編　大正四　一　三三九　六〇三
新可笑記　井原西鶴著　五卷（文藝叢書第三册西鶴文集ノ內　大正二）　二　六〇　三六六
新型編物の編み方（四季實用一）　樋口歌代子　大正一三　一　五三七　三四
新型毛絲編物（洋服と和服に應用したる一）　岸本菊子　大正一三　一　五二一　九四
新型毛糸編物全集（編み方百餘種一）　高木美代子　大正一五　一　五六四　八四
新型毛絲編と編込圖案　寺西絲子　大正一三　一　五三七　三八
新形三十六怪撰　月岡芳年畫　別　一帖　四〇五　四三イ
新鹿角　青年乃鹿角社編　大正一一　一　六七　三九二
新家庭　女子供の卷　巖谷小波　大正五　一　三六三　四
新家庭　玄文社發行　第一卷第一號（大正五年三月）至第八卷第九號（大正一二年九月）　雜　五〇　一三
新家庭講話　小此木武子　大正三　一　三五〇　二三〇
新鹿兒島　下園三州兒編　大正四　一　三三九　六〇三

		冊	函	號
新家庭文庫（文化生活）	東京家事研究會編 大正一五	一	五五	三八
新家庭マスサージュ	谷口富次郎 大正一二	一	六〇	六六一
人家必用小成	三遷居	一〇	一二三	二七五
新歌舞劇十二集	坪内士行 大正一三	一	五三	一四九
新嘉坡商品陳列館南洋經濟叢書	同館發行 大正一二	二	五〇八	一三
第七 馬來半島の木材（同館編）				
第八 馬來半島の林産物（同）				
新嘉坡に於けるチティーに就て	今出孝一（海外旅行調査報告大正七年夏期ノ内 大正八）	一	三六	三五七
新嘉坡方面ニ於ケル鹽乾魚ノ需要狀況	農商務省水產局編 大正元	一	三三七	一〇三
新嘉坡より	島村抱月（抱月全集第八卷ノ内 大正九）	一	三七九	一二
新唐草創案集	宇都宮誠太郎 大正一二	一〇	四一六	七八
新唐草圖案集	宇都宮誠太郎 大正九	一	四三	三一
新間歇試驗裝置	神勇三郎 大正一五（電氣試驗所調查報告第二八號）	一	一四五	一〇イ
寢翰集	（列聖全集御撰集第六卷ノ内 大正六）		三八	三七八
新繡像大清傳	光緒二〇 三三卷	五〇	一七三	五三
新刊正文對音捷要琴譜眞傳	明、揚表正撰（萬曆年間）	別六〇	八三	一九〇
同 寫本		六〇	八三	一九〇イ
新カント學派の教育說	勝部謙造 大正一四	一	二五三	三三五

		冊	函	號
新カント派の社會主義觀	横濱社會問題研究所編 大正一四（社會問題研究叢書第二編）	一	五〇八	九
同		一	五〇八	九イ
新カント派の哲學とその教育學說	渡部政盛 大正一一	一	二五三	二七一
新カント派の歷史哲學	板垣鷹穗 大正一一（文化哲學叢書第二編）	一	五〇五	二九
心記	日輿著 鷲尾順敬等註（國文東方佛教叢書第三卷法語部ノ内 大正一四）		五二九	六七
心機一轉（處世の秘訣）	新井石禪 大正七	一	三七六	一〇七
心牛	菅原時保 明治四五	一	三三三	二九六
鍼灸按摩術全書（受驗適用）	附 療病編 小野田範司 大正元	一	六〇	三一六
新舊一新	仲小路廉著 樋口紋太編 大正八	一	三八七	七〇
燼宮遺錄	二卷（適園叢書第三六册ノ内）		一七五	六九
新舊演劇の前途	島村抱月（抱月全集第一卷ノ内 大正八）		三七九	一二
鍼灸應用經穴辭典	富永勇 大正一一	一	六〇	六五〇
鍼灸界の水先案内	附 斯界現狀及試驗問題 大澤千春編 大正一五	一	六〇	八一五
新舊加州土地法	外務省編 大正九	一	三九七	九三
新舊關稅率比較表と關稅改正始末	東洋經濟新報社編 大正一五	一	五六二	四
鍼灸經穴醫典	玉森貞助 大正一〇	一	六〇	六四〇
同	增訂再版 大正一五	一	六〇	六四〇イ
新舊藝術の交涉	有島武郎（有島武郎全集第七卷ノ内 大正一三）		五一〇	七
新舊教科書比較研究	富山縣女子師範學校附屬堀川小學校編（女師附屬研究錄第一、二輯ノ内 大正一〇、一一）	五	二五九	四六

		冊	函	號
新舊時代	明治文化研究會發行 第一年第一册（大正一四年二月）ヨリ	雜一九	一五三	
鍼灸術原理及手術法	附 沿革史 車戸喜保編 大正一二 七〇頁	一	六〇	六六四
同		一	六〇	六六四イ
鍼灸術試驗問題答案集	附 鍼灸按摩術取締規則註釋幷受驗者心得 松井虎雄、相浦堯美編 明治四五	一	六〇	三六
鍼灸術新論	（盲人用） 川越源治 大正二	一	三三一	八一
鍼灸マッサージ生理解剖書	土屋利一 明治四五	一	四九	五八
新舊度量衡換算表	鐵道大臣官房研究所編 大正一二	一	五六	一五九
同		一	三八五	二九三
新舊度量衡對照表	內務省土木局編 大正一〇	一	二九七	二〇九
針灸之秘傳	寫本	特二	〇	ひ 八〇
新舊俳優素顏と身上話	劍持國男編 大正九	一	三八八	三〇八
新舊俳句の作り方	天沼棗人 大正一〇	一	三八四	三八四
鍼灸拔萃大成	元祿一三	七〇	一一	三一四
新氣運	伊藤證信 明治四五	一	三三一	二七〇
新記憶術（活用自在）	井上圓了 大正六	一	三六三	二四五
神祇鑒典	日本大藏經編纂會編（日本大藏經第四六卷ノ内 大正九）		三五三	六
神祇官沿革物語	常世長胤 寫本	二	一二五	二三三
神祇官之記	寫本（杉園雜集第三）	特一	八三〇	一〇六
臣軌國字解	市川鶴鳴（先哲遺著漢籍國字解全書第二卷ノ内 大正一五）		五五五	一

		冊	函	號
神祇雜考	黑河春村 寫本	特一	八三〇	七三
神祇史要	河野省三 大正四	一	二〇二	三八六
神祇史綱要	宮地直一 大正八	一	三二四	五九二
神祇辭典	山川鶴市編 大正一三 八二八頁	一	五二	五八
同	再版 大正一三	一	五一	五八イ
神祇史の研究	宮地直一 大正一三	一	五一一	七四
宸記集	列聖全集編纂會編（列聖全集ノ内） 大正六	二	三二八	三七八
上卷 御記纂	宇多天皇御記 村上天皇御記 後朱雀天皇御記 後鳥羽院宸記 後深草天皇御記 後伏見院御記 後小松院宸記			
下卷	醍醐天皇御記 一條天皇御記 後三條天皇御記 順德院御記 後宇多院御記 後伏見天皇御記 花園院天皇宸記			
新義聲明大典	內山正如編 大正六	一	一四七	一七
新義聲明傳來記	內山正如編	一	三三七	二五三
神祇稱號考	小山田與清 四卷（大日本風教叢書第八輯ノ内 大正一〇）	一	三六九	二
同		一	三六九	二イ
新義眞言宗大觀	伊豆宥法編 大正一〇	一	三三四	六三九
新義眞言宗豐山派作法集	法式調查局編 大正一三	一〇	一五八	一〇五
新義眞言豐山派とは何か	久保埜太運 大正一一 三二頁	一	五一六	四三
成吉思汗	阪井重季、猪狩又藏（偉人傳叢書第一〇册） 大正四	一	三四六	一二

成吉思汗實錄續編　那珂通世（那珂通世遺書ノ內　大正四）　冊 一　函 三四　號 三〇九

成吉思汗は源義經也　小谷部全一郎　大正一三　一　三五四　一〇

成吉思汗は源義經也　小谷部全一郎　大正一四　一　三五四　一二九

神祇道服紀令祕抄　（續群書類從第三輯ノ下神祇部ノ內　再版　大正一四）　八〇　三二ロ

新歸朝者日記　永井荷風（荷風全集第三卷ノ內　大正八）　三一　八三四

神祇と國史　宮地直一　大正一五　一　三五九　三

神祇と眞宗　杉紫朗　大正一一　一　三九二　二七九

神祇ト農業　農商務省農務局編　大正三　一　三三九　三六六

神祇に關する問答五百題　加茂百樹　大正一〇　一　三九二　一七六

「新奇」の快感と「美」の快感との關係　島村抱月（抱月全集第三卷ノ內　大正八）

神祇伯傳　寫本（杉園雜集第二）　特　一〇　八三〇　一〇六

眞僞書畫鑑定指針　木挽町狩野系、華山及系統、椿山及系統、草雲及文晁系、文晁及直系　吉岡堅嶺編　大正一五　五〇　一七三　九六

神祇奉仕者の顧問　神祇研究會編　大正一五　一　五三三　一五七

心行　福井捨助　大正八　一　六一　二六〇

心經　鳥越道眼譯（現代意譯根本佛教聖典叢書第三卷ノ內　大正一三）　五一五　一〇四

心經幽贊鈔　是阿撰（大日本佛教全書第六冊ノ內　大正四）　三五三　一〇

心敬紀行　心敬（國書刊行會本三十輯第四ノ內　大正六）　三三〇　五一

信行策勵の研究　中島觀琇　大正九　一　二四五

神祇令義解釋義　附　附圖　神典研究會編　大正五　一〇　一八七　四九〇

眞空球電話中繼器に關する研究　堀江貞治郎　大正八（電氣試驗所研究報告第六九號）　一　一四五　九

神宮競技規則全書　內務省編　大正一四　一　五四七　一八

神宮皇學館一覽　大正五、六、八、一一至一四年度　同館編　大正六至一五　四　二八三　二一

神宮官國幣社寫眞帖（御卽位紀念）　前田竹治郎編　大正四　一〇　二四九　一三四

神宮文庫圖書目錄　神宮司廳編　大正一一　一　四一九　五一

神宮便覽　神宮司廳編　大正一四　一　五二〇　三八

神宮略本曆解　中倉祺氏　大正四　一　三八五　二六八

シング戲曲全集　シング著　藤江勝譯　大正一二　一　三八五　二六八イ

同　シング著　松村みね子譯　大正一二　一　一四、五　九

深紅の一絲　コーナン・ドイル著　黒田佐吉譯　大正一二　一　五一七　一八〇

深紅の腕　他四編　カワースラー等著　火野錫譯　大正一三（アルス・ポピュラー・ライブラリー第一）　一　五二七　八

眞紅のショール　ルブラン著　保篠龍緒譯（世界短篇小說大系探偵家庭小說篇ノ內　大正一五）　一　五二〇　四五

眞紅の溜息　（深尾須磨子第一詩集）　深尾須磨子　再版　大正一二　一　五一七　六〇

深紅の人（新都市雜曲集）　佐藤惣之助　大正一〇　一　五〇一　三三

神供表白　塚本賢曉編　大正一一（「言林記」ト合綴）　一　一五八　九五

新熊野山檢校次第　（日本大藏經第三八卷ノ內　大正八）　三五三　六

新熊野山別當次第　（日本大藏經第三八卷ノ內　大正八）　三五三　六

新華　高島屋專職本部編　大正一三　一　三四〇　四三

心經七譯本　姚秦、鳩摩羅什等譯　一　一五〇　五一

信經釋義　マクリアー　增訂三版　大正五　一　三三五　四五三

心敬僧都庭訓　（續群書類從第一七輯連歌部ノ內　明治四五）　八〇　三二

心敬僧都比登理言　（續群書類從第一七輯連歌部ノ內　明治四五）　八〇　三二

新疆探險記　橘瑞超　大正元　一　三三九　一〇六

新京都めぐり　淺井虎夫　大正四　一　三六〇　一九六

進境の人物　世界公論社編　大正六　一　三七六　三〇

信行兩一念聞書　行照（眞宗全書續編第二〇卷ノ內　大正四）　三四六　七

人鏡論　（續群書類從第三二輯ノ上雜部ノ內　大正一五）　八〇　三二

同　八〇　三二

新居　小島政二郎　大正一五　一　五一七　三八八

心胸開拓　小川靜馬　大正一四　一　五三八　八二

神曲　ダンテ著（古典叢書ノ內）　一　三五五　六六

同　地獄界　上　ダンテ著　竹友藻風譯　大正一二　一　五一七　二七四

同　地獄篇、煉獄篇　ダンテ著　中山昌樹譯　大正一五（世界文豪代表作全集第二卷）　一　五五五　一七

眞曲抄　（續群書類從第一九輯遊戲部ノ內　大正元）　八〇　三二

同　（續群書類從第一九輯ノ下遊戲部ノ內　再版　大正一五）　八〇　三二ロ

新極東主義　長澤倉吉　大正五　一　三三九　六七九

神曲物語　高月鷹之助　大正四（世界名著物語第一五編）　一　三四〇　四三

神祇令職員令義解釋義　附　附圖　神典研究會編　大正五　一〇　一八七　四九〇

眞空球電話中繼器に關する研究　堀江貞治郎　大正八（電氣試驗所研究報告第六九號）　一　一四五　九

神宮競技規則全書　內務省編　大正一四　一　五四七　一八

神宮皇學館一覽　大正五、六、八、一一至一四年度　同館編　大正六至一五　四　二八三　二一

神宮官國幣社寫眞帖（御卽位紀念）　前田竹治郎編　大正四　一〇　二四九　一三四

眞空管式無線電話の實驗　濱地常康　大正一二　一　四一九　五一

同　大正一三　一　三八五　二六八

眞空管の壽命の一例　佐野昌一　大正一四（電氣試驗所研究報告第一六一號）　一　三八五　二六八イ

新宮輕鐵龍野電鐵案內　楠正治編　大正四　一　三六四　一三

新宮雜葉記　渡邊直昌（會津資料叢書第二冊ノ內　大正六）　五　二三五

神宮寺伽藍緣起竝資財帳　（大日本佛教全書第一二〇冊ノ內　大正一〇）　一　三五三　一〇

神宮神域の立木調査　神宮司廳林務課編　大正一五　一　三三七　四〇三

神宮神域の老樹名木　神宮司廳林務課編　大正一五　一　三三七　四一二

神宮綜覽　神宮司廳編　再版　大正四　一　三三四　四八四

神宮大綱　神宮司廳編　明治四五　一　三四二　一七七

眞空大師　山田玉田　大正一一　三一頁　一　三九三　二四一

神宮大麻と國民性　當山春三　再版　大正五　一　三三四　五〇四

神祇令職員令義解釋義　附　附圖　神典研究會編　大正五　一〇　一八七　四九〇

眞空球電話中繼器に關する研究　堀江貞治郎　大正八（電氣試驗所研究報告第六九號）　一　一四五　九

神宮競技規則全書　內務省編　大正一四　一　五四七　一八

神宮皇學館一覽　大正五、六、八、一一至一四年度　同館編　大正六至一五　四　二八三　二一

神宮官國幣社寫眞帖（御卽位紀念）　前田竹治郎編　大正四　一〇　二四九　一三四

眞空管式無線電話の實驗　濱地常康　大正一二　一　四一九　五一

同　大正一三　一　三八五　二六八

眞空管の壽命の一例　佐野昌一　大正一四（電氣試驗所研究報告第一六一號）　一　三八五　二六八イ

新宮輕鐵龍野電鐵案內　楠正治編　大正四　一　三六四　一三

新宮雜葉記　渡邊直昌（會津資料叢書第二冊ノ內　大正六）　五　二三五

神宮寺伽藍緣起竝資財帳　（大日本佛教全書第一二〇冊ノ內　大正一〇）　一　三五三　一〇

神宮神域の立木調査　神宮司廳林務課編　大正一五　一　三三七　四〇三

神宮神域の老樹名木　神宮司廳林務課編　大正一五　一　三三七　四一二

神宮綜覽　神宮司廳編　再版　大正四　一　三三四　四八四

神宮大綱　神宮司廳編　明治四五　一　三四二　一七七

眞空大師　山田玉田　大正一一　三一頁　一　三九三　二四一

神宮大麻と國民性　當山春三　再版　大正五　一　三三四　五〇四

神宮大麻と國民精神の機微　一松又治　大正九　一　三三四　六一七

眞空の應用　横山英太郎（明治聖德記念學會紀要第一〇卷ノ內　大正七）　一四五　一

眞空放電現象とX線管球の理論　平田秀樹　大正一四（最新發展理科學講座第五）　一　五三〇　三八

神宮文庫增加圖書目錄　第一册（大正一一年一月至同一二年一〇月增加）　同庫編　大正一二　三三頁　一　三一七　一二四イ

神宮文庫圖書目錄　神宮司廳編　大正一一　一　三一七　一二四

神宮大麻と國民精神の機微　一松又治　大正九　一　三三四　六一七

眞空の應用　横山英太郎（明治聖德記念學會紀要第一〇卷ノ內　大正七）　一四五　一

眞空放電現象とX線管球の理論　平田秀樹　大正一四（最新發展理科學講座第五）　一　五三〇　三八

神宮文庫增加圖書目錄　第一册（大正一一年一月至同一二年一〇月增加）　同庫編　大正一二　三三頁　一　三一七　一二四イ

神宮文庫圖書目錄　神宮司廳編　大正一一　一　三一七　一二四

神宮便覽　神宮司廳編　大正一四　一　五三〇　三八

神宮略本曆解　中倉祺氏　大正四　一　三八五　二六八

シング戲曲全集　シング著　藤江勝譯　大正一二　一　三八五　二六八イ

同　シング著　松村みね子譯　大正一二　一　一四、五　九

深紅の一絲　コーナン・ドイル著　黒田佐吉譯　大正一二　一　五一七　一八〇

深紅の腕　他四編　カワースラー等著　火野錫譯　大正一三（アルス・ポピュラー・ライブラリー第一）　一　五二七　八

眞紅のショール　ルブラン著　保篠龍緒譯（世界短篇小說大系探偵家庭小說篇ノ內　大正一五）　一　五二〇　四五

眞紅の溜息　（深尾須磨子第一詩集）　深尾須磨子　再版　大正一二　一　五一七　六〇

深紅の人（新都市雜曲集）　佐藤惣之助　大正一〇　一　五〇一　三三

神供表白　塚本賢曉編　大正一一（「言林記」ト合綴）　一　一五八　九五

新熊野山檢校次第　（日本大藏經第三八卷ノ內　大正八）　三五三　六

新熊野山別當次第　（日本大藏經第三八卷ノ內　大正八）　三五三　六

新華　高島屋專職本部編　大正一三　一　三四〇　四三

シンク

神火(創作)　口村佶郎　大正一二　冊一　函五一七　一〇三

眞怪　井上圓了　大正八　一　三七六　二六一

神怪奇蹟現象(原理と其應用)　栗田仙堂　大正八　一　三七六　二五一

新繪畫ノ手本　宇崎純一　大正三　一　三五〇　三七四

新外債ニ就テ　大藏省編　大正一三　一一頁　一　三三七　三三一

神皇紀　三輪義熙　大正一〇　五六一頁　一　三九八　一八

神皇正統記　北畠親房(古寫本〔慶長一七〕)　特四　さ　五六

同　北畠親房著　池邊義象等校註(校註國文叢書第一八册ノ内　大正四)　二四五　二

同　北畠親房著　佐伯常麿校(校註日本文學大系第一八卷ノ内　大正一四)　五四三　一　イ

同　北畠親房著　高木武、加藤光治校(日本國粹全書第六輯ノ内　大正四)　三五五　二七

同　北畠親房著〔「讀史餘論」、「武笠三校」、「山陽史論」ト合綴〕　二九四　二五七

同　北畠親房著　物集高量校註(新釋日本文學叢書第一〇卷ノ内　大正八)　三四五　一三

同(古本)　北畠親房　寫本〔白山比咩神社本ノ寫ナリ〕　特四　さ　二〇

同(新注)　北畠親房著　佐藤仁之助註　大正一四　一　五三二　一〇

神皇正統記新釋　森山右一　大正一五　一　三三八　四三六

神皇正統記評釋　大町桂月　大正一四　一　三三三　五八九

神皇正統錄(續群書類從第二九輯ノ上雜部ノ内　大正一四)　八〇　二二一

神皇正統錄(續群書類從第二九輯ノ上雜部ノ内　大正一四)　一　三七六　二六一

新光社ラヂオ・アマチュア・ブック　同社發行　大正一四　一　五四一　二三三

第一編　ニュートロダインの原理と作り方(宮里良保)

秦皇島「シンワ」ヲ見ヨ

新光琳模様　山田直三郎編　大正四　一〇　四二一　三

新化學講義　田中伴吉　大正七　一　四七　二三五

進化學說　ドラージュ、ゴールドスミス著　小泉丹譯(大正一三、フラマリオン社自然科學叢書第一輯)　一　五三〇　二一

震火災統計書　大正一二年　警視廳編　大正一四　一　一四四　六八三

震火災と外國人及外國會社　山口弘一(復興叢書第四輯ノ内　大正一三)　五三〇　三

震火災に依る電氣事業の被害調　電氣協會編　大正一三　一九頁　一　三六八　二〇〇

震火災に依る電氣事業の被害調　電氣協會編　大正一三　一九頁　一　三五五　三〇六

進化思想十二講　小栗慶太郎　大正一五　四　三三一　二五〇

鍼科實用書(點字)　加藤國太郎　大正五　一　五三三　一八八

震火洗禮改造の日本　大西啓太郎　大正一二　三四五　一三

心華帖　高田愼藏編　特三　ひ　八三

進化と遺傳　大久保昶彥　大正一三(婦人知識叢書ノ内)　一　五一七　一九　ろ

進化と遺傳　山内繁雄　大正一〇　一　三八五　一六四

進化と宗教　海老澤亮　大正一五　一　五三三　一四五

進化と思想　松村松年　大正一四　一　五三七　八八

進化と人生(增補一)　丘淺次郎　四版　大正一〇　一　四〇　六六三　ロ

進化と能率　安藤諡次郎　大正一三　一　五二五　二九

進化の意義　本田親二編　大正七(大日本文明協會刊行書第四期第二九卷)　一　三五五　三一

進化の話　生物篇、人類篇　大久保昶彥(吾等は何を學ぶべき乎第五、六)　大正一一　二　五〇五　三五

進化の話　加茂熊太郎　大正四(學生文庫第五編)　一　三四〇　四一

新貨幣鑄造之記　附　英國度量衡　中村清行編　寫本　四　一六五　一一八

進化物語　トムソン著　北川三郎譯(科學大系第一卷第二編　大正一一)　五三五　七　イ

同　五一五　七

進化論講話(增補)　丘淺次郎　修一一版　大正三　一　七七　三四二　ニ

七五四頁

進化論講話(新補)　丘淺次郎　一三版　大正一四　一　七七　三四三　ホ

進化論者ダーウヰン　岩崎重三　大正九　一　三八五　八九

進化論者ヘッケル　岩崎重三　大正一〇　一　三八七　二一七

進化論的爬蟲類學講話　高桑良興　大正二　一　三四九　九二

心願　田山花袋(花袋全集第七卷ノ内　大正一二)　一　五一五　三六

信願異同辨　若獃(眞宗全書續編第二〇卷ノ内　大正四)　三四六　七

身觀經　西晉、竺法護譯(大正新脩大藏經第一五卷經集部二ノ内　大正一四)　特　四四　三七四

同　八六　二九一

信願上人小章集　佐伯定胤編　七帖(日本大藏經第九卷ノ内　大正四)　三三五　六

心願の國　イエーツ著　楠山正雄譯(近代劇選集第一卷ノ内　大正九)　二八九　三〇

神君御袖鑑(新釋)　足立栗園　大正四　一　三五六　一〇三

新軍隊教育令ニ基キタル野外勤務教育　軍隊教育研究會編　大正二　一　三一八　二六二

新訓練論　山本良吉　大正一四　一　二五三　三一三

新傾向句集　河東碧梧桐　大正四　一　三五七　一六

新傾向之住宅　洪洋社編　大正一〇　一　五〇九　四七

神經筋肉泌尿生殖器及皮膚疾患　橋本節齋　八版　明治四五(新内科全書卷三)　一　五三　三一　ヤ

同　一　五三　三一　マ

同　九版　明治四五　一　五三　三一　ケ

神經系疾患(福岡醫科大學雜誌特別號)　九州帝國大學醫科大學雜誌部編　大正七　一　五三　一四九

同　一　雜　八　三〇

新經濟學　ジョールヂュ・ヴロワ著　鈴木貫一郎譯　大正一三　一　三九〇　七三

同　一　三九〇　七三　イ

新經濟記事の讀みかた　細貝正邦　大正一五　一　五四六　一一

新經濟政策　レーニン著　山川均譯(レーニン著作集第一卷)　大正一五　一　五四六　一七四

新經濟政策期に於ける消費組合　戸泉憲濱、佐藤通男譯(露文飜譯勞農露國調査資料第三六編ノ内　大正一五)　一四五　一〇三

新經濟政策の樹立を望む　河津暹(新國是の提唱ノ内　大正一三)　五三三　二三五

新刑事訴訟法(實際的研究一)　南波杢三郎　八版　大正一三　一　三八二　二一〇　イ

新刑事訴訟法要論　平沼騏一郎　大正一二　八〇八頁　一　五二二　七五

新刑事訴訟法大意　林賴三郎　大正一二　一　五〇二　一九七

新刑事訴訟法大意　平沼騏一郎　再版　大正一三　一　一五三〇　四三

新刑事訴訟法理論　清水孝蔵　大正一四　一　一五三〇　九四

神經質及神經衰弱症の療法　森田正馬　大正一〇（精神醫學叢書第一編）　一　六〇　七〇六

神經質兒童に對する家庭の訓練法　杉田直樹（兒童保護講座第一輯ノ內）　大正一五）　二五三　一三

神經質兒童の躾け方　杉田直樹　大正一四　一　五六　二九

神經質と其療法　中村讓　明治四五　一　六〇　二九六

神經症狀の病理及療法　杉田直樹　大正一四（研究より實地へ第六編）　一　六〇　七四一

新藝術と新人　江口渙　大正九　一　二九一　九五

新藝術論　グライブ・ベル著　鈴木禎二譯　大正六　一　二六三　一四三

新藝術論　ルナチャルスキイ著　茂森唯士譯　大正一四　一　五四七　六六

神經衰弱營養療法　附　睡眠療法　井上正賀　大正四　一　五三　二一三

神經衰弱及强迫觀念の根治法　森田正馬　大正一五　一　六〇　八四二

神經衰弱及性的障害救治法　狩野均一郎　大正八　一　五三　一六一

神經衰弱及其療法　石川貞吉　明治四五　一　五三　八三

神經衰弱無失費全治療法　愚庵如幻編　大正八　一　五三　一五九

神經衰弱自療法　附　記臆力增進法　伊藤尚賢　大正二　一　六〇　三三三

神經衰弱自療法と記憶力增進術　伊藤尚賢　明治四五　一　六〇　三〇〇

神經衰弱精神療法　弱者道　田村化三郎　大正三　一　三四四　三八四

神經衰弱と蓄膿症　林熊男　大正一二　一　五三〇　四三

神經衰弱ト眼　附　眼鏡使用上ノ注意　菅沼定男　大正九　一　五五　一一三

神經衰弱に就て　今村新吉　大正一四　五〇頁　一　六〇　八〇五

神經衰弱に就て　カール・ヒルティ著　平田元吉譯　大正八　一　五三　一五八

神經衰弱の治療及健腦法　齋藤紀一　大正五　一　五三　一二四

同　三版　大正八　一　五三　一二四イ

神經衰弱之話　山田鐵藏　大正四（家庭醫學叢書第四編）　一　六〇　五二一

神經衰弱病者飲食物の研究　伊藤尚賢編　大正九（飲食物研究叢書第一〇編）　一　六〇　五八八

神經生理及病理（必要ナル一）　永井潛、熊谷直三郎　大正九　一　四八　五八

神經の養生　田村化三郎　補二版　大正二　一　六一　一五三

神經病學樞機　上、下　荒木齋太郎　明治四五、大正元　二　五三　八一

神經病時代　廣津和郎（新進作家叢書第一二編）　大正七　一　三一　五五四

神經病の精神的療法　ワルトン著　福永渙譯　大正四（新知識叢書第一一編）　一　三五　二四九

新教育學　石田寫三　大正一五（閃光叢書第三卷）　一　二九五　八四

新教育學講義　大瀨甚太郎　大正二三　一　二五二　二八七

新教育學の根本問題　小林澄兄　大正一五、　一　二五二　三三五

新教育思潮と儒教思想との異同　吉田熊次（足利學校釋奠講演筆記第一五卷ノ內）　大正一五）　三四四　八六

新教育思潮の批判　吉田熊次　大正一二　七二頁　一　二五三　二五三

新教育叢書　棗芳閣發行　大正一五　四　二五五　八六

第一編　新教育に於ける學級經營（野村芳兵衞）
第二編　新教育と國定教科書（峯地光重）
第三編　新教育の原理としての自然と理性（野口援太郎）
第四編　綜合科學教育の新生（栗山周一）

新教育に立脚せる圖書手工指導の實際　霜田靜志　大正一五　一　二六三　二二三

新教育の使徒輝ける二女性　長田新　大正一二　一　二五九　四六三

新教育の哲學的基礎　入澤宗壽（內外思想叢書第一編）　大正一二一　一　二五五　五九

眞教育の方針　浮田和民（現代評論叢書第一編ノ內）　大正三）　三七　二九九

新教育の理論及び實際　バートリッチ著　大瀨甚太郎、小野圭次郎譯　大正四　一　二五三　二二六

新教育方法の研究　入澤宗壽（內外教育叢書第三卷）　大正一一一　一　二五五　五三

新教育法講話　入澤宗壽　大正一三　一　二五三　二八九

新教育法の研究　北澤種一　大正一一二　一　二五三　二五〇

新教育令ニ基ク軍隊教育詳解　卷之下　軍隊教育實驗會編　大正一二　二　三四三　三三二

新教育令の初年兵　軍需商會編　大正三　一　三一八　二八二

新教育論　槇山榮次　大正一四　一　二五三　三一四

神教要旨略解　近衞忠房、千家尊福撰（修養文庫第四編皇道訓ノ內　大正八）　一　三七五　三五

神教綱領　近衞忠房（勤王文庫第二編ノ內　大正九）　一　三七九　九

甚希有經　唐、玄奘譯（大正新脩大藏經第一六卷經集部三ノ內　大正一四）　持　四四　三七四

同　一　八六　二九一

新教科書教授細目　富山縣女子師範學校附屬堀川小學校（女師附屬研究錄第一、二輯ノ內　大正一〇、一一）　一　二五五　四六

新教科書挿畫の解說及取扱法　終篇　田中廣吉　大正二　一　二六三　二〇一

新教科書の疑義解說　山口縣師範學校附屬小學校編　大正一一　一　二六三　二九三

新教科書地理教材の敷衍と附說　尋常科第五、六學年の活用　島田牛稚　大正七、八　二　二六三　六　四三

同　高等科第一、二學年　島田牛稚、菊地勝之助　大正一〇　二　二六三　六　四三

新教科書の取扱について　愛知縣女子師範學校附屬小學校編　大正一一　一　二六三　二九六

新教授法原論　入澤宗壽（最新教育學叢書第一五卷）　大正一一一　一　二五三　二五八

新教授法の原理及實際　槇山榮次　大正六　一　二六三　二五一

信教の自由と學問の獨立　ルツアッチ著　姉崎正治、鈴木宗忠譯　大正四　一　三三四　四四七

新劇原論　ゴルドン・クレイグ著　渡平民譯　大正九　一　二九五　五六

新劇將來の一問題　島村抱月（抱月全集第二卷ノ內　大正九）　一　三七九　一一

新劇團と創作劇　島村抱月（抱月全集第二卷ノ內　大正九）　一　三七九　二

進擊的佛教　柿花啓正　三版　大正五（佛教救世軍叢書第二編）　一　三五　二七〇

新劇の科白　島村抱月（抱月全集第二卷ノ內　大正九）　三七九　一一

新劇名作集　文學研究會編　大正一三　六五一頁　一　五三三　二六九

十五夜物語（谷崎潤一郎）
牧場の兄弟（久米正雄）
女親の心（武者小路實篤）
嬰兒殺し（山本有三）
藤十郎の戀（菊池寬）
纍死（長田秀雄）
第一の世界（小山內薰）
少年の道德（灰野庄平）
犬殺し（藤井眞澄）
葡萄棚（吉井勇）

神僞撮要抄　玄山撰（大日本佛教全書第六八册ノ內　大正七）　三五三　一〇

		冊	函	號
神偈讃歎念佛要義鈔	慈覺撰（大日本佛教全書第六八冊ノ内　大正七）	一	三五三	一〇
新月	佐佐木信綱　大正元	一	三三二	三九四
新月（幼兒詩集）	タアゴル著　增野三良譯　大正四	一	三五七	四六
眞歇清了禪師語錄	德初等編　二卷（大日本續藏經第六一八冊ノ内　明治四五）	二	二三五	二
新言海	上田萬年編　大正九	一	三七四	四九
新元會圖	市川岳山畫（磐水存響乾卷ノ内　大正元）	一	三四二	三六
新言語學	ヘンリ・スウィート著　金田一京助譯　明治四五	一	三三二	二八五
人權財産擁護法	大屋道雄、岩崎徂堂　大正七（權利主張―損害恢復―）	一	三六六	一〇三
人絹絲とベルベツトモールの編物	第一輯　小出春江　大正一四	一	五四二	一八四
新劍術教範	精神的實際的研究　對馬伊佐美　大正五	一	三一八	三四六
心源術秘傳書（簡易）	小栗基資　大正一二	一	五一六	一三
新顯色染料の研究	柵山茂三郎　大正一五	一	五三七	一五四
新原子論講話	竹內時男　大正一四	一	四六	二七三
人權伸張論	大場茂馬　大正四	一	三五二	九九
新現代	松屋奥服店編　大正八	一	四一八	六六
新建築物法の解決（誰れにもすぐ解る）	（新令）附　市街地建築物法關係法令全集　轆轤改一〇版　大正一三	一	一四七	イ 二六七
新語	漢、陸賈著　兒島獻吉郎譯註（國譯漢文大成經子史部第一〇卷ノ内　大正一〇）	一	三九九	二
新興	加持世界社發行（第一卷第一號（大正七年四月）ヨリ〔加持世界〕ノ改題）	雜		イ 三五

		冊	函	號
人工榮養品	丹波敬三編（化學工業全書第九冊ノ内　再版　明治四三）	一	四五	一九〇
人口耕地及農產物ヨリ見タル滿蒙ノ大勢	星武雄（南滿洲鐵道株式會社）調査報告書第二卷）　大正八	一	一四五	一九
人工香料	（化學工業全書第一四冊ノ内　明治四三）	一	四五	一九〇
人工氣胸療法	原榮（最新結核病論ノ内　大正四）		五三	二七
神功皇后御傳記	矢野玄道（安政年間）	一	三七四	四九
神功皇后攝政考	坂上康敬（珍書文庫百家叢說第三編ノ内　明治四五）	一	三四二	二六
新興經濟恢復の若干問題	山內正瞭（復興叢書第一輯ノ内　大正一二）	一	三三二	二八五
新興藝術と新教育	志垣寬　大正一三	一	三六六	一〇三
新興藝術の烽火	神原泰　大正一五	一	五四二	一八四
新興國ウクライナ	ウイルヘルム・キスキー著　世界思潮研究會譯　大正一〇（エポツク叢書第六編）	一	三一八	三四六
新興國の青年	建部遯吾　大正四　六〇二頁	一	三六〇	一二四
新興古土水元平場五老里咸興及西湖津圖幅	朝鮮總督府地質調査所編（朝鮮地質圖第六輯）	一	四一四	三三
人口思想史論	玉井茂　大正一五	一	五四六	九〇
秦公寺資財帳租稅錄	正尊撰（大日本佛教全書第一一九冊ノ内　大正四）		三五三	一〇
新興川柳詩集	田中五呂八編　大正一四	一	五五一	六〇
人口統計	財部靜治（國勢院統計講習會講演錄ノ内　大正一二）		五一八	四八
人口統計及國勢調查	濱田富吉（內閣統計局統計講習會講演錄ノ内　大正一五）		五一八	四八 ロ
人口統計及社會問題	財部靜治（國勢院統計講習會講演錄ノ内　大正一〇）		四五	五六三

		冊	函	號
人口統計研究	岡崎文規　大正一四	一	五一二	三一六
人口動態ニ關スル統計材料	內閣統計局編（維新以後帝國統計材料彙纂第四輯）　大正一	一	三三三	二三
人口と國力	（評論集）　大西猪之介　大正一五	一	五四六	一六五
人口と統計	ホイツブル著　今井榮之譯　大正一〇	一	四五	六一三
人口の原理に關する一論	マルサス著　高野岩三郎等譯　大正一三	一	五三三	一九〇
同	マルサス著　谷口吉彥譯　大正一二	一	五〇二	二一九
新興の横濱	橫濱貿易新報社發行　第一卷第一號（大正一三年九月）至第三卷第一號（大正一五年一月）	二	雜 五六	四〇
人工孵化蠶種學	三浦英太郎　大正一四	一	五四二	一三
人工孵化の原理と實際	荒木武雄錄ノ内（最新高等蠶業講習　大正一三）	一	五二一	六七
新興文化と法律	中央法律新聞社編　大正一一	一	五〇二	三〇〇
人口論	セバスチアン・フランク等著　高畠素之、安倍浩譯　大正一三（經濟學說體系第五）	一	五三二	一四四
人口論「マルサス」說の研究	藤村信雄　大正一三（體力養成叢書第五編）	一	五〇八	二五
深呼吸と心身の改造	小田部莊三郎　大正一五	一	五二三	一一五
新古今集選釋	佐佐木信綱　大正一二	一	六〇	八二四
新古今和歌集	源通具等奉勅撰　大正一五（二十一代集第四）	一	五一七	一七五
同	源通具等奉勅撰　佐佐木信綱、芳賀矢一校註（校註和歌叢書第四冊八代集下ノ内　大正一二）	一	五二九	五三
同	源通具等奉勅撰　石川椒校（有朋堂文庫ノ内　大正一五）		三四五	三
新古今和歌集詳解	鹽井正男著　大町桂月補　大正一四		五四三	二六

		冊	函	號
第一六編	鯉（室生犀星）	一	六〇	六一九
第一七編	草路（吉田絃二郎）	一	三七五	四九
第一八編	贋物（葛西善藏）	一	二七五	一四
新公民教育の研究	鹿兒島登左　大正一二			
人口問題	稻田周之助　大正一三（政治學叢書第一六編）	一	三三〇	四五
人口問題	飛田穗洲郎、大場實治（現代社會問題研究第一三卷）　大正九	一	三七五	四九
人口問題	ハロルド・ライト著　倉持福雄譯（劍橋大學經濟學叢書第五編）　大正一五	一	五五五	二九
人口問題を中心として	下村宏（法學論叢ノ内　大正一四）	一	五三〇	一七三
人口問題と食糧問題	附　附錄井參考表　大場實治　大正九	二	三九五	六三
人口問題と農村問題	山本美越乃（宗教教育及社會問題ノ内　大正一五）	一	五三六	二七二
新興露國の種々相	富士辰馬　大正一四	一	五三二	一四四
人口論	セバスチアン・フランク等著　高畠素之、安倍浩譯　大正一三（經濟學說體系第五）	一	五〇八	二五
人口論「マルサス」說の研究	藤村信雄　大正一三（體力養成叢書第五編）	一	五二三	一一五
深呼吸と心身の改造	小田部莊三郎　大正一五	一	六一	一〇三
新古今集選釋	佐佐木信綱　大正一二	一	六〇	八二四
新古今和歌集	源通具等奉勅撰　大正一五（二十一代集第四）	一	五一七	一七五
同	源通具等奉勅撰　佐佐木信綱、芳賀矢一校註（校註和歌叢書第四冊八代集下ノ内　大正一二）	一	五二九	五三
同	源通具等奉勅撰　石川椒校（有朋堂文庫ノ内　大正一五）		三四五	三
新古今和歌集詳解	鹽井正男著　大町桂月補　大正一四		五四三	二六
		一	九一	一七〇 イ

シンコ

新古今和歌集註解　鶴田常吉　大正一四　一　三八　四五

清國開港市場ノ經濟的勢力範圍　第一輯　外務省通商局編〔明治四五〕　一　一四、三　六四

日米關係の過去及將來（山田三良）
日本と米國（副島道正）
米國の對外自覺（斯波貞吉）
人種問題を背景としたる日支米關係（植原悅二郎）
經濟雜新と日支關係（矢野恒太）
國際經濟と日支經濟雜新（小林丑三郎）
新經濟政策の樹立を望む（河津暹）
日支共同の一途（及川恒忠）

「新國家學概論」の講演について　大山郁夫（社會思潮十講ノ內）　大正一一　五〇三　一二六

清國行政法（臨時臺灣舊慣調查會第一部報告）　第五、六卷　同調查會編　明治四四、大正二　二　三四　二七

同　第一卷上、下、第六卷、索引　大正二至四　四　三四　二七イ

新刻古今碑帖考　支、朱晨編　支、胡文煥校　寫本　一〇　一二三　一五

清國祭儀之圖　寫本　軸一　へ　四四

新國史考　伴信友（珍書文庫百家叢說第三編ノ內　明治四五）　三三〇　四一

新國史考　伴信友著　黑川春村自筆寫　寫本〔「本朝世記考」ト合綴〕　特　八三〇　一九四

新國史觀努力の跡　西村眞次　大正五　一　二　四四二

新國史教科書の考察と活用（編纂趣意書の解說を主としたる）　藤田藤平　大正一〇　一　二六三　七三

新國史至難教材の究明と躍動　中野八十八　大正一三　五〇七頁　一　二六三　九二

信國寺社傳（伊那史料叢書第九ノ內　大正一四）　一　一　一八三

新國字問題　櫻根孝之進　大正二　一　三三九　二三四

清國新事業之一斑　〔清國赴日實業團編〕〔宣統三〕　一　四〇八　五五

新國是の提唱　國策研究會編　大正一三　一　五三三　一三五

日米關係の過去及將來（山田三良）
日本と米國（副島道正）
米國の對外自覺（斯波貞吉）
人種問題を背景としたる日支米關係（植原悅二郎）
經濟雜新と日支經濟雜新（矢野恒太）
國際經濟と日支經濟雜新（小林丑三郎）
新經濟政策の樹立を望む（河津暹）
日支共同の一途（及川恒忠）

新國定教科書準據小學校教授法　北澤眞　訂再版　大正三　一　二六三　一九四イ

新國定尋常小學地理教授書　卷一　六合館編　大正七　一〇　二六三　四四

新國定讀本教授適用實際的口語法　附錄　新出語句一覽　橘本文壽　明治四五　一　三四二　九

清國動亂と對清貿易　農商務省商務局編　明治四五　三二頁　一　三二七　六三三

神國としての日本　ハーン著　入谷智定譯（興亡史論第二期第一卷史論叢錄前ノ內　大正八）　一　三五五　八九

新國文學史　五十嵐力　明治四五　七九六頁　一　三四二　一六三

新國文學選　平林治憲等編　大正一〇　一　三三八　三八八

同（修正）　訂正　大正一三　一　三三八　三八八イ

新國民の修養　浮田和民　大正三　一　三五〇　三三一

新國民の修養　中島半次郎（今後の國民修養ノ內　大正四）　三六〇　八七

新國民理學叢書　中興館發行　大正一五　一　五三〇　五四

第一編　植物界之智囊　附錄　植物學の研究法（畠山久重）（松山亮藏著　畠山久重校）

新繪畫便覽　大宮英松　大正八　一　三一　八八六

神國王鈔私見聞　日朝（日蓮宗學全書ノ內　大正一三）　三五三　三〇ほ

新古書粹　同社編　大正八、九　四　四三一　一

第一編　雪舟
第二編　渡邊華山

シンコ

第三編　光悅　松花堂
第四編　狩野探幽
第五編　雪村
第六編　杏所　椿山
第七編　宋畫
第八編　菱田春草
第九編　光琳
第一〇編　浮世繪
第一一編　土佐光起
第一二編　三阿彌
第一三編　明畫
第一四編　大和繪
第一五編　俵屋宗達

尋五算術新教授書（理論實際）　佐藤武、永澤壽角　大正一一　一　二六三　七一

新五子稿　嘉會堂主編　大正五（伊藤名著文庫第五編）　一　三五五　二八

神護寺舊記（續群書類從第二七輯ノ上釋家部ノ內　大正一四）　八〇　三二

同　八〇　三二イ

新御式目（續群書類從第二三輯ノ下武家部ノ內　大正一三）　八〇　三三一

同　八〇　三三一イ

新後拾遺和歌集　藤原爲遠奉勅撰（二十一代集第一〇ノ內　大正一四）　五三九　五三

神護寺文書（大日本佛教全書第一一九册ノ內　大正四）　三五三　一〇

神護寺略記（大日本佛教全書第一一九册ノ內　大正四）　三五三　一〇

新古筝曲正調撰集　藤田斗南編　大正一一　一〇　六七　三八四

新後撰和歌集　藤原爲世奉勅撰（二十一代集第六ノ內　大正一四）　五三九　五三

新古典模樣　高島屋吳服店專職本部編　大正一五　一〇　四八　一〇〇

尋五讀本教授細案（應用練習を主としたる）　前、後期用　內外教育資料調查會編　大正一一　前期用　六〇八頁、後期用　五八二頁　二　二六三　二九五

人狐辨惑談　陶山尙迪（醫聖堂叢書ノ內　大正一二）　五三　一九七

同　五三　一九七イ

尋五理科解說（修正）　加藤彌平次、高村廣吉　大正一四　一　二六三　七一

眞言安心勸善義　彥坤（眞言宗安心全書卷上ノ內　大正二）　二　二六三　七一

眞言安心小鏡　懷圓　四卷（眞言宗安心全書卷上ノ內　大正二）　三三四　二六五

眞言安心和讀　興正（眞言宗安心全書卷下ノ內　大正二）　三三四　二六五

眞言安心和讀　服部鐵海等校（眞言宗安心全書卷下ノ內　大正二）　三三四　二六五

眞言要義　蓮容信成（尾張國講習會講義錄第一三回ノ內　大正一〇）　三三四　五三七

眞言開庫集　蓮體　二卷（眞言宗安心全書卷上ノ內　大正二）　三三四　二六五

眞言疑目　圓珍撰　殘缺一卷（大日本佛教全書第二八册ノ內　大正七）　三五三　一〇

眞言禁制加持祈禱秘密の奧傳　小野清秀　大正一〇　一　二九二　二四八

眞言教誡義　周海　三卷（眞言宗安心全書卷上ノ內　大正二）　三三四　二六五

眞言見聞　日向（日蓮宗宗學全書ノ內　大正一〇）　三五三　三〇ほ

眞言三身問答　圓珍記（日本大藏經第四三卷ノ內　大正九）　三五三　六

眞言三身問答　圓仁撰（日本大藏經第四三卷ノ內　大正九）　三五三　六

眞言宗安心　欽光著　鷲尾順敬等註（國文東方佛教叢書第一卷宗義部ノ內　大正一五）　五三九　六七

眞言宗安心全書　長谷寶秀編　大正一一三　二　三三四　二六五

卷上

覺海法橋法語（覺海）　一　五二四　五一九
密教修行念誦作法　二卷（自性）　一　五二四　五一九
安養都率本來胸中事（同）　一　五二四　五一九
迷悟抄（覺濟）　一　五二四　五一九
眞言內證義（覺□）　一　五二四　五一九
仏遍一期安心記　二卷（蓮體）　一　五二四　五一九
眞言開庫集　二卷（蓮體）　一　五二四　五一九
眞言安心觀善義　二卷（尊海）　一　五二四　五一九
對寘法話（學如）　一　五二四　五一九
眞言宗安心　三卷（飲光）　一　五二四　五一九
眞言教誡義　三卷（周海）　一　五二四　五一九
秘密安心略章（法住）　一　五二四　五一九
秘密安心住生法話（同）　一　五二四　五一九
秘密安心又略（同）　一　五二四　五一九
機教相應門安心消息（明道）　一　五二四　五一九
教益甚深門安心消息（同）　一　五二四　五一九
眞言安心小鏡　四卷（懷圓）　一　五二四　五一九
諱要餘稿之餘（同）　一　五二四　五一九
密宗安心心頌（龍海）　一　五二四　五一九
密宗安心三品悉地四種法身事（東諱城）　一　五二四　五一九
眞言宗安心（上野相憲）　一　五二四　五一九
密海舟慈義章　二卷（雲照）　一　五二四　五一九
密宗安心教示章（別處榮嚴）　一　五二四　五一九
密宗安心教示章（賢寶）　一　五二四　五一九
教導辨要（服部鏡海）　一　五二四　五一九
密宗安心論（山縣玄淨）　一　五二四　五一九
眞言宗未決手鏡（上田照遍）　二卷（同）　一　五二四　五一九
眞言宗意安心辨　二卷（同）　一　五二四　五一九
靈魂不滅論（同）　一　五二四　五一九
密教安心章（智山派宗務所編）　一　五二四　五一九
聯合各派管長法話　一　五二四　五一九

卷下

光明眞言句義釋（明惠）　一　五二四　五一九
光明眞言加持土沙義（同）　二卷（同）　一　五二四　五一九
土砂勸信記　二卷（同）　一　五二四　五一九
土砂勸信別記（同）　一　五二四　五一九
光明眞言四重釋（道範）　一　五二四　五一九
光明眞言式（知道）　一　五二四　五一九
光明眞言觀誦要門（賴慶）　二卷（淨嚴）　一　五二四　五一九
光明眞言玉鏡（□空）　一　五二四　五一九
光明眞言袖鑑（密嚴）　一　五二四　五一九
光明眞言初學要覽鈔（上田照遍）　三卷（道範）　一　五二四　五一九
秘密宗宗旨佛鈔　一　五二四　五一九
眞言宗欣求安養鈔　上　一　五二四　五一九
秘密念佛私記（曇寂）　一　五二四　五一九
光明眞言金寶集（蓮體）　一　五二四　五一九
發心不退章　二卷（等空）　一　五二四　五一九

秘密念佛略話（法住）　一　三七三　九三
秘密念佛廣話（同）　一　三二四　五二〇
淨土門秘要（上田照遍）　一　三二四　五二〇
都率西方往生雜易法談（明惠說　隆辨記）　二卷（知道）　一　三二四　五二〇
好夢十因（尊海）　一　三二四　五二〇
眞言內證義（覺□）　一　三二四　五二〇
仏遍一期安心記　二卷（蓮體）　一　三二四　五二〇
眞言開庫集　二卷（蓮體）　一　三二四　五二〇
眞言安心觀善義　二卷（尊海）　一　三二四　五二〇
往生兜率密記　二卷（尊海）　一　三二四　五二〇
秘密安心往生要集　二卷（蓮體）　一　三二四　五二〇
都率往生問答訣（月海）　一　三二四　五二〇
兜率淨土行門鈔（上田照遍）　一　三二四　五二〇
密宗安心略辨（高轅龍暢）　一　三二四　五二〇
眞言教誡養（實範）　一　三二四　五二〇
病中修行記（解脫）　一　三二四　五二〇
臨終用意事（道範）　一　三二四　五二〇
病中用心抄（知道）　一　三二四　五二〇
佛法夢物語（同）　一　三二四　五二〇
夢知識物語（同）　一　三二四　五二〇
成佛示心（淨空）　一　三二四　五二〇
病人用心（上田照遍）　一　三二四　五二〇
送終略示心（同）　一　三二四　五二〇
眞言安心和讚（興正）　一　三二四　五〇三イ
光明眞言安心和讚（同）　一　三二四　五〇三イ
眞言安心和讚（服部鏡海等校）　一　三五三　三〇ロ
光明眞言和讚（同）　一　三五三　一〇
弘法大師和讚（山本寂明）　一　三五三　一〇
爲人ノ道（佐伯慈明）　一　三五三　一〇
三章教憲和解（高岡增隆）　一　三五三　六
教場要論（大崎行智）　一　三五三　六
布教實歷談（服部鏡海）　一　三四　四七六イ
書翰二通（同）　一　三五　一六八イ

眞言宗小史　伊藤弘憲、秋山秀興　大正一五　一　一五二四　一五一九
眞言宗大意　權田雷斧（現代佛教研究ノ內　大正七）　一　三二四　五六四
眞言宗大綱　蓮生觀善　大正一四（密教研究叢書第一編）　一　一五二〇　三三
眞言宗持物圖釋　密門撰（大日本佛教全書第七四冊ノ內　大正一〇）　一　三五三　一〇
眞言宗未決文　德一（日本大藏經第五卷ノ內　大正四）　一　三五三　六
眞言宗聯合各派寺名一覽　高楠圓隆編　大正元　一　三三五　一六八
同　再版　大正八　一　三三五　一六八イ
眞言淨菩提心私記　覺鑁撰（日本大藏經第一六卷ノ內　大正五）　一　三五三　六
眞言諸山符案　（續群書類從第二八輯ノ上釋家部ノ內　大正一五）　八〇　三二
同　八〇　三二イ
眞言所立三身問答　圓仁撰（大日本佛教全書第二四冊ノ內　大正二）　一　三五三　一〇
深根性苗木ノ幹根部ノ間ニ存スル相關關係ニ就テ　福永鴻介（農商務省）林業試驗彙報第一四號ノ內　大正一三　一四、二　一二五ロ
眞言傳　榮海撰　七卷（大日本佛教全書第一〇六冊ノ內　大正六）　一　三五三　一〇
眞言內證義　覺□著（眞言宗安心全書卷上ノ內　大正二）　一　三三四　三六五
眞言念佛集　慧淨撰　二卷（大日本佛教全書第七〇冊ノ內　大正八）　一　三五三　一〇
新婚の夜　モウバッサン著　安成四郎譯（モウバッサン全集第一一卷ノ內　大正一〇）　一　二九〇　四一
眞言秘密大全　上、中、下　平原貞治　大正四　一　五一六　四六
眞言秘密之法　附錄　眞言密呪　大野愚童　大正一五　一　五三三　二四八

眞言秘密の魔力實修法通信傳授秘錄　木原通德　大正一〇　一　三九二　一七五
眞言付法纂要抄　成尊撰（大日本佛教全書第一〇六冊ノ內　大正六）　一　三五三　一〇
眞言付法傳　空海撰（大日本佛教全書第一〇六冊ノ內　大正六）　一　三五三　一〇
同　（日本大藏經第四七卷ノ內　大正九）　三五三　六
眞言菩提心義　圓仁撰（日本大藏經第四六卷ノ內　大正九）　三五三　六
眞言密教聖典　小野清秀　大正四　一　三三四　四七六イ
眞言密教の興るまで　松本文三郎　大正一四　一　五二四　四一七
眞言密教法具便覽　權田雷斧　大正六　二〇　一一　二五九
新彩　久保田金僊編　大正七　一〇　四二〇　四一
震災應急事務概要　農商務省植物檢查所編　大正一三　一　五一八　一三
震災概說及地震ニ關スル注意　大森房吉　大正九（震災豫防調查會報告第八八號丙）　一　四四　一二五
震災記念　十一時五十八分　東京市役所、萬朝報社編　大正一三　一　五二六　六九
震災記錄　高楠榮吉編　大正一三　一　五二六　七五
新細菌學　澤村眞　訂再版　明治四五　一　四五　三〇四イ
震災火災ト鋪木道鋪木橋及電柱ノ被害　辻行雄（農商務省）林業試驗彙報特別號ノ內　大正一二）　一四、二　一二五ロ
震災畫報　第一至六冊　宮武外骨編　大正一二、一三　一〇　五二六　五四
震災畫譜　畫家の眼　黎明社編　大正一二　一　五二六　四六
震災經濟誌　河田嗣郎　大正一二（學術叢書第一編）　一　五一五　一〇九

震災經濟私眼　池内幸親　大正一二　一冊　函號 五三 四六

震災五十八景　關露香著　羽島古山畫　大正一三　一〇　四一五　三三

震災後ニ於ケル相模灣及房總沿海々洋調査概況　水路部製　大正一二　一枚　一・五×一・〇　五二六　四一
淺野彦太郎等　大正一三　一　一四、六、ニ　二三九
（激震地方ニ於ケル海洋ト漁業其二）

震災地附近地形及水深變化調査圖　大正一三　一　一四、六、ニ　二三九

震災直後の市勢統計　東京市統計課編　大正一四　一　一四、四　六八四

震災後ニ於ケル東京海灣ノ海洋並ニ漁業狀態調査　第一卷　世帶數及人口　（大正一二年一月一五日現在）　一　一四、四　六八四　イ
概況　岡村金太郎等　大正一二　一　一四、六、ニ　二三九
（激震地方ニ於ケル海洋ト漁業其一）

同　第一卷　大正一四　一　一四、六、ニ　二三九

震災調査報告　社會局編　大正一三　一　四二三　四三五

震災と教育　（帝國教育臨時號）　帝國教育會編　大正一三　一　五二六　六一

震災と諸稅の減免猶豫　中村繼男　大正一二　一　一四七　二六〇

震災と保險　林貞夫　大正一二　七一頁　一　五二四　三三

震災に關する教育資料　第一至三輯　文部省普通學務局編　大正一二　三　五二六　四二

震災に關する新法令集　附　實際問題の法律上の解釋　澤誠二編　大正一二　七二頁　一　一四七　二五七

震災に由る戒嚴令の施行　美濃部達吉　（復興叢書第一輯ノ内）　大正一二　五二〇　三

震災ニ因ル日本ノ損失　東京市役所編　大正一四　一　五二六　八二

震災の影響と對支貿易の前途　大正一二年一一月調　大阪市役所商工課編　大正一二　七〇頁　一　五二四　三五

震災の教訓　一木喜德郎　大正一四　一　三九三　七二九
（教化資料第四輯）

震災被害狀況並救護施設概要　大正一二年一〇月一〇日調　臨時震災救護事務局編　大正一二　一　五二六　一三

震災被害者租稅ノ減免　西脇晉　大正一二　一　五一六　一七六

震災被害並救護施設の概況　臨時震災救護事務局編　大正一三　三七頁　一　五二六　六〇

震災地方ニ於テ貯藏設備ヲ缺ケル場合ニ於ケル米穀ノ應急貯藏設備　農商務省農務局編　大正一二　二七頁

辰齋美人畫　辰齋畫　（奉書摺狂歌ノチラシナリ）　別　一枚　ゑ　一七

震災美談　中島司　大正一三　一　五二六　七七

愼齋文鈔　小島守政　大正七　三〇　二七三

新裁縫手藝教授書（メートルと尺對照）　赤司ちう、市橋なみ　大正一三　一　一五一　九三

震災漫詩（泥犂現實）　並　遭難實錄　岩谷白嶺　大正一三　一　一五二六　六三

新催眠療法講義錄　一名　靈動療法講義　古屋景晴　（鐵石）　大正一五　一　六〇　八二五

震災餘譚　菊池寬　（菊池寬戲曲全集第三卷ノ内　大正一四）　二九六　二九

同　（現代戲曲全集第五卷ノ内　大正一三）　五二〇　二五

震災豫防調査會報告　同會編　大正二至一四　二三　一四四　一一五

第六八號 乙　本邦大地震概說　（大森房吉）

第七五號　硫黄島（燒岳）噴火事項調査報告　（加藤鐵之助）

硫黄岳（燒岳）火山地質調査報告　（同）

第七六號　銅材腐蝕試驗　第二回報告　（内田祥三）

蟻害ト建築構造　第一回報告　（内田祥三）

第七七號　安政元年夏ノ地震　（今村明恒）

東京大阪兩市街ニ於ケル震度ノ分布　（同）

明治五年ノ濱田地震　（同）

明治二十九年ノ陸羽地震　（同）

明治四十四年ノ喜界島地震　（同）

第七八號　草津白根火山地質調査報告　（眞野文二）

第七九號　鹿兒島縣下ニ關スル耐震上家屋構造ノ注意　（大森房吉等）

同　秋田縣下ニ關スル耐震上家屋構造ノ注意　（同）

新硫黄島噴出調査報文　（小倉勉）

新島湧出ニ關スル内務省報告書類

草津溫泉變化調査報文　（大橋良一）

越後國西山油田溫度測定報文　（藤教篤）

伊豆大島三原山噴火歷史　（中村清二）

三宅島噴火記事　（大森房吉）

本邦炭坑ノ瓦斯爆發ニ關スル調査　（同）

伊太利中部ノ大震ニ關スル彙報　（同）

噴火及地震ニ關スル彙報

第八〇號　鹿兒島地震ニ於ケル建築物被害調査報文　（内田祥三）

第八一號　伊豆大島三原山噴火概報　（大森房吉）

第八二號　大正三年秋田縣仙北郡大地震調査報文　（今村明恒）

大正三年秋田縣仙北郡ニ發シタル地震ニ就キテ　（碧海淸康述）

大正三年秋田地震ニ就キテ　（大橋良一）

第八三號 甲　家屋耐震構造論　上編　（佐野利器）

同 乙　同　下編　（同）

第八四號　溫泉岳火山地質調査報文　（駒田亥久雄）

第八五號　耶馬溪及英彥山地方地質調査報文　（加藤武夫）

第八六號　日本噴火志　上編　（大森房吉）

第八七號　同　下編　（同）

第八八號 甲　近距離地震ノ初期微動繼續時間　（同）

同 乙　本邦大地震概表　（同）

同 丙　震災概說及地震ニ關スル注意　（同）

第八九號　大正七年二月十三日汕頭地方大地震報告

近藤久次郎、寺本貞吉ニ就キテ　（大森房吉）

海洋波浪及ビ地ノ脈動ニ就キテ　（同）

東京灣ノ津波ニ就キテ　（同）

大正六年九月三十日十月一日暴風ト利根川筋及ヒ霞浦北浦ノ水位　（同）

神津島新島調査報文　（辻村太郎）

霧島火山地域地質調査概報　（小田亮平）

第九〇號　多良嶽火山地質調査報文　（小倉勉）

第九一號　九重及花卷禮兩火山地質調査報文　（納富重雄）

第九二號　九州地震帶　（今村明恒）

櫻島西道ノ地熱異狀　（同）

上總地震群ト大地震ノ前後　（同）

船形火山地質調査報文　（小倉勉）

第九三號　東京灣内ノ颱風津浪ト地ノ脈動トノ關係ニ就キテ　（大森房吉）

第九四號　大正五年十一月十日前後ニ於ケル大ナル地ノ脈動　（同）

雉子ト地震　（同）

大町地方震災後家屋建築及修理ニ關スル注意　（福越三郎）

大正七年大町地方激震調査報告　（大森房吉）

第九五號　奥羽西部ノ地震帶、初期微動繼續時間ト震動距離トノ關係　（今村明恒）

		冊	函	號
第九六號	霧島火山地域地質調査報文（小田亮平）			
第九七號	構造物振動驗測調査報告（前編）（大森房吉）			
第九九號	島原地震調査報文（同）			
	島原地震ニ關スル地盤垂直變化ノ調査（今村明恒）			
	島原地震氣象調査報文（同）			
	島原地震ニ際シ建築ニ關スル注意（堀越三郎）			
	大正十一年四月二十六日地震東京市内被害調査報文（震災調査廳編）			
	大正十一年四月二十六日地震神奈川縣下被害狀況報文（神奈川縣編）			
第一〇〇號甲	關東大地震調査報告（今村明恒）			
同　乙	大正十二年九月一日關東大地震ノ地質學的考察（加藤武夫）			
	關東地震ノ地形學的考察（山崎直方）			
	關東大地震ノ水準變更調査（大村齊）			
	關東大地震ニ因ル相模灣底及附近地形ノ變化調査報告（内田虎二郎）			
	大地震ノ原因ニ關スル地球物理學的考察（寺田寅彦）			
	伊豆國大島三原火山ノ調査（中村清二）			
	地震ト山地ノ崩壞トニ就イテ調査報告（諸戸北郎）			
	根府川山崩調査報告（松澤武雄）			
	根府川方面山津浪調査報告（今村明恒）			
	東海道西部及ビ紀伊半島東部ノ海岸ノ變動ニ關スル調査概報（鈴木醇）			
	房總半島ニ於ケル土地ノ隆起（今村明恒）			
	關東大地震ニ伴ヘル地變調査豫報（井上禧之助）			
	伊豆安房方面津浪並ニ初島地變調査報告（池田徹郎）			
	相模灣カラ起ツタ津浪ノ傳播ニ關スル調査報告（寺田寅彦）			
同　戊	關東大地震ニ因レル東京大火災（緒方惟一郎）	一	五三六	五三
同第二（大正二至一二）	震災豫防調査會報告書總目錄　第一（明治二六至大正二）	一	五三六	一八
	震災より得たる教訓　近藤土郎編　大正一三	一	五三六	一八
	震災ロマンス　哀話と佳話の卷、慘話と美談の卷　荒野耕平編　大正一二	一	五三六	一八
	新艸　一、二、四、五　同會編　大正一一至一三	四	一〇九	二六〇

		冊	函	號
腎臟炎と其養生法	額田豐著　近藤金彌編　大正元	一	五三	八九
同　再版　大正五		一	五三	八九イ
同　三版　大正七		一	五三	八九ロ
腎臟炎と糖尿病	菊池林作　大正七	一	五三	一四八
腎臟炎ニ因ル死亡統計（明治三十二年―至同四十一年―）	内閣統計局編　大正三	一	四〇九	五九
腎臟炎ノ療法	吉本清太郎　大正八	一	五三	一五二
人造香料製造法講義	鴨田脩治　大正六	一	三六一	一四五
人造香料わにりんノ合成（其一）	篠崎英之助（星野耕三）（東京工業試驗所報告第一四回第四號ノ内　大正八）	一	四三イ	一一七
同		一	四三イ	一一七ロ
人造牛脂ニ關スル研究	廣瀨正雄、下村恒夫（東京工業試驗所報告第二一回第五號ノ内　大正一五）	一	四三イ	一一七
同		一	四三イ	一一七ロ
腎臟結核ノ診斷及治療法ノ現況	阿久津三郎（最新結核病論ノ内　大正四）	一	五三	一一七
人造絹絲要說	清水渕　大正一四	一	五四七	六五
人造絹絲工業の進歩發達	桐生高等工業學校色染會編（色染叢書第七ノ内　大正一二）	三	八〇	一六五
人造絹絲製造法講義	鴨田脩治編　大正六	一	三六一	一三三
人造絹絲染色法の研究	桐生高等工業學校色染會編（色染叢書第五ノ内　大正一〇）	三	八〇	一六五
人造絹絲ニ關スル調査	農商務省商務局貿易通報課編　大正一二　三四頁	一	三九七	四五七
人造絹絲に就て	桐生高等工業學校色染會編（色染叢書第六ノ内　大正一一）	三	八〇	一六五
人造壹光	桐生高等工業學校色染會編（色染叢書第七ノ内　大正一二）	三	八〇	一六五
人造絹絲の捺染に就て	桐生高等工業學校色染會編（色染叢書第一〇ノ内　大正一五）	一	三九三	六八三
人造絹絲の發達	國際通信社編　大正一三	一	三九三	六八三
人造絹絲の發達と蠶業の改善	根岸銀五郎（高等蠶業講習會講演筆記第一回ノ内　大正一二）	一	五一五	五四
新創造の歐洲美術	一氏義良　大正一二（人類叢書ノ内）	一	五一五	五一は
人造色素繪具製造法	池田元太郎　大正七	一	三六五	八四
腎臟疾患（理論と實際）	五斗欽吾　大正一二　五二八頁	一	五三	一九九
腎臟疾患診療の新見地	五斗欽吾　大正一二（研究より實地へ第二編）	一	六〇	七四一
腎臟疾患治療法	佐々木隆興（治療全書卷三ノ内　大正三）	一	六〇	三三五
腎臟疾患ノ病理及療法	佐々廉平　大正一一	一	五三	一九四
腎臟疾患之分類及治療	朝倉文三　大正一四	一	五三	三六
新裝飾美術	島村抱月（抱月全集第三卷ノ内　大正八）	一	三七九	一
人造石用種土試驗成績	附錄　ポルトランド・セメント試驗方法及各種混凝土試驗成績　愛知縣土木課編　大正八　八一頁	一	三九三	六三三
眞草千字文	隋、智永書	別一帖	一三八	一九九
人造染料製造試驗	小島正輝、柴崎瀨平　大正六（東京工業試驗所報告第一二回第九號）	一帖	ひ	七六
人造染料製造試驗報告	第一、二（藤本經明、淺岡卿）　大正一〇、一二（東京工業試驗所報告第一六回第九號、第一八回第四號）	一	一四二イ	一一七
		二	一四二イ	一一七
		二	一四二ロ	一一七
		二	一四三イ	一一七
同		二	一四三ロ	一一七

		冊	函	號
人造壹光	桐生高等工業學校色染會編（色染叢書第七ノ内　大正一二）	三	八〇	一六五
眞想と着眼（大正時代ノ軍隊教育）	安西理三郎編　大正七	一	三九三	六八三
人造人間（戯曲）	カレル・カペック著　宇賀伊津緒譯　大正一二	一	五三	三三
心臟の衛生	附　肝臟の衛生　竹中繁次郎、伊藤尚賢　大正一〇	一	五三	一七九
腎臟ノ解剖及ビ生理	額田豐　大正九（日本内科全書卷五第三册）	一	五三	九四
新裝の長井	立原和愛編　大正一一　五〇頁	一	六七	三八七
人造ばいおれっと油（いおのん）ノ合成ニ就テ	第二報　伊東三郎　大正一四（大阪工業試驗所報告第六回第一二號）	一	一四二イ	四九八
同	第一、二報　大正一三、一四（大阪工業試驗所報告第五回第一〇號、第六回第一二號）	二	一四二イ	四九八イ
心臟病及其療法	竹中成憲　明治四四（近世醫學叢書第四四編）	一	六〇	三三九ロ
心臟病診斷及治療學	吳建　大正四	一	五三	一一四
同		一	五三	二一四イ
同　再版　大正七		一	五三	二一四ロ
同　三版　大正一一		一	五三	二一四ハ
同　上卷　四版　大正一四		一	五三	二一四ニ
人造肥料製造法講義	鴨田脩治編　大正六	一	三六一	一四六
人造品界の進歩（理化應用）	長野宗四郎　明治四五	一	三四二	一四二
新喪類記	横山由清稿本　寫本	一	八三〇	一二六
人造綿製造法（廢物利用）	職業研究會編　大正一〇　四〇頁	一	三九六	九二

同

新佐賀市　上田左瓶編　大正六　一　三九　九四
新さかへ　久保田金僊編　大正三　一〇　四二〇　一八
新坂町から　三宅恒方　再版　大正一一　一　五〇三　九三
新作仇討全集（大衆文藝一）　第一、二卷　直木三十五　大正一四、一五（細目ハ「タイシ」ヲ見ヨ）　二　五四八　一六
新作家叢書　聚芳閣發行　大正一三　三　五一六　二七
第一　一人生記錄　（中西伊之助）
第三　快樂師の群　（前田河廣一郎）
第四　沙本姫　（近藤榮一）
新作詩自在　井上經重　大正五　一　三五七　一八六
新作淨瑠璃（國民教育）　渡部省三（松菊齋）　大正一　一　三九　一七〇
第二一至二三、二五、二七至三二、四九、五〇、五〇回紀念號、五二至五三、五六、研究號、五八至六一、二十週年紀念號、六二至六五、六七、英國皇儲殿下御來朝紀念號、六九至七二、七五、七七至七九回、京都圖案會編　大正三至一五
新作圖案　三　八三　三六九
新作文講話と作り方　大西貞治　大正一五　一　五一七　三五四
眞察大僧正傳　大我（淨土宗全書第一八卷ノ內　大正一）　三三四　六三　ロ
新札往來　（續群書類從第一三輯ノ下消息部ノ內　再版　大正一五）　八〇　三二　ロ
新雜談集　高井九董著　潁原退藏校註　大正一三　（古俳書文庫第四篇）　一　五一五　一二九
新小夜嵐　六卷（國書刊行會本德川文藝類聚第三遍歷小說ノ內　大正四）　三三〇　四九　ろ
新小夜嵐物語　一名、曉久二世物語　井原西鶴　二卷（新選繪入西鶴全集騰樂篇第一卷ノ內　大正一一）　五〇五　四三
新サラセン式　いとう呉服店編　大正一二　一〇　一〇九　二八六
新皿屋敷月雨暈　河竹默阿彌（默阿彌脚本集第一〇卷ノ內　大正一〇）　三九〇　二一
同　（默阿彌全集第一七卷ノ內　大正一四）　五三七　四三

秦山遺稿　土方久元　大正八　一　三七九　一〇
新纂看護婦學　長尾肱齋（折三）　大正四　五〇九頁　一　六〇　四一四
新纂救急療法　松本浦太編　明治四五　一　六〇　三〇三
新纂外科各論　前編上、後編上、下　下平用彰　七、八版　大正元　三　五四　三〇　レ
同　第一至三、五卷　一〇、一一版　大正七、八　四　五四　三〇　ソ
新纂外科總論　前編上、下、後編　下平用彰　三版　明治四五　三　五四　三九　ヨ
同　第一卷　增訂六版　大正七　一　五四　三九　レ
同　一　五四三　八八
新產業政策論　永井亨　大正一四　一　五八　九四
新齒科開業試驗答案集　水野寬爾編　大正六　一　二六三　一〇八　四
新算術教授　肥後盛熊　大正一四　一　五一七　三五四
新算術複式混合法　山田萬吉　大正三　一　三三三　三三二
新山水行脚　坪谷善四郎　大正元　一　五〇　二　ハ
新賣藥製劑備考　上卷　高木與八郎、小泉榮次郎編　五版　大正七　一　五一五　一二九
新產婆學　原田隆　大正九　一　五六　一五七
新纂淋疾診斷及治療法　佐谷有吉　大正九　一　五七　五六
新自由主義　ウイルソン著　關和知譯　再版　大正三　一　三五〇　三〇九
同　大正七　一　三五〇　三〇九　イ
眞宗　沼法量　大正七　一　三一　六〇九

眞宗　沼法量　大正八　一　三八八　一八二
眞宗　富士川游　大正八　一　三九三　五
眞宗安心異諍紀事　玄智（眞宗全書第三五卷ノ內　大正三）　三四六　七
眞宗安心一念覺不論　太藤順海編　大正元　八七頁　一　三三四　三二
眞宗安心所歸論　伊藤義賢　大正一三　一　五三三　二
眞宗安心眞根本義　藤井養佳　大正一四　一　五三三　一〇
眞宗安心論題　藤永清徹　大正一五　一　五九　一八
眞宗安心論佛體をたのむか名號をたのむか　第一至五編　石川舜臺　大正一三　五　五〇四　二七八
信州伊那郡鄕村記　大正四　六卷（伊那史料叢書第二）　一〇　一八二
信州伊那節と木曾節　峽水生編　大正九　一　三八八　二一八
眞宗要義　雲山龍珠　大正一一　一　三九七　三三九
眞宗要義　覺壽　大正三　一　三三四　三九五
眞宗大谷大學一覽　第七、九、一〇次學年　大正六、一〇年　同學編　大正六至一〇　三　二五五　三
眞宗開祖親鸞聖人　本多辰次郎　大正一二（文化叢書第二〇編）　一　五〇五　二六
眞宗概論　佐々木月樵　大正一〇　一　三九二　二二五
眞宗綱要　鈴木法琛　大正一一　一　三九二　二二五
信州行の印象　岩野泡鳴（泡鳴全集第一一卷ノ內　大正一〇）　五〇〇　一
眞宗講話　河崎顯了　大正六　一　三二四　五二四

眞宗學史　鈴木法琛　大正九（佛教大學叢書第二編）　一　三七九　一〇
眞宗學序說　金子大榮　大正一二　一　五〇四　一四五
眞宗假名聖教關典錄　琢成　天保一二　一三卷　一九　一八一　三六五
同　（眞宗全書第二七卷ノ內　大正二）　三四六　七
眞宗假名聖教御引文　琢成撰（眞宗大系第一ノ內　大正七）　三六九　一五
眞宗假名聖教目錄　慧琳撰（大日本佛教全書第一册ノ內　大正二）　三五三　一〇
信州川中島合戰　寫本（勝進助芝居臺帳第九）　一〇　一九一　七六五
信州川中島合戰　近松門左衛門（傑作近松時代淨瑠璃集成ノ內　大正一〇）　三七七　二四一
同　近松門左衛門著　木谷蓬吟註（解說註釋大近松全集第八卷ノ內　大正一一）　五〇五　三六
同　（解說註釋大近松全集第八卷ノ內　大正一五）　五〇五　三六　イ
眞宗行信逢源艸本　玄雄（眞宗全書續編第二二卷ノ內　大正四）　三四六　七
眞宗行信略論　大嚴（眞宗全書續編第二〇卷ノ內　大正四）　三四六　七
眞宗懷古鈔　惠忍　三卷（眞宗全書續編第一八卷ノ內　大正四）　三四六　七
神州恢復祕策　稻崎節庵（勤王文庫第四編ノ內　大正八）　三七九　九
眞宗關節　月笠（眞宗全書第四三卷ノ內　大正一二）　三四六　七
新宗教　松村介石　大正一四　一　五三三　八六
眞宗教義　廣瀨南雄　大正一三（「眞宗史要」ト合綴）　五〇四　二六四
眞宗教義大觀　中島覺亮　大正一三　一　五二一　五七
眞宗教相學　卷上　岡村周薩　大正一五　一　五九　一三

		冊	函	號
眞宗教典綱要	足利宣正 大正五	一	三四	五〇七
眞宗教典釋義大綱	高松悟峰 大正三	一	三四	三八六
眞宗教と眞國家	（日蓮主義に於ける宗教と國家）山川傳之助編 大正一五	一	五一	一三〇
同 三版	大正一五	一	五一	一三〇イ
眞宗教理と政教大本	木村大見 大正六	一	三三	五三三
新國文學史 上卷	鈴木暢幸 大正一五	一	三七〇	一三三イ
眞宗故事成語辭典	沼法量、小塚義國 大正二	一	三三五	一八三
眞宗故實傳來鈔 並	同追加、同增補 淨惠（眞宗全書第三九卷ノ內 大正二）	三四六	七	
新從吾所好	從吾所好社發行 大正一一	一	三八九	七九
眞宗護法篇	觀道 二卷（眞宗全書第四二卷ノ內 大正四）	三四六	七	
信州駒ヶ岳森林公園と誉の臺避暑地計畫案	本多靜六、上原敬二 大正一二 六三頁	一	三九七	四六六
神州根本教育理想統一訓	新納時哉 大正六	一	三三六	二七三
眞宗史要	橋川正 大正一三（「眞宗教義」ト合綴）	五〇四	二六四	
眞宗史蹟大觀	東洋大學眞宗會編 大正一五	一〇四三	二四七	
眞宗正依典籍集	一雄編（眞宗全書續編第二六卷ノ內 大正五）	三四六	七	
眞宗聖教（簡一）	加藤智學編 大正二	二	三五〇	五六
眞宗聖教刊行年表	禿氏祐祥編（眞宗全書續編第二六卷ノ內 大正五）	三四六	七	
眞宗聖教字箋	惠忍 三卷（眞宗全書第二三卷ノ內 大正三）	三四六	七	

		冊	函	號
眞宗聖教和語說	義門 寫本 五卷	一	三四	五〇七
同（眞宗全書續編第二四卷ノ內 大正四）		一六六	二九四	
眞宗信仰の對象	齋藤唯信 大正一〇 三三頁	一	三四六	七
神州正氣集	東暢、伴三千雄編 大正三	一	二九三	二九六
信州政黨史	江川爲信 大正一一	一	三七	三七三
眞宗聖典	浩々洞編 改版 大正六	一	五〇三	一一七
眞宗聖典	前田慧雲編 明治四五 一三二六頁	一	三三五	四九八
眞宗小部集	仰雅編 大正一一八卷、附錄三卷（眞宗全書第四一卷）	一	二九	四一五
眞宗詮要	奧林良誓 大正六	一	三四六	七
眞宗全史	村上專精 大正五	一	三五	四八五
眞宗全書	妻木直良編 大正二至五	一	三四	五〇九

註疏部

		冊	函	號
第一卷	佛說無量壽經甄解 一八卷（道隱）	四九	三四六	七
第二卷	佛說觀無量壽經講記 九卷（靈咄）			
	佛說阿彌陀經記聞 二卷（履善）			
第三卷	觀經依釋 六卷（義敎）			
	觀經芭蕉記 三卷（曇龍）			
	觀經略讚 六卷（慧雲）			
	小經微笑記 二卷（慧然）			
第四卷	阿彌陀因行記 二卷（慧空）			
	阿彌陀如來三種印相祕決義解（慧南著 空慧解）			
	阿彌陀祕決 二卷（慧林）			
	阿彌陀佛說林 七卷（纘成）			
	稱讚淨土經駕說 四卷（月筌）			
	莊嚴經毛詩記 六卷（誓鑑）			
	五會法事讚講義 二卷（神興）			
第五卷	佛說阿彌陀經丁丑錄 二卷（芳英）			
	易行品講錄（附錄） 二卷（柔遠）			
	易行品盤明錄 二卷（仰誓）			
	十二禮偈徹蓋錄			
第六卷	淨土論大意 四卷（慧然）			
	淨土論帝 四卷（履善）			
第七卷	淨土論管見記 五卷（普嚴）			
	十住毘婆沙論易行品講纂 四卷（眞宗大學寮編）			
	往生論註聞書 六卷（宣明）			
	略論安樂淨土義講義 二卷（大含）			
第八卷	安樂集勘信義 三卷（慧然）			
	安樂集日纂 三卷（慧琳）			
	安樂集正錯錄（道綽）			
	安樂集述聞 五卷（善意）			
	安樂集義疏 二卷（僧叡）			
第九卷	觀經四帖疏講錄 一三卷（義敎）			
	觀經玄義分丁酉錄 四卷（慧雲）			
第一〇卷	觀經四帖疏纘仰記 二卷（隨慧）			
第一一卷	法事讚刊定記（慧雲）			
	觀念法門略解 二卷（道振）			
	往生禮讚聞記 三卷（義讓）			
	般舟讚懷愧錄 四卷（僧叡）			
第一二卷	往生要集略讚 四卷（慧然）			
	往生要集唯稱記 三卷（崇廓）			
	往生要集講錄 一〇卷（來遠）			
	往生論註略解 二卷（圓月）			
第一三卷	往生論註服宗記 六卷（慧雲）			
	往生論註原要 六卷（大瀛）			
	往生論註筆記 二卷（寶雲）			
第一四卷	選擇集要津錄 二卷（道隱）			
	選擇集通津錄 四卷（慧雲）			
第一五卷	選擇集義林記 八卷（慧空）			
第一六卷	顯淨土眞實教行證文類光融錄 卷一至一八（玄智）			
第一七卷	同 卷一九至四〇（同）			
第一八卷	顯淨土眞實教行證文類徵決 卷一至九（興隆）			
第一九卷	同 卷一〇至一八（同）			
第二〇卷	顯淨土教行證文類敬信記 卷一至八（善讓）			
第二一卷	同 卷九至一九（同）			
	教行證文類樹心錄 一〇卷（智遍）			
第二二卷	淨土文類聚鈔闡曜記 四卷（圓澄）			
	愚禿鈔錄 四卷（憲榮）			
	教行證文類聚鈔慶哉錄 四卷（烏水）			
第二三卷	教行證證報恩記 一三卷（鳳嶺）			
	眞宗聖教字箋 三卷（惠忍）			
	教行證內音訓考（慧琳）			
第二四卷	教行信證文類六要鈔補 九卷（同）			
	愚禿鈔溫故錄 五卷（僧鎔）			
	愚禿鈔知新錄 五卷（道隱）			
	入出二門偈略解（道振）			
第二五卷	淨土和讚講義 四卷（德龍）			
	高僧和讚講義 三卷（同）			
第二六卷	淨土三經往生文類纂（慧琳）			
	一念多念證文記 三卷（深圓）			
第二七卷	唯信鈔文意錄 三卷（同）			
	尊號眞像銘文講說 二卷（靈傳）			
	三經往生文類記（靈咄）			
	尊號眞像銘文纘（慧琳）			
第二八卷	眞宗法要撮要說（明增）			
	三經往生文類善光錄（興隆）			
	尊號眞像銘文捷心錄（同）			
	一念多念證文錄（同）			
	唯心鈔文意義概（履善）			
	末燈鈔管窺錄（僧鎔）			
	親鸞聖人御消息集錄（興隆編）			
第二九卷	正像末和讚講義（義天）			
	嘆異抄講錄（德龍）			
	改邪抄隨筆（義天）			
第三〇卷	口傳鈔講義 七卷（圓解）			
	改邪鈔遠測（靈傳）			
	願願鈔講義（法海）			
	最要鈔講義（宣明）			
	唯信鈔講說（大含）			
第三一卷	諸神本懷集講義 三卷（靈傳）			
	蓮如上人御一代聞書筆誌 五卷（義讓）			
	安心決定鈔纂註 三卷（智現）			

史傳部

		冊	函	號
第三二卷	淨土眞宗七高僧傳（玄智編）			
	淨土眞宗七祖傳衍繹篇 八卷（同）			
	正統傳後集 四卷（良空）			
	嚴如宗主履歷大谷派講者列傳碑文集（南條文雄編）			
	古德事蹟傳 三卷（玄妙）			
	先哲遺事傳（宗朗）			
	龍谷講主傳實傳 六卷（海藏）			
	淨土眞宗僧寶傳（知空）			
第三三卷	二十四輩次第記（宗誓編）			
	親鸞聖人御直弟散在記（同）			
	二十四輩人御直弟散在記（同）			
	猪聚抄二卷（天旭）			
	遺德法輪集（宗誓）			
	明義對辯（天旭）			
	二十四輩記（是心）			
	大谷遺迹錄 四卷（僧鎔）			
	諸寺巢說彈妄（同）			
	二十四輩名位（常樂寺傳）			
	二十四輩名位（乘恩傳）			

第三四卷　宗祖世錄　五卷（慧昶）
親鸞聖人正明傳　四卷（存覺）
非正統傳　六卷（大慶、玄智）
繪像木像由緒　（良空）
高祖御眞影記　（了雅）
第三五卷　大谷本願寺通紀　一五卷（玄智）
高田三祖傳　（圓邊）
佛光寺中興了源上人傳　（唯了）
常樂臺主老衲一期記　（叡憲）
鑑古錄　（顯誓）
異本反古裏書　（玄智）
眞宗安心異諍紀事　（玄智）
演澄年譜　（松井秀雲）
圓澄講師傳　（安環）
超空師行狀　（觀信）
月筌律師行狀　（超然）
信明院本如上人行記　（敎海一瀾社編）
實如上人芳蹟考　（顯誓）
顯誓病中日記　（明惠編）
第三六卷　榮雲殿由緣記　一三卷（超然編）
第三七卷　反正紀略　七卷（同）
續反正紀略　（大瀛）
第三八卷　上京日次記　（自謙）
自謙日誌　（春貞）
金剛槌　三卷（同）
春貞記錄

雜部
第三九卷　叢林集　九卷（慧空）並同追加、同增補（淨惠）
眞宗故實傳來鈔　（玄智）
第四〇卷　考信錄　五卷（慧琳）
眞宗帶佩記　二卷（玄智）
祖門舊事記　卷二（同）
祖門舊事記殘篇　（同）
故實公儀書上（本派本願寺編）
安永勘進　（超尊）
實如上人閑維中陰錄　（實孝）
蓮如上人御往生記　（實孝）
蓮能御往生記　（實孝）
眞宗小部集　八卷、附錄三卷（仰誓編）
第四一卷　西方合契　六卷（慧海）
第四二卷　淨土釋疑集　二卷（慧空）
宗旨疑問指歸略答　（圓智）
淨土疑問釋答　（龍溪）
淨土疑問解　（慧空）
眞宗護法篇　二卷（順藝）
稱名信樂二願希決

詩文部
第四八卷　雜文集　（空惠編）
今日庵和歌集　四卷（圓環）
北山詩集　（德龍）
香光文集　普明
香光詩集　同
雲華集　（大含）
北越奇蹟詠草　（養導編）
五岳詩鈔　（五岳）
續五岳詩鈔　同
古竹老衲詩集　同
毛芥遺稿　（溪英順）
津梁餘事詩鈔　（藤林顯明）
淡成舍遺稿　二卷（河野天鱗）
桃溪遺稿　（汝岱）

桃溪遺文　三卷（汝岱）
遊歐三昧　（僧樸）
東遊漫錄　（大同）
合明集　（仰誓）
禪餘奇觀　（玄智編）
小倉百詩　（履善）
卷荷遺香　（隆性）
入學進並遺文　（潮音）
春夢庵詩鈔　二卷（無著）
奇峰玄虬　五卷
冷雲詩鈔　三卷（石田冷雲）
熱海唱和集　（島地默雷）
百詠詩集　（慧猶）
日溪詠錄　（法霖）

第四九卷　眞宗全書目錄　附　解題全集

眞宗全書　續編　妻木直良編　大正二至五

註疏部
第一卷　無量壽經顯宗疏　一五卷（性海）
第二卷　大經安永錄　二卷（慧雲）
大經光贊　三卷（月珠）
無量壽經玄談　（圓澄）
無量壽經顯宗疏　卷七下（性海）
第三卷　本願成就文承命錄　（巧便）
願成就文林漢對辯　（加藤正廓）
觀無量壽經述義　二卷（大瀛）
佛說阿彌陀經甲乍記　二卷（慧雲）
阿彌陀經松江錄　（月珠）
佛說阿彌陀經明煥記　二卷（慧忍）
修刪阿彌陀經論　二卷（履善）
非修刪阿彌陀經　（同）
後出阿彌陀佛偈　（太宰春臺）
後出彌陀佛偈糅錄　二卷（自謙）
高僧和讚聞記　五卷（靈旺）
第四卷　選擇集眞宗義　一〇卷（大含）
淨土論講錄　（神興）
第五卷　選擇集指錄　七卷（柔遠）
選擇集昨非鈔　五卷（了祥）
第六卷　敎行信證集成記　卷三九至七五（同）（芳英）
第七卷　敎行信證文類隨聞記　卷一至二一（僧叡）
第八卷　本願寺次第神案　（明式）
第九卷　同　卷二至二七（同）
第一〇卷　同　卷二八至四六（同）
第一一卷　同　卷四七至六三（同）

第一二卷　淨土文類聚鈔崇信記　五卷（大瀛）
愚禿鈔顯心記　五卷（鳳嶺）
文類聚鈔決鑑　六卷（道隱）
第一三卷　本曲指授鈔　卷一至一二（法海說　圓龍講）
第一四卷　同　卷一三至一八（同）　三卷（制心）
行卷歸命御字訓聞記
第一五卷　正信念佛偈捕影記　三卷（法霖）
正信念佛偈夏爐篇　三卷（仰誓）
正信念佛偈評註　（僧鎔）
正信念佛偈聞書　二卷（同）
正信念佛偈解　三卷（道隱）
正信念佛偈慶喫錄　二卷（觀道）
正信念佛偈報恩記　二卷（道振）
正信念佛偈吳江錄　（慧雲）
第一六卷　正信念佛偈聞書　（光敎）
正信念佛偈文林　（惠空）
正信念佛偈略述　（同）
正信念佛偈發覆鈔　四卷（普門）
正信念佛偈會鈔句義　三卷（慧然）
正信念佛偈請益說約　二卷（隨慧）
正信偈駕說帶佩記　五卷（慧琳、養陶）
第一七卷　御文摩尼珠海　二卷（宣明）
御文要義　（同）
御文講義　八卷（深勵）
第一八卷　本願寺由來記　（明宗、明誓）
教訓並俗姓　（明順）
本願寺跡書　（明誓）
本願寺門徒記　（同）
本願寺明宗跡書
金森日記拔　（明宗鈔）
德了袖日記　（德了）
實悟記拾遺　二卷（先啓編）
蓮如上人御繪傳
蓮如上人緣起　一〇卷（先啓編）
眞宗古鈔　三卷（惠忍）
蓮如上人御舊蹟繪抄　（伯恕編　止齋補）
蓮如上人御遺跡實記　二卷（功嚴）
蓮如上人紀伊國紀行　（德義編　德常補）
澁谷歷世略傳　（長覺）
大谷學匠略傳　（起然）
私心記　九卷（實從）
本願寺次第神案　（明式）
淨土眞要鈔隨聞記　（靈旺）
後世物語錄　（了祥）
眞宗法要義概　（履善）

論題部
第四三卷　眞宗關節　（月筌）
淨土眞宗要義論題　（慧海）
第四四卷　眞宗百題啓蒙　（義山）
梅洞由筆　六卷（實雲）
南柯法語　二卷（超然）

護法部
第四五卷　乖釣卵　初篇七卷、後篇五卷（曇龍）
第四六卷　親鸞邪義決之虛僞決　（玄覺）
引證錄　（市隱子）
淨土眞宗流義問答　四卷（敬信）
茶店問答　二卷（秀圓）
茶店問答辨訛刮　二卷（寂有）
二辨龍燭篇　（常音）
疑難眞宗義　（南溪）
曉諭挾嘆篇　同（知空）
眞宗肉食妻帶辨　（圓澄）
眞宗帶妻肉食義　（知空）
親鸞宗儀群談辨惑　（超然）
釋難眞宗僧儀　（慧琳）
持妻食肉辨惑編　（仰誓）
擷難對辨　（持覺）
神道俗談辨　（誓鑑）
擷裂邪網篇　二卷（慧海）
金剛索　（同）
第四七卷　淨土折衷篇　二卷（法霖）
笑鄰臂　六卷（同）
連環辨道略　（慧海）
折衷篇雷斧辨訛　（性均）
淨土眞宗諭客篇　（義敎）
千五百條彈憚改　二卷（同）

詩文部
第四八卷　雜文集　（空惠編）
今日庵和歌集　四卷（圓環）
北山詩集　（德龍）
香光文集　普明
香光詩集　同
雲華集　（大含）
北越奇蹟詠草　（養導編）
五岳詩鈔　（五岳）
續五岳詩鈔　同
古竹老衲詩集　同
毛芥遺稿　（溪英順）
津梁餘事詩鈔　（藤林顯明）
淡成舍遺稿　二卷（河野天鱗）
桃溪遺稿　（汝岱）

口傳鈔錄　二卷（興隆）
口傳鈔開出三身章略記（寶雲）
慕歸繪詞人物考（慧猷）
報恩記殿中講話　三卷（性海）
一念多念分別事聞持記　三卷（南溪）
四法大意略解（寶雲）
（道振）

雜部

第二〇卷

選擇本願行信義記　三卷（晉嚴）
眞宗行信略論（大嚴）
教章詹言餘論　二卷（同）
行信一念義（道隱）
兩一念義章（道振）
昭穆作述決（同）
昭穆作述決複辨（了嚴）
眞宗佛性辨講述（道振）
行信論（行照）
行信兩一念問書（桑溪）
信願異同辨（若叡）
仰信餘筆（同）
教證二道辨（宏遠）
行信延促（香遠）
行信一念贅語　三卷（南溪）

第二一卷

末法燈明記講義（了祥）
一枚起請文講義　三卷（同）
異義集（同）
評彌陀經義（同）
末法燈明記講義
彌陀經義集

第二二卷

栖心齋隨筆（興隆）
淨土眞宗唯信訣（雲龍）
眞宗唯信鈔文（同）
禮讚引釋義（同）
行信管窺（道振）
行信桑名記（同）
行信義（月珠）
本願行證旋火輪（玄雄）
眞宗行信逢源艸本（同）
因願成就兩文對辨（栖城）
行信一念義（宏遠）
行信乙丑箚（鮮明）

第二三卷

異執決疑論（惠空）
本願寺表裏問答　三卷（惠空）
金鍼記　二卷（知空）
東本願寺系圖（行感）
翻迷集　二卷
事書
集古雜編　二卷（惠空）

目錄部

第二六卷

淨典目錄（存覺編）
眞宗正依論集（一雄編）
眞宗錄外聖教目錄（知空編）
假名聖教目錄（惠空編）
高宮聖教目錄（圓照寺編）
月筌聖教目錄（月筌編）
眞宗法彙目錄及左券（僧鎔編）
藏外法要裁奏私記（慧猷）
眞宗法要藏外諸書管窺錄（僧樸編）
學葩聖教目錄　二卷（惠琳）
和語聖教目錄（同）
淨土眞宗書目（同）
淨土眞宗正依經論刊定目錄（隨惠）
淨土眞宗聖教目錄（先啓編）

貴迹大略（惠空）
淨土眞宗血脈論（同）
華藏考記（慧猷）
安養身土鷲說（慧琳）
方便化身土章（同）
他利利他深義（同）
六三分別（大濟）
眞宗聖教和語說　五卷（義門）
末代無智御文和語說（同）
承應鬮鑓記（祐俊）

第二五卷

破邪問答　三卷
安心相違之覺書
破安心相違覺書（月筌）
淨土眞宗佛身問答（慧海）
淨土眞宗下野流本尊義（寶嚴）
眞宗佛身本尊義記（甄洪）
淨土眞宗本尊義（智還）
略述法身義（同）
本尊義等釋（同）
本尊義一百問　二卷（天倪）
本尊義一百八難（仰誓）
明和法論次第
和法論議
鞘之間論議
本尊義邪顯正（義教）
破顯正義（雲龍）
折衷篇中必定釋名之辨（功存）
折衷篇通釋（桂巖）
助正釋問（僧叡）
讀助正釋問酬（僧鎧）
助正釋（僧叡）
助正芻柞　二卷（道念）

龍谷學寶內淨土眞宗雜著部（智洞）

典現存目錄
三卷本淨土眞宗教典志　三卷（玄智）
一卷本淨土眞宗教典志（同）
下野流高田衆教目錄（秀諦）
濕谷實鑑（了道）
墨宋顯寺學匠著述目錄（前田慧雲）
眞宗聖教刊行年表（禿氏祐祥編）
辨道書目提要（杞憂道人）
本典六要板木買上始末記（山本與右衛門）
長西錄　二卷（長西）

布教叢誌社發行
一號〔缺アリ〕
一號（大正一一年六月）ヨリ「親鸞教」ト改題〕

大正九年一月號至同一一年四月
〔「信仰界」ノ改題第四〇卷第

井上哲雄編　大正二五

眞宗僧名辭典

眞宗大系　眞宗典籍刊行會發行　大正五至一四

第一

眞宗假名聖教御引文（琢成撰）
淨土三經往生文類已巳錄（宣明）
聲號眞像銘文傳薰（鳳嶺）
聲號眞像銘文講述　四卷（靈唯）

第二

一念多念證文要訣（宣明）
一念多念證文記　三卷（靈唯說）
文意辛巳錄　四卷（法海說）

第三

三部經大意講錄（法海）
大無量壽經庚寅錄　八卷（法海說）

第四

十住毗婆沙論易行品筌蹄　三卷（法海）
十住毗婆沙論易行品開演日記　二卷（德龍記）
十二禮備檢（惠琳撰）
十二禮恭敬記　二卷（大含說）

第五

異義集　五卷（了祥撰）
祕事法門集　二卷（山田文昭編）

第六

末燈鈔節義　三卷（宣明）
末燈鈔壬申記　四卷（法海）
辨御消息集（了祥記）
御消息集第二章甲子錄（義導說）
歎異鈔講記　卷上（深勵）

第七

淨土論講義　四卷（法海）
淨土論註顯深義記伊蒿鈔　玄義、卷一至三（慧琳）

第八

同　卷四至七（同）

第九

大无量壽經辛卯錄　一〇卷（法海說）

第一〇

歎異鈔講林記　卷下（深勵）
口傳鈔丁酉記　三卷（澄玄）

改邪鈔丙午錄　二卷（義譲）
執持鈔丙申記（靈唯）

第一一

御文玄義（法海）
御文研錄（順譽說）
帖御文大綱（宣明）
御文大綱（同）

第一二

帖目初通講義（深勵）
御文一帖目第二通講義（法海）
御文一帖目第三通講義（深勵）
御文一帖目第四通講義（宣明說）

第一三

執持鈔丙子錄　三卷（法海）
本願鈔丙申記　二卷（靈唯）
願要鈔戊戌錄（同）
最要鈔要註（制心記）

第一四

觀无量壽經已丑錄　九卷（法海說）

第一五

讚阿彌陀佛偈服宗　二卷（深勵）
安樂集癸丑記　四卷（秀存說）

第一六

阿彌陀經丁亥錄　五卷（惠空）
阿彌陀經開記（法海說）

第一七

出世元意辛卯錄（宜成）
拾遺古德傳繪詞略贊　三卷（惠證）
淨土眞要鈔己卯錄（寶景）

第一八

廣文類會讀記　卷一至七（深勵）

第一九

御文一帖目第五通講義（深勵）
御文一帖目第六通講義（同）
御文一帖目第七通講義（同）
御文一帖目第八通講義（同）
御文一帖目第九通講義（同）
御文一帖目第十通講義（同）
御文一帖目第十一通講義（同）
御文一帖目第十二通講義（同）
御文一帖目第十三通講義（同）
御文一帖目第十四通講義（同）
御文一帖目第十五通講義（同）
御文一帖目第十六通講義（實景）
御文一帖目初通講義（義門）
御文二帖目第一通講義（法海）
御文二帖目第二通講義（深勵）
御文二帖目第三通講義（同）
御文二帖目第四通講義（良雄）
御文二帖目第五通講義（同）

第一六

御文二帖目第六通講義（深勵）
御文二帖目第十一通講義（寶嚴）
御文三帖目初通講義（鳳嶺）
御文三帖目第一通講義（法海）
御文三帖目第六通講義（靈唯）
御文三帖目第七通機法一體聞記義（宣明）
御文四帖目第三通講義（義道）
御文四帖目第四通講義（了祥）

御文四帖目第五通講義（智現）
御文四帖目第六通講義（同）
御文四帖目第七通講義（同）
御文四帖目第八通講義（深勵）
御文四帖目第九通講義（靈旺）
御文四帖目第十四通講義（同）

第二〇
諸神本懷集講義（義順）
辨諸神本懷集（了祥記）三卷
破邪顯正鈔戊辰記（義導）
教行信證大意要須錄（大含）
顯名鈔講義（靈旺記）二卷

第二一
決智鈔丁亥記（智現記）
存覺法語聞書（義導）二卷
持名鈔講義（靈旺）
持名鈔私記（慶秀記）
女人往生聞書壬辰記（琢成）
報恩記講述（義譲）二卷

第二二
御文五帖目初通講義（宣明）
御文五帖目第二通略述（法海撰）
御文五帖目第五通講義（靈旺）
御文五帖目第六通講義（同）
御文五帖目第八通講義（同）
御文五帖目第十一通講義（深勵）
御文五帖目第十二通講義（靈旺）
御文機法一體同異辨　附 顯行具足辨（同）
御文機法一體佛凡（義胸）
夏御文初通講義（賢藏）
夏御文第二通第三通第四通講義（寶景）
改悔文科鈔（如晴撰）
信受本願義（惠然）
改悔文講義（靈曜）

第二三
廣文類會讀記　卷八至一三（深勵說）

第二四
同　卷一四至一八（同）

第二五
法華問答壬辰記　三卷（宜成）
淨土見聞集玩索記　二卷（龍溫）
正信偈大意講義（德龍）
蓮如上人御一代記聞書講義　第一至三（深勵）

第二六
同　第四至一一（同）
唯信鈔講義（靈旺）

第二七
後世物語聞書講義（了祥）
安心決定鈔記　三卷（鳳嶺）
御傳繪視聽記　五卷（慧空記）
報恩講式講義　二卷（大含說）
歎德文講義　二卷（同）

第二八
觀經序分義講記　三卷（靈旺）
觀經定善義講義　一二卷（同）
同　三四卷（同）
觀經散善義癸巳記　五卷（同）
觀念法門叢林鈔（慧空撰）
往生禮讃甲戌記　四卷（寶景記）
般舟讃丁巳錄　二卷（龍溫記）

第三〇
廣文類聞書　卷一至一〇（鳳嶺）

第三一
淨土和讃己未記　六卷（深勵）

第三二
高僧和讃丁亥記　三卷（靈旺）
正像末和讃管窺錄　六卷（慧劍）

第三四
愚禿鈔聞書　二卷（靈旺）
入出二門偈講錄　五卷（宣明）
略文類壬辰錄　五卷（法海）

第三五
淨土法事讃癸亥記　四卷（鳳嶺）
往生要集乙酉記　七卷（神興）
選擇本願念佛集福要　五卷（宣明）
廣文類聞書　卷一二至一五（鳳嶺）
正信偈丙子記　四卷（宣明）

第三七
眞宗大系總目錄

眞宗典籍刊行會發行　改版　大正一四　二　三六九　一五イ

眞宗大系　第一六卷　廣文類聞書　卷一至一〇（鳳嶺）
第二〇卷　高僧和讃丁亥記　三卷（靈旺）
正像末和讃管窺錄　六卷（慧劍）

眞宗帶妻肉食義　圓澄（眞宗全書第四六卷ノ內　大正二）　三四六　七

眞宗大聖典　安藤正純編　大正五　三〇　二三四　二三七

眞宗帶佩記　慧琳（眞宗全書第四〇卷ノ內　大正三）　三四六　七

新柔道武者修業　（世界横行第二）薄田斬雲編　大正元
〔前田光世ノ通信ニヨリ編纂セシモノ〕　一　三三一　二七五

眞宗通解全書　原子廣宣編　大正五　五三四頁　一　三三四　四八二

第一　易行品通解（柏原祖義）
十二禮通解（同）
淨土論通解（同）
淨土論註通解（同）

眞宗摘要　一名 眞宗大意　目幸凝觀　大正八　一〇　一八六　二五三

眞宗哲學　小野清秀　大正七

神州天馬俠　吉川英治　大正一五

信州東山堂本家看板之圖　（東山堂藥や店前ノ圖）直政畫

眞宗讀本　眞宗京都中學編　大正一二

眞宗肉食妻帶辨　知空（眞宗全書第四六卷ノ內　大正二）

眞宗二諦妙旨談　藥師寺晃照　大正五

新日本小說年表　朝倉龜三（無聲）編　大正一五

眞宗の教義　足利宣正編　大正一一　六五頁

眞宗の教義及其歷史　金子大榮　大正四

眞宗の教義と華嚴經　花山大安　（夏期講習會佛教講演集第一八回ノ內　明治四五）

信州の山水と實業　北信每日新聞株式會社編　大正一四

眞宗の信仰と其の教義　齋藤唯信　大正一〇

神洲の精華　日持聖人海外遺跡探險記　柿花啓正　大正八

信州の地震　長野地方測候所編　大正四

神州萬歲堅策　岩倉具視（三條家文書第一ノ內　大正五）

眞宗祕要鈔　法霖著　鷺尾順敬等註　三卷（國文東方佛教叢書第一卷宗義部ノ內　大正一五）

眞宗百題啓蒙　義山（眞宗全書第四四卷ノ內　大正三）

眞宗佛性辨講述　道振（眞宗全書續編第一〇卷ノ內　大正四）

眞宗佛身彰實義　甄洪（眞宗全書續編第二五卷ノ內　大正四）

眞宗佛身問答　月筌（眞宗全書續編第二五卷ノ內　大正四）

眞宗法彙目錄及左券　僧鎔編　ノ內（眞宗全書續編第二六卷　大正五）

眞宗法要義概　履善（眞宗全書續編第一九卷ノ內　大正四）

眞宗法要藏外諸書管窺錄　僧撰編（眞宗全書續編第二六卷ノ內　大正五）

眞宗法要撮要說　明憧（眞宗全書第二八卷ノ內　大正二）

眞宗本願寺派學匠著述目錄　前田慧雲（眞宗全書續編第二六卷ノ內　大正五）

眞宗滅却論　江田天眞　大正一三

眞宗門徒の心得　伊藤義賢　大正六

同　訂再版　大正八

新修養と向上發展　大畑裕　大正五

眞修養と新活動　加藤玄智　大正四

眞宗の信仰と其の教義　齋藤唯信　大正一〇

眞宗唯信轍　曇龍（眞宗全書續編第二二卷ノ內　大正四）

眞宗錄外聖教目錄　知空編（眞宗全書續編第二六卷ノ內　大正五）

神州論　花井一好（日本經濟叢書卷三二ノ內　大正六）

新修往生傳　王古　二卷（續淨土宗全書第一六ノ內　大正一五）
附 神壓考疑僞評私議、神壓考疑辨、神壓考斥非、三種神符考、神壓考便蒙　小杉榲邨編　寫本〔小杉本〕

神壓考　（眞宗全書第四四卷ノ內　大正三）

人事學說判例類集　戶籍學會編　大正八

新詩歌論講話　西宮藤朝　大正七

新式圍碁死活研究　鈴木爲次郎　大正九

新式圍碁寶典　第一至六　鈴木爲次郎　大正五、六
新式圍碁寶典極意　第一至三、五、六　鈴木爲次郎　大正六至一〇
新式漢和大辭海　梶康郎編　大正一一
新式機關車名稱辭典　荒岡保　大正八
新式商店管理法　蘆川忠雄　大正六
新式工場管理法（手數省略）　フランク・ギルブレス著　大壁草治譯　大正元
新式座右年表　芳賀矢一編　大正三
新式裁縫手藝全書　菅しげ、門田たき　大正七
同　一二版　大正九
新式作文上達法　文章講習會編　大正五
新式作文大辭典　物集高量、蘇武利三郎編　大正二
新式作文大成　博文館發行　大正三至五
新式割出子供服裁縫圖解　岩村秀太郎　大正一一
新式獨文解釋法　秋元喜久雄　大正三
新式日本圖案の應用　安田祿造　大正二
新式農藝化學實驗書　ウード著　岡崎寅吉譯　大正三
新式農業　日本青年教育會編（青年文庫第九編）　大正九
新式販賣書簡　佐藤卯兵衞編　大正八
新式飛行機の原理及模型製作法　井關十二郎　大正二
紳士貴婦人男女小供服裁斷新書　熊田恒造編　大正元
新式佛語提要　佛蘭西文化會編　大正一二
同　大正一四
新式佛語文法（教授用兼獨學用）　安藤忠義　大正八
新式物理學要領　柴田初治郎　大正三
新式文章作法手引　文章講習會編　大正五
新式ペン習字法　羽田春野、外島瀏　大正一二（アルス婦人叢書第四）
新式卷締機械及液狀護謨試驗　伊谷以知二郎、星野三郎（水產講習所試驗報告第一二卷第一册ノ內）　大正四
新式酌製造法の研究（速釀酌及元添酌）　花岡正庸　大正一五
新式六法全書　巖松堂編　大正一二
新式和服裁縫　志摩野司　大正二
新式和洋家庭料理　赤塚峯吉、同菊子　大正三

新式寶用戶板裁縫全書　戶板關子　大正六
新式露語獨修　山口虎雄　三版　大正六
新式辭典　芳賀矢一　縮刷　大正一一
新式商業實踐法　土屋長吉　明治四五
新式掌中六法全書（記入自在）　教文社編　大正一四
新式初學作詩法　平井參　大正四
新式書翰　久保天隨　大正二
新式水泳術　齊藤六衞　大正二
同　大正一四
新式水路斷面速算圖表　諏訪實壽　大正一五
新式西洋史講義　本多淺治郎　大正七
新式西洋歷史年表　島田增平編　大正七
新式世界地圖　守屋荒美雄編　大正九
新式將棊必勝秘訣　將棊研究會編　大正一一
新式速成寫眞術傳習錄　正則科第一至三期課程、高等科課程　寫眞術傳習會編　大正六
新式速成大正書翰講話　久保天隨　大正四　五〇〇頁
新式帝國地圖　守屋荒美雄編　大正九
新式電氣療法講義錄　音尾正衞　大正七
新式獨逸語自修の根柢　藤崎俊茂　大正一四
新式動物界攬要（動物五百種の表解）　博物教材研究會編　大正九
新史劇の技巧　島村抱月（抱月全集第二卷ノ內　大正九）
新史劇の試み　島村抱月（抱月全集第一卷ノ內　大正八）
人事興信錄　內尾直二編　四版　大正四
同　五版　大正七
同　六版　大正一〇
同　七版　大正一四
新思想叢書　政教新論社發行　大正八
第一卷　佛教より見たる社會主義（田崎達雄）
新思想讀本　田中祐吉、小林枝吉編　大正一一
新思想と國民性の建設　常田力　大正一〇
新思想の解剖　第一、二　高木八太郎　大正一一
新思想の批判と主張　大島正德　大正九
新思想論　大住舜（嘯風）　大正二
人事信用調查錄　堀野稔編　大正一一
新自然科學と生活革命　江原小彌太　大正一二
新自然主義　岩野泡鳴（泡鳴全集第一五卷ノ內　大正一一）
新自然哲學　細谷雄太　大正一一

新自然美論　吉江喬松　大正一五　一　一五四　一七一

人事訴訟學說實例手續總覽　法律研究會編　大正一五　一　一五六　一四三

新時代（言論界之權威）　同社發行　第一卷第一號（大正六年一〇月）至第四卷第六號（大正九年六月）　雜　五四　八四

新時代叢書　石川六郎編　大正八至一〇　三　三七五　四一

第一卷　過激派（麻田政介）
第二卷　ウイルソン（福田吉藏）
第三卷　西伯利亞（菱沼右一）
第四卷　民本主義（今中次麿）
第五卷　ヴェルサイユ會議（中川竹三）
第六卷　最近勞働運動
第七卷　新日本の教育（佐藤武）
第八卷　食糧問題
第九卷　世界大戰批判
第一〇卷　戰後の列強（長瀨鳳輔）
第一一卷　最新工業
第一二卷　國際聯盟（橫山專太郎）

同　第二至一二卷　大正八至一〇　一　三七五　四一イ

新時代と國民の覺悟　野田義夫（島根縣自治協會佛教奉公團青年團講習錄ノ內）　大正九　四五　五五三

新時代の婦人向上の史的考察　金子直一　大正一五　一　五四六　一七一

新時代に處する私の學校訓育　安部濟見　大正一五　一　二五三　三四五

新時代に適應せる講堂訓話　羽山好作　大正一〇　一　四五　五八三

新時代に適する子供の保護　西山哲治　大正九　一　三八七　一七五

新時代の要求する小學校體操　二宮文右衞門　大正一二　一　二七六　三一九

新時代の要求に應ずる五一八頁　一　二七六　三一九

新時代の演說と式辭挨拶　川崎力三　大正一五　一　五一七　四五九

新時代の婦人生活手引　樋口紋太　大正八　一　二五三　二九〇

新時代の教育　眞田幸憲　大正一三

新時代の教育　成瀨仁藏　大正三

新時代の教育及び教育者　稻毛詛風　大正九

新時代の國民體育　松村松年　大正一五

新時代の作文實習　中澤信編　大正一〇

新時代の宗教　姉崎正治　大正七

新時代の商業文範　服部嘉香　大正一五

新時代の常識（大正青年叢書）　座間止水　大正七

新時代の處女會及び其の施設經營　片岡重助　大正一四

新時代の人格　尾原靜乘　大正六

新時代の新聞　島谷亮輔　大正一五

新時代の親戀教　柘植信秀　大正一五

新時代の精神　ランダル著　佐川春水譯　大正一二

新時代の青年　石田新太郎　大正三

新時代の青年團　青年團中央部編　大正九

新時代の德育　野田義夫　大正一〇

新時代の人間修養　大日本國民修養會編　大正一四

新時代の婦人　田子一民　大正九

新時代之婦人生活手引　樋口紋太　大正八

新時代の佛教　友松圓諦　大正一五

新時代の文藝と和歌俳句の藝術味　小山龍之輔　大正一四　一　一五四　一七一

新時代之問題　新時代學會發行　大正四　一　三五五　二二

第一編　日露同盟論（橫山專太郎）　學制改革論（中島半次郎）　獨逸の抱負遂に實現するか（グレー）

新時代模樣　大丸呉服店意匠部編　大正一四　一　二七六　三三〇

神史探淵　第一卷　古事記　上卷　松田敏足　大正二　一　三四四　二〇五

新實演お話集　隆文館發行　大正一五　二　五五一　一一九

第一集　蓮娘（立川昇藏）　第二集　猫の卵（樫葉勇）

眞實經文句　空海撰（日本大藏經第三一卷ノ內　大正七）　三五三　六

新實語教　手島緒庵（修養文庫第五編世俗訓ノ內　大正九）　三七五　三五

眞實道　赤沼智善　大正一〇（佛教文化講座第一編）　一　五〇〇　一八

眞實に回れ　島田三郎　大正一〇　一　二九三　二七八

寢室の一隅　モウバッサン著　矢口達譯（モウバッサン全集第九卷ノ內　大正一〇）　二九〇　四一

眞實の教育　三浦修吾　大正七

眞實乃宗教　富士川游　大正一〇　一　二五三　一六九

眞實の救ひ　藤等影　大正一二　一　二九二　一八六

眞實の生活　岩野泡鳴（泡鳴全集第一八卷ノ內　大正一一）　一　五〇四　一七一

眞實の鞭　鷹野つぎ子（表現叢書第一三）　大正一二　五〇〇　一

眞實はかく佯る　長谷川如是閑　大正一三　一　二九九　八五

臣子弟のわきまへ　谷垣守（勤王文庫第二編ノ內　大正九）　一　五一六　一九一

新思潮を汲める國定算術書取扱上の中心問題　山本孫一等　大正一五　一　二六三　一二九

新思潮に算術學習指導の實際　小黒俊治　大正一三　一　二六三　九三

新思潮に基ける各科教案例　群馬縣師範學校初等教育研究會編　大正一〇　一　二六三　二九〇

新思潮に立脚せる生理的體操學　武田文三郎　大正一三　一　二七六　三三〇

新思潮の生める教育教授の施設と經營　吉良信之　大正一三　一　二五三　二八七

新思潮より見たる圖畫教育の改造　横井曹一　大正一一　二　五六三　一七三

任氏傳　唐、沈既濟撰（世界短篇小說大系支那篇ノ內　大正一五）　五二〇　四五

新支那　伊達源一郎編（現代叢書第三冊）　大正三　一　三四〇　四八

同　一　三四〇　四八イ

新支那論　內藤虎次郎　大正一三　一　五三三　一七七

神事之裝束　寫本　一　二〇五　一二八

神字日文傳　附錄　疑字篇　平田篤胤　二卷（平田篤胤全集第一五ノ內　大正七）　三三五　一五五

新拾遺和歌集　藤原爲明奉勅撰（二十一代集第九ノ內　大正一五）　五三九　五三

神習教祝詞類纂　菅野正照　大正一一　一　二六〇　九一

神習舍歌文集　附　神習舍玉籤目錄（田邊勝哉編）　逸見仲三郎編　大正一五　一　二六六　三五六

晉子發句撮解　高柳莊丹著　佐々醒雪、巖谷小波校（俳諧叢書第二冊俳諧註釋集下卷ノ內　大正二）　五〇〇　一　三四五　四

新綜染法と簡易友禪法　太井直　大正一一　一　三九　八五　一　五一三　七

神社　荻野仲三郎（公民教育講演集第二輯ノ內　大正一四）　二七五　一八

眞寫　花所隣春自筆　寫本　一　五一六　一九一　四　七　五二三　九

	冊	函	號
新粧　福岡玉僊編　大正三	一	四〇	六
神將彙譚　附　石林先生咳唾、嗚呼集　「海軍」編輯局編　大正元	一	三三	三八六
尋常一、二學年の書方教授（新學習法に依れる）　岡本清德　大正一五	一	二六三	三九
尋常一、二學年の算術教授（主眼點を眼抵とせる）　吉田謙治　大正一一	一	二六三	四　七八
尋常一年國語讀本挿繪活用教材解說取扱法　木山淳一、奥山檮太郎　大正八	一	二六三	二　一三
尋常二年修身書挿繪活用教材解說取扱法　木山淳一、奥山檮太郎　大正八	一	二六三	五　四四
尋常一年の綴り方　桂田金造　大正六	一	二六三	二　九八
心淨院病床法語　山本志朗　大正八	一	三三五	五四二
尋常海員運用術教科書　附　附圖　日本海員掖濟會編　大正四	二	三三九	五六四
尋常海員機關術教科書　附　附圖　日本海員掖濟會編　大正四	二	三三九	五六三
心性學說　石川舜台編　大正一二	一	五一〇	五八
新庄家中屋敷割　（最上郡史料叢書ノ內　大正一四）	一	五三二	一八七
身上組建富貴の地基　（通俗經濟文庫第六卷ノ內　大正五）	一	三五五	五三
尋常科算術教授の研究　新潟縣師範學校附屬小學校編　大正八	一	二六三	四　六〇
尋常科國定理科書教材精說　神田正悌、中野恭一　大正一二	一	二六三	七　一〇一
尋常科理科調查報告書　大阪市小學校共同研究會理科調查委員會編　大正九	一	二六三	七　七〇
尋常科國定理科書教材精說　神田正悌、中野恭一　大正一一	一	二六三	七　一〇一
尋常科理科調查報告書　大阪市小學校共同研究會理科調查委員會編　大正八	一	二六三	七　七〇
尋常科國定理科書教材精說　神田正悌、中野恭一　大正一二	一	二六三	七　一〇一
尋常小學校第四學年理科教授（新制）　佐藤隆德　大正一一	一	二六三	四　九七
尋常小學校に課すべき暗算教材及教法の實際　永上德次郎　大正七	一	二六三	四　四九
尋常小學校の算術教授　川上瀧男（最近思潮教育夏季講習錄大正二年度ノ內　大正二）	一	二五八	一　三九
尋常小學校受驗準備大集　教員受驗豫習會編　大正七	一	二五九	四一四
尋常小學校用手工新教案　一戶清方　明治四五	一	二六三	三　八四
尋常小學書方教授細目　初等教育研究會編　補再版　大正一三（扉等ニハ「小學書方硬筆毛筆教授細目」トアリ）	一	二六三	イ　一八九
尋常科との有機的關係に留意せる高等小學國史の考察及活用　渡邊茂雄　大正一四	一	二六三	六　一一
尋常新地理教授要綱　大元茂一郎　大正八	一	二六三	六　五一
尋常五年地理挿繪活用教材解說取扱法　木山淳一、奥山檮太郎　大正八	一	二六三	六　五〇
新尚古模樣　高島屋吳服店專職本部編　大正一四	一	四二一	五七
新庄古老覺書　田口五左衞門著　常葉金太郎訂　大正七	一	三五四	一三七
心性罪福因緣集　宋、智覺注　三卷（大日本續藏經第七四三冊ノ內　明治四五）	一	三三五	二
新商事要項　商工教育會編　大正一〇	一	三九五	一三
新常識百科全書（世界文明思潮學藝一）　加藤美命　大正一四	一	五三六	一二九
新常識論　加藤弘之　大正三　五二二頁	一	三四九	三八八
新庄壽永軒見聞集　（最上郡史料叢書ノ內　大正一四）		五三二	一八七
尋常各學年遊戲の實際　小學教育研究會編　大正六	一	二七六	二一二
尋常小學校管理教授及訓練の實際　第一至三、五學年　山松鶴吉　明治四五至大正二	一	二七二	三　三
尋常小學校第四學年理科教授（新制）　佐藤隆德　大正一一	一	二六三	七　九七
尋常小學校に課すべき暗算教材及教法の實際　永上德次郎　大正七	一	二六三	四　四九
尋常小學書方教授細目　初等教育研究會編　補再版　大正一三（扉等ニハ「小學書方硬筆毛筆教授細目」トアリ）	一	二六三	三　八四
尋常小學校の算術教授　川上瀧男（最近思潮教育夏季講習錄大正二年度ノ內　大正二）	一	二五八	一　三九
尋常小學校受驗準備大集　教員受驗豫習會編　大正七	一	二五九	四一四
尋常小學校用手工新教案　一戶清方　明治四五	一	二六三	三　八四
尋常小學書方教授細目　初等教育研究會編　補再版　大正一三（扉等ニハ「小學書方硬筆毛筆教授細目」トアリ）	一	二六三	イ　一八九
尋常小學書キ方手本修正趣意書　（第一、二學年用）　文部省編　大正七　（「尋常小學讀本修正趣意書（卷一至四）」ト合綴）		二五九	四〇八
尋常小學書キ方手本修正趣意書　文部省編　大正一三　（「尋常小學讀本修正趣意書」ト合綴）		二五九	四〇八イ
尋常小學書キ方手本用上下修正趣意書　文部省編　大正一二　（「尋常小學讀本卷九卷十修正趣意書」ト合綴）		二五九	四三
尋常小學書キ方手本第四學年用上下修正趣意書　文部省編　大正一〇　（「尋常小學讀本卷七・八修正趣意書」ト合綴）		二五九	四三
尋常各科教授細目　第一、二編　東京府青山師範學校附屬小學校編　大正九、一〇		二六三	二　二八六
尋常各教科教授細目　廣島高等師範學校附屬小學校編　大正七至一一		二六三	七
國語科第一種讀み方　第一、二學年 國語科第二種讀み方　第一、二學年 修身・算術科　第一、二學年 算術科　第三、四學年 地理・理科　第五、六學年 裁縫科　第三至六學年 圖畫・手工科　第一、二學年			
尋常小學習指導書　第一學年中、下、第二至六學年各上、中、下　裁縫科　學習指導大系刊行會編　大正一五　（學習指導大系第二至一九）		二九	五　一八
尋常小學學年別各科教授法　第一、二學年　宮內與三郎等　大正一一		二六三	二九八
尋常小學教案兼用手工科教授細目　第一至三學年用　橫井曹一編　大正七		二六三	三　一四〇
尋常小學國語書方新教授書　第一學年用　杉上長造、岡田重次郎　大正七		二六三	一〇　一三五
尋常小學國語書キ方手本　第五學年用編纂趣意書　大正一二（「尋常小學國語讀本卷九・卷十編纂趣意書」ト合綴）		二九	四〇九
尋常小學國語讀本教授書　第一學年卷一　中川秋坪、本間榮策　大正七			
尋常小學國語讀本教授書　第一學年卷一　高橋喜藤治　大正七			
尋常小學國語讀本教授要義　卷一　高橋喜藤治　大正七			
尋常小學國語讀本教授細案　卷一至九　伊藤米次郎　大正七至一一			
尋常小學國語讀本教授細目　初等教育研究會編　大正八			
尋常小學國語讀本教授詳案　卷一至一〇　友納友次郎、田上新吉　大正七至一一			
尋常小學國語讀本教授書　卷一至一二　大日本圖書株式會社編　大正七至一三			
尋常小學國語讀本教授書　第一學年卷一　中川秋坪、本間榮策　大正七			
尋常小學國語書キ方手本修正趣意書　（第一、二學年用）　文部省編　大正七　（「尋常小學讀本修正趣意書（卷一至四）」ト合綴）			
尋常小學書キ方手本修正趣意書　文部省編　大正一三　（「尋常小學讀本修正趣意書」ト合綴）			
尋常小學書キ方手本用上下修正趣意書　文部省編　大正一二　（「尋常小學讀本卷九卷十修正趣意書」ト合綴）			
尋常小學書キ方手本第四學年用編纂趣意書　文部省編　大正一〇　（「尋常小學讀本卷七・八修正趣意書」ト合綴）			
尋常各科教授細目　第一、二編　東京府青山師範學校附屬小學校編　大正九、一〇			
尋常各教科教授細目　廣島高等師範學校附屬小學校編　大正七至一一			
國語科第一種讀み方　第一、二學年 國語科第二種讀み方　第一、二學年 修身・算術科　第一、二學年 算術科　第三、四學年 地理・理科　第五、六學年 裁縫科　第三至六學年 圖畫・手工科　第一、二學年			
尋常小學習指導書　第一學年中、下、第二至六學年各上、中、下　裁縫科　學習指導大系刊行會編　大正一五　（學習指導大系第二至一九）			
尋常小學學年別各科教授法　第一、二學年　宮內與三郎等　大正一一			
尋常小學教案兼用手工科教授細目　第一至三學年用　橫井曹一編　大正七			
尋常小學國語書方新教授書　第一學年用　杉上長造、岡田重次郎　大正七			
尋常小學國語書キ方手本　第五學年用編纂趣意書　大正一二（「尋常小學國語讀本卷九・卷十編纂趣意書」ト合綴）			
尋常小學國語讀本教授書　第一學年卷一　中川秋坪、本間榮策　大正七			
尋常小學國語讀本教授書　第一學年卷一　高橋喜藤治　大正七			
尋常小學國語讀本教授要義　卷一　高橋喜藤治　大正七			
尋常小學國語讀本教授細案　卷一至九　伊藤米次郎　大正七至一一			
尋常小學國語讀本教授細目　初等教育研究會編　大正八			
尋常小學國語讀本教授詳案　卷一至一〇　友納友次郎、田上新吉　大正七至一一			
尋常小學國語讀本教授書　卷一至一二　大日本圖書株式會社編　大正七至一三			
尋常小學國語讀本教授書　第一學年卷一　中川秋坪、本間榮策　大正七			
尋常小學國語書キ方手本修正趣意書　（第一、二學年用）　文部省編　大正七　（「尋常小學讀本修正趣意書（卷一至四）」ト合綴）		二五九	四〇八
尋常小學書キ方手本修正趣意書　文部省編　大正一三　（「尋常小學讀本修正趣意書」ト合綴）		二五九	四〇八イ
尋常小學書キ方手本用上下修正趣意書　文部省編　大正一二　（「尋常小學讀本卷九卷十修正趣意書」ト合綴）		二五九	四三
尋常小學書キ方手本第四學年用編纂趣意書　文部省編　大正一〇　（「尋常小學讀本卷七・八修正趣意書」ト合綴）		二五九	四三
尋常各科教授細目　第一、二編　東京府青山師範學校附屬小學校編　大正九、一〇		二六三	二　二八六
尋常各教科教授細目　廣島高等師範學校附屬小學校編　大正七至一一		二六三	七
國語科第一種讀み方　第一、二學年 國語科第二種讀み方　第一、二學年 修身・算術科　第一、二學年 算術科　第三、四學年 地理・理科　第五、六學年 裁縫科　第三至六學年 圖畫・手工科　第一、二學年			
尋常小學習指導書　第一學年中、下、第二至六學年各上、中、下　裁縫科　學習指導大系刊行會編　大正一五　（學習指導大系第二至一九）		二九	五　一八
尋常小學學年別各科教授法　第一、二學年　宮內與三郎等　大正一一		二六三	二九八
尋常小學教案兼用手工科教授細目　第一至三學年用　橫井曹一編　大正七		二六三	三　一四〇
尋常小學國語書方新教授書　第一學年用　杉上長造、岡田重次郎　大正七		二六三	一〇　一三五
尋常小學國語書キ方手本　第五學年用編纂趣意書　大正一二（「尋常小學國語讀本卷九・卷十編纂趣意書」ト合綴）		二九	四〇九
尋常小學國語讀本教授書　第一學年卷一　中川秋坪、本間榮策　大正七			
尋常小學國語讀本教授書　第一學年卷一　高橋喜藤治　大正七			
尋常小學國語讀本教授要義　卷一　高橋喜藤治　大正七			
尋常小學國語讀本教授細案　卷一至九　伊藤米次郎　大正七至一一			
尋常小學國語讀本教授細目　初等教育研究會編　大正八			
尋常小學國語讀本教授詳案　卷一至一〇　友納友次郎、田上新吉　大正七至一一			
尋常小學國語讀本教授書　卷一至一二　大日本圖書株式會社編　大正七至一三			
尋常小學國語讀本教授書　第一學年卷一　中川秋坪、本間榮策　大正七			

尋常小學國語讀本教授書（教材精說・實際教法）
第一至六學年前、後期用　三浦喜雄、橘本留喜
大正六至一三　一三　二六三　一〇一

尋常小學國語讀本原據釋義　山本伊之助　大正一三　一　二六三　一七

尋常小學國語讀本插繪の解說と取扱　第五、六學年
田上新吉、原田直茂
大正一四　二　二六三　二九

尋常小學國語讀本取扱の研究　卷一至五　兒童教育研究會編
大正九、一〇　（兒童教育叢書第一編）　五　二九　四五

尋常小學國語讀本に現はれたる宗教教材の解說　安藤專哲　大正一四　一　二六三　二九

尋常小學國語讀本の語法研究　春日政治　大正七　一　二六三　一七

尋常小學國語讀本の說明　第一學年用　高野辰之　大正八　一　二六三　一五

尋常小學國語讀本の批評　澤柳政太郎等　大正八（成城小學校研究叢書第四編）　一　二九　四三

尋常小學國語讀本批判的解釋　第一學年　芝野六助
大正一三　一　二六三　一八

尋常小學國語讀本編纂趣意書　〔卷一至四〕
文部省編　大正七　〔「尋常小學國語書キ方手本編纂趣意書」ト合綴〕　二九　四〇九

尋常小學國語讀本編纂趣意書　文部省編　大正一三　〔「尋常小學國語書キ方手本編纂趣意書」ト合綴〕　二九　五〇〇

尋常小學國語讀本卷九・卷十編纂趣意書
文部省編　大正一二　〔「尋常小學國語書キ方手本第五學年用編纂趣意書」ト合綴〕　二九　四〇九

尋常小學國語讀本卷七・卷八編纂趣意書
文部省編　大正一〇　〔「尋常小學國語書キ方手本第四學年用編纂趣意書」ト合綴〕　二九　四〇九

尋常小學國語讀本卷十一・卷十二の批判
飯島勝信　（兒童教育研究會紀要第五卷ノ內　大正一三）　二七　九一

尋常小學國語讀本卷十一・卷十二編纂趣意書
文部省編　大正一二　〔「尋常小學國語書キ方手本」ト合綴〕　二九　一〇一

尋常小學國語讀本原據釋義　山本伊之助　大正一三　一　二六三　一七

尋常小學國語讀本插繪の解說と取扱　第五、六學年
田上新吉、原田直茂
大正一四　二　二六三　二九

尋常小學國語讀本取扱の研究　卷一至五　兒童教育研究會編
大正九、一〇　（兒童教育叢書第一編）　五　二九　四五

尋常小學國語讀本に現はれたる宗教教材の解說　安藤專哲　大正一四　一　二六三　二九

尋常小學國語讀本の語法研究　春日政治　大正七　一　二六三　一七

尋常小學國語讀本の說明　第一學年用　高野辰之　大正八　一　二六三　一五

尋常小學國語讀本の批評　澤柳政太郎等　大正八（成城小學校研究叢書第四編）　一　二九　四三

尋常小學國語讀本批判的解釋　第一學年　芝野六助
大正一三　一　二六三　一八

尋常小學國語讀本編纂趣意書　〔卷一至四〕
文部省編　大正七　〔「尋常小學國語書キ方手本編纂趣意書」ト合綴〕　二九　四〇九

尋常小學國語讀本編纂趣意書　文部省編　大正一三　〔「尋常小學國語書キ方手本編纂趣意書」ト合綴〕　二九　五〇〇

尋常小學國語讀本卷九・卷十編纂趣意書
文部省編　大正一二　〔「尋常小學國語書キ方手本第五學年用編纂趣意書」ト合綴〕　二九　四〇九

尋常小學國語讀本卷七・卷八編纂趣意書
文部省編　大正一〇　〔「尋常小學國語書キ方手本第四學年用編纂趣意書」ト合綴〕　二九　四〇九

尋常小學國語讀本卷十一・卷十二の批判
飯島勝信　（兒童教育研究會紀要第五卷ノ內　大正一三）　二七　九一

尋常小學國語讀本卷十一・卷十二編纂趣意書
文部省編　大正一二　〔「尋常小學國語書キ方手本」ト合綴〕　二九　四七〇

尋常小學國語讀本教材集成　上、下卷　角田政治、橋本賢康
大正一〇、一一　二　二六三　六九

尋常小學國史下卷編纂趣意書
文部省編　大正一一　〔「尋常小學修身書卷五修正趣意書」等ト合綴〕　二九　四三三

尋常小學國史挿畫解說　增澤淑　大正一四　一　二六三　一〇五

尋常小學國史詳說及教法　上卷（第五學年用）　木藤重德
大正一〇　一　二六三　六三

尋常小學國史上卷編纂趣意書
文部省編　大正一〇　〔「尋常小學修身書卷四修正趣意書」等ト合綴〕　二九　四三三

尋常小學國史の解說と取扱　上卷　山田義直　大正一一　一　二六三　七六

尋常小學國史編纂趣意書　文部省編　大正一三　二八頁　一　二九　四九四

尋常裁縫新教授細目及其取扱　結城親學　大正一〇　一　二六三　一六四

尋常小學算術教授指針　秋山兵三郎、北澤眞　大正四　一　二六三　三四

尋常小學算術書教師用兒童用修正趣意書
文部省編　大正一三　七九頁　一　二九　四九一

尋常小學算術書第一第二學年教師用修正趣意書
文部省編　大正七　一　二六三　五三

尋常小學算術書第五學年教師用兒童用修正趣意書
文部省編　大正一〇　〔「尋常小學修身書卷四修正趣意書」等ト合綴〕　二九　四三三

尋常小學算術書第三學年教師用兒童用修正趣意書
文部省編　大正八　一　二六三　五三

尋常小學國語讀本卷十一・卷十二編纂趣意書
文部省編　大正一二　〔「尋常小學國語書キ方手本」ト合綴〕　二九　四七〇

尋常小學國語讀本教材集成　上、下卷　角田政治、橋本賢康
大正一〇、一一　二　二六三　六九

尋常小學國史下卷編纂趣意書
文部省編　大正一一　〔「尋常小學修身書卷五修正趣意書」等ト合綴〕　二九　四三三

尋常小學國史挿畫解說　增澤淑　大正一四　一　二六三　一〇五

尋常小學國史詳說及教法　上卷（第五學年用）　木藤重德
大正一〇　一　二六三　六三

尋常小學國史上卷編纂趣意書
文部省編　大正一〇　〔「尋常小學修身書卷四修正趣意書」等ト合綴〕　二九　四三三

尋常小學國史の解說と取扱　上卷　山田義直　大正一一　一　二六三　七六

尋常小學國史編纂趣意書　文部省編　大正一三　二八頁　一　二九　四九四

尋常裁縫新教授細目及其取扱　結城親學　大正一〇　一　二六三　一六四

尋常小學算術教授指針　秋山兵三郎、北澤眞　大正四　一　二六三　三四

尋常小學算術書教師用兒童用修正趣意書
文部省編　大正一三　七九頁　一　二九　四九一

尋常小學算術書第一第二學年教師用修正趣意書
文部省編　大正七　一　二六三　五三

尋常小學算術書第五學年教師用兒童用修正趣意書
文部省編　大正一〇　〔「尋常小學修身書卷四修正趣意書」等ト合綴〕　二九　四三三

尋常小學算術書第三學年教師用兒童用修正趣意書
文部省編　大正八　一　二六三　五三

尋常小學國語讀本卷十一・卷十二編纂趣意書
文部省編　大正一二　〔「尋常小學國語書キ方手本」ト合綴〕　二九　四七〇

尋常小學國語讀本教材集成　上、下卷　角田政治、橋本賢康
大正一〇、一一　二　二六三　六九

尋常小學國史下卷編纂趣意書
文部省編　大正一一　〔「尋常小學修身書卷五修正趣意書」等ト合綴〕　二九　四三三

尋常小學國史挿畫解說　增澤淑　大正一四　一　二六三　一〇五

尋常小學國史詳說及教法　上卷（第五學年用）　木藤重德
大正一〇　一　二六三　六三

尋常小學國史上卷編纂趣意書
文部省編　大正一〇　〔「尋常小學修身書卷四修正趣意書」等ト合綴〕　二九　四三三

尋常小學國史の解說と取扱　上卷　山田義直　大正一一　一　二六三　七六

尋常小學國史編纂趣意書　文部省編　大正一三　二八頁　一　二九　四九四

尋常裁縫新教授細目及其取扱　結城親學　大正一〇　一　二六三　一六四

尋常小學算術教授指針　秋山兵三郎、北澤眞　大正四　一　二六三　三四

尋常小學算術書教師用兒童用修正趣意書
文部省編　大正一三　七九頁　一　二九　四九一

尋常小學算術書第一第二學年教師用修正趣意書
文部省編　大正七　一　二六三　五三

尋常小學算術書第五學年教師用兒童用修正趣意書
文部省編　大正一〇　〔「尋常小學修身書卷四修正趣意書」等ト合綴〕　二九　四三三

尋常小學算術書第三學年教師用兒童用修正趣意書
文部省編　大正八　一　二六三　五三

尋常小學算術書第六學年教師用兒童用修正趣意書
文部省編　大正一一　〔「尋常小學修身書卷五修正趣意書」等ト合綴〕　一　二六三　一〇四

尋常小學算術之教授　第一、二學年第二、三學期用
荒井忠吉、渡邊千代吉　大正九　二　二六三　六三

尋常小學修身　盲人用　文部省編　大正一二　六　二六三　二六五

尋常小學修身書教授細案　卷一至四、五上、下、六
野澤正浩、三浦喜雄
大正七至一二　七　二六三　四一

尋常小學修身書修正趣意書
文部省編　大正一三　〔「高等小學修身書編纂趣意書」ト合綴〕　一　二九　四九〇

尋常小學修身書卷一卷二修正趣意書
文部省編　大正七　〔「高等小學修身書卷一卷二編纂趣意書」ト合綴〕　二六三　四〇

尋常小學修身書卷五修正趣意書
文部省編　大正一一　〔「尋常小學算術書第六學年教師用兒童用修正趣意書」等ト合綴〕　二九　四三三

尋常小學修身書卷四修正趣意書
文部省編　大正一〇　〔「尋常小學算術書第五學年教師用兒童用修正趣意書」等ト合綴〕　二九　四三三

尋常小學修身書卷六修正趣意書　文部省編　大正一二　一五頁　一　二九　四六九

尋常小學修身書例話原據　附　參考資料并教授上の注意
鹽三郎　明治四五　七六八頁　相島
同　訂再版　大正四　八八〇頁　一　二六三　一〇四

尋常小學修身書例話原據の研究　尋常科第一至三學年用
田惠吉　大正一四、一五　鴇　三　二六三　六二

尋常小學唱歌教授法　第一、五學年　田村虎藏　大正二、四　二　二六三　一〇三

尋常小學唱歌新教授精說　林仙二、水之上甚太郎
大正五　一　二六三　一一四

尋常小學唱歌動作遊戲　前編　眞島睦美　大正二　一　二六三　一〇四

尋常小學唱歌動作遊戲　前編　眞島睦美　大正一一　一　二六三　一〇四

尋常小學初學年教授法　大元茂一郎　明治四五　一　二六三　二一五

尋常小學新算術書解說　尋一至三　山田義郎編　大正一五　三　二六三　一二九

尋常小學新算術取扱の實際　第一、二學年用
恭一　大正一四　山本孫一、中野　二　二六三　一〇六

尋常小學新地理書解說　尋六　增澤淑　大正一五　一　二六三　一一一

尋常小學第五學年日本國史の教授　小學校教材研究會編
大正一〇　一　二六三　六四

尋常小學第四學年の理科教授　片岡庫太郎等　大正八　一　二六三　七三

尋常小學理科教材と其取扱　下卷　神戸伊三郎、大浦茂樹
大正九　一　二六三　八六

尋常小學理科教授細案　六盟館編　大正八　一　二六三　六七

尋常小學直觀科指導の實際　尋常科第一學年用
廣吉　大正一二　一　二六三　一〇八

尋常小學地理　盲人用　文部省編　大正一二　二　二六三　二六六

尋常小學地理教授細案　卷上　神田逸一　大正九　一　二六三　五八

尋常小學地理教授書　第五學年用　菊地勝之助、中山榮作
改訂　大正一四　一　二六三　一一〇

尋常小學地理教授精案　第五學年用　日高佐七　大正七　一　二六三　四五

尋常小學地理挿畫精說　高野松次郎　大正二　一　二六三　二六

尋常小學地理詳解及學習指導　卷一　迫田達哉　大正一四　一　二六三　一〇三

尋常小學地理書新附圖解說及使用法　富士德治郎、增澤淑
大正一四　一　二六三　一〇六

尋常小學地理書卷一兒童用修正趣意書
文部省編　大正七　〔「尋常小學理科書第五學年用修正趣意書」ト合綴〕　二九　四一〇

尋常小學地理書卷二兒童用修正趣意書　文部省編　大正八　〔「尋常小學理科書第六學年用修正趣意書」ト合綴〕　一　二五九　四一〇

尋常小學理科教授細目　附直觀教授細目　初等教育研究會編　大正一三　一　二六三　一二六

尋常小學理科教授細目一覽表　和田八重造　大正一〇　一枚　二六三　九四

尋常小學綴り方教科書教授の實際　蘆田惠之助　明治四五　一　二六三　四九

尋常小學綴方教授細目　福知勝編　大正九　一　二六三　一三七

尋常小學綴方教授書　卷一至四　蘆田惠之助　大正七至一〇　四　二六三　一一五

尋常小學綴方教授書　卷一、二、〔第三學年前、後期、第四學年前、後期用〕　友納友次郎　大正七至一〇　六　二六三　一二〇

尋常小學讀本解說　卷一至四　帝國教育會編　大正七、八　一　二六三　二五九

尋常小學讀本教授細案（修正）　卷一至一〇、一二　野澤正浩、友納友次郎　大正七至一四　一二　二六三　一〇四

尋常小學讀本修正趣意書　〔卷一至四〕　二五九　四〇八

尋常小學讀本修正趣意書　文部省編　大正七　〔「尋常小學書キ方手本修正趣意書」第一、二學年用〕ト合綴〕　二五九　四〇八

尋常小學讀本修正趣意書　文部省編　大正一三　〔「尋常小學書キ方手本修正趣意書」ト合綴〕　二五九　四〇八イ

尋常小學讀本修正趣意書　文部省編　大正一〇　〔「尋常小學書キ方手本第五學年用上下修正趣意書」ト合綴〕　一　二五九　四三三

尋常小學讀本卷七八修正趣意書　文部省編　大正一〇　〔「尋常小學書キ方手本第四學年用上下修正趣意書」ト合綴〕　一　二五九　四三三

尋常小學話方教授書　卷の一、二　友納友次郎　大正八　二　二六三　一二六

尋常小學理科　盲人用　文部省編　大正一二　二　二三一　二七三

尋常小學理科教材及教授法の研究　中林正雄等　大正七　一　二六三　四八

尋常小學理科教材詳說　第五學年用　吉田弘　大正一三　一　二六三　一一四

尋常小學理科教授細目　附直觀教授細目　初等教育研究會編　大正一三　一　二六三　一一六

尋常小學理科教授細目一覽表　和田八重造　大正一〇　一枚　二六三　九四

尋常小學理科教授書　第六學年用　信濃教育會編　大正一三　一　二六三　一一五

尋常小學理科教授資料集成　渡邊千代吉、小關貞次　大正六　一　二六三　四六

尋常小學理科教授精案　第五學年用　渡邊千代吉　大正七　一　二六三　五一

尋常小學理科書解說　尋六用　二階源市、室岡孝治　大正一四　一　二六三　一三

尋常小學理科書第五學年用修正趣意書　文部省編　大正七　〔「尋常小學地理書卷一兒童用修正趣意書」ト合綴〕　二五九　四一〇

尋常小學理科書第六學年用修正趣意書　文部省編　大正八　〔「尋常小學地理書卷二兒童用修正趣意書」ト合綴〕　二五九　四一〇

尋常小學歷史　盲人用　文部省編　大正一二　二　三三一　二七三

尋常小學綴方教授資料集成　國語教授研究會編　大正二　一　二六三　五九

尋常第四學年理科教材解說（新設）　萬福直清　大正八　一　二六三　六三

尋常第四學年理科新教授の實際　神野茂次郎　大正九　一　二六三　七八

新商道　澁澤榮一　大正一一　一　五〇三　一七四

新商人道　有馬祐政　大正一二　一　五一三　一八五

新粧之佳人（一名一笑）　須藤南翠　大正一五（明治文學名著全集第八卷）　一　五四八　二四

新商法釋義　青木徹二　一一版　大正八　一　三三六　六三

新商法文官高等判檢事試驗問題解答　有斐閣編辯護士各大學　明治四五　一　六八　五九〇

新庄藩戊辰戰史　常葉金太郎編　大正一二　一　一五四　一七九

新商品プロテクトールに就て　桐生高等工業學校色染會編（色染叢書第六ノ內）　大正一一　一　二八〇　一六五

新庄領村鑑　（最上郡史料叢書ノ內）　大正一四　五三二　一八七

新商略（最高效率）　秋山紅之助　大正五（プラチナ叢書第一編）　一　二五五　五〇

尋常六年新地理教授要綱　大元茂一郎　大正九　一　二六三　五一

心性論　圓仁撰（大日本佛教全書第一四册ノ內）　大正一二　三五三　一〇

同　（日本大藏經第四六卷ノ內）　大正九　三五三　六

神社概說（稿本）　宮地直一　大正三　一　三三七　六八三

新社交と座談の秘訣（是だけ讀めば紳士になれる）　植原路郎編　大正九　一　二八七　一〇七

仁者必ず勇あり　佐藤鐵太郎　大正九　一　二八七　一三四

神社行政法講義　宮尾詮、稻村貞文　增訂再版　明治四五　九四八頁　一　三三六　三〇イ

新釋伊勢物語　有馬與藤次　大正九　一　三三八　三五五

新釋江戸繁昌記　寺門靜軒　大正一〇（日本名著文庫ノ內）　一　五〇〇　三一ハ

新釋源氏物語　二之卷　藤井紫影等　大正三　五七四頁　一　三三五　二八九

新借地借家法の話（誰にもよくわかる）　倉石亮平、白須武編　大正一〇　一　五〇二　四八

新借地借家法便覽　山野井龜五郎　大正一〇　一　五〇二　一二

新釋徒然草　岩崎臨洋、妹尾薇谷　大正九　一　三八八　二〇七

新釋徒然草　高木武　大正四　一　三五七　九三

新釋俳諧叢書　紅玉堂發行　大正一四　一　五四四　一七三

第二編　其角俳句新釋　（高木讓）

新社會を凝視して　北澤新次郎　大正一二（社會科學叢書第一册）　一　五一五　七〇

新社會劇　中村吉藏　大正四　一　三五七　四三

新社會主義の批判　ルロワ・ボーリュ著　大正一三　一　五三五　二

新社會組織の原理　コール著　納武津譯　大正一一　一　五〇三　二一八

新社會的秩序へ　麻生久編　大正一一　五八〇頁　一　五〇二　二八二

勞働組合の進化と職分　（山川均）
工場委員制度について　（高野岩三郎）
科學的管理法の勞働者に及ぼす影響　（北澤新次郎）
プロレタリアの觀たる華盛頓會議　（荒畑勝三）
勞農露國の勞働組合　（赤松克麿）
智識階級と勞働運動　（堺利彥）
自助主義の價値　（上田貞次郎）
制度としての國家　（長谷川萬次郎）
文化價値體系問題　（米田庄太郎）
智識階級崇拜の迷信と階級意識　（大山郁夫）
言葉の自由と思想の自由　（片上伸）
農村の土地政策　（安部磯雄）
特殊部落解放論　（佐野學）
反動運動としてのファシスチー　（新居格）
我國人口問題の一考察　（石本惠吉）
過激思想取締案批判　（末弘嚴太郎）

新社會の建設　北澤新次郎　大正一〇　一　五〇二　二六二

新社會への藝術　西村陽吉　大正一一　一　五〇六　一九

新釋和歌叢書　紅玉堂發行　大正一三至一五　八　五一五　一三五

第一編　大隈言道歌集　（半田良平）
第二編　正岡子規歌集　（橘田東聲）
第三編　源實朝歌集　（尾山篤二郎）
第五編　良寬和尚歌集　（相馬御風）
第六編　柿本人麿歌集　（宗不旱）
第七編　橘曙覽歌集　（植松壽樹）

		冊	函	號
第一三編	萬葉女流歌人歌集（橋田東聲）	二	三四	五八九
第一四編	紀貫之歌集（篠田宗徳）			
神社境内の設計	附 附圖 上原敬二 大正八	二	三四	五八九
神社啓蒙	白井宗因 七卷（大日本風教叢書第八輯ノ内 大正一〇）	一	三六九	二 イ
同		一	三六九	二 ニ
神社建築構造法	齋藤鶴吉 大正九	一	三三一	一四五
神社祭式要義	福武勇次郎 大正七	一	三三五	二七三
神社祭式要義	好崎安秀 大正一二 七三頁	一	三九三	五八三
神社祭式行事作法要義	宮崎四郎 大正三	一〇	二八	二七六
神社祭式行事作法摘要（幣帛供進使用）	辻正雄編 大正四	一	三三四	四三七
神社祭式行事作法略義	廣島縣神職會賀茂郡支會編 大正七	一	三三五	二九〇
神社祭祀令竝祭式	神社協會事務所發行 大正三	一	三四	三八三
神社參拜の眞義	聖訓奉旨會編 大正八	一	三一	八四八
神社山陵參拜記（御成婚奉祝）	朝日新聞社編 大正一三	一	五〇四	二五七
神社事務提要	神社協會編 大正四	一	三三四	四四六
神社諸願届記載例	小濱元夫編 大正九	一	三八八	二六〇
神社祭式原理	宝松岩雄編 大正七	一〇	二三	一〇
神社崇敬と宗教	廣池千九郎 大正四（宗教叢書第六〇至六四編）	一	三七	四三八
神社對宗教	加藤玄智編 大正一〇 五〇三頁	一	五〇四	八七
神社對宗教問題の各種觀察	水野錬太郎等（明治聖德記念學會紀要第五卷ノ内 大正五）	一	一四五	一
深沙大王	泉鏡花（鏡花全集第一四卷ノ内 大正一五）	二	三四	五八九
同		一	三四	五二〇
神社と學校との連絡法	新潟縣神職會刈羽郡支部編 大正七	一	三七二	五九
神社と祭祀精神	島根縣皇典講究分所編 大正七	一	三七二	二三三
神社と宗教	小野清秀 大正一四	一	五三三	五六
神社と宗教	安原清輔 大正八	一	三三五	五四七
神社と信仰（講演）	二宮武 大正一〇 三八頁	一〇	一八六	三一〇
神社と祖先崇拜とに關する世論一瞥	栗原廣廓（明治聖德記念學會紀要第六卷ノ内 大正五）	一四五		一
神社に關する講演	神社協會編 大正七	一	三七二	一〇一
神職の責務	（水野錬太郎）			
神社行政に關する注意事項	（塚本清治）			
神社に就て	（荻野仲三郎）			
神社に關する見解の一般	第壹輯 古屋春海編 大正四	一〇	三三四	四三六
神社に關する注意	塚本清治 大正五	一	三三七	八〇九
神社の要務	神社協會事務所編 大正三	一	三三四	四三九
神社の研究	櫻井幸三郎 大正七	一	三三四	五七二
神社の制度	山田準次郎 大正三	一	三三七	六七六
神社の發達に關する一觀察	黒板勝美（明治聖德記念學會紀要第一〇卷ノ内 大正二）	一四五		一
神社者國家ノ宗祀也	江見清風 大正四	一	三三四	四七四
神社法令輯覽	内務省神社局編 大正一四	一	一四七	三四二
神社法令類纂	野島勝七編 大正三	一	三三四	三七六
神社佛閣江戸名所百人一首	近藤清春畫 山田清作編 大正七	一〇	一五	三六五
神社佛閣彫刻集	杉岡陸泉 大正一一	一〇	一四六	二六五
神社便覽	白井宗因編（寛文四年ノ自序アリ）	一〇	一三三	二三六
神社奉獻書法六十一箇條	寫本	一〇	二〇五	二三
神社本義	田中義能 大正一五	一	五五九	一五
神社由緒記	三宅辨造編 大正一〇	一	三三四	六四九
眞珠	西川藤吉 大正三	一	三四九	二八四
新珠	中、下卷 菊池寛 大正一三	二	五三	二六八
同	上、中、下卷 九至一九版 大正一三	三	五三	二六八 イ
新珠	松坂屋いとう呉服店編 大正一三	一〇	四二〇	七
新樹	里見弴（現代戲曲全集第九卷ノ内 大正一四）	一〇	五二〇	二五
心珠詠草	（續群書類從第一六輯ノ上和歌部ノ内 再版 大正一三）	八〇	三二 ロ	新宿
人種及人口より見たる日本の將來	下村宏（經濟時事講演集第五輯ノ内 大正九）	三七二		一九五
人種及文明國人としての猶太人	フリツ・カーン著 東亜社編纂部譯（猶太研究叢書第一卷） 大正一二	一	五五	八四
人種改造學	高畠素之譯 大正四（新知識叢書第八編）	一	三五	二四九
人種改善學	ワルレス著 高橋五郎譯 大正八	一	三八五	四四
人種改良學	ダウェンポート著 中瀬古六郎、吉村大次郎譯 大正三（大日本文明協會刊行書第二期第三一編）	一	三四三	五
新趣向の盆栽	金井紫雲 大正六	一	三六一	六二
仁壽鏡	（續群書類從第二九輯ノ上雜部ノ内 大正一四）		八〇	三二
同	下卷 大正五	一	五五	七 イ
人種學	トムソン著 宮下義信譯（科學大系第七卷第三六編 大正一二）		八〇	三二 イ
同		一	五五	七
新主義數學	上、下卷 文部省編 大正四、五	一	二六三	五〇 四
新主義數學を空間教材の取扱	佐藤充、中野恭一（基調とせる 大正一四）	一	三五一	五六 イ
新主義數學に基く算術重要問題の取扱	星野半五郎 大正八	一	二六三	一〇七 四
新主義に基つけるメートル法教授の理論及實際	塚本清 大正一三	一	二六三	五七 四
新主義之立場算術教授之缺陷と其救濟	新井新 大正一四	一	二六三	一〇五 四
新宿穴學問	秩都紀南子（國書刊行會本德川文藝類聚第五洒落本ノ内 大正三）	一	二三〇	四九 ろ
神儒偶談	飲光（蠡雲尊者全集第一〇輯ノ内 大正一四）	一	五二一	八
新宿貸座敷議定書	寫本（明治十年頃ノ申合規約ナリ）	一	一九二	一三三
新手工科教材及教授法	岡山秀吉 大正九	一	二六三	一五七
新手工科教授	岡山秀吉 大正五	一	二六三	一一七
人種差別待遇問題	成瀬正雄 大正八（〔支那民族啓發の要訣〕ト合綴）	三	三八八	五五
人種差別撤廢問題	金井重雄編 大正八	一	三七二	二五

人種差別撤廢問題に就きて　下村宏（明治聖德記念學會紀要第一五卷ノ內　大正一〇）　冊一　函一四、一五　號一
仁壽社報　仁壽生命保險株式會社發行　第八四號（大正九年一月）至第一二七號（大正一二年八月）〔缺アリ〕　雜三　三　五七
進取主義實務の人　蘆川忠雄　大正六　一　三六一　四七
進取？守成？富豪の積富策　岩崎徂堂　大正四　一　三六〇　一七
眞珠島（童謠集一）　三木露風　大正一〇　一　五〇一　二五六
眞珠孃　モオパツサン著　岸田國士譯（佛蘭西文學譯註叢書第一編ノ內　大正一四）　五四八　一四
壬戌雅會集　國府種德編　大正一一　一〇　一六〇　九三
壬戌後遊會誌　田中常太郎編　大正一二　一〇　一六〇　一五九
壬戌事　（文久二年）（維新日乘纂輯第一ノ內　大正一四）　六四　二三三
人種的挑戰　早坂二郎（重大なる結果ノ內　大正一三）　五三三　一〇七
進取的發展法　淘宮術講話　大畑裕、高內敬次　明治四五　一　三四三　一四五
進取と保守　竹中性達（修養講話ノ內　大正四）　三四九　三五
人種の衝突　ベシル・マシウス著　黑崎幸吉譯　大正一四　一〇　五三五　一九五
人種の見方　日本評論社編　大正一四（現代常識大系第四編）　一　五二七　六九
眞珠白玉　小野利教編　大正一四　一〇　一六六　二四三
眞珠姬　ライダー・ハガード著　伊藤宗輔譯　大正八　三七五　四三
眞珠夫人　前、後篇　菊池寬　大正九、一〇　一　三九二　五九
同　大正一一（菊池寬全集第二卷）　二　三九一　二〇三
信受本願義　惠然（眞宗大系第二二ノ內　大正八）　一　五〇五　三三
新趣味の袋物拵へ方　附錄付　中村興湖　大正一三　三六九　一五
新趣味の文章と作例　春日靖軒編　大正一五　一　五一七　五九三
人種問題　稻田周之助（政治學叢書第八編）　大正四　一　三三〇　四五
人種問題　大隈重信（世界改造叢書第五編）　大正八　一　三九九　一六
人種問題を背景としたる日支米關係　植原悅二郎（新國是の提唱ノ內　大正一三）　五三三　一三五
人種問題研究　綾川武治　大正一四　一　五三〇　一〇九
人種紋樣　先住民の部　大野雲外　大正五　一〇　四一九　六三
眞珠養成學　藤田政勝　大正一二　七六頁　一　五〇七　二一八
進取論　鎌田榮吉　大正四　一　三六〇　六三
新春　德富健次郎　大正七　一　三七七　五三
新春夏秋冬　松根東洋城編　大正四　一　七一　五二八
同　冬之部（俳諧叢書第二四編）　一　七一　四一五
新春消息　屠蘇危言　矢野恒太　大正八　一　三一　八六四
新春模樣　白木屋呉服店圖案課編　大正一〇　一〇　四二二　六三
新序　塚本哲三編（漢文叢書第一六ノ內　大正一四）　三七五　四三
新稱坂田たつくり　坂田安次郎　大正一一　二六頁〔標題紙ニハ「鑿井取用張揚網の成績」トアリ〕　一　三九三　四三七
信松先生錫爵錄　樋口勘次郎編　明治四五　特一　一　三四二　六四
新序考　岡本保孝　竊本　一九枚〔「劉向新序」ノ索引〕　乙京　三二四

新書翰大鑑　吉澤隆治編　大正八　一　三七〇　一二
新書翰文（文話作例）　大町桂月　大正六　一　三七〇　四
新書簡文作法　水野葉舟　大正七（新文章速達叢書第一編）　一　三七五　一二
同　大正一〇　一　三七五　一二
清初疆域圖　西紀一六一六年以前（滿洲歷史地理第二卷附圖ノ內　大正二）　特　三四八　六〇
神職祭式寶典　柄澤照覺　大正九　一〇　一二　三三
神職の責務　水野錬太郎（神社に關する講演ノ內　大正七）　一　三三四　五五五
神職寶典　大日本禮典學會編　大正七　一　三三〇　五〇
新色三ツ巴　六卷（國書刊行會本江戶時代文藝資料第二ノ內　大正五）　一　六二　二八三
新食養生法（無病強健）　宇野眞彥　大正九　一　六二　一五一
新食療法提要　石上敏雄　大正二　一　六二　九七
眞如室詩　支、徐珂編（天蘇閣叢刊二集六ノ內）　二　三五六　一八八
信書精鑒　中川靜編　大正五　二　三五六　二六一
新書道の研究　木村剛石　大正六　二　三五八　六〇
清初の疆域　稻葉岩吉（滿洲歷史地理第二卷第九篇　大正二）　特　三四八　六〇
同　諸見里朝賢　大正一一　一　二六三　一〇三
尋四理科教授日案（文部省編）　熊谷丘山　大正一三　一　五一四　二七五
新城之今昔　同社發行　第一一號（明治四五年五月）至第八〇號（大正七年二月）　雜　二九　八七
眞人　同社發行　第一七卷第二號（大正五年二月）ヨリ〔第八一號（大正七年三月）ヨリ「養眞」ト改題〕　一三　二九　八七
新人　同社發行　第一七卷第二號（大正五年二月）ヨリ　雜　四　一六
新人　デレッタ著　岩崎純孝譯（世界短篇小說大系南歐及北歐篇ノ內　大正一五）　五二〇　四五
森々庵松後　西村繁治郎編　大正二　二二頁　一　三九三　三四四
眞心要決　良遍草　前抄一卷、後抄二卷（日本大藏經第九卷ノ內　大正四）　三五三　六
心身圓滿發達　檜山式正坐法　一名心身修養療法　檜山銳（鐵心）　大正二　一　六二　一四七
心身科學的統一法　檜山銳　大正五　一　六二　一九三
心身改造精神的呼吸法　檜山銳　明治四五　一　六二　一九九
心身改造能力發現法　一名靈能術　檜山銳　四版　大正八　一　三二四　五五五
同　八版　大正九　一　六二　二七七
人心解剖彼等の本音　ラ・ブリュエル著　榎本恒太郎譯　大正五　一　六二　二七七
新神學　キャンベル著　今岡信一良譯　明治四五　一　三五七　一八五
心身強健康と長壽　向井章　大正四　一　三三五　一五三
心身強健術　附　椅子運動法、自己療養　增訂再版　大正三　川合春充　一　六二　九七
心身強健體格改造法　肥田春充　大正七　一　三五〇　二四一
心身強健法　高木兼寬（袖珍名家文庫第九編）　大正八　一　六二　二四一
眞人基督　三並良　大正一五　一　三一　八四九
人心觀破法（處世要訣一）　一名讀心術讀顏術と骨相學無々庵子　大正一三　一　五二五　一三
同　身心解脫耳根圓通法秘錄　木原通德　再版　大正六　一　五二五　一三　イ
　　一　六〇　三九四

	冊	函	號
身心健康法（生理一）　第二編　井上豐太郎　大正六	二	六一	二二六
心身健康法の實驗（秘訣傳授）　森田榮太郎　大正六	一	六一	二一六
新進基督者爭覇戰　瀨越憲作　大正九	一〇	一一	三八四
新人國記　横山健堂　大正一〇　五〇二頁	一	三三五	一九六イ
心身根本能力發揮法　一名　理想的心身强健法、又無病長生法　伊藤精次　大正一四	一	六一	三四六
新人創作叢書　越山堂發行　大正一二、一三	四	五五	三二
第一編　憧憬（工藤みさを）			
第二編　愛は空し（秋田哲）			
第三編　蘇生（山本加津二）			
第四編　死の反逆へ（吉田與子）			
新進作家叢書　新潮社發行　大正六至一四	三七	三一	五五四
第八編　煙草と惡魔　他一〇篇（芥川龍之介）			
第一〇編　手品師　他七篇（久米正雄）			
第一一編　一つの芽生　他二篇（中條百合子）			
第一二編　神經病時代　他四篇（廣津和郎）			
第一三編　愛と憎み　他七篇（江馬修）			
第一四編　土の靈　他二篇（野村愛正）			
第一五編　無名作家の日記　他七篇（菊池寛）			
第一六編　お絹とその兄弟　他五篇（佐藤春夫）			
第一七編　赤い矢帆　他四篇（江口渙）			
第一八編　イボタの蟲　他四篇（中戸川吉二）			
第一九編　不能者　他六篇（葛西善藏）			
第二〇編　霰の音　他四篇（加能作次郎）			
第二一編　歸れる父　他五篇（水守龜之助）			
第二二編　修道院の秋　他六篇（南部修太郎）			
第二三編　結婚者の手記（室生犀星）			
第二四編　放浪者富藏　他五篇（宮地嘉六）			
第二五編　死を恃む女　他五篇（細田源吉）			
第二六編　涯なき路　他四篇（岡田三郎）			
第二七編　高い山から（宇野浩二）			
第二八編　妹の戀　他二篇（細田民樹）			
第二九編　勝敗　他三篇（須藤鐘一）			
同　第四四編　大正一四	一	三一	五五四イ
新進作家等の劇と小說　岩野泡鳴（泡鳴全集第一八卷ノ内　大正一二）	一	一	五〇〇
心身修養　高木兼寬　大正五	一	三六〇	四五六
心身修養　偉人の言行　中井修　大正九	一	二八七	一二五
心身修養　岡田式靜坐法　實業之日本社編　明治四五	一	六一	一二七
心身修養　佐野式調息法之栞　佐野與左衞門　大正八	一	六一	一七四
心身修養　健康不老　佐野式調息法之栞　佐野與左衞門　再版　大正九	一	六一	一七四イ
心身修養　三摩地　平井龍華（金三）　大正三	一	三一五	三三二
心身修養之礎　マーデン著　大宮英之助譯　大正三	一	三四九	二五二
心身修養法　平岡順三　大正一〇	一	三九三	一三五
心身修養　武術極意膽練法　森野雪男　大正五	一	三六四	三〇
心身修養　不老不死　新家實次郎　明治四五	一	六一	一三〇
第三〇編　櫻藤の卷　他四篇（近藤經一）			
第三一編　寺田屋騷動　他五篇（三島章道）			
第三二編　二人の文學青年　他三篇（新井紀一）			
第三三編　良人の貞操　他六篇（瀧井孝作）			
第三四編　流轉　他二篇（宮島資夫）			
第三五編　曖き手紙　他三篇（藤森成吉）			
第三六編　感謝　他六篇（加藤武雄）			
第三七編　蠢く　他二篇（戸川貞雄）			
第三八編　南國　他三篇（犬養健）			
第三九編　幸福の散布　他七篇（横光利一）			
第四〇編　父を竇る子　他六篇（牧野信一）			
第四一編　脅威　他二篇（前田河廣一郎）			
第四二編　白い家と罪　他四篇（宇野千代）			
第四三編　夢ほどの話　他一〇篇（佐佐木茂索）			
第四四編　午前の殺人　他一〇篇（中河與一）			
第四五編　鼻眼鏡　他六篇（稻垣足穗）			

	冊	函	號
心身修養療法（比較研究）　檜山銳　大正三	一	三四九	三四二
身心修養療法原論　附　檜山式療養法　檜山銳　大正四	一	三五六	一〇四
新々支那語會話　石橋梅吉編　大正八	一	三三三	三三五
心身攝養　自然之藥石　別所彰善　大正元	一	六一	二三七
心身攝養　代表的强健法　白井規矩郎編　大正七	一	六一	二三四
新人道主義の教育　三浦關造　大正一〇	一	二五三	二〇四
心身鍛練　文部省第一回擊劍講習錄　杉山清作編　大正元	一	二七六	一五八
心身鍛練　靜坐內觀秘法　足立栗園　明治四五	一	六一	二二六
心身鍛練　奮鬪力の修養　青年指導會編　大正九	一	二八七	一八六
新朝鮮語會話　山本正誠　大正一〇	一	三三三	三八二
心身調和　長壽法　足立栗園　大正三	一	三五〇	二九九
新人と舊人（財界—）　平栗要三編　大正一三	一	五一四	二一〇
神人と魔人　栗原元吉　大正八	一	二八四	一三五
新々日英西會話　田村浩編　大正一一　五二二頁	一	二九六	二七三
新々日露會話　ペオブージェフ、矢野太郎　大正八	一	二六四	二九五
深甚の意義ある十億圓　前田利定（郵便貯金十億圓記念講演集ノ內　大正一二）	一	二九三	六〇一
神人乃木將軍　加藤玄智　大正元	一	三三二	三七六
神人之呼應　今井壽道　大正一四	一	五三三	二一八
心身の弱者及病者のため　檜山銳　大正五	一	六〇	四三〇
眞人の生活（修身教授講演訓辭說教例話一）　小原國芳編　大正一一　七二〇頁	一	五一〇	一一六
新人の生活原理としての佛陀主義の哲學　倉繁義信　大正一二	一	五一六	七七
心身の發達と體育　可兒德（體育學理講演集第一輯ノ內　大正九）	一	二七六	二六三
新進之伯剌西爾（獨立百年記念一）　杉山英雄編　大正一一	一	五一九	六
新神祕主義　谷岡勝美（現代評論叢書第一編ノ內　大正三）		三七	二九九
身神保健訓　日比野寬　大正六	一	二六三	一三四
神人問答（小說一）　ルミード・グルモン著　石川巖庵譯　大正七	一	二七七	九七
心身養成論（細胞の靈能と教育との關係一）　安富業輔　大正一〇	一	二八七	二四四
新心理學　タンスレー著　野口援太郎等譯　大正一三	一	五三六	二七
新心理學要義　青木庄左衞門　大正一四	一	五一〇	二九
眞人良寬　池田雨江　大正七	一	二七六	二〇四
新々露語獨習　金田常三郎　大正九	一	三三三	三三五
神人論　ソロウイヨフ著　關竹三郎譯　大正五	一	三三五	四〇〇
神人論　永瀨壯策　大正四	一	三三五	四一三
神人論（精神、生活一）　ラルフル・ワドー・トライン著　村上雄次郎譯　大正四	一	三二五	三六二
深甚の畫集　伊東深水畫	枚	別	七五
新水滸傳（東洋安危一）　伊東銀月　大正元	一	三三九	一四九
新水彩畫法と批評の仕方　越元辰雄、松岡文三編　大正一〇	一	三九五	二三三
浸水ト農作物　農商務省農務局編（農務彙纂第四一）　大正二	一	三三一	七五

新水分定量裝置竝ニ其實驗成績　加福均三（臺灣總督府中央研究所工業部報告第四號ノ內　大正二三）　一四ノ二　イ二八五

人生　トルストイ著　三浦關造譯　大正四　一　三六〇　六七

人生　ドルワール・ド・レゼー著　教學研鑽和佛協會譯　大正七　一　三七三　一五三

新生　いとう呉服店意匠部編　大正二　一〇　一四二　一二

新生　第一、二卷　島崎藤村　大正八、九　二　三七七　一三三

同　大正一一（藤村全集第一一卷）　一　五〇五　三三

新生　ダンテ著　中山昌樹譯　大正六　一　三五七　二九

新生　藤井武　大正五　一　三三五　四一七

人生一代運勢萬代三世相大全　歌月庵喜笑園　大正一〇　一〇　一四六　二三〇

人生を描くとは何ぞや　島村抱月（抱月全集第一卷ノ內　大正八）　三七九　一一

人生を斯く考へる　武者小路實篤　大正一四　一　五一六　三三七

人生を超越する力　トルストイ著　內田靜衛譯　大正一一　一　五〇三　一〇八

人生を見つめて　藤崎俊茂　大正一二　一　五〇三　二四八

人生を横ぎる者　麻生久　大正一四　一　五三八　一二七

人生向上悟りの道　渡邊約山　大正五　一　三三五　四五〇

人生學　內ヶ崎作三郎　大正一五　一　五三六　一七五

神聖家族　マルクス著　河野密譯　大正一二（マルクス全集第一二冊）　一　三九九　一〇

神生紀元　宮崎虎之助　大正一四　一　五三三　六六

新世紀　世界地圖　三省堂編　訂六版　大正一五　一　一四ノ二　イ二八五

新世紀日本地圖　三省堂編　訂七版　大正一四　一　五三二　二一七

同　訂九版　大正一五　一　五三二　二一七イ

新生會叢書　下出書店發行　第五篇　三版　大正一〇　一〇　五〇〇　三七

第一篇　ニウトンからアインシュタインまで（ベンジヤミン・ハーロー著　岡邦雄譯）　一〇　四二一　一一

第二篇　ゴリキイの見たるトルストイ（ゴリキイ著　內山賢次譯）　二　三七七　一三三

第三篇　私有財產制度論の變遷（高橋誠一郎）　一　五〇五　三三

第四篇　物理學序論（桑木彧雄）　一　三五七　二九

第五篇　社會思想の變革（トマス・カーカップ著　町野並樹譯）　一　三三五　四一七

第六篇　國際心のあらはれ（穗積重遠）　一〇　一四六　二三〇

第七篇　ウヰリアム・モリス評傳（タウンシエンド夫人著　加田哲二譯）　三七九　一一

第九篇　文化と改造（桑木嚴翼）　一　五一六　三三七

第一〇篇　三つの感想（島崎藤村）　一　五〇三　一〇八

第一一篇　絕對と相對（桑木彧雄）　一　五三三　六六

新世紀　世界地圖　三省堂編　訂六版　大正一五　一　一四ノ二　イ二八五

新世紀日本地圖　三省堂編　訂七版　大正一四　一　五三二　二一七

同　訂九版　大正一五　一　五三二　二一七イ

新生會叢書　下出書店發行　第五篇　三版　大正一〇　一〇　五〇〇　三七

第一篇　ニウトンからアインシュタインまで（ベンジヤミン・ハーロー著　岡邦雄譯）　一〇　四二一　一一

第二篇　ゴリキイの見たるトルストイ（ゴリキイ著　內山賢次譯）　二　三七七　一三三

第三篇　私有財產制度論の變遷（高橋誠一郎）　一　五〇五　三三

第四篇　物理學序論（桑木彧雄）　一　三五七　二九

第五篇　社會思想の變革（トマス・カーカップ著　町野並樹譯）　一　三三五　四一七

第六篇　國際心のあらはれ（穗積重遠）　一〇　一四六　二三〇

第七篇　ウヰリアム・モリス評傳（タウンシエンド夫人著　加田哲二譯）　三七九　一一

第九篇　文化と改造（桑木嚴翼）　三　五〇〇　三七イ

第一〇篇　三つの感想（島崎藤村）　一　五四七　八五

第一一篇　絕對と相對（桑木彧雄）　一　五四二　五七

新生活研究　森本厚吉　大正一一　一　五〇三　二五四

新生活の意味　厨川白村（婦人問題講演集第四輯ノ內　大正一〇）　一　五〇〇　二

新生活の創始　ルッソー著　三浦關造譯　大正二　一　三六〇　三〇八

人生教育エミール　新制教授要目に準據したる學校體操の教材と其實地指導法　小倉長一郎　大正一五　一　二五三　一三三

新果樹學綱要　黒瀨佐野　大正一五　一　二七六　四〇一

人生見物　大泉黒石　大正一三　一　五三九　五七

人生肯定と自然主義三派　岩野泡鳴（泡鳴全集第一八卷ノ內　大正一一）　一　五〇〇　一

新公民教育と其教授訓練　岡篤郎　大正一四　一　二七五　二六

人生五十年　野口米次郎　大正一五（野口米次郎ブックレット第一七編）　一　五四八　五

人生是れ戰場　井上圓了　大正三　一　三五〇　二三七

人生創造思想體系　石丸梧平　大正一四、一五　七　五四五　二四

第一卷　梧平人生觀　第二卷　藝術と人生　第三卷　宗教と人生　第四卷　戀愛と人生　第五卷　梧平戲曲集　第六卷　梧平創作集　第七卷　梧平修身讀本

人生雜感　新渡戸稻造著　國井通太郎編　大正四　一　三二五　三四六

心性修養新學生訓　臣々堂主人編　大正五　一　三七　四九二

人生詩人ブラウニング　帆足理一郎　大正七　一　三七七　八五

同　改訂　大正一三　一　三七七　八五イ

新制市制町村制通解　槻康郎　大正一〇　一　五〇二　二一四

新生支那への一考察　宮脇賢之介（山口高等商業學校開校第二十周年記念講演及論文集ノ內　大正一五）　一　五八　三一

新生兒病學　笠原道夫　大正四　一　五六　一二〇

眞盛上人奏進法語　眞盛（大日本風教叢書第一輯ノ內　大正六）　三六九　二　イ

同　三六九　二

人生植物學　三好學　大正七　一　三六五　八九

新精神的傾向と教育　島村抱月（抱月全集第一卷ノ內　大正八）　三七九　一一

新成人勞働者教育論　ジョークス著　惣田太郎吉譯　大正一五（勞働者教育資料第三）　一　二九〇　四六

人生隨筆選集　人生隨筆社發行　大正一五　一　五四八　六一

新稅制整理論　附　各政黨稅制整理案文並日本經濟聯盟會意見書　松田雪堂編　大正一五　一　五四六　九四

新稅制批判　小林丑三郎　大正一五　一　五三〇　二七六

人生小觀　高島米峰　大正一五　一　五二五　二八二

人生小觀　ヘンリイ・テイラア著　增田藤之助譯　大正九　一　三三三　三五二

新制世界地圖　山崎直方編　大正一五　一　五三四　一六七

人生叢書　綠蔭社發行　大正一五　三　五六〇　二

第一篇　生きんが爲に（松山敏）　第二篇　新生の首途（同）　第三篇　人生の行路（同）

人生達觀　ショーペンハウエル著　增富平藏譯　大正一三　一　五二五　一二七

新政談　一名　芻言　藤森弘庵　五卷（日本經濟叢書卷三二ノ內　大正六）　三四六　一八

人生探訪變裝記　知久泰盛　大正元　一　三三二　四一二

新政治運動論　鹽見清　大正一四　一　五三五　一七一

新政治叢書　大日本政治研究會發行　大正六　一　三六四　二九二

第一卷　國家及國民（大日本政治研究會編）　一　二六三　六一

新女子修身教本教授參考書　湯原元一　大正一四　修再版　五

		冊	函	號
人生地理學	前編 牧口常三郎 增訂縮刷 大正一二	一	七	イ二五七
新制適用物理學要點の研究	東辰藏 訂二版 大正一五	一	四六	三〇九
人生哲學大系	越山堂發行 大正一四	一	五三九	四三
人生哲學茶話	第六 名僧の人生觀 (人生哲學研究會編) 高橋五郎 大正七	一	三七六	一三〇
人生動物學	中澤毅一 大正一三	一	五三七	二
人生と草花	メエテルリンク著 (杜翁紀念文庫第八) 土居通彥譯 大正一〇	一	三五五	一〇〇
人生と藝術	島村抱月 大正八 (進文館叢書第二篇)	一	三一	八六三
人生と教育	稻毛詛風 大正六	一	二五三	一六一
人生と宗教	柏木松雄 (故天野松子追悼講演集ノ內 大正九)	一	四五	五五〇
人生と宗教	佐藤定吉 大正一三 (科學と宗教叢書第一)	一	五二七	五七
人生と修養	三浦圭三 大正七	一	三一	六〇四
新制度受驗用簡明定量分析法	平野四郎、辻八郎 大正一一	一	五〇	三五三
人生と趣味	黒田鵬心 大正九	一	三五九	四五
人生と趣味	村井知至 大正七	一	三七六	二四三
人生と食物	澤村眞 大正八	一	三八六	五〇
人生と信仰及其成功	松倉慶三郎 大正一一	一	三九七	三九七
人生と淘宮術	(陽發—樂觀—) 森友道 大正三	一	三四九	三九二
人生と努力	サムエル・スマイルス著 井關十二郎抄譯 大正五	一	三六〇	二九八
人生と花	マーテルリンク著 (マーテルリンク全集第三卷ノ內 大正一〇) 鷲尾浩譯	一	四六	三〇九
人生と犯罪	花井卓藏 大正三	一	五三九	四三
人生と文藝	武者小路實篤 大正一二 (武者小路小集第三編)	一	五一六	一〇三
人生とロマンチシズム	宍倉保 (山口高等商業學校第十週年記念講演集ノ內 大正五)	一	三二七	八〇七
人生に關する講話	高楠順次郎 大正一三	一	五三三	二〇
人生日訓	內ヶ崎作三郎編 大正四 九三八頁	一	三六〇	二一六
人生に就て	武者小路實篤 (婦人問題講演集第九輯ノ內 大正一二)	一	五〇〇	二
人生にひしがれて	クヌウト・ハムスン著 北村喜八譯 大正一五	一	五五一	九五
人生二百年	渡邊喜三 大正三	一	三五六	一八
新生日本	中山壽人編 大正一五	一	一六三	一一四
新青年團	湯原元一 大正四	一	二九五	五
新青年團の經營	深尾韶 大正五	一	三六三	二五
新生の曙	ストリンドベルヒ著 三浦關造譯 大正八	一	三八八	一七三
新生の歩み	村田太平 大正一三 (使命叢書第一卷)	一	五一五	一三六
人性乃醫學的觀察	田中祐吉 明治四五	一	六〇	三〇八
同	再版 大正二	一	六〇	三〇八イ
人生の意義から見た勞資爭議	村田通元編 大正一二	一	三九三	五六四
人生の意義と價値	オイケン著 三並良譯 大正三	一	三四九	四一六

		冊	函	號
人生の意義について	トルストイ著 宮原晃一郎譯 (トルストイ全集第八卷ノ內 大正八)	一	三九〇	三九
人生のうた	藤井武 大正一〇	一	三九六	二六七
人生の解決	品田俊平著 森亘編 大正五	一	三五六	一七八
人生の幸福	伊賀駒吉郎 大正元	一	三四三	二四七
人生の幸福	正宗白鳥 大正一四 (人生の幸福 梅雨の頃 隣家の夫婦)	一	五三八	一〇
人生の幸福	正宗白鳥 (現代戲曲全集第一五卷ノ內 大正一五)	一	五二〇	二五
人生の行路	松山敏 大正一五 (人生叢書第三篇)	一	五六〇	二
人生の行路	村上專精 大正九	一	三八七	一九
人生の鏡	金杉英五郎 大正五	一	六〇	二六三イ
新生の首途	松山敏 大正一五 (人生叢書第二篇)	一	五六〇	二
人生の歸趣	有島武郎 (有島武郎全集第一卷ノ內 大正一三)	一	五二〇	七
人生の歸趣	大正一二 (辨榮聖者御遺文第一輯)	一	五三三	二四二
同		一	五三三	二四二イ
人生の快樂	大內青巒 大正五	一	三六〇	四八三
人生の故郷	近藤良董 大正一二	一	五〇四	一五五
人性の根本問題	內ヶ崎作三郎 再版 大正八	一	三七三	三三〇
人生の三方面	姉崎正治 大正一三 七〇頁	二	三九三	六五〇
眞正の自由	トルストイ著 宮原晃一郎譯 (トルストイ全集第八卷ノ內 大正八)	一	三九〇	二九
人生の事實	カルネギー・シムプソン著 中澤正七譯 大正五	一	三三五	四五五
人生の自然と吾邦の前途	加藤弘之 大正四 (大日本學術叢書第二)	一	三五三	一八
同	再版 大正四	一	三五三	一八イ
眞正の手段	トルストイ著 宮原晃一郎譯 (トルストイ全集第八卷ノ內 大正八)	一	三九〇	三九
人生の哲學	キリアム・ジエームズ著 小野賓譯 大正一〇 (杜翁紀念文庫第五)	一	三五五	一〇〇
人生の迷路に立ちて	關露香編 大正六	一	三七六	一
新生の悦び(詩)	千家元麿 大正一〇	一	三九六	二八
人生の樂事	ジョン・ラボック著 橋本弘譯 大正七	一	三三三	二七三
人生の理想	小林久治 大正一三	一	五二五	二〇四
人生の裏面	村上浪六 大正五 (縮刷名著叢書第三〇編)	一	三七	二七六
人生の利用	ジョン・ラボック著 仁村千代子譯 大正六	一	三七六	九
人生の旅行	村上浪六 大正五	一	三二九	二六六
人生の旅行	山室軍平 大正一二	一	五〇四	二二二
人生寶典 姓氏名學 選名軌範大意	大鞆浩道 大正元 五〇頁	一	三四四	九八
新稅法早わかり(應用—自在—)	吉成忠誠 大正一五	一	五四六	二〇
人生百不思議(東西—比較—)	東薰 大正五	一	三六三	六
人生表裏の觀察と ゆとりある生活	桂芳朗 大正一四	一	五四四	二二
仁政篇	玉虫十藏 (近世社會經濟叢書第五卷ノ內 大正一五)	一	五五五	一九
人生問題論集	トルストイ著 春秋社譯 大正一三	一	五二五	一三四

新製藥化學要訣　神谷吉兵衞、山本一郎　大正七　一　三五六　一四七
新製藥化學粹　無機編、有機編　柴田照壽、矢島襄二　大正六、七　一〇　一九五　一九二
人生豫言手相學　小西久遠　大正六　一　三六三　一〇三
身生餘譚　三浦晉（梅園叢書上卷ノ內　大正元）　三四二　一九六
新製輿地全圖　箕作省吾編（弘化中）　卷一軸　二を　九四
新制陸上競技規則解說　野口源三郎　大正一五　一　五六四　二九
神聖羅馬帝國　ゼームス・ブライス著　占部百太郎譯　大正一三（泰西名著歷史叢書第三卷）　一　五二〇　二イ
同　一　五二〇　二ニ
（校正增注）親征錄　那珂通世（那珂通世遺書ノ內　大正四）　三四八　三〇九
人生論　エマアソン著　戸川秋骨譯　大正六（泰西近代名著文庫第二部エマアソン全集第八卷）　一　三五五　六九を
人生論　トルストイ著　宮島新三郎譯　大正一一　一　五〇三　一二八
同　（トルストイ全集第六卷ノ內　大正八）　三九〇　三九
人性論　永井潛　大正五　一　三五一　一三
同　補五版　大正一二　一　三五一　一三イ
新政論家等の思想程度　岩野泡鳴（泡鳴全集第一八卷ノ內　大正一二）　五〇〇　一
人生論十二講　越山堂發行　大正一四　一　五三六　二八
基督（江原小彌太）
老子（同）
ショペンハウエル（中西伊之助）
トルストイ（同）
孔子（江原小彌太）
カーライル（中西伊之助）
釋迦（江原小彌太）

エマーソン（中西伊之助）
マホメット（江原小彌太）
ニイチエ（中西伊之助）
親鸞（江原小彌太）
日蓮（中西伊之助）

人性論より見たる日本國體論　佐々木四方志　大正一四　一　五一二　二五八
新鈔西清古鑑　卷一　大津久太郎　大正四　一〇　二三四　二〇一
新世界アドレスブック　一九二五年版　新世界編　大正一四　一　一四四　六八五
新世界の印象　廣島縣神石郡產牛畜產組合編　大正八　一　三七三　三七七
神石牛　チャールス・エム・ヴアンクリーヴ著　中村茂男譯　大正四　一　三五八　二三
新改良複式簿記　井上大寂編　大正七　一　三六五　七三
新說機關車工學　倉澤連平、田中良太郎　大正二　一　三四四　二九七
新說秋蠶飼育法　內田安藏編　大正二　五五八頁　一　三四二　三四一
新說處世大鑑　萬福直淸　大正八　一　二六三　六三
新說尋常第四學年理科教材解說　富田文雄　大正六　一　三五八　一九四
新說土壤肥料百話　井上多充編　大正一一　八四頁　一　五一六　一七
親切な山形案內　鈴成編　嘉永七　五卷　二〇　一〇三　二〇七
新說明淸合戰記　越川玄耳（大正一三）　一　四七　一九七
新無機化學　キッピング、ハーキンソン著　石田安治、湯田重太郎譯　大正四　七五七頁　一　五二七　六〇
神仙　（玄耳庵支那叢書ノ內）　一・二×一・七　一九　六九〇
新撰秋田市全圖　豐間熙製　大正七　一　六〇　三三一
新撰醫化學實習　柏戸留吉　大正二

新撰圍碁全集　鈴木爲次郎　大正四　一　三五六　一四七
新撰圍碁はめ手　瀨越憲作　大正八　一〇　一九五　一九二
選一茶全集　勝峰晉風編　大正一〇　一　五〇六　五三
新選うた澤端うた全集　湯朝竹山人　大正四（邦樂全書第二編）　一　三五五　三ろ
新撰英文航海日誌其他書方　吉富三郎編　大正一二　一　三三三　五一五
新選繪入西鶴全集　石川巖編　大正一一、一二　三　五〇五　四三
驕樂篇　第一卷　好色盛衰記　一名 西鶴桑花唱　五卷
椀久一世の物語　二卷
新小夜嵐物語　一名 椀久二世物語　二卷
俳諧篇　第一卷　俳諧師手鑑　上卷
大句數
虎溪の橋
物種集
西鶴五百韵
兩吟一日千句
大坂獨吟集　二卷
三鐵輪
俳諧四吟六日飛脚
第二卷　精進誾
大矢數　五卷
新撰要記鈔　（續群書類從第一九輯管絃部ノ內　大正元）　八〇　三二
新撰江戸名所不忍池新土堤春の景　廣重畫　別一　七
選新江島鎌倉案內　附　藤澤　杉原靜　大正四　一　二一　三八〇
浸染及捺染に於けるシャン化合物　桐生高等工業學校色染會編（色染叢書第五ノ內　大正一〇）　三八〇　一六五
新撰解析幾何學教科書　平面之部、立體之部　中川銓吉、竹內端三　大正九、一〇　二　三八一　八七
同　〔全〕　訂補　大正一五　一　三八一　八七イ

新撰解剖學　第一卷　大澤岳太郎編　再版　大正四　一　四九　三四ホ
同　第二卷　訂再版　大正二　一　四九　三四リ
新撰各科教授法　小川正行等　大正元　一　二六三　一九八ロ
同　訂五版　大正五　一　二六三　一九八ハ
新撰簡易物理實驗集　後藤牧太、瀧澤賢四郎編　大正九　一　四六　二二
新撰眼科學　上、中、下卷　市川淸等　大正九至一一　三　五五　二一
同　再版　大正一四、一五　三　五五　二一イ
新撰看護學全書　上、下卷　碓居龍太監修　大正六　二　六〇　三八五
同　一四、一六版　大正一三　二　六〇　三八五イ
新廿落全書　井上寅之助、小林與次右衞門　大正二　一　三四四　三三〇
新撰漢和大辭典　高木斐川　大正八　一　三一　八五八
新撰機關車問答集正解　中山光左編　再版　大正一一　一　三八一　一九九
新撰龜相記抄講義　角田忠行　大正二　五卷　二〇　二四九　一七〇
新岐阜縣誌　同縣地歷研究會編　大正四　一　三四八　二九三
新京都名勝誌　附　地圖　京都市役所編　大正四　一　三九八　一六
新局所麻醉　阿部健　大正一四　一　五四　七五
新銀行簿記詳解　名古屋商業學校編　大正二　一　三四二　三四五
新撰琴曲歌集　河野源太郎編　再版　大正二（表紙ニハ「古曲新曲琴曲歌集」トアリ）　一　二四九　一三四
新近世教育史　小川正行等　大正元　一　三五五　一九イ

新撰近世教育史　小川正行等　訂四版　大正五　冊一　函二五　号一九ロ
同　訂六版　大正八　一一五五　一九ハ
新撰工夫双六　廣重畫　枚一　別七　三五
新撰組（新講談）　前、後編　白井喬二　大正一四　二　五二八　一八一
新選組挿話　直木三十三（大衆文藝新作仇討全集第一巻ノ内）　大正一四　五四八　一六
新撰懐中書畫便覽　木田寒巢　大正四　一　三七　四二六
新撰観音信仰講話　細川梧蔭　大正一四　一　五二一　一三三
深仙灌頂系譜　（日本大藏經第三八巻ノ内　大正八）　三五三　六
神仙灌頂秘記　本山相傳（日本大藏經第三七巻ノ内　大正八）　三五三　六
新撰經穴解剖　（點字）　川越源治　大正五　一　三三一　三五三
新撰京城案内　青柳綱太郎（南冥）編　大正二　一　三四八　一六一
新撰教育學　小川正行等　大正元　一　二五二　一九二イ
同　訂四版　大正八　一　二五二　一九二ロ
新撰外科總論　茂木藏之助　大正九　一　五四　六五
新錢戯樂通寶　南仙笑楚満人著並畫　天明三　二巻　特一〇　二〇八　七四
新撰口腔外科學　上巻　新井千代之助　大正四　六七八頁　一　五九　七四
同　一　五八　七四ロ
新撰國有馬種圖譜　第一輯　根岸錬吉　大正七　一　四二　四二
新撰國語法　鴻巣盛廣　大正九　一　三二八　三六三

新撰國史談　上巻　笹川臨風、三島吉太郎（江月）　大正一五　冊一　函二五　号一九ロ
新國體論纂　佐伯重夫編　大正七　一　二五五　一九ハ
新撰國民道德集成　上、下巻　村上辰午郎編　大正一一　枚一　別七　三五
新撰胡椒考　一名　胡椒一味重寶記　淺尾種雄　嘉永七　二　五二八　一八一
新撰古泉名鑑　鷲田信一（呆仙）　大正二　五四八　一六
新選琴唄全集　中川愛氷編　大正五（邦樂全書第三編）　一　三七　四二六
新撰今古奇聞　清、王寅　光緒一三　二二巻　一　三五五　三八　は三
新撰才媛文集　巻一四季之部、巻二雜之部　東洋社編　大正元　一　五二一　一三三
新撰菜根譚（訓註）　峰谷柳荘、清泉玉鳴　大正九　二　三五三　六
新撰歳事記（俳諧例句）　今井柏浦編　補二版　大正五　二　三四〇　一九
新撰裁縫教授法　山本キク　大正一一　一　三一　五三八
新撰齋田讀本　林忠太郎　大正四　一　三七　七四六
同　訂五版　大正一五　一　二六三　三一七イ
新撰催眠療法　石田昇　大正六　一　二六三　三一七ロ
新千載和歌集　藤原爲定奉勅撰（二十一代集第九ノ内　大正一五）　一　六〇　三八七
新撰草花　結城素明　大正一二　五五九　五三
新撰造船學　前編　横田成年　大正九　一　四二一　五六
新撰作歌法　吉丸一昌　大正二　一　三八一　一〇三
新撰歳事記（俳諧例句）　今井柏浦編　補二版　大正五　一　三四四　三〇七
新撰雜集　〔慶應四〕　〔澁川澹餘、慶應義塾之記、御布令之寫、外國事務日誌ヲ合冊セルモノ〕　一　二六五　三〇一
新撰國語法　鴻巣盛廣　大正九　一　八六　一八九

新泉雜錄　紛紅駭綠　堀内新泉　大正六　一　三六三　一八三
新撰猿苑玖波集　谷素外編　一〇巻（國書刊行會本德川文藝類聚第一一雜俳ノ内　大正三）　三三〇　四九ろ
新撰産科學　上、下巻　聲瀬雄一　大正三、四　二　五五　一〇二
同　下巻　再版　大正六　一　五六　一〇二イ
同　上巻　三版　大正七　一　五六　一〇二ロ
同　上、下巻　五版　大正一二、一三　二　五五　一〇二ハ
同　上巻　五版　大正一二　一　五六　一〇二ニ
新撰産科手術學　聲瀬雄一　大正八　一　五六　一〇二ホ
同　三版　大正一四　一　五六　一五三
新撰産婆試驗答案集　附　産婆學圖解　酒井泰吉、長尾折三編　明治四四　一　五六　一五三イ
新撰産馬圖譜　第五編　競馬之巻　根岸錬吉　大正四　一　六〇　三七
新撰鼈病消毒論　工藤文太郎　大正二　一　四〇三　九三
新撰子規句集　千葉鬼村編　大正五　一　二四二　四〇五
同　大正一四　一　二一　四六八
新撰式辭と演說（活用自在）　新社交研究會編　大正一五　一　五六　三二一
新撰色盲檢查表　一名　假性同色表　伊賀文範　大正二　一　五五一　一〇〇
同　補再版　大正五　一　五五　八七
新撰字鏡　天治本　並　同致異并索引（山田孝雄）　昌住著　一　五五　八七イ
新撰兒科學　齋藤秀雄　大正九　一　二三四　二〇〇
一　五六　一五九

新撰歯科答案集　水野寛爾編　大正七　一　五八　一〇五
同　大正九　一　五八　一〇五イ
神僊思想に關する二三の考察　津田左右吉（滿鮮地理歷史研究報告第一〇　特）　一　三四八　三三四イ
新撰實用家政學精義　美島近一郎　大正三　一　三五六　五
新撰實用法王引導法話　高田道見　大正九　一　三八八　二七二
新撰兒童色盲檢查表　左座金藏編　大正一〇　一　五五　一二六
新撰支那全圖　東亞同文會調查編纂部製　大正三　三尺九×四尺七　枚一　八九　三二八
新撰商學提要　上、下巻附錄（書式）　佐野善作　大正五、六　三　三三二　一二五
新撰姓氏錄　萬多親王等奉勅撰　〔屋代弘賢ノ書入アリ〕　特三〇　せ　八六
同　文化九　〔津久井尚重、伴信友等ノ書入ヲ輯錄セリ〕　特三〇　八三〇　一三一
新撰姓氏錄法本　萬多親王等奉勅撰　〔第二一巻以下缺〕　内山眞龍註　寫本　〔内藤耻叟自寫〕　特二〇　せ　五三
新撰莊内案内　平野成繼編　大正八　一　三七三　三三五
新撰祝賀弔祭文範　青年文壇編輯部編　大正六　一　三六三　二三七
新戰術の研究（軍民必讀戰史例證）　井上昌基　大正一四　一　三一八　五二八
新戰術之研究師團及旅團之統帥　上巻　籠川生編　大正六　一　三一九　三八一
新戰術之原則ト其應用　軍事研究會編　大正六　一　三一八　三五三
新撰書家寶典　諸井春畦（時）　大正九　二〇　一八六　三〇六
新撰書簡文　小林鶯里　大正一五（文藝社作文叢書第一）　一　五四五　三六
新撰植物漢和字典　八木邦造編　大正四　一　八五　二四〇

		冊	函	號
新撰植物圖編	第二、三編　松村任三編　大正三、六	二	三四九	三五四
新撰助產婦學	上、下卷　緒方正清　一三版　大正四、五	二	五六	四七ハ
新撰叙事文講話	佐々政一　大正五	一	三五七	一三四
新撰處方學	溝口龍三　大正七	一	五〇	一九三
新撰眞宗聖典	中外出版株式會社編　大正一二	一	五一六	八九
新撰心理學	小川正行等　大正元	一	三三五	四六イ
同	訂三版　大正四	一	三三五	四六ロ
新撰髓腦	藤原公任（續群書類從第一六輯ノ下和歌部ノ內再版　大正一四）		八〇	三二ロ
新撰精神病學	石田昇　增訂五版　大正元	一	六一	一四ハ
同	增訂六版　大正四	一	六一	五四ニ
新撰製藥化學	上、下卷　平山松治、須田勝三郎　大正元、二	二	五〇	一九
新撰生理衞生	上、下卷　松下禎二　大正三、四	二	六一	一六〇
同	上卷　改版　大正一一	一	六一	一六〇イ
新撰生理學	中、下卷　舟岡英之助　明治四五、大正元	二	四八	三七
同	上、中、下卷　下卷　五版　明治四四至大正七	三	四八	三七イ
同	九版　大正一四	三	四八	三七ロ
新撰小學校管理法	小川正行等　大正元	一	二六三	五五ロ
同	訂三版　大正二	一	二六三	五五ハ
同	訂七版　大正七	一	二六三	五五ニ

		冊	函	號
新撰川柳狂歌集	塚本哲三編　大正一二　五三六頁	一	五一七	二八
新撰大延岡案內	宮本啓介、鹽傳次郎編　大正一五	一	五五六	一七三
新撰建具圖案百種	伊藤虎三　大正一五	一	三五七	一三四
新撰谷崎潤一郎集	谷崎潤一郎　大正一三	一	五三九	一六八
仁川築港工事圖譜	朝鮮總督官房土木局仁川出張所編　大正八	二	四一六	二
新撰貞和分類古今尊宿偈頌集	周信撰　三卷（大日本佛教全書第一四三册ノ內　大正元）	一	三五三	一〇
新撰女子教育學	（第二種）　楢崎淺太郎、篠原助市　大正一三	一	二五三	二九三
新撰圖案集	單位の卷　岡登貞治　大正一一	一	六三	六九
新撰圖案資料	三古谷儀市編　大正八	一	三三	二五一
新撰筑波祈念百韵	明應三年正月三日（續群書類從第一七輯連歌部ノ內　明治四五）		八〇	三二
新撰徒然草講義	石川誠　大正一四	一	三六	四一九
新撰鐵道旅行案內	安治博道等　大正一二	一	五一六	一七三
新撰帖	大谷業廣書　文化元	一	二〇三	一九
新譜簗書字典	附　同索引　安本春湖（伊三郎）　大正一三	四	一五	一八三
新撰獨逸自修文典	粕谷眞洋　大正五	一	三三	一四六
同	五版　大正八	一	三三	一四六イ
新撰東京遊學案內	集文館編　大正五	一	二五九	三六一
新撰東語指南	文求堂編　大正六	一	三三	二四〇
新撰土木工學全書	第一至四卷　中村猪市、河合信　大正四	四	三五一	六七

		冊	函	號
新撰土木工學全書	第一卷　中村猪市、河合信　大正四	一	三五一	六七イ
同	第一至四卷　再版　大正五	四	三五一	六七ロ
新撰トラホーム圖	附錄付　提友久　大正一〇　一二頁	一	五五	一七
新撰內科鑑別診斷學	上、下卷　安藤重次郎　訂再版　大正二、三	二	五三	二九ハ
新撰內科治療法集成	岩井勝三郎　大正一五	一	五三	二三五
新選長唄全集	關根默庵、小谷青楓編（邦樂全書第一編）	一	三五五	三ハ
新撰何曾遊び背紐	大正四（國書刊行會本雜藝叢書第二ノ內　大正四）		三三〇	四九ち
新撰南極地圖	武田輝太郎製　大正元　二・六×一・八	一	八九	一八五
新日蓮宗綱要	一名　宗乘大意　北尾日大　大正三	一	三三四	四二イ
同		一	三三四	四二ロ
新撰庭作傳	（築山山水石垣一）　秋里湘夕著　松室三室補　大正一〇	一	三三四	四二イ
新撰日本外史	池邊義象、落合直文　訂補　大正五	一	七三	八イ
新撰日本庭造圖面百種及其說明	杉本文太郎　三版　大正二	一	四〇八	八〇
新撰日本歷史辭典	物集高量編　明治四五	一	二九	四〇八
新撰年中行事	井桁喜作　寫本（未定稿ニテ一月ノミナリ）	一	二〇五	二四五
新撰農學階梯	稻垣乙丙　大正元	二	七四	二七ハ
神仙の存在に就て	（幽冥界研究資料第一卷ノ內　大正一四）		五一五	九六
同	（幽冥界研究資料第一卷ノ內　大正二）		五一五	九六イ
新撰祝詞集	山內祀夫　大正四		五一五	九六ロ

		冊	函	號
新撰俳諧年表	附　俳家人名錄　平林鳳二、大西一外編　大正一二　五九五頁	一	五三	九五
浸染法	青木良吉　大正一三（最新實用染織叢書第三篇）	一	五〇八	二四
同	三版　大正一五	一	五〇八	二四イ
新撰ピアノ教則本	小倉末子編　大正八	一	三三七	二八四
眞善美日本人	附　僞醜惡日本人（三宅雪嶺　明治傑作叢書第一編）	一	三六四	三七八
新撰百科全書	修學堂發行　大正二、四	一〇	七八	九三
	第九七編　微積分學講義　（上野清）			
	第一二二編　論語講義　（根本通明）			
	第一二三編　圖畫講義　（小山正太郎）			
	第一二四編　日本文學史　（萩野由之）			
	第一二五編　日本外史論文講義　（塗師谷秀敎）			
	第一二六編　普通文典　（落合直文）			
	第一二七編　文章軌範講義　（岡松甕谷）			
	第一二九編　農學講義　（橫井時敬）			
	第一三〇編　動物學講義　（五島清太郎）			
	第一三一編　植物學講義　（齋田功太郎）			
新撰百科用文庫	齋藤龜五郎　大正八	一	三七四	四三
新撰百人一首	網野延平編　（嘉永頃）	特一	一九二	二五
新撰布教便覽	加藤咄堂編　大正七	一	三一	五六四
新撰婦人病學	木下正中、清水由隆　大正五	一	五六	一三
仁川富川始興金浦江華一府四郡鑛床調查報文	川崎繁太郎、木脇祐之　大正六（朝鮮鑛床調查報告第六卷「京畿道」ノ一）	一	三二一	一〇九イ
新撰物理學	上、下　恩田重信　大正七、八	二	四六	一八九
新撰文苑人物誌	橫須賀安枝編　寫本	八	一三六	二二六

新撰名家詩集　塚本哲三編　大正一二　五四八頁　一冊　函五七　一一九
新撰名勝地誌　田山花袋編　明治四五至大正三　巻八　山陽道之部　巻九　南海道之部　巻一〇　西海道之部　三冊　函七二　四三
新撰養蠶秘書　塚田與右衛門（通俗經濟文庫第一巻ノ内）　大正五　一冊　函六三　八九
新撰養蠶教本　猪坂直一　大正一五　一冊　函三五　五三
新撰洋服裁縫書　戸澤イマ　大正一四　一冊　函三七　一二四
新撰藥物名彙　相模嘉作　訂補三版　大正八　一冊　函五〇　七八イ
新撰病草紙　道教編（古林叢書第一輯ノ内）　大正一一　一冊　函五一　一三
新撰用器畫法詳解講義　大村周二　大正一四　一〇冊　函五二八　二二六
新撰欄間圖案百種　伊藤虎三　大正一四　一〇冊　函四三　三〇五
新撰琉歌集　大城松吉編　大正七　一〇冊　函一〇　二六九
新撰立正安國論講義　北尾日大　大正一一　一冊　函五〇四　一二
新占領南洋地圖　塚本岩三郎製　大正六　三・三×四・七　一枚　函八九　二七五
新撰類聚往來　（續群書類從第二三輯ノ下消息部ノ内再版）　大正一五　一冊　函八〇　三二ロ
新撰往生傳　了吟　五巻（淨土宗全書第一七巻ノ内）　大正二　一冊　函三四　六三
新撰和歌論語　二三枚（師宣風繪入）　特一〇　京三四
新續古今和歌集　飛鳥井雅世奉勅撰　二〇巻（二十一代集第一〇ノ内）　大正一四　一冊　函五九　五三
親族相續戸籍ニ關スル學說判例彙纂　戸籍學會編　大正二　一冊　函三六　一八二
親族、相續、戸籍ニ關スル訓令通牒　索引付　宍戸深藏編　大正四　二冊　函一四七　二三七

親族相續　先例類纂　霜山精一編　大正九　一冊　函一四七　一八〇
親族相續法要覽　普文學會編（法律要論叢書第一一編）　大正一三　一冊　函三五　二七
親族相續法綱要　岩田新　大正一五　一冊　函五三〇　一九二
親族相續法綱領　上冊　遠藤登喜夫　大正一三　一冊　函五二　二〇九
眞俗二諦　雲山龍珠（布教研究會講演集第一〇回ノ内）　大正一〇　三冊　函三四　五九一
親族法　島田鐵吉　大正一三　一冊　函一四　七二四
親族法　第一分冊　和田于一　大正一三　一冊　函五三　一二九
親族法講義要領　岡村司　大正一一　一冊　函五一二　一一三
親族法講話　穗積重遠（婦人問題講演集第一〇輯ノ内　大正一二）　五〇〇　二
親族法相續法大意　普文學會編　大正一二　一冊　函五二　八八
親族法相續法論　仁井田益太郎　大正四　一冊　函五三　六七
同　補五版　大正八　一冊　函五二　六七イ
同　六版　大正八　一冊　函五二　六七ロ
同　一冊　函五二　六七ハ
親族法大意　穗積重遠　三版　大正六　一冊　函六六　七〇
同　一冊　函六六　七〇イ
同　六版　大正八　一冊　函六六　七〇ロ
親族法註解　古山茂夫　大正一二　一冊　函五二　一九九
人祖の島まで　松田義雄　大正八　一冊　函八四　九〇

新體育家の思潮　小原正忠　大正一四　一冊　函一二七六　三四四
新體育研究叢書　教文書院發行　大正一四　第一　陸上競技（中園進）　第二　バスケツトボール（鈴木精一）　第三　ラ式蹴球（同）　三冊　函三五三　五九
身體異常兒の教養　輕部修一（兒童養護講演集上ノ内　大正一二）　五　函二五三　九一
身體をよくする體操　今井學治　大正一一　一冊　函五〇七　三三
清代及現代の支那文學界　今關研究室發行　大正一五　第二編　清代及現代の詩餘駢文界（今關天彭）　一冊　函五五一　一八四
清代及び現代の詩文界　今關天彭（壽曆）　大正一四　一冊　函五四四　七七
人體解剖及生理學（看護婦一）　川村清一　大正一四　一冊　函四九　七九
人體解剖學　第一二巻　石川喜直著　支、錢稻孫譯　大正四、五　三冊　函四九　六八
人體解剖實地供覽　二村領次郎（體育學理講演集第一輯ノ内）　大正九　一冊　函二七六　二六三
人體解剖と兩性の研究　杉江董、澤田順次郎　大正三　一冊　函三七　二八一
清代學術概論　支、梁啓超著　渡邊秀方譯　大正一一　一冊　函五〇三　一五七
神代紀髣髴山蔭　本居宣長著　同清造校（增補本居宣長全集第六ノ内　大正一五）　同清造再校　一冊　函四一　九八イ
人體機械の其の働き　トムソン著　津崎彌治譯（科學大系第二巻第一〇編　大正一一）　五二五　七
同　五一五　七イ
新代議士名鑑　加藤結　大正一三　一冊　函一五四　二六四
人體寄生蟲檢査法　宮島幹之助（北里研究所補修講演錄ノ内　大正四）　六〇　三六一
人體寄生蟲病及地方病ニ關スル保健衞生調査概況　大正八至一〇年度　内務省衞生局編　大正一〇、一二　三　函一四六八　一三七
人體寄生蟲病調査概況　内務省衞生局保健衞生調査室編　大正七　一　函一四六ハ　一〇三
人體寄生蟲卵檢索圖（診斷用）　宮島幹之助編　大正四　一枚　六〇　三五五
人體寄生蟲卵寫眞圖譜（診斷用／教授用）　小泉丹編　大正一四　一枚　函三三七　三七三
人體寄生動物學　小泉丹　大正元　五七〇頁　一　函三三一　五一
同　再版　大正六　五七七頁　一　函三三一　五一イ
人體寄生動物學　第一卷　吉田貞雄　大正元　一　函三三一　五三
身體强壯法　瀨川昌耆　明治四五（最新衞生叢書第七編）　一　函六一　一〇九
神代系圖　平田篤胤（平田篤胤全集第一二ノ内　大正三）　三　函三三五　一五五
人體系統解剖學　卷一至三下　鈴木文太郎　大正七至一一　四　四九　七一
新胎教　下澤瑞世　大正一五　一　函二五九　五五一
新代劇とヤマ　島村抱月（抱月全集第七卷ノ内　大正九）　一　函三七九　一一
身體檢查發育概評決定早見圖表　田中章雄　大正一〇　一　函二七六　二八三
身體檢查法　清水秀夫編　大正一三　一　函六〇　七四七
新體國語法精說　小林好日　大正一三　一　函三三一　三三一イ
新體作文叢書　文盛堂發行　大正四　一　函三五五　九
新體作文模範辭林　久保得二、太田秀雄　大正元　一　函三三三　三九七

神代史研究　松本芳夫　大正九
（三田史學叢書第一編）　一　三九〇　三七

新體詩作法　岩野泡鳴
（泡鳴全集第一四卷ノ內　大正一一）　一　五〇〇

新體詩史　岩野泡鳴
（泡鳴全集第一四卷ノ內　大正一一）　一　五〇〇　一

新臺自働車取扱心得　白尾清次　大正九　三二頁　一　三七三　四八一

神代史に現はれたる道德　有馬祐政　（新しき愛國論ノ內　大正一三）　一　五三三　九七

神代史の新しい研究　津田左右吉　大正二　一　三四八　八八

新體詩の形に就いて　島村抱月
（抱月全集第一卷ノ內　大正八）　一　三七九　二

神代史の研究　津田左右吉　大正一三　五九七頁　一　五一九　一〇八

新體趣味女子文範　青木歌子　大正二　一　三四九　一五〇

新體書翰一ケ年　窪田空穗　大正八　一　三三八　三四四

新體書翰文大全　沼波瓊音　大正二　一　一五〇　一〇七

新體西洋史（時代區分）　田中興哉　大正一四　一　五三〇　一五二

人體腸內寄生蟲檢査成績書　長野縣編　大正八　一　一四、六　一一

新大東京都市計畫地圖（大改正）　本原定次郎製　二・五×三・一　大正一二　一枚　八九　三〇〇

眞諦と俗諦　松島善海
（布教研究會講演集第九回ノ內　大正九）　三二四　五九一

人體に必要なカルシウムの話　山下安太郎　大正九　一　六〇　五三一

人體熱學　成澤淺水　大正一三　一　六〇　七一

新臣道　山鹿素行
（山鹿素行全集ノ內　大正二）　三四三　二九九

神道　ルデン著　田中經太郎譯
（明治聖德記念學會紀要第八卷ノ內　大正六）　一四五　一

神道天瓊矛記　井澤長秀
（大日本風教叢書第四輯ノ內　大正七）　三六九　二

同　二六九　イ

神道烏傳神祓除抄　賀茂規清　二卷
（國書刊行會本信仰叢書ノ內　大正四）　三三〇　四九を

神道要集　天如記
（慈雲尊者全集第一〇輯ノ內　大正一四）　五一一　八

神道沿革史論　清原貞雄　大正八　一　三三四　六〇〇

神道講演　田中義能　大正一二　一　五一一　二六

神道講演集　山內祀夫　大正九　一〇　二一　三四二

神道各教派の表裏　藤田香陽　大正八　一　三九二　二七

新刀鍛冶綱領　上、下　神津伯　大正一〇　二　一四六　二三七

新刀鍛冶綱領圖錄　上、下　神津伯　大正一〇、一一　二　一四六　二七一

新刀鑑定一覽　齋藤酉男治　大正四　一〇　一八六　一七〇

同　增訂再版　大正七　一〇　一八六　一七〇

神道起原論　津田敬武　大正九　一　三三四　六二一

新桃花扇　尾崎紅葉
（紅葉全集第一卷ノ內　一二版　明治四五）　七四　三四六

同　七四　三四六

神道管見　田中達　大正四　一　三三五　三七五

神道教典　小野清秀　大正四　一　三三五　三四〇

神代の研究　福田芳之助　大正二　一　三四八　六三

人體之現象　三澤力太郎　大正六　一　三六五　一〇

神代之思想（神道ノ哲學）　田中治吾平　大正元　一　三三四　三三〇

神代卷口訣　忌部正通　五卷
（大日本風教叢書第四輯ノ內　大正七）　三六九　二

同　三六九　イ

晉代の滿洲　箭內亙
（滿洲歷史地理第一卷第四篇　大正二）　三四八　六〇

同　特　三四八　六〇イ

新體美文手紙文庫　岩田千克編　大正六　一　三七七　五

身體病ニ起ル精神病及ビ其療法　池田蘭德編　明治四五（近世醫學叢書第六三編）　一　六〇　三九ロ

同　一　六〇　三九ロ

神代物語　飯田季治　大正元　一　三四二　三二

新體六法全書　巖松堂編　五版　大正九　一　一四、七　一八五

同　一　一四、七　一八五イ

同　一　一四、七　一八五ロ

同　一　一四、七　一八五ハ

同　一　一四、七　一八五ニ

同　分冊第一至六　大正一二　一　一四、七　二五三

新臺灣の人々　宮川次郎　大正一五　一　五三二　二七二

臣道　本居宣長著　同豐穎校　同清造再校
（增補本居宣長全集第六ノ內　大正一五）　一　四一　九八イ

神道研究書目草案　蟾川龍夫
（明治聖德記念學會紀要第一九卷ノ內　大正一二）　一四、五　一

神道玄妙論　平田篤胤
（平田篤胤全集第四ノ內　大正元）　三三五　一五五

浸湯酸用蠶種人工孵化法　栗田國藏　大正七　一　三三　七五六

神道修成派教義　同派教務局編　大正一四　一　五一一　九四

神道史綱要　田中義能　再版　大正四　七二頁　一　三三四　四五六

神道十三教　小野清秀　大正一四　一　五一六　三七四

人道主義と僕一個の考察　島村抱月
（抱月全集第二卷ノ內　大正九）　三七九　一二

神道儒教佛教をしへの話　高橋淡水（立吉）　大正一〇　一　三九二　二三三

神道書目集覽　鈴木行義編　（明和頃）　一八枚　一〇　一八一　三五一

神道精義（敬神ノ崇祖）　宮地猛男　大正三　一　三三五　二三八

晉唐小說　臨谷溫譯註　大正九
（國譯漢文大成文學部第一二卷）　一　三九九　二

神道俗談辨　誓鎧
（眞宗全書第四六卷ノ內　大正二）　三四六　七

神道大意　天如記
（慈雲尊者全集第一〇輯ノ內　大正一四）　五一一　八

神道大意　田中義能　大正四　一　三三四　四五四

神道大意講談　吉川惟足
（勤王文庫第一編ノ內　大正八）　三七九　九

人道大義錄　支、夏震武　中華民國六　一〇　一七一　七〇

神道的に考へたる「しらす」の意義　補永茂助
（明治聖德記念學會紀要第一三卷ノ內　大正九）　一四、五　一

神道哲學　一名　國粹哲學　小野清秀　大正五　一　三三四　五一五

		冊	函	號
神道哲學神代之思想	田中治吾平 大正元	一	三二四	三二〇
神道哲學精義	田中義能 大正七	一	三二四	五六一
同 訂六版	大正一一	一	三二四	五六一イ
神道天神教會小鑑	富田源助 大正二	一	三二四	三八七
「神道」と云ふ語の用例に就きて	星野日子四郎（明治聖德記念學會紀要第九卷ノ內 大正七）	一	一四五	一
新道德學	アントン・メンガー著 藤本直譯 大正一二	一	五〇三	二四九
神道獨語	伊勢貞丈（大日本風教叢書第四輯ノ內 大正七）	一	三六九	二
同	（近古文藝溫知叢書第六編ノ內 再版 明治四四）	一	三六九	二イ
新道德論	浮田和民 大正二	一	四二	三イ
同 訂補	大正八	一	三五〇	九一
神道と日本文化	附 神道史概說 清原貞雄 大正一五	一	三五〇	九一イ
神道と佛基二教	加藤玄智（時局講演集第三回ノ內 大正九）	一	五三三	一八二
神道と佛教	花田凌雲（布教研究會講演集第九回ノ內 大正九）	一	三七〇	五五
人道の偉人	內村鑑三 大正八	一	三三四	五九一
人道の偉人リンコーン傳	實業之日本社編 大正三	一	三八八	七六
神道の研究に就いて	加藤玄智（明治聖德記念學會紀要第一六卷ノ內 大正一〇）	一	三五〇	三六三
神道の現代的研究	橋本文壽 大正一四	一	一四五	一
神道の宗教學的考察	加藤玄智 大正一三 三四頁	一	三二四	三二〇
神道の宗教學的新研究	加藤玄智 大正一一	一	三二四	五六一
神道寶鑑	山口忠孝編 大正一一	一	三三四	五六一イ
神道秘傳行事寶典	山田照胤 大正一四	一	三二四	三八七
神道扶桑流劍道教授書	水月之卷（第三期）、基本之卷（第四期）河合昇道 大正六	一	三六三	一八七
神道辨	橘守部（國書刊行會本橘守部全集第二卷ノ內 大正一〇）	一	三三〇	五八
同		一	三三〇	五八イ
神道本義	田中義能 訂補八版 大正三	一	三三四	二〇三イ
神道明辨	度會常彰（勤王文庫第二編ノ內 大正九）	一	三七九	九
同	（大日本風教叢書第四輯ノ內 大正七）	一	三六九	二
同		一	三六九	二イ
神道問答	齋藤彦麿（一卷大日本風教叢書第八輯ノ內 大正一〇）	一	三六九	二
同		一	三六九	二イ
神道問答鈔	松平賴該（金岳公子著書集ノ內 大正四）	一	三四八	三〇六
新島湧出ニ關スル內務省報告書類	（震災豫防調査會報告第七九號ノ內 大正四）	一	四四	一一五
人道より悟道へ	三村洗耳 大正一二	一	五〇四	二〇八
神道柔術教授書	龍虎之卷（第二至四期）、基本之卷（第五、六期）帝國尚武會編 大正六	二	三六三	八〇
神道或問	量觀記（慈雲尊者全集第一〇輯ノ內 大正一四）	一	五二	八
神託	（ロドタス著 柳田泉譯（世界短篇小說大系古代篇ノ內 大正一四）	一	五二〇	四五
信託	信託協會發行 第一年第一號（大正八年七月）至第五年第四號（大正一二年八月）〔缺アリ〕	三	雜	五六
信託及信託會社	細矢祐治 大正七	一	三八二	四
同 訂三版	大正一〇	一	三六二	四イ
信託講話	吳文炳 大正一五	一	五三四	三三
信託會社と銀行との交涉	松崎壽（大正一三（大阪高等商業學校銀行業務研究室）調査報告第九册）	一	四五	三九
信託會社の人格其他に就て	大野龍太 大正一五 三三頁	一	五二四	四九九
信託會社の組織と經營	坂本芳治 大正一二	一	五二	一四一
信託業の理論と實際	豐浦與七 大正九	一	三八二	一一三
信託業法研究	吳文炳 大正一一	一	五〇三	二六七
信託業法ニ關スル陳情	信託會社協會編	一	三九七	二五一
信託揷話	關西信託株式會社發行 大正一四	一	三九三	七八二
第一輯	信託應用の實例（關西信託株式會社編）			
信託讀本	青木徹二 大正一五 九六頁	一	五四九	六九
信託法規	有岡直治編 大正一二	一	一四七	二四四
同 再版	大正一四	一	一四七	二四四イ
信託法規ノ成立	信託會社協會編 大正一一	一	五二二	二〇
信託法制評論	附 信託關係法規集 遊佐慶夫 大正一三	一	五三〇	一九
信託法通釋	三淵忠彥 大正一五	一	五三〇	二五一
信託法提要	遊佐慶夫 大正八	一	三八二	二〇
信託法論	青木徹二 大正一五	一	五三〇	二五四
信達一統志	志田正德（八卷岩磐史料叢書上卷ノ內 大正五）	一	三四八	四〇五
死んだら如何なるか	フエツヒネル著 田宮馨譯 大正五	一	三六四	三四
神潭	足立鍬太郎 大正九 三四頁	一	三七二	三八八
深潭	久保田金僊編 大正九	一〇	四二	二一
診斷學	前、後編 下平用彥 一七版 大正元、二	二	五三	一ナ
同 前編	一八版 大正三	一	五三	一ラ
診斷學講義	クレムペレル著 龜井藤太郎譯 大正六	一	五二	四一
診斷學實習	竹中成憲 再版 明治四五	一	五三	一九イ
新短歌叢書	純正詩社發行 大正一三	一	五二七	二七
第一編	青春の日に（西出朝風）			
診斷檢案鑑定書例（註釋）	高田義一郎 大正七	一	四六〇	四
診斷材料檢查法	上卷 岡本武美編 大正一一	一	四六〇	四イ
診斷治療之一指針	煮沸沈澱元 鳥潟隆三 大正五	一	三六八	六〇
心膽の修養	蘆川忠雄 大正七	一	一九八	三七
診斷用教授用	人體寄生蟲卵寫眞圖譜 小泉丹編 大正一四	一	三七三	三七
診斷用	人體寄生蟲卵檢索圖 宮島幹之助編 大正四	一	三五五	六〇
薪炭材ノ層積ト實積トノ關係ニ就キテ	小出房吉、佐藤義夫（東北帝國大學農科大學演習林研究報告第一卷第二號ノ內 大正四）	一	一五二	三二

新忠孝論　橋本文壽　大正一〇　三二頁　一　一五一七　四二

心中ヶ丘（戀ー）（西南役秘話）　沼田藏六　大正一五　一　一五一七　四二

心中重井筒　近松門左衛門（解題評註近松叢書第一卷ノ內　大正一二）　一　一五二五　七六

同（近松門左衛門全集第五卷ノ內　大正一一）　一　一五五五　五八

同　近松門左衛門著　木谷蓬吟註（解說註釋大近松全集第二卷ノ內　大正一一）　一　一五〇五　三六イ

同　近松門左衛門著　黑木勘藏校（近松名作集上卷ノ內　大正一五）　一　一五四五　三三

同　近松門左衛門著　小林榮子校（近松世話淨瑠璃集成ノ內　大正八）　一　三七七　二二一

同　近松門左衛門著　水谷弓彥註（新釋插圖近松傑作全集第二卷ノ內　大正一〇）　一　三三九　四九イ

新住家の設計（圖解ー）　横山信　大正一二　一　三八五　二九〇

新註漢和大辭典（熟語詳解）　中村德五郎　大正二　一　八五　二三〇

心中きらら阪　直木三十三　大正一三（讀物文藝叢書第九篇）　一　一五一七　四一

心中後日譚　久米正雄（ヴェストポケット傑作叢書第一二編ノ內　大正一一）　一　三八九　五六

同（現代戲曲全集第一二卷ノ內　大正一四）　一　五二〇　二五

新住宅　洪洋社發行　第一年第八號（大正九年八月）至第四年第九號（大正一二年九月）ヨリ「建築新潮」ト改題）　雜　三一　九八

新住宅圖譜　一至六集　岡本定吉編　大正八　一　五〇七　一七四

心中天網島　近松門左衛門（近松淨瑠璃選ノ內　大正一三）　一　三三九　三三八

同（解題評註近松叢書第一卷ノ內　大正一二）　一　五二五　七六

心中天網島　近松門左衛門著　木谷蓬吟註（解說註釋大近松全集第一卷ノ內　大正一二）　一　一五一七　四二

同　近松門左衛門著　小林榮子校（近松世話淨瑠璃集成ノ內　大正八）　一　三七七　二二一

心中天網島（小春ー）（世話狂言傑作集第九卷ノ內　大正一五）　一　五二七　六四

心中天の網島　近松門左衛門（近松戲曲全集ノ內　大正一四）　一　五四四　一五八

同　近松門左衛門著　小林鶯里校註（近松傑作集第一編）　一　五二七　一七

同　一　一七イ

同　近松門左衛門著　黑木勘藏校（近松名作集上卷ノ內　大正一五）　一　五四五　三三

同　近松門左衛門著　小林榮子校（近松世話淨瑠璃集成ノ內　大正八）　一　三七七　二二一

同　近松門左衛門著　水谷弓彥註（新釋插圖近松傑作全集第二卷ノ內　大正一〇）　一　三三九　四九イ

同　近松門左衛門著　吉澤義則、宮田和一郎校註（評註近松世話物十種選ノ內　大正一五）　一　五三一　四八

心中天の網島　近松門左衛門（文藝叢書第一二冊世話淨瑠璃名作集ノ內　大正三）　一　三四五　一ぬ

心中二枚繪草紙　近松門左衛門（解題評註近松叢書第一卷ノ內　大正一二）　一　五二七　七六

同（近松門左衛門全集第四卷ノ內　大正一一）　一　五〇五　五八

同（文藝叢書第一二冊世話淨瑠璃名作集ノ內　大正三）　一　三四五　一ぬ

同　近松門左衛門著　黑木勘藏校（近松名作集上卷ノ內　大正一五）　一　五四五　三三

同　近松門左衛門著　小林榮子校（近松世話淨瑠璃集成ノ內　大正八）　一　三七七　二二一

同　近松門左衛門著　忠見慶造校註（近松淨瑠璃集中卷ノ內　大正一五）　一　五四三　一三

同　近松門左衛門著　水谷弓彥註（新釋插圖近松傑作全集第一卷ノ內　大正一〇）　一　三三九　四九イ

心中天網島　近松門左衛門著　木谷蓬吟註（解說註釋大近松全集第一卷ノ內　大正一二）　一　五〇五　三六イ

同（解說註釋大近松全集第一卷ノ內　大正一五）　一　五二七　六四

同　近松門左衛門著　小林榮子校（近松世話淨瑠璃集成ノ內　大正八）　一　三七七　二二一

心中天網島（小春ー）（世話狂言傑作集第九卷ノ內　大正一五）　一　五二七　六四

心中天の網島　近松門左衛門（近松戲曲全集ノ內　大正一四）　一　五四四　一五八

同　近松門左衛門著　小林鶯里校註（近松傑作集第一編）　一　五二七　一七

同　一　一七イ

同　近松門左衛門著　忠見慶造校註（近松淨瑠璃集下卷ノ內　大正一五）　一　五四三　一三

同　近松門左衛門著　小林榮子校（近松世話淨瑠璃集成ノ內　大正八）　一　三七七　二二一

同　近松門左衛門著　水谷弓彥註（新釋插圖近松傑作全集第二卷ノ內　大正一〇）　一　三三九　四九イ

心中宵庚申　近松門左衛門（文藝叢書第一二冊世話淨瑠璃名作集ノ內　大正三）　一　三四五　一ぬ

同　近松門左衛門著　小林榮子校（近松世話淨瑠璃集成ノ內　大正八）　一　五四八　一七

同　近松門左衛門著　忠見慶造校註（近松淨瑠璃集下卷ノ內　大正一五）　一　五四三　一三

同　近松門左衛門著　水谷弓彥註（新釋插圖近松傑作全集第三卷ノ內　大正一〇）　一　三三九　四九イ

心中涙の玉井　紀海音作集ノ內（文藝叢書第一二冊世話淨瑠璃名作集ノ內　大正三）　一　三四五　一ぬ

心中二枚繪草紙　近松門左衛門（解題評註近松叢書第一卷ノ內　大正一二）　一　五二七　七六

同（近松門左衛門全集第四卷ノ內　大正一一）　一　五〇五　五八

同（文藝叢書第一二冊世話淨瑠璃名作集ノ內　大正三）　一　三四五　一ぬ

同　近松門左衛門著　黑木勘藏校（近松名作集上卷ノ內　大正一五）　一　五四五　三三

同　近松門左衛門著　小林榮子校（近松世話淨瑠璃集成ノ內　大正八）　一　三七七　二二一

同　近松門左衛門著　忠見慶造校註（近松淨瑠璃集中卷ノ內　大正一五）　一　五四三　一三

同　近松門左衛門著　水谷弓彥註（新釋插圖近松傑作全集第一卷ノ內　大正一〇）　一　三三九　四九イ

心中の始末　鈴木泉三郎（現代戲曲全集第一九卷ノ內　大正一五）　一　五二〇　二五

心中二つの腹帶　紀海音作集ノ內（文藝叢書第一二冊世話淨瑠璃名作集ノ內　大正三）　一　三四五　一ぬ

心中船　尾崎紅葉（尾崎紅葉全集第三卷ノ內　大正一五）　一　五四八　一七

心中萬年草　近松門左衛門（解題評註近松叢書第一卷ノ內　大正一二）　一　五一五　七六

同（近松戲曲全集ノ內　大正一四）　一　五四四　一五八

同（近松門左衛門全集第五卷ノ內　大正一一）　一　五〇五　五八

同（文藝叢書第一二冊世話淨瑠璃名作集ノ內　大正三）　一　三四五　一ぬ

同　近松門左衛門著　木谷蓬吟註（解說註釋大近松全集第一卷ノ內　大正一一）　一　五〇五　三六イ

同　近松門左衛門著　小林榮子校（近松世話淨瑠璃集成ノ內　大正八）　一　三七七　二二一

同　近松門左衛門著　忠見慶造校註（近松淨瑠璃集中卷ノ內　大正一五）　一　五四三　一三

同　近松門左衛門著　吉澤義則、宮田和一郎校註（評註近松世話物十種選ノ內　大正一五）　一　五三一　四八

心中物脚本全集　蘇武利三郎編　大正一五（日本名著文庫ノ內）　一　五六〇　三

心中刃は氷の朔日　近松門左衛門（近松門左衛門全集第六卷ノ內　大正一二）　一　五〇五　五八

同（文藝叢書第一二冊世話淨瑠璃名作集ノ內　大正三）　一　三四五　一ぬ

同　近松門左衛門著　黑木勘藏校（近松名作集上卷ノ內　大正一五）　一　五四五　三三

同　近松門左衛門著　小林榮子校（近松世話淨瑠璃集成ノ內　大正八）　一　三七七　二二一

同　近松門左衛門著　忠見慶造校註（近松淨瑠璃集中卷ノ內　大正一五）　一　五四三　一三

同　近松門左衛門著　吉澤義則、宮田和一郎校註（評註近松世話物十種選ノ內　大正一五）　一　五三一　四八

心中刃は氷の朔日　近松門左衛門著　水谷弓彥註（新釋插圖近松傑作全集第二卷ノ內　大正一〇）　一　三三九　四九イ

心中宵庚申　近松門左衛門（文藝叢書第一二冊世話淨瑠璃名作集ノ內　大正三）　一　三四五　一ぬ

同　近松門左衛門著　小林榮子校（近松世話淨瑠璃集成ノ內　大正八）　一　三七七　二二一

同　近松門左衛門著　忠見慶造校註（近松淨瑠璃集下卷ノ內　大正一五）　一　五四三　一三

同　近松門左衛門著　水谷弓彥註（新釋插圖近松傑作全集第三卷ノ內　大正一〇）　一　三三九　四九イ

鍼治學（點字）　川越源治　大正六　一　三三一　二五四

新築犬標準書　田丸亭之助　大正一五　一　三六〇　二四二イ

新築竣工家屋類纂　第一輯　保岡勝也編　明治四五　一　四〇七　一五三

心地觀經卷第二報恩品（大乘本性ー）　唐、般若三藏譯（大日本風教叢書第一輯ノ內　大正六）　二　三六九　二

同　二イ

神智教　宇井伯壽（世界聖典全集後輯第一五世界聖典外纂ノ內　大正一二）　一　三六九　二

新智識三百題　紫鳳閣編　大正四　一　三七二　四五三

新智識叢書　實業之世界社發行　大正四　一　三七一　四五三

第二編　獨逸工業の發達（永代靜雄譯）　二　三五一　二四九

第三編　科學の根柢（小原愼三譯）

第四編　婦人參政權運動（福永渙譯）

第五編　飛行機の進歩（仲木貞一譯）

第六編　島國及島國人（セムプル女史著　西村二郎譯）

第七編　生命の起源（佐藤綠葉譯編）

第八編　人種改造學（高畠素之譯）

第九編　實驗天才製造法（西村二郎譯）

第一〇編　最近科學の進歩（青柳有美編）

第一一編　神經病の精神的療法（ワルトン著　福永渙譯）

第一二編　人類の祖先（ヘッケル著　小野秀雄譯）

新窯素肥料石灰窒素　伊藤一次　大正三　一　三四九　三五七

神智と神愛　スエデンボルク著　鈴木貞太郎譯　大正三　函一　三四　四六
新地方鐵道法全集　新鐵道法令集別册　鐵道時報局編　大正八　一　三一　六三五
神長守矢滿實書留　（諏訪史料叢書第三卷ノ內　大正一五）　一　六三　一四六
新茶話　薄田泣菫（淳介）　大正八　一　七一　五九三
新女學　大倉書店發行　第一卷第一至四號（明治四五年一至四月）　雜　五一　二五
神勅教導要法集　法阿編　五卷（時宗聖典卷下之二ノ內　大正一〇）　三　三四　六六〇
同　（大日本佛教全書第六九册ノ內　大正一〇）　三五三　一〇
新勅撰集評注　乾、坤　契沖（契沖全集第六卷ノ內　大正一五）　五一〇　五三
新勅撰和歌集　藤原定家奉勅撰　二〇卷（二十一代集第五ノ內　大正一四）　五一九　五三
新地理辭典　小林房太郎、岡田贏策　大正六　一　三六四　一四六
新地理書教授の實際　尋五用　三木英太郎　大正一四　一　二六三　一〇三
新地理書插畫解說　尋五、六　增澤淑　大正一四、一五　二　二六三　一〇八
新地理書精說（地人相關を主とせる）　高一、二　三木英太郎　大正一五　二　二六三　二一七
新治療叢書　現代之醫學社發行　大正一三　二　六〇　七四八
第一編　糖尿病のインスリン療法（平川公行）
第二編　黴毒の蒼鉛劑療法（石丸一）
新陳五百年　平沼淑郎（現代社會問題文化大學十六講ノ內　大正一二）　五二五　一七
新陳代謝病　小澤修造（內科學第一卷ノ內　大正六）　五三　一二六
同　（內科學第一卷ノ內　三版　大正九）　五三　一三六イ
同　（內科學第一卷ノ內　四版　大正一三）　五三　一三六ロ

新陳代謝病　小澤修造（內科學第一卷ノ內　五版　大正一五）　一　三一九　三一六
新陳中舊野外要務令對照研究　研究會編　大正三　一　三一　六三五
新圖書　卷一至四　帝國圖書研究會編　大正一四　四　五四〇　五六
新圖書教育の建設　霜田靜志　再版　大正一一　一　二六三　一七一
新圖書帖教師用書　中學校用　白濱徵編　大正一四　一　四三三　一七三
新綴方要義　河崎松一　大正二　一　二六三　六〇
新綴方教育（創作鑑賞を中心としたる）　守屋貫秀　大正一四　一　二六三　二一六
新綴り方教育の建設（個性に立脚したる）　木佳野龜之助、天野友悉　大正一四　一　二六三　二一四
新通夜物語　泉鏡花（鏡花全集第九卷ノ內　大正一五）　五三〇　四四
新定高等小學地理書模範教授案（兒童の心理的作用を應用したる）　第一學年用上、下卷、第二學年用　啓成社編　大正一〇　三〇　二六三　三九
新器械體操　附器械之設備　津崎亥九生、內堀武夫　大正二　一　二七六　一六七
新定畫帖を實際的圖畫教授の主とせる　小圃立二、內海靖　大正元　一　二六三　九〇
新定畫帖解說　尋常小學一學年用　白濱徵　大正五　一　二六三　一九
新定畫帖教授の實際　谷山義毅　大正七　一　二六三　一三六
新定官社勘文　寫本　三〇　二〇五　一五三
新訂外科各論　第一、四卷　田代義德　六版　明治四一、四二　二　五四　二ヌ
新帝國　春洋生　大正五　一　三二九　八二一

新定國語讀本準據讀方教授法　鹿島清治　大正八　一　二六三　一三三
新訂作陽誌　矢吹金一郎校　大正元至三　〇　六　二四九　一〇一
第一、二卷　西作誌（長尾勝明）　上、中卷
第四至六、八　東作誌　第一至三、五卷（正木輝雄）
新訂十七帖說鈴　津田和儀稿本　寫本　特　〇　一　さ　二
新定尋常五年地理教材及教授法の研究　鹽原幹雄　大正八　一　二六三　四七
新定尋常小學地理書模範教授案（兒童の心理的作用を應用したる）　第五、六學年用　啓成社編　大正七、八　二　二六三　三九
新定尋常六年地理教材及教授法の研究　鹽原幹雄　大正八　一　二六三　四七
新定稅目　（明治當初輸出入品運上目錄ナリ）　二　二六三　三九
新定體操遊戲の實際　伊藤啓八等　大正二　一　二六三　一八九
新定圖書教授指針　大川義行　大正元　六一四頁　一　二六三　八九
新定農業教科書教師用參考書　卷一、二　和歌山縣教育會編　大正七　二　二九一　五五
新潮　同社發行　第三七卷第一號（大正一一年一月）ヨリ　八　雜　六七
新潮　五、七至九、一二、一三、一五　新潮社編　大正一〇至一二　七　一四六　二四八
新潮を汲める地理教授法精義　大元茂一郎　訂五版　大正三　一　二六三　一二イ
新潮を汲める地理教授法の實際　花田甚五郎　大正五（教育新潮叢書第二期第九卷）　一　二五九　五　三
新潮を汲める歷史教授法精義　大元茂一郎　訂五版　大正二　一　二六三　一二イ
新各科教授大集成　近代學術研究會編　大正九　一　二六三　二七九
新教授汎論大集成　近代學術研究會編　大正八　一　二六三　二七四
清朝史　田中萃一郎（慶應義塾甲府講演ノ內　大正四）　一　二六三　一三七

清朝書畫譜　內藤虎次郎編　大正五　一〇　四一　三三
清朝衰亡論　內藤虎次郎　明治四五　一　三四三　四九
新朝鮮及新滿洲　朝鮮雜誌社編　大正二（朝鮮群書大系續第二四輯）　一　三三〇　五
清朝全史　稻葉君山（岩吉）　大正三　二　三四八　一五〇
新潮圖案　第四回　新潮社編　大正一三　一〇　一四六　二四八イ
清朝末路秘史　松島宗衞　大正一四　一　五三四　六〇
心的作業及び疲勞の研究　原口鶴子　大正三　一　三四九　三三八
死んで來い　釋宗活（禪學文庫第一編）　一　三六三　四七
新定稅目　（明治當初輸出入品運上目錄ナリ）　一　三八九　六一
新哲學大系　（價值の哲學）　ミュンスターベルヒ著　渡利彌生譯　大正一四　一　三七三　二六九
新哲學リズム學提要　リズム學院編　大正八　一　五一〇　一二六
新鐵道法令集　上卷　鐵道時報局編　三六版　大正七　一　三一　六三五
新鐵道旅行案內（興味を本位とした）　本州西部、九州の部　森寅重、長井愛治編　大正一五　一　五五六　一一九
新添江戶之圖　摸刻　四・〇×二・〇　枚　一〇三　三九七
信天翁山中先生之碑　日下部鳴鶴書　大正一四　一　二三七　一八七
震天記　鎌田覺之進　明治四五　一　四二　三二八
心田詩藁　清璐　再版　（續群書類從第一二輯ノ上文筆部ノ內　大正一五）　八〇　二二ロ
神傳鹿卜祕事記　齋藤延種　寫本　一〇　一八一　四〇三
新天地　同社發行　第三年第一一號（大正一二年一一月）ヨリ（缺アリ）　雜　五四　九六
新天地の天鹽　久木田重平編　大正四　一　二一　三八三

		冊	函	號
神典は如何に解釋す可きか	白鳥庫吉（〔泰祝大婚滿二十五年〕特別講演ノ內 大正一四）	一	五四	三三三
新天文學概論（宇宙研究）	神田茂 大正一四	一	五四	一〇六
神傳流游書	第一高等學校水泳部編 大正一五	一〇	一八	五七三
新傳理性元雅琴譜全書	清、張廷玉編	特一〇	二	八三三 一八七
新獨逸	尾原亮太郎 大正五	一	三四	三五七
新獨逸語學（詳解）	秋元喜久雄 大正一五	一	三三	六七八
新獨逸文典	早川文哉編 大正一一	一	三三	四一九
神童	谷崎潤一郎 大正一一（金星堂名作叢書第一二）	一	三八九	七三
同	（潤一郎傑作全集第一卷ノ內 大正一〇）		五〇〇	四
振動	（羅馬字）田丸卓郎 大正元（理學一之卷）	一	三三	一〇七
新東京遊覽案內	附圖 片桐以直 大正三	一	三五〇	二四九
新東京商業便覽（職業別）	附關東一三、六〇〇頁 須川三郎編 大正	一	五三一	六三
新東京探見	時事新報社編 大正一四	一	五四六	五一
新東京繁昌記	附大阪繁昌記 水島爾保布 大正一三	一	五一四	二四三
新東京物語	石原憲治 大正一四	一	三九三	七六六
眞洞居中集	岡村御蔭 大正一二	二〇	六七	三九八
心頭雜草	與謝野晶子 大正八	一	三七六	二四七
振動整流機	相澤常八 大正一五（電氣試驗所研究報告第一六七號）	一	一四五	九
新動中靜觀	茅原華山 大正二	一	八八	三五五

		冊	函	號
神都沿革史料目錄	第一、二編 徵古館農業館編 大正八、一〇	二	三一七	一〇二
新渡航法	永田稠 大正五	一	三六〇	四五九
しんとく丸	（國書刊行會本德川文藝類聚第八淨瑠璃ノ內 大正三）	一〇	三三〇	四九ろ
神德略述頌	久保季茲撰（修養文庫第四編皇道訓ノ內 大正八）		三七五	三五
神都古今百物語	松木時彥 大正一五	一〇	一八八	五七〇
信と生活	本城徹心 大正一三 五二六頁	一	五〇四	二三八
眞と善との生活	渡邊英一 大正一四	一	五二六	一六〇
信と美	柳宗悅 大正一四	一	五二六	一八五
新富町新富座景	井上探景畫	一枚	別七	一〇五
神都宮崎	第一編 宮崎縣宮崎町役場編 大正四	一	二一	四二一
新度量衡教授の建設	荒井忠吉 大正一一	一	二六三	四七三
新土耳古國の建設	內田定槌（財團法人啓明會講演集第一六回ノ內 大正一四）		一四五	三〇
新內科全書	卷一至三 橋本節齋 卷一、二 九版、卷三、八版 明治四四	三	五三	三一ヤ
同		三	五三	三一マ
同	九版 明治四四、四五	三	五三	三一ケ
同	卷一、二 一二版 大正一四	三	五三	三一フ
新內集	岡本文彌 大正一五	二	五三	三一イ
新內集	（正本）鶴賀若狹掾等	一〇	一七三	八五
新內全集	富士元喜鶴（佐藤連正）編 大正一一	一〇七	一六三	九四
		一	五〇六	四三

		冊	函	號
新內軟派	歌詞と考察 岡本文彌 大正一五	一	五六四	一四一
新內節正本集	（國書刊行會本德川文藝類聚第九俗曲上ノ內 大正四）	三	三〇	四九ろ
新內夜話	富士松加賀路太夫編 大正一一二	一	五一六	一一九
新南島大觀	庵崎貞俊編 再版 大正五	一	三六〇	二九七
人肉裁判	シエクスピア著 文獻書院編（世界名著梗概叢書第六編ノ內 大正一一）		五一五	八
新錦繪帖	久世勇三編 大正九至一二	五	三三七	二九九
	一の卷（浮世繪の顏 北野恒富畫 吉井勇著）			
	二の卷（イソップ驗譚 小川千甕畫 小山內薰著）			
	三の卷（傳說繪物語 太田三郎畫 長田幹彥著）			
	四の卷（處女の頃 島成園畫 柳原白蓮著）			
	五の卷（動物自敍傳 山村耕花畫 長谷川時雨著）			
申日兒本經	劉宋、求那跋陀羅譯（大正新脩大藏經第一四卷經集部一ノ內 大正一四）	特	四四	三七四
同			八六	三九一
新日蓮宗綱要	一名 本化宗學綱要 北尾日大 大正五	一	三三五	四五三
侵入	トルストイ著 原田實譯（トルストイ全集第一卷ノ內 三版 大正九）		二九〇	三九
侵入者	メエテルリンク著 村上靜人譯編（メエテルリンク傑作集ノ內 大正六）		三五五	八七
新入蜀記	遲塚麗水 大正一五	一	五五六	一二〇
新日本	尾崎行雄（尾崎行雄全集第二卷ノ內 大正一五）		五五五	二〇
新日本號	大阪大觀社編 大正一二	一	四二〇	七一
新日本書講義	結城素明	一	三五六	一一〇
新日本畫の描き方	太田三郎 大正九	一	三九五	三七

		冊	函	號
新日本畫分科講話	日本美術學院發行（川合玉堂風景畫の描法 美人畫講話 鏑木清方 簡易なる構圖法 尾竹竹坡 古畫の研究に就いて（安田靫彥） 色彩の話（今村紫紅） 漢畫論新譯（石井柏亭） 歷史畫を描くに就ての注意（小堀鞆音））	一	三五六	一一〇
新日本教育昔噺	高木敏雄 大正六	一	三五七	二〇六
新日本建設の基點	尾崎行雄 大正一〇 一六頁	一	三九三	一六六
新日本見物	金尾文淵堂編 大正七	一	三六九	一六
	い 臺灣、樺太、朝鮮、滿洲、青島之卷			
新日本史	第一至四卷 大正一五 萬朝報社新日本史編纂局編	四	五五四	七五
新日本商法	松波仁一郎 大正九 一五九七頁	一	三八二	七七
同		一	三八二	七七イ
眞日本主義	野口米次郎 大正一五（野口米次郎ブックレット第一九編）	一	五四八	五
新日本酒の研究	第一至四 仁木悅太郎 大正一〇 松村松年 大正二至一〇	一	三九五	一六一
新日本千蟲圖解		四	三四	二六六
新日本大觀	杉傳三郎編 大正一一	一	五〇九	五四
新日本鳥瞰圖	小倉檢司製 大正一一 二・四×三・四	一枚	一二	五四五
新日本同盟パンフレット	新日本同盟發行 大正一四 第三 支那排外運動の眞相（木村銳市）	一	五二四	三七五
新日本と遷都	大木遠吉 大正六	一	三四九	四九五
新日本に於ける財政及經濟	津村秀松 大正五	一	三三九	六六八
新日本の鹿島立	長岡外史 大正九	一	三八四	一九一

新日本の教育　佐藤武　大正九（新時代叢書第七卷）　一　三七五　四一イ
同　一　三七五　四一イ
新日本の教育叢書　イデア書院發行　大正一五　一　二五九　五　九三
第一篇　大牟田市案の教育（大牟田市教育研究會編）
新日本の財政經濟　本多精一　大正二　一　二四九　一八四
新日本の自主的建設　二荒芳德　大正一五　一　五二五　二六〇
新日本之社會教育　菅原松風　大正一五　一　二七五　六　三〇
新日本の青年に寄す　マヘンドラ・プラタプ著　中谷武世譯　大正一五　一　五三六　一八四
新日本の住家　芹澤英二　大正一三　一　五一三　二九八
新日本百景　（アサヒグラフ夏季增刊）　朝日新聞社編　大正一四　一　四二　四三
新日本への道　佐藤鐵太郎　大正一五　一　五六五　四五
新日本歷史年表　新田德　大正三　一　三二九　二七三
眞如　額田六福（現代戲曲全集第一六卷ノ內　大正一五）　五二〇　二五
同（戲曲）　他五篇　大正一一　一　五〇六　二五八
眞如觀　源信撰（大日本佛教全書第三三册ノ內　大正五）　三五三　一〇
同　源信撰　鷲尾順敬等註（國文東方佛教叢書第三卷法語部ノ內　大正一四）　五三九　六七
眞如堂緣起　公助撰（續群書類從第二七輯ノ上釋家部ノ內　大正一四）　八〇　三二
同　（大日本佛教全書第一一七册ノ內　大正二）　八〇　三二イ
同　三五三　一〇
新年御題干支菓帖　第（八）、九ノ卷　古川梅次郎編　大正一四、一五　二〇一　二九三

新年菓帖（御題—）（干支—）　辛酉、壬戌、癸亥之卷　松田唉太郎　大正九至一一（「勅題干支新年菓帖」ノ改題）　三〇　二〇一　二八一
新年菓帖（勅題—）（干支—）　卷一六至二二、二五、二六　藤澤文二郎　大正五至一五　九　二〇一　二七五
新年菓帖（勅題—）（干支—）　大正七至九年　松田唉太郎　大正六至八（「辛酉」之卷（大正一〇年）ヨリ「御題干支新年菓帖」ト改題）　三〇　二〇一　二八一
新農業博覽會報告　松本要編　大正一五　一　五一八　二四二
新農村　農事電化協會發行　第一卷第一至六號（大正一四年四至九月）　雜　三八　五二
信の內村鑑三と力のニイチエ　港謙治　大正六　一　三五六　三三四
信の開展　山邊習學　大正一〇（修道叢書第一編）　一　五〇〇　九
眞の基督教　オア著　矢島宇吉譯　大正五　一　三二七　九五二
秦の始皇　灰野庄平（現代脚本叢書第七編ノ內　大正一一）　五〇〇　二三
同　（現代戲曲全集第一五卷ノ內　大正一五）　五二〇　二五
信の人生觀と日蓮聖人の史實　志村伊三郎　大正一二（日蓮主義民衆宣傳第二輯）　一　五〇五　四
眞の生活問題は今後にあり　高野岩三郎（財政經濟と生活問題「日本の生活問題」ノ內　大正三）　三五六　五一
信の力（社會教化—）　他二編　沼法量　大正一三　一　五二三　一五四
秦の天下　島村抱月（抱月全集第八卷ノ內　大正九）　三七九　二
新祝詞通解　皇學書院編　大正三　一〇　一二八　二五七
新俳句研究　荻原井泉水　大正一五　一　五五一　九八
新俳句自在　中內蝶二　大正五　一　三五七　一五三

新俳句提唱　荻原井泉水　大正一一　一　五一七　三〇
新俳句評釋　荻原井泉水　大正一一　一　五一七　一六
神拜傳　寫本（杉園雜集第一ノ內）　特　八三〇　一〇六
新破產法、和議法、借地借家調停法註解　金子淡堂、高橋北堂　大正一一　一　五〇三　九一
新橋演舞場　菅原榮藏　大正一五　一　五四〇　九四
新橋夜話　永井荷風（荷風全集第四卷ノ內　大正九）　三一　八三四
眞派靖洗眞原瓶花史　道生軒一德、五松堂鷲洲　明治四五　〇四　二四九　八三
信は力なり　前田懸雲　大正三（「禪榻茶話」ノ增補改題）　一　七六　三四九イ
新馬調教　附　改正馬術教範第二部解釋　森本重雄　明治四五　一　三一八　二四九
新花摘　與謝無村　大正一〇（複製）（自筆稿本臺刻）　一〇　一四六　二四七
同　三版　（俳諧古典集第二輯）　一　五四九　一九五
同　大正五　（俳諧名著文庫第四編）　一　三五五　二八
新派の俳句（春夏—）（秋冬—）　水鄉庵主人編　大正七（趣味叢書ノ內）　一　三一　六三四ハ
新法學の基調　高柳賢三　大正一二　五五五頁　一　五三三　四一
同　三版　大正一三　五五五頁　一　五三三　四一イ
新法借地法借家法詳解　一名　土地建物貸借人の權利義務　頓宮雄藏　大正一〇　一　五〇三　二〇
審判　加藤武雄　大正一五　一　五一七　三九三
新版歌祭文　（世話狂言傑作集第四卷ノ內　大正一四）　五二七　六四

新版歌祭文　近松半二著　松山米太郎校（淨瑠璃名作集上卷ノ內　大正一一）　五〇六　一四〇
新板打物評判記　高田祐之（「新刀ノ評判記ナリ」）　一〇　一二三　二五三
新版大阪圖　（明曆開板）　稀書複製會編　大正一二（複製）　一枚　一〇三　二九九
新板すまふ評林　能見角氏　寶曆六　一二枚　特　一〇　乙京　三三九
新版歌祭文　（國書刊行會本德川文藝類聚第一二評判記ノ內　大正三）　三三〇　四九ろ
同　新紅白源氏ものがたり　（繪入）　梅翁　寶永六　五卷　六　別三　七
新板越白浪　寫本（松島松作芝居臺帳第五）　一〇　八二四　二
審判裁決錄　明治四〇、四一、大正二至九年　遞信省管船局（後、商船學校校友會）編　明治四五至大正二一　一〇　三二九　二三
新ぱんはうたおどりひとりけいこ　新版引札畫帖　瀨原捨松編　大正一五　一〇　一二三　二六八
新版引札見本帖　瀨原捨松編　大正元　一　四四四　三九
同　大正二　一　四〇七　五七
新板やく者繪ばくし　上、中、下　稀書複製會編　大正九、一〇（複製）　二　四〇七　五七イ
新美界　藤田德太郎編　大正八　一〇　一五　四〇一
審美綱領　大村西崖、森鷗外編（鷗外全集第一卷ノ內　大正一二）　一〇　四一二　七三
「審美綱領」を評す　高山樗牛（樗牛全集第一卷美學及美術史ノ內　大正元）　特　五二〇　一イ
同　（增補縮刷樗牛全集第一卷美學及美術史ノ內　五版　大正三）　五二〇　一イ
同　（增補縮刷樗牛全集第一卷美學及美術史ノ內　七版　大正四）　四五　三一六チ　四五　三一六ト

		冊	函	號
「審美綱領」を評す	高山樗牛（改訂註釋樗牛全集第一卷美學及美術史ノ內 大正一四）	一	五一四	一三
神秘鄕をたづねて	上原敬二 大正一二	一	五一〇	一
審美極致論	森鷗外（鷗外全集第一卷ノ內 大正一二）	一	五一〇	一イ
同		特	五一〇	一イ
新美辭學	島村抱月（抱月全集第四卷ノ內 大正八）	一	三七九	二
神秘思想と近代詩	日夏耿之介 大正一三（早稻田文學パンフレット第一〇編）	一	五一五	九五
新美辭寶典	西村醉夢（眞次） 大正四	一	七一	四八一
審美集	第一至四 吉岡修三編 大正一四	四	四三三	一九四
神祕主義埋れし世界	三浦關造 大正五	一	三六三	三九
神祕主義者の思想と生活	吉江孤雁 大正四（近代思潮叢書第一〇編）	一	七一	四八二
神祕主義と現代生活	ジョン・ライト・バソカム著 赤井米吉譯 大正八	一	三三五	五四五
神秘主義と論理	ラッセル著 松本悟朗譯 大正一〇（ラッセル叢書第一編）	一	三九九	一
神秘主義の理論	小野寶編 大正一一（新學藝講座第七編）	一	五〇八	四
新美術史	齋藤隆三 大正六	一	三五六	三五
新美人合自筆鏡（吉原傾城）	北尾政演畫 久保田米斎編 大正五	帖 一	二〇三	九〇
審美新說	森鷗外（鷗外全集第一卷ノ內 大正一二）	特	五一〇	一
同			五一〇	一イ
眞美人論	寺一研造 大正一五	一	五三六	二二
審美論集	竹友藻風 大正一〇	特	五一〇	一イ
神品百碑（書道一）	澁川玄耳 大正一四		五〇一	一五九
神風記	匹田以正（日本國粹全書第六輯ノ內 大正四）		四二一	四五
新夫婦	ビョルンソン著 小山內薰譯（世界近代劇叢書第一輯ノ內 大正一三）		三五五	二七
新夫婦	柳川春葉（專之）（春葉全集第二卷ノ內 大正八）		五二七	四三
神風問答	橘守部（國書刊行會本橘守部全集第二ノ內 大正一〇）		三九〇	九
新複式教育	小林佐源治 大正一二		三三〇	五八
同	大正一三		二五三	二七四
新布教	法藏館發行 第二號（大正二年一二月）ヨリ（第一〇三至一四〇號缺）		二五三	二七四
新布敎叢書	稻村修道 大正四		雜	三六
	第三編 應病與藥		三三五	三五七
	第四編 對機說法			
	第五編 珍談百集			
新富國論	田尻稻次郎、松崎藏之助 大正四		一	三五六
新武士道の國際的運動に就て	高島平三郎 大正一四（少年團日本聯盟パンフレット第七輯）		一	二七九 五
同	（明治聖德記念學會紀要第二三、二四卷ノ內 大正一四）		一	四五

		冊	函	號
新百物語	アントワンヌ・ドゥ・ラ・サル著 井上勇譯（世界短篇小說大系古代篇ノ內 大正一四）	五	三一〇	四五
新比翼塚	渡邊霞亭 大正一〇	一	三九一	二三三
審美論	森鷗外（鷗外全集第二卷ノ內 大正一二）	一	五二〇	一
同		特	五二〇	一イ
審美論集	竹友藻風 大正一〇			
神品百碑（書道一）	澁川玄耳 大正一四			
神風記	匹田以正（日本國粹全書第六輯ノ內 大正四）			
新夫婦	ビョルンソン著 小山內薰譯（世界近代劇叢書第一輯ノ內 大正一三）			
新夫婦	柳川春葉（專之）（春葉全集第二卷ノ內 大正八）			
神風問答	橘守部（國書刊行會本橘守部全集第二ノ內 大正一〇）			
新複式教育	小林佐源治 大正一二			
同	大正一三			
新布敎	法藏館發行 第二號（大正二年一二月）ヨリ（第一〇三至一四〇號缺）			
新布敎叢書	稻村修道 大正四			
	第三編 應病與藥			
	第四編 對機說法			
	第五編 珍談百集			
新富國論	田尻稻次郎、松崎藏之助 大正四			
新武士道の國際的運動に就て	高島平三郎 大正一四（少年團日本聯盟パンフレット第七輯）			
同	（明治聖德記念學會紀要第二三、二四卷ノ內 大正一四）			

		冊	函	號
審美的意識の性質を論ず	島村抱月（抱月全集第三卷ノ內 大正八）	一	三七九	一
審美的研究の一法	島村抱月（抱月全集第三卷ノ內 大正八）	一	三七五	六三
審美的文化の頽廢	ヨハンネス・ガウルケ著 安倍浩譯 大正一四（中外名著叢書第一二）	一	三七五	六三イ
同				
神秘と奉仕の宗敎	イング著 田中飄之助譯 大正一四	一	五三三	六三
新一幕物	森鷗外譯 大正二	一	三三八	一三九
	人力以上（ビョルンソン）			
	パリアス（ストリンドベルク）			
	一人舞臺（同）			
	夜の二場（ステエンホオフ）			
	ヂオゲネスの誘惑（シュミットボン）			
	馬盜坊（ショオ）			
神秘大正未來記	小林宗園 五版（宜園叢書第一編） 大正一五	一	五五五	九
神秘の宗敎	金子白夢 大正一一	一	五〇四	三八
神祕の日本	野口米次郎 大正一五（野口米次郎ブックレット第一五編）	一	五四八	五
新批評新演劇	島村抱月（抱月全集第一卷ノ內 大正八）		三七九	二
神祕岩間山人と三尺坊	淺野和三郎編 大正一四	一	五一六	三七三
診病奇侅	三松編 津山善直寫 寫本	一	二二	三三三
新百科大辭典	索引付 郁文舍編 大正一四	三	五三六	九一
新百物語	俳林子 五卷（國書刊行會本德川文藝類聚第四怪談小說ノ內 大正四）		三三〇	四九ろ

		冊	函	號
宸筆御八講記	東院天曆—文安（續群書類從第二六輯ノ下釋家部ノ內 大正一四）	八〇		三一イ
宸筆集	京都府編 大正五	二〇		二〇一
宸筆集	列聖全集編纂會編 大正六（列聖全集ノ內）	一		三三八
審美的意識の性質を論ず	島村抱月（抱月全集第三卷ノ內 大正八）			三七九
審美的研究の一法	島村抱月（抱月全集第三卷ノ內 大正八）			三七九
審美的文化の頽廢	ヨハンネス・ガウルケ著 安倍浩譯 大正一四（中外名著叢書第一二）			
同				
神秘と奉仕の宗敎	イング著 田中飄之助譯 大正一四			
新一幕物	森鷗外譯 大正二			
	人力以上（ビョルンソン）			
	パリアス（ストリンドベルク）			
	一人舞臺（同）			
	夜の二場（ステエンホオフ）			
	ヂオゲネスの誘惑（シュミットボン）			
	馬盜坊（ショオ）			
神祕大正未來記	小林宗園 五版（宜園叢書第一編） 大正一五			
神秘の宗敎	金子白夢 大正一一			
神祕の日本	野口米次郎 大正一五（野口米次郎ブックレット第一五編）			
新批評新演劇	島村抱月（抱月全集第一卷ノ內 大正八）			
神祕岩間山人と三尺坊	淺野和三郎編 大正一四			
診病奇侅	三松編 津山善直寫 寫本			
新百科大辭典	索引付 郁文舍編 大正一四			
新百物語	俳林子 五卷（國書刊行會本德川文藝類聚第四怪談小說ノ內 大正四）			

		冊	函	號
新婦人	至誠堂發行 第三年第一、二號（大正二年一、二月）	一	雜	二四
新婦人訓	成瀨仁藏（家庭文庫ノ內） 大正五	一	三五五	三ろ
神父セルギイ	トルストイ著 細田源吉譯（トルストイ全集第一二卷ノ內 大正八）	一	三九〇	三九
親不知子不知經	赤沼智善譯（現代意譯根本佛敎聖典叢書第四卷ノ內 大正一三）	一	五二五	一〇四
心物一如	田中治六（中島敎授在職二十五年記念論文集ノ內 大正八）	一	三七〇	一〇八
神佛一幅	（神佛ノ守札ヲ集メタルモノ）	別 一〇	ゐ	一二五
人物、花鳥短册繪	靜齋英一畫	枚 一	別 七	一三九
人物月旦	岩野泡鳴（泡鳴全集第一七卷ノ內 大正一一）	一	五〇〇	一
人物月旦熊本管見	江口村太 大正六	一〇	一四七	一七二
人物研究	（サンデー臨時增刊） サンデー社發行 大正二	一	三四八	一二
人物研究と史論	橫山健堂 大正二	一	三四八	八六
人物寫眞のうつし方	勝田康雄 大正一五	一	五五〇	八三
神佛圖像集	上、中、下 川崎千虎編（下卷寺社守札ノ張込アリ）	特 三〇	八三四	一二
人物と事業	橫山健堂 大正四（縮刷名著叢書三三編）	一	三七	三七六
人物と共勢力	福田東作編 大正四	一	三三三	四四
同		一	三三三	四四イ
人物の要素	チャールズ・ジェー・ホイットビ著 橫山有策譯 大正四（大日本文明協會刊行書第三期ノ內）	一	三四二	四八五を
神佛の御利益調べ	西川光二郎 大正八	一	三九二	三六
人物の修養	リギョル著 山口鹿三譯 大正四	一	三六〇	二七

人物の修養　リギョル著　山口鹿三譯（修訂）　大正一二　一　三六〇　二一七イ
同　訂三版　大正一五　一　三六〇　二一七ロ
人物評傳　尾崎行雄（尾崎行雄全集第一卷ノ內）　大正一五）　一　五五五　二〇
人物評論　第一編　蓑田政德　大正一五　一　五五六　七九
人物學界の賢人愚人　藤原喜代藏　大正二　六三〇頁　一　二五五　一　四八
人物評論奇人正人　戸山銃醪　大正元　一　三三四　二〇八
人物評論公開狀　宿利重一　大正四　一　三六〇　一三三
人物評論政界縱橫記　久木獨石馬　大正一五　一　五五六　四五
人物評論得意の人、失意の人　鶉崎熊吉　大正元　一　三三三　三五六
人物評論床次竹二郎氏評傳　床次竹二郎傳刊行會編　再版　大正一五　一　五五六　一五六
神佛物かたり　田中萬宗　大正一二　一　五〇四　一七〇
人物論叢　辻善之助　大正一四　一　五三四　一一六
神武必勝論　平野國臣（勤王文庫第四編ノ內　大正八）　一　三七九　九
神武不殺篇　松井輝星（日本經濟叢書卷一九ノ內　大正四）　一　三四六　一八
シンプリシチーラヂオ　門馬孝吉　大正一四　一　五四一　一五六
新聞英語の解釋と用例　毛利八十太郎編　大正一四　四六頁　一　五一六　三四七
新聞英語の讀み方と書き方　北野吉內　大正一三　一　三三三　五七九
新聞を造る人、記者になる人、讀む人の學　若月一步　大正八　一　三八七　二

新聞及新聞記者　後藤三巴樓　大正四　一　三六〇　三六
同　一　三六〇　三三六イ
新聞を讀む基礎の知識　小林鶯里（國民叢書ノ內）　大正一三　九六頁　一　五一五　九九ハ
新聞講座　千葉龜雄　大正一四　一　五一六　三一五
新聞學　博文館發行　第一六卷第二至一二號（大正一〇年二至一二月）〔「文章世界」ノ改題〕　三　雜　八　四三イ
新文學概論　本間久雄　大正六　一　三六四　三三三
新聞學研究講座速記錄　新聞研究所編　大正一二　一　五〇九　七三
新文學辭典　生田長江等編　大正七　一　三一　五九八
新文學初步　相馬御風　大正二　一　三五〇　五
新聞學全書　奥村雪編　大正八　三　三七〇　七八
新文學百科精講　佐藤義亮編　大正三　二　三三八　三七〇
前編　第一編　藝術論講話（島村抱月）
第二編　近代思想講話（野上臼川）
第三編　最近文藝講話（生田長江）
第四編　西洋文學講話（森田草平等）
後編　第五編　明治文學講話（相馬御風）
第六編　明治思想講話（本間久雄）
第七編　創作講話（德田秋聲）
第八編　新文章の研究（小林愛雄）
第九編　詩歌講話（金子薰園）
新文學百科精講　佐藤義亮編　大正六　八四三頁　一　三三八　三七〇イ
近代思想講話（野上臼川）
最新文藝講話（生田長江）
佛蘭西文學講話（森田草平）
獨逸文學講話（同）
露西亞文學講話（昇曙夢）

英米文學講話（相馬御風）
明治文學講話（同）
現代日本文學講話（同）
藝術論講話（島村抱月）
新聞記事を經濟の話說明したる　永田與三郎　大正一三　一　五三三　一四〇
新聞記者　岩野泡鳴（泡鳴全集第三卷ノ內　大正一〇）　一　五〇〇　一
新聞記者（獨和對譯）　フライタッハ著　莊直一譯註　大正一五　一　三三三　七三
新聞記者腕競べ　小川定明　大正六　一　三六三　五九
新聞記者生ひ立の記　サムエル・ジー・ブライス著　郡山經堂（幸男）譯　大正三　一　三五〇　三六〇
新聞記者生活　本鄉直彥　大正八　一　三八七　八九
新聞記者の生活　一名　新聞記者生立の記　サミエル・ジー・ブライス著　郡山經堂譯　大正八　一　三八七　九三
新聞記者の旅　岡島松次郎　大正一四　一　五一六　二八〇
新聞記者の表裏　齋木烏村（鐵市）　大正三　一　三三九　三六九
新聞廣告を試みる人へ　新聞研究所編　大正一五　一　五四七　二五五
新聞廣告研究　福島民報社編　大正一一　一　五〇七　五七
新聞廣告五百案　大阪廣告協會編　大正一二　一　五一三　二三
新聞廣告選集　大阪朝日新聞社編　大正一五　一　四二五　八
新聞廣告圖案集　第一輯　正路喜社編　大正一五　一　三三七　四一〇
新文化叢書　三輪書店發行　大正一五　二　五四八　五四
第一編　植民活躍の地は何處（三田祐一）
第五編　修養講座　偉人の逸話　東洋の部（新居芳男）
新文化民力涵養筋書選集の礎　五味政知編　大正一一　一　二九三　四七三
八六頁

新文化への途　ウエルズ著　福原勤之譯　大正一一　一　五〇三　一七六
新文化への道　野村隈畔　大正九　一　三六二　一八七
進文館叢書　同館發行　大正八　二　三一　八六二
第一篇　教育論議（高田早苗）
第二篇　人生と藝術（島村抱月）
新文藝講話　木村毅編　大正一一（新學藝講座第六編）　一　五〇八　四
新文藝講話叢書　春陽堂發行　大正一五　二　五四八　四三
第一編　文藝六講（木村毅）
第二編　新らしき俳句の作り方（長谷川零餘子）
新聞語辭典（袖珍）　竹內猷郎編　大正八　一　三八八　一九
同　大正九　一　三八八　一九イ
同　補二〇版　大正一二　一　三八八　一九ロ
新聞雜誌要錄　江川喜太郎　大正八　一　三四七　六四
新聞雜誌記者となるには？　森本巖夫　大正七　一　三一　八七五
新聞雜誌操縱法　林三郎　大正一五　一　五四九　七五
新聞雜誌之創始者　柳河春三　尾佐竹猛　大正九　一　三七三　三五六
新聞雜誌の作方と讀方　佳谷咸一　大正一三　一　五三三　七三
新聞紙一枚　トルストイ著　宮原晃一郎譯（トルストイ全集第八卷ノ內　大正八）　二　三九〇　三九
新聞紙講話　後藤武男　大正一五　一　五二五　三〇九
新聞事業指針　ドン・シー・サイツ著　大石光之助譯　大正一四　一　三九三　七三三
新聞紙と社會文化の建設　藤原勤治　大正一二　一　五二三　四一六

				冊	函	號
新聞紙になるまで（高等一讀本一）	關太郎（魚川）	再版 大正六		一	三七	九九三
新聞紙の自覺を促す	成瀨正雄	大正八	〔世界列國指導の權威〕ト合綴		三八	一五一
新聞紙の編輯及經營	杉村廣太郎		（時局講演集上卷ノ內 大正八）		三七〇	一〇五
新聞十字街	黑木勇吉	大正一五		一	五三六	二四六
新文章及文學講義	文章篇 伊藤小四郎編	大正一三		一	五三八	三六
新文章講話	五十嵐力	七版 大正五		一	三三八	六八イ
新文章作法叢書	新潮社發行	大正七、九		二	三七五	一八
第一編 小品文作法及文範	（後藤末雄）					
第二編 叙景文作法及文範	（生田長江）					
新文章速達叢書	止善堂發行	大正七		二	三七五	一
第一編 新書簡文作法	（永野葉舟）					
第三編 小品文作法	（德田秋聲）					
同 第一編	大正一〇			一	三七五	二イ
新文章の研究	小林愛雄		（新文學百科精講第八編 大正三）	一	三三八	三七〇
新文章論	島村抱月		（抱月全集第四卷ノ內 大正八）		三七九	一
新聞社の屑籠	城西隱士編	大正三		一	三五〇	四九三
人文主義に基ける補習教育の新研究	大杉謹一	大正一三	（世界教育叢書第四編）	一	二九五	六三
新聞政策	下田巧		（社會事業研究所講義錄ノ內 大正一一）		五二三	七二
新聞製作者と其人生觀	馬場恒吾	大正一五	二八頁	一	五四九	一一〇
人文抄	中丸春峰編	大正一五	（季題叢書第一輯）	一	五六〇	一五

				冊	函	號
新聞總覽	明治四四年	日本電報通信社編	明治四五	一	三四三	二七
同	大正四年 改版	大正四		一	三四三	二七イ
同	大正八年 一一版	大正八		一	三四三	二七ロ
同	大正一一年 一四版	大正一一		一	三四三	二七ハ
同	大正一二年 一五版	大正一二		一	三四三	二七ニ
同	大正一四年 一七版	大正一四		一	三四三	二七ホ
同	大正一五年 一八版	大正一五		一	三四三	二七ヘ
新聞そのをり〳〵	太田正孝	大正一五		一	五二五	二八〇
人糞代用肥料自家製造法	矢崎亥八	大正五		一	三五八	一一六
人文地理講話	佐藤弘	大正一三		一	五二四	二七
人文地理學	長谷川賢一郎	大正二		一	三四八	四八
人文地理學解說（重要問題一）	工藤暢須	大正一四		一	五三二	八一
人文地理學概論	エルズワース・ハンチングトン著	伏見義夫譯	大正一五	一	五五二	一四三
新聞店の商略（客は客を集め金は金を生む）	安藤眞吾	大正一四	（繁昌商略叢書第三編）	一	五四五	一四
人文東洋主義と社會改造	遠藤隆吉	大正一三		一	五三五	三三
新聞讀者眼	無名氏	大正八		一	三八	一四九
新聞と廣告	島田昇平	大正一四		一	五四一	五八
新聞に入りて	下村宏	大正一四		一	五三六	一七一
同	再版 大正一五			一	五三六	一七イ

				冊	函	號
人糞尿貯藏法の研究	富士省三	大正六	（新潟縣農事試驗場）特別報告第五號）	一	一四二	二八ロ
新聞年鑑	宏遠社發行	第一卷（大正五年一二月）至第五卷（大正六年五月）		四	雜	五六 二九
新聞の讀方	經濟、政治外交の卷	財政經濟時報社編	大正一二	二	五〇二	二三五
新聞の讀方	上、下 財政經濟時報社編	大正一三		二	五二五	一二四
新聞博覽會報告	大阪電報通信社編	大正九		一	三九七	四七
新聞販賣の科學的研究	ウヰリヤム・スコツト著	伊勢兵次郎譯	大正六	一	三六三	二四六
新文明主義	附 雄辯術	久留島武彥	大正五	一	三三九	八五一
新兵器化學	毒ガスとケムリ	西澤勇志智	大正一四	一	五四二	六七
新兵生活	中野葉編	大正二		一	三三八	二七〇
親米論者の眼に映じたる日英米三角關係	セシル・パッチン著	世界思潮研究會譯	大正一〇 三七頁	一	三九三	二五一
心筏	支、蔡愼鳴	四版 中華民國一四		一	五四九	二八
神變	聖役協會文書傳道部發行	第五七號（大正三年一月）至第一二八號（大正八年一二月）		八	雜 三	三七
新編江戸志	近藤義休著	瀨名貞雄補	大正六（江戸趣味文庫第五編）	一	三五五	四九
同				一	三五五	四九イ
新編江戸名所圖誌（新編江戸志附圖）	寫本			二	一四〇	八三
新編溫泉郡誌（大典紀念）	松田卯太郎	大正五		一	三四八	三五四
新編高等代數學	渡邊孫一郎	大正一一		一	三八一	一九五
同 修六版	大正一三			一	三八一	一九五イ
同 訂一一版	大正一五			一	三八一	一九五ロ

				冊	函	號
新編樂典教科書	天谷秀	大正四		一	三三〇	一六六
同 訂再版	大正四			一	三三〇	一六六イ
新家事經濟學	後閑菊野、大山婁瑳麿	大正元		一	四五	三七三イ
新編家畜生理學	松本一太	大正三		一	三四二	四六九
新編家庭染色洗濯法	山內修一	大正五		一	三六四	三三
新編鎌倉見聞誌	假名垣魯文自筆稿本	寫本		一〇	別三	一三
新編鎌倉志	河井恒久等	八卷（大日本地誌大系第五册ノ內 大正四）		一	三五三	一三ほ
新編鎌倉史蹟	石川七之助	大正三		一	三三九	四二三
新編柑橘病害と豫防法	西田藤次	大正三（西ヶ原叢書第一三卷）		一	七八	九五
新編金瓶梅	第一至一〇集	瀧澤馬琴著	豐國等畫	一〇	一四九	二イ
新編軍制提要	一二三館發行	大正五		一	三一八	三三八
神變吳越草紙	白井喬二	大正一五		一	五一七	四〇一
新編古今往生淨土寶珠集	卷一 王古（續淨土宗全書第一六ノ內 大正一五）				三三四	六三
新編裁判化學	上卷 丹波敬三編	再版 明治四五		一	四七	三四イ
同 〔全〕	三版 大正八			一	四七	三四ロ
新編裁縫小物全書	東京女子技藝研究會編	大正三		一	三四九	四〇七
新編裁縫全書	上、中 遠藤錂子、高田久子	大正九、一〇		二	一一	三四四
新編裁縫之秘書	高橋貴四郎	大正四		一	三五六	一〇〇
同 訂七四版	大正一三			一	三九六	一〇〇イ

		冊	函	號
新編纂圖本朝尊卑分脈	藤原公定撰　寫本（異本）	特一〇	ひ	九一
新編實用日本文典	岡田正美編　大正五	一	三五六	一六三
新編實錄忠臣藏	前編　半井桃水　大正三　七三二頁	一	三三九	三二七
新編將棊實戰講話	土居市太郎　大正四	一〇	一八六	一六三
新編成唯識論	小島惠見編　大正一二	一	一五一	二四
新編珠算提要	川村貫治　大正六	一	三六五	八
新編植物圖說	阪庭清一郎、萱場柔壽郎　大正六	一	七三	二〇六ロ
新編諸宗教藏總錄	義天撰　三卷（大日本佛教全書第一册ノ內　大正二）	八	三五三	一〇
新編小兒科處方	長尾美知　大正一三	一	五六	二一
新編世界史年表（讀史必携一）	妻木忠太編　大正九	一	三八四	三五七
新編蔬菜栽培法	前編　井上熊夫　大正一〇	一	三九五	一〇三
神變大菩薩供養法	義範撰（日本大藏經第一七卷ノ內　大正五）	三五三	六
新編葱頭栽培法	高崎卷　大正九	一	三七三	四四四
新編追加（續群書類從第二三輯ノ下武家部ノ內　大正一三）		八〇	二三	一
同		八〇	二三イ	一
新編接方全書	廣川たつも　大正四	一	三三九	五六九
新編朝鮮地誌	澁江桂藏編　大正一三	一	五三四	七三
新編電信イロハ暗號	早矢仕民治編　補六版　大正四	一	三五六	六〇
新編東京繁昌記	第二編　吉田喜七　寫本	一	一八九	三七六

		冊	函	號
新編東國記	（通俗日本全史第一七卷ノ內　大正二）	一	三三四	一九四
新編動物化學	澤村眞　四訂　大正五	一	八六	三四五イ
新編日蓮宗歷史	影山堯雄　大正一〇	一	三三四	六四一
新編日本溫泉案內	森川憲之助　大正一四	一	五四一	八七
新編日本讀史地圖	吉田東伍　大正六	一	七五	二ロ
同	增訂四版　大正一三	一	三六五	八
新編農業氣象學	稻垣乙丙　大正五　八二八頁	一	九九	一五ロ
新編農業通解	甲編　上、下　乙編　上、下　稻垣乙丙　大正二	四	三四九	一五四
新編農產製造論	澤村眞　大正二	一	三四三	二八九
新編馬種圖說	田中孚編　大正三	一	三一九	四〇
新編花と花言葉	下田惟直　大正一四	一	五四一	二四五
新編破魔弓	須藤南翠（世界短篇小說大系日本篇上ノ內　大正一四）	五三〇	四五
新編肥料學全書	吉村清尙　大正六	一	三五八	一七七
新編物理學講義	浦口善爲　大正一四	一	四六	二七六
新編佛蘭西文法	河野通一　大正一五	一	三三三	七三四
新編ふらんす物語	永井荷風　大正四	一	三五七	九五
新編ボール遊	堀江清治郎　大正四	一	三三九	六一九
新編武藏風土記稿	一至三、七、八　考古學會編　大正一三至一五（地誌抄出考古資料集成第一）	五	五三四	七一
新理想の家庭	石田傳吉　大正三	一	三五六	八

		冊	函	號
新編倫理學要義	湯本武比古　大正四	一	三三七	六九七
同	訂再版　大正五	一	三三七	六九七イ
新編禮式作法圖解	示範會編　明治四五　五八頁	一	三四四	三
新編和服裁縫術顧問	本間岩三　大正六	一	三六七	二〇
神鳳鈔	小杉榲邨影寫　寫本	特一〇	八三〇	三九
新ボール遊び	齋藤薰雄（日本體育叢書第一八篇）　大正一一	一	五〇五	二七
新簿記法帳簿之組織	森田熊太郎　大正元	一	三四二	二二四
新簿記法理之研究	森田熊太郎　明治四五	一	三四二	一二四
津浦、山東兩鐵道交通圈內ナル直隸南部地方山東中部地方視察報告書	太田外世雄　大正三（商工彙纂第二八號）	一	三三七	二一〇
進歩したる催眠術簡易應用法	宇根義人　大正四	一	三六〇	一一
進歩的教育の諸問題	スミス著　砂川寬榮譯　大正一五	一	二五三	三五二
人本主義と浪曼主義	（ルマン・アウグスト・コルフ著）高橋禎二譯　大正一五	一	五三六	二六八
新マルクス主義に就いて	阿部秀助（社會問題十五講ノ內　大正一二）	五〇二	二四〇
新魔王（戲曲集）	藤井眞澄　大正一三	一	五三八	二八
新密敎	加持世界社發行　大正三	一	三四五	九
第一篇	多加良（富田敎純）			
深密解脫經	元魏、菩提流支譯　五卷（大正新脩大藏經第一六卷經集部三ノ內　大正一四）	特	四四	三七四
同			八六	三九一
神名帳考	東海道之部　伴信友書入　寫本（伴信友遺書ノ內）	特一〇	三一〇	一一二
人面疽	谷崎潤一郎（潤一郎傑作全集第二卷ノ內　大正一〇）		三四六	七

		冊	函	號
新都城	井元水明　大正五	一	三六四	二三
新未來記	近藤眞琴　大正六	一	一五三	四イ
新民衆劇脚本集	第一編　大正一三　新民衆劇學校出版部編	一	五三一	一九九
	天誅組（西先萬吉）呼聲（文化村編）白痴殺し（津田和也）線路工夫の死（倉橋仙太郎）隣樂國營の必要を論ず（野田蒼空）義兵（難波英夫）幽靈探偵（春日野綠）			
新民族物與史	中島孤島編　大正五（通俗世界全史第六卷）	一	三五五	二九
人民讀本	竹越與三郎　大正二	一	二七五	五
臣民奉公の大覺悟	成瀨正雄　大正八（「經國爲政の眞髓」ト合綴）	一	三八八	一二四
新民約論	板倉卓造（現代思潮講演集ノ內　大正一四）	五一〇	一四三
新無機化學粹	雙藥講習會編　大正七	一	四七	五三〇
神武天皇創業史	西山全太郎　大正元	一	三四八	二
神明鏡	（續群書類從第二九輯ノ上雜部ノ內　大正一四）	八〇	二三一
同		八〇	二三一イ
晋明集	高井几董著　淺藤寥花校　大正一三	一	一六〇	一八九
眞女意題	森羅萬象（國書刊行會本德川文藝類聚第五洒落本ノ內　大正三）	三三〇	四九ろ
神名帳考	東海道之部　伴信友書入　寫本（伴信友遺書ノ內）	特一〇	せ	七三
神名帳考	六人部是香書入　寫本	三〇	二三	一六一
人面疽	谷崎潤一郎（潤一郎傑作全集第二卷ノ內　大正一〇）	五〇〇	四

		冊	函	號
秦蒙將軍之象	清、楊守敬書 大正一五	一帖一軸	二ぬ	三七
新撰草木花	住吉廣宣畫 寫本	一軸	ん	九一
新文字法ニ據ル露西亞語文法	八杉貞利編 大正一一	一		三三
新問題劇の意義	島村抱月（抱月全集第二卷ノ內 大正九）	一		四七
新モンロオ主義	チヤアルズ・エチ・シエリル著 厨川白村譯 大正六	一		二七九
潘陽日記	自丁丑正月至壬午十二月 大正一〇（滿蒙叢書第九卷）	一		二六二
同		一		二七九
潘陽日記	大澤龍二郎抄譯（通俗朝鮮文庫第九輯ノ內 大正一一）	一		五〇七
新洋服裁縫書	（應用自在なる）（學校家庭用） 寺尾きく等 大正一二	一		五〇七
人養問答	芝田祐祥（日本衞生文庫第五輯ノ內 大正六）	一		六一
深夜間剩餘電力利用方法懸賞論文集	電氣協會編 大正一三	一		二六八
新約	江原小彌太 大正一〇	三		五〇一
新譯阿含經	友松圓諦譯 大正一五	一		五三三
新譯アラビヤンナイト	上、下卷 杉谷代水（虎藏）譯 大正四、五	二		三二九
新譯アンソン氏英國契約法	上、下卷 ウヰリアム・アンソン著 文信社譯 大正二	二		三二六
新譯いろはかるた	吉祥眞雄 大正三	一		三三五
新譯印度童話集	岩井信實編 大正一四	一		五三一
新譯榮華物語	上、中、下卷 與謝野晶子 附人物系譜一冊 大正三、四	四		三二九
新譯繪入新アラビヤンナイト	上卷 スティヴンソン著 三上節造譯 大正五	一		七一

		冊	函	號
新譯おちくぼ姫	濱中貫始 大正一〇	一		五〇一
新譯嚴島王（復讐）（奇談）	〔正編〕アレキサンダー・デュマ著 三原天風譯 大正元	一		三二八
同	續編 大正二	一		三三八
新譯漢溪書法通解	戈守智著 中村梅太郎譯 大正六	一		三七〇
新譯カント實踐理性批判	カント著 松永材、高井鴻譯 再版 大正一三	一		五二五
新譯韓非子	野中元三郎 大正六	一		二六三
新譯漢文叢書	至誠堂發行 三五版 大正二	一		二五
新約外典	第一編 新譯日本外史（大町桂月）（世界聖典全集第一三卷） 杉浦貞二郎譯 大正九	一		三三五
新譯皇朝靖獻遺言	橫尾謙編 峰間信吉譯 大正五	一		三三三
新約研究	ロバートソン著 川島保譯 大正一二	一		五〇四
新譯源氏物語	上、中卷、下卷の一、二 與謝野晶子 上卷 七版、中卷 再版 明治四五、大正二	四		三三九
同	上卷 一〇版 中卷 七版 大正二、三	四		三三九
同	上、下卷〔全〕 大正一五	二		三三九
同		二		三三九
新譯狂言記	佐久間春山 大正八	一		三八八
新譯求麻外史	田代政繩著 堂屋敷竹次郎譯 大正六	一		二七六
新約外典	第一編 新譯日本外史（大町桂月）（世界聖典全集第一三卷） 杉浦貞二郎譯 大正九	一		三三五
新譯皇朝靖獻遺言	橫尾謙編 峰間信吉譯 大正五	一		三三三
新約研究	ロバートソン著 川島保譯 大正一二	一		五〇四
新譯源氏物語	上、中卷、下卷の一、二 與謝野晶子 上卷 七版、中卷 再版 明治四五、大正二	四		三三九
同	上卷 一〇版 中卷 七版 大正二、三	四		三三九
同	上、下卷〔全〕 大正一五	二		三三九
同		二		三三九
新譯古事記（標註）	松雲堂編 大正六	一		三七六
新譯西遊記	中島茂一（模範家庭文庫ノ內） 大正九	一		三二九
新譯西國立志篇	一名 自助論講話 スマイルス著 栗原古城譯 大正五	一		七〇
新譯沙翁警句集	坪內士行編 大正五	一		七一
新譯沙翁劇物語	ラム著 廳見淸、同櫻子譯 大正一一	一		五一七
新譯支那童話集	池田大伍編 大正一三	一		五三一
新藥集成	村山義溫編 大正九	一		五〇
新藥詳解	並 追錄第一、三輯 梅澤良作編 大正一四、一五	三		五〇
新藥常識	渡邊邦三編 大正一五	一		五〇
新藥植物栽培	松田秀雄 大正九	一		五〇
新藥處方例	工藤程編 大正一二 六〇六頁	一		五〇
新藥素人藥物學	糸左近 訂九版 明治四五	一		五〇
同	增三版 大正五	一		五〇
同	增改版 大正一二	一		五〇
Shin-Yaku Seisho	英國聖書會社發行 大正一二	一		五一六
新約聖書	（點字） 英國聖書會社發行 大正八	四		三三一
新約聖書	（英和對照） 米國聖書會社發行 大正一〇	一		三三三
新約聖書	（對註改譯） 安部淸藏編 大正一〇 一二九一頁	一		三九二
新約聖書	（我らの主なる救主イエス・キリスト） 附改譯引照 英國聖書會社發行 大正一五	一		五三三
新約聖書一日一訓	松木苦味編 大正七	一		三二五
新約聖書ガラテヤ書—テサロニケ後書	（點字） 英國聖書會社發行 大正九	一		三三一
新約聖書使徒行傳	（點字） 英國聖書會社發行 大正九	一		三三一
新約聖書神學	ジヨージ・バーカー・スティヴンス著 吉村大次郎譯 大正七	一		三三四
新約聖書テモテ前書—ヤコブ書	（點字） 英國聖書會社發行 大正九	一		三三一
新約聖書の研究	グッドスピード著 佐竹直重譯 大正一五	一		五三三
新約聖書の背景とその成立次第	星野光多 大正一五	一		五三三
新約聖書ペテロ前書—ヨハネ默示錄	（點字） 英國聖書會社發行 大正九	一		三三一
新約聖書物語	三浦關造 大正一四	一		五三三
新約聖書耶蘇傳	左近義弼譯 大正三	一		三三五
新約聖書ルカ傳講解	村田四郎 大正一一	一		五〇四
新約聖書ロマ書・コリント前後書	（點字） 英國聖書會社發行 大正九	一		三三一
新約聖書羅馬書、使徒行傳、路加傳福音書、馬太傳福音書	（點字） 米國聖書會社發行 大正三	四		三三一
新西洋品性論	一名 品性論講話 スマイルス著 栗原古城譯 大正五	一		二一
新藥抄集	日本新藥協會編 大正一四	一		五〇
新世界教育名著叢書	文教書院發行 大正一四	一三		二五九五
第一卷	哲學と教育（ナトルプ著 田制佐重譯）			
第二卷	學校と社會（デューイ著 同譯）			
	ゲルトルードは如何に其の子を教ふるか（ペスタロッチ著 同譯）			

隱者の夕暮（摘錄）（ベスタロッチ著　田制佐重譯）　一　五〇　一三
リーンハルドとゲルトルード（抄譯）（同）　一　三五三　二四七
第三卷　理想國（プラトーン著　田制佐重譯）　一　五三三　二四七
教育學（カント著　留岡清男譯）　一　三三〇　二〇三
哲學概說（カント著　香原一勢譯）　一　五〇一　一九三
第四卷　トルストイ童話集（トルストイ著　澁田廣介譯）　一　五三三　八四
第五卷　教育學說選集（田制佐重編）　二　三四八　二〇四
第六卷　自然の子エミール（ルソー著　田制佐重譯）　一　五〇　三三　ロ
第七卷　クオレ（愛の學覺日記）（アミチス著　小川寗也譯）　一　五三四　三四七
トム・ブラウンの學校時代（ヒウズ著　時野谷貞譯）　一　五三六　五〇　イ
第八卷　人間の教育　附　幼稚園の教育（フレーベル著　田制佐重譯）　一　三二四　三五七
第九卷　世界童話選集（澁田廣介編）　一　三二七　七八〇
第一〇卷　蟹の小木（我子の惡德）（ザルツマン著　田制佐重譯）　一　五一七　三二
蟻の小木（我子の美德）（同）　一　六〇　五一〇　ロ
コンラード・キーフェル（教育者の教師）（同）　一　三　八四三　ハ
第一一卷　文藝家教育論集（田制佐重編）　一　三五七　一八九
第一二卷　現代教育學說選集（吉田熊次編）　一　四　六六六

新約全書解題　高木壬太郎　大正九　一　五〇　一三
新藥全集　堀內彌二郎、越澤鴻滿　大正二　一　三三五　三七三
（世界聖典全集第一二卷）　一　五三三　二四七
新大品般若經　三井晶史譯　大正一五　一　三二七　七八〇
新譯竹取物語　土屋孤城譯　大正四　一　五一七　三二
新近松劇物語　加藤順三　大正一一　一　六〇　五一〇　ロ
新藥治療綜覽　滑川舜次郎編　大正四　一　三　八四三　ハ
新譯徒然草　佐々政一、相馬明次郎　大正七　一　三五七　一八九
新譯徒然草　與謝野晶子　大正五　一　三九二　九一
新譯ミーレーその生活及び藝術　ロマン・ローラン著　森口多里譯　大正一〇　一　三八〇　一八二
新約物語　野邊地天馬　大正七　一　三三五　二八六
新藥用量表　附　京大小兒科藥用量表　工藤稈編　大正一一　一　五〇　二五一
新譯老子講話　山田孚劍　大正一四　一　五三六　五〇　イ
同　大正一五　一　五三六　五〇　イ
新譯律氏和聲學　附錄付　リヒテル著　淺田泰順譯　大正二　一　三四九　一八〇
新楞伽經　三井晶史譯　大正一五　一　五三三　二一七
新倭模樣　本田市治郎編　大正九　一〇　四三三　二八
莘野茗談　平秩東作（江戶叢書卷の一一ノ內　大正六）　一　三五三　二二
同　一　三五三　二二

新東海道膝栗毛　島東吉　大正一三　一　五三　二四七
新日本外史　大町桂月　三五版　大正二　一　三五　二四七
（新譯漢文叢書第一編）
新譯日本書紀　飯田弟治　大正元　六二六頁　一　三三〇　二〇三
新譯ファウスト（釋一）　第一部　ゲーテ著　東新譯　一　五〇一　一九三
大正一〇
新譯佛教聖典　佛教協會編　大正一四　一　五三三　八四
新譯平家物語　上、下卷　澁川玄耳　大正三　二　三四八　二〇四
新藥編（製藥化學一）　大島太郎　訂補三版　明治四三　一　五〇　三三　ロ
新譯法華經（梵漢對照一）　南條文雄、泉芳璟譯　大正二　一　三二四　三五七
五三二頁
新譯本朝法華傳　磯村野風　大正九　一　三九二　九一
新譯ミーレーその生活及び藝術　ロマン・ローラン著　森口多里譯　大正一〇　一　三八〇　一八二
新約物語　野邊地天馬　大正七　一　三三五　二八六
新藥用量表　附　京大小兒科藥用量表　工藤稈編　大正一一　一　五〇　二五一
新譯老子講話　山田孚劍　大正一四　一　五三六　五〇　イ
同　大正一五　一　五三六　五〇　イ
新譯律氏和聲學　附錄付　リヒテル著　淺田泰順譯　大正二　一　三四九　一八〇
新楞伽經　三井晶史譯　大正一五　一　五三三　二一七
新倭模樣　本田市治郎編　大正九　一〇　四三三　二八
莘野茗談　平秩東作（江戶叢書卷の一一ノ內　大正六）　一　三五三　二二
同　一　三五三　二二

新油柄杓　尾崎紅葉（尾崎紅葉全集第三卷ノ內　大正一五）　一　五四　一七
新ユトウピア　上　ウエルズ著　木山秀雄譯　大正九　一　三八　二六三
信用及擔保貸付論　深堂宗助　大正五　一　三五三　一三九
信用カード　東京府　鈴木勇編　大正七　一〇　一五　三五八
信用交換錄　武井啓治郎編　大正一二　一　五〇七　八八
信用組合ノ金融ニ就テ　北海道拓殖銀行編（同行）調査彙纂第四卷第一號ノ內　大正一〇）　一四、五　六四
信用組合論　佐藤寬次　大正七　六四二頁　一　三六六　六九
同　再版　大正一一　七四六頁　一　三六六　六九　イ
信用調查に於ける貸借對照表の地位　田中葉（會計學論叢第一集ノ內　大正四）　一　三五六　三九
信用錄　日本興信所編　再版　大正元　一　三三一　五三
新吉原細見記考　加藤雀庵（國書刊行會本員撰十種第一ノ內　大正五）　一　三三〇　五〇　い
新吉原繁榮草紙　附　吉原はうたの總まくり（繪入）〔三馬藏本〕　一〇　京　三六六　別　枚
新吉原夜櫻之景　井上探景畫　明治二二　一　二七六　二八
新世の中　青柳有美　大正七　一　五〇〇　一
信より玉江へ　岩野泡鳴（泡鳴全集第四卷ノ內　大正一〇）　一　五五五　五七
新勞働黨の實際的綱領　スタアリング・テイロア著　白川威海譯　大正一二　一　三九　二九七
新浪漫主義及び新古典主義　山岸光宣　大正一一　一　七〇　三三四
新浪漫主義講話　生田長江（新文學百科精講第三編ノ內　最近文藝講話第二　大正三）　三六九　二
シンユーシンラ

新郎耶蘇　渡瀨常吉　大正一一　一　五〇四　一三
親鸞　江原小彌太（人生論十二講ノ內　大正一四）　一　五三六　二八
親鸞　香春建一　大正一一　一　五〇六　九八
親鸞　村上浪六　大正一一　一　五〇四　六三　イ
親鸞（創作）　三浦關造　大正一一　二　五〇六　一七八
親鸞意志　源哲勝　大正一一（佛教文化講座第三編）　一　五〇〇　一八
親鸞遺跡巡禮紀行　田面欽爾　大正一二　一　五〇四　一六六
親鸞か法然か　三緣居士　大正一二　一　五〇四　一七五
親鸞教　布教叢誌社發行　第四〇卷第一號（大正一一年六月）ヨリ〔眞宗宣傳〕ノ改題）　雜　三　イ　二八
親鸞教の研究　金子大榮　大正一四　一　五一一　一〇三
親鸞教の現代的意義　遠山諦觀　大正一一　一　五〇四　一〇
親鸞教の本質　廣瀨南雄　大正一二　一　五〇四　二一五
親鸞鑽仰　柘植信秀　大正一一　一　五〇四　八八
親鸞宗儀群談辨惑　（眞宗全書第四六卷ノ內　大正一二）　三四六　七
親鸞宗の教義及形體　前田慧雲　大正一一　一　五〇四　六八
親鸞上人　碧瑠璃園　大正五　一　三五七　一九七
親鸞聖人　須藤光暉　大正三　一　三二四　四〇五
親鸞聖人　富士川游　大正五　一　七〇　三三四
親鸞聖人繪詞傳　舜恕等　三卷（大日本風教叢書第三輯ノ內　大正七）　三六九　二

		冊	函	號
親鸞聖人繪詞傳	舜恕等ノ内 三卷（大日本風教叢書第三輯 大正七）	一	三六九	イ二
親鸞聖人繪傳	禿氏祐祥編 大正一四	一	四三	一八一
親鸞聖人假名文集	生命と威力社編 大正一一 六三五頁	一	三九六	三四九
親鸞聖人血脈文集の研究（三本一對校）	梅原眞隆 大正一二	一	三九七	四八二
親鸞聖人言行錄	武藤貞一 大正八（修養史傳第二二編）	一	三五五	一七
親鸞聖人御一代記圖繪	五卷（日本歷史圖會第九輯ノ内 大正九）	一	三九九	三
親鸞上人御一代寫眞帖	小谷喜角編 大正五	一	四一九	七八
親鸞聖人御繪傳	眞宗本派報恩教會編 大正九	一	四一九	一四八
親鸞聖人御消息集錄	興隆編 大正一二（眞宗全書第二八卷ノ内）	一	三四六	七
親鸞聖人御直弟散在記	宗誓編（眞宗全書第三三卷ノ内 大正二）	一	三四六	七
親鸞聖人御傳繪指說講話	田原慈雲編 大正八	一	三九二	二
親鸞聖人正統傳	良空 六卷（眞宗全書第三四卷ノ内 大正二）	一	三四六	七
親鸞聖人正明傳	存覺 四卷（眞宗全書第三四卷ノ内 大正二）	一	三四六	七
親鸞聖人眞像の研究	藤原猶雪 大正一〇	一	三二四	六五七
親鸞聖人消息	專修寺編 大正一五（複刻）	軸四	二亥	九九
親鸞上人全集（譯註一）	可西大秀・蓮沼文範 大正一五	一	五三	一五八
親鸞聖人の印象	藤原鐵乘 大正九	一	三九二	一三六
親鸞聖人の宗教	金子大榮 大正五	一	二	四四八
親鸞聖人の宗教	沼法量編 大正一三（宮傳叢書第一編）	一	五一五	一四

		冊	函	號
親鸞聖人の宗教	廣瀨南雄 大正一〇	一	三四	六七四
親鸞聖人の生涯	和道寶 大正一〇	一	三九二	一九六
親鸞聖人の出現と其思想	朝日融溪 大正一一	一	五〇四	三
親鸞聖人の信仰	近角常觀（現代佛教研究ノ内 大正七）	一	三三四	五六四
親鸞聖人の正しい見方	大谷尊由 大正一一	一	五〇四	八九
親鸞聖人筆跡之研究	辻善之助 大正九	一	四五	五五六
親鸞聖人門弟交名牒（三本一對照）	山田文昭編 大正六	一	一五	三四七
新鸞聖人立教舊蹟大觀	生田目經德編 大正一四	一	四三三	一六五
親鸞聖人論	曉烏敏 大正一〇（にほひくさ第二卷）	一	三三八	三七八
親鸞邪義決之虛僞決	玄覺（眞宗全書第四六卷ノ内 大正二）	一	三四六	七
親鸞聖蹟	安藤正純 明治四五	一	三三四	二八二
親鸞全集	附 親鸞傳 植村宗一編 大正一一 六二七頁	一	五〇四	一〇三
親鸞傳繪	季平鏡祐編 大正一一	帖一	一〇九	二六五
親鸞と更生	山中峯太郎 大正一一（我れ爾を救ふ第四集）	一	五〇〇	一六
親鸞と祖國	同社發行 第一卷第一號（大正八年一月）至第二卷第一二號（大正九年一二月）	二	雜三	四四
親鸞の開宗	村上專精 大正一一	一	五一一	一四
親鸞の宗教	岩尾僧梁 大正一二	一	五〇四	一八〇
親鸞の室玉日の研究	鷺尾教導 大正一二（中外叢書第二編）	一	五一五	三八
親鸞の人格及び其の主張	鷺尾順敬（明治聖德記念學會紀要第二〇卷ノ内 大正一二）	一四、五		一

		冊	函	號
親鸞の觀たる人の一生	下村諦信 大正一五	一	五三三	二三四
親鸞文集	植村宗一編 大正一〇	一	三九二	二七七
眞理	ゾラ著 中原光之譯 大正一一 七三六頁	一	五〇六	一七九
眞理醫法講習錄	鈴木清七（天聲） 大正一一	一	六〇	七三三
神理醫法大要	鈴木清市（華山） 大正八 二二頁	一	六〇	六二三
新柳集	泉鏡花 大正一一 六四四頁	一	五〇一	二八三
新龍樹傳の研究	寺本婉雅 大正一五	一	五三三	一五三
深柳堂書冊	山科言長（六橋）書 佐藤渾編 大正六	一〇	一二七	一七四
心理應用 賣る法・買はせる術	依田信太郎 大正五	一	三六〇	三三六
心理應用 九星淘宮術秘傳講義	山田紫山 大正三	一〇	一二八	二六五
心理學	河合讓（綜合大學講座第一〇卷） 大正一五	一	五四八	五六
心理學	澤柳政太郎（澤柳全集第四卷ノ内 大正一四）	一	五一〇	三七
同		一	五一〇	三七イ
心理學	島田民治等（統合教育教科書ノ内） 大正三	一	二六二	六四
心理學	高橋穰（哲學叢書第一二編） 大正六	一	三五五	二〇
心理學要覽	大元茂一郎編（教育要覽叢書第四編） 大正六	一	二五九五	三六
心理學要領	松浦勇等編（教育要領叢書第二編） 大正一四	一	二五九五	七八
心理學概要	ナトルプ著 城戶幡太郎譯（大村論文叢書第一三） 大正一〇	一	五〇〇	五
心理學概論	岡田恒輔（工業能率研究ノ内 大正一二）	五三		一六五

		冊	函	號
心理學概論	上卷 楢崎淺太郎 大正一五	一	五一〇	一八三
心理學概論	見尾勝馬、松永材 大正一五	一	五三六	一八六
心理學概論	元良勇次郎 大正四	一	三五六	一二六
心理學綱要	高島平三郎 大正一五	一	五二五	三〇七
心理學講義	澤柳政太郎（澤柳全集第四卷ノ内 大正一四）	一	五二〇	三七
同		一	五二〇	三七イ
心理學講話（一般）	金子琅玕 大正一一	一	五〇三	一六三
同	（知識の泉入生篇ノ内 大正一四）	一〇	一二七	一七四
心理學上に於ける兒童の年齡	大伴茂（教育パンフレット第三册） 大正一四	一	三六〇	三三六
心理學上より觀たる日蓮上人	高島平三郎 大正三	一〇	一二八	二六五
同	增補縮刷 大正七	一	五四八	五六
心理學審義	福來友吉 大正三	一	五二〇	三七
心理學新論	伊賀駒吉郎 大正一四	一	五二六	一七八
心理學總論	綾川武治（哲學講話第五編） 大正九	一	二九〇	八
心理學通義	上野陽一 大正三	一	三五六	二〇
同	補四五版 大正一五	一	三五六	二〇イ
心理學通俗講話	心理學研究會編 明治四四、大正二 第四輯 色の配合の話（菅原教造）犯罪と家庭（寺田精一）習慣の話（上野陽一）記憶の實驗法（大槻快尊）物の名の心理（藤岡勝二）	二	四一	一三四

	冊	函	號
一週年の挨拶（元良勇次郎） 千鶴子の透視（福來友吉） 第五輯	一	二六三	二九イ
注意の話（元良勇次郎） 聯想美について（樋口秀雄） こゝろと人身御供の話（倉橋惣三） 憤怒の表情（加藤玄智） 注意の廣さについて（久保良英）（上野陽一）	三六	雜 五	一七
心理學的社會學　エルウッド著　宮崎市八譯　大正一二（社會科學大系第二八）	一	五〇八	二〇
心理學的適性檢査法　上、下卷　安藤諡次郎　大正一二	二	五〇三	一八ニ
心理學と健全な社會生活　ミュンステルベルグ著　村田勤譯　大正一二	一	五〇三	二七四
心理學と兒童心理　多田不二　大正一三（婦人知識叢書ノ內）	一	五二七	一九い
心理學と人生　ミュンステルベルク著　佐久間鼎等譯　大正九	一	三八七	一三七
心理學の基本問題　楢崎淺太郎　大正一二	一	五一〇	二五
心理學の諸問題　黒田源次　大正一三	一	五一〇	七九
心理學の話　小林鶯里　大正一三（國民叢書ノ內）	一	五一五	九九く
心理學論集　松本亦太郎編　大正元	一	三四六	二
第一　宗教心理の研究（石神德門）	一	五二七	九
新力學　佐野榮治　大正一三	一	二六三	八六
信力入印法門經　元魏、曇靡流支譯　五卷（大正新脩大藏經第一〇卷華嚴部下ノ內　大正一四）	持	四四	三七四
同	一	二六三	七
新理科教育　堂東傳　大正一五	一	二六三	七
新理科教授書（精說）　尋常科第五學年　中田榮太郎　大正八	一	二六三	七
新理科教授法　棚橋源太郎　大正二	一	二六三	七

	冊	函	號
新理科教授法　棚橋源太郎　訂六版　大正七	一	二六三	二九イ
心理研究　心理學研究會編　第一卷第一冊（明治四五年一月）至第二八卷第四冊（大正一四年一〇月）	三六	雜 五	一七
新理想國　トマス・ヒューズ著　大日本文明協會譯　大正八	一	三八七	五八
新理想主義哲學序論　コーエン著　兒玉達童譯　大正一〇	一	五〇〇	五
新理想主義の教育　ホーン著　中桐確太郎、荒川哲次郎譯　大正四	一	二五九	三四七
新理想主義の歷史哲學　前篇第一、二、後篇第一、二　米田庄太郎　大正一〇至一五（晩近社會思想の研究上卷別冊）	四	三六三	九九
同　前篇第二、後篇第一　大正一三	二	三六三	九九イ
心理試驗　江戸川亂歩　大正一四（創作探偵小說集第一卷）	一	五四五	六
同	一	五四五	六イ
眞理鈔　貞慶等草　三帖（日本大藏經第九卷ノ內　大正四）	一	三五三	六
心理叢書　心理學研究會發行　大正五至一〇	三	三五五	六ニ
第一　冊　靈魂信仰と祖先崇拜（桑田芳藏）	一〇		
第二　冊　智能の遺傳（村瀨雄平）			
第三　冊　左利と右利（富田精）			
第四　冊　疲勞と練習（千輪浩）			
第五　冊　國語のアクセント（佐久間鼎）			
第六　冊　現代日本人の信仰（飯沼龍遷）			
第七　冊　智能相關の研究（古賀行義）			
第六至一〇冊　書及び書方の研究（松本亦太郎）			
第一一冊　ウイリアム・ジェームズ及其思想（小熊虎之助）			
第一二冊　讀書の心理的研究（松尾長造）			
第一三冊　諢の心理的研究（入谷智定）			
第一四冊　律的動作の研究（高木貞二）			
新律綱領、改定律例、改正條例　寫本	一〇	二〇五	一五三

心理的分類法に從へる運動遊戲法體系　川瀨元九郎、手島儀太郎編　大正三

心理と人生　高島平三郎　大正一一

同　補四版　大正七

眞理と生命　ジュリアス・シイリー著　聖書研究社譯　大正四

眞理なる聖書　コルレット著　ハッチンソン、福井永賴譯　大正元

心理による馬の調教　堀川兵作　大正八

心理の話　淺野利三郎　大正一一（吾等何を學ぶべき乎第九編）

眞理の光　新城和一　大正八

眞理の町　ルンツ著　米川正夫譯　大正一五（原始社プレイレット第二）

心理百話　高島平三郎　明治四五

眞理への思慕　高神覺昇　大正一五

新領樺太明細全圖（最近踏査）　市川與一郎製　二・四×一・七　大正九

心理養生治療法之秘訣　大村彰信　大正二

新領土みやげ　石川寅治等　大正六

津梁餘事詩鈔　藤林顯明（眞宗全書第四八卷ノ內　大正三）

津梁錄　鳥居敬洲編　大正一二　五三七頁

新綠　上田靜文編　大正八

新綠　小山內薰（小山內薰戲曲全集第一卷ノ內　大正一五）

新綠　松坂屋編　大正一四

	冊	函	號
人力以上　ビョルンソン著　森鷗外譯（鷗外全集第一四卷ノ內　大正一二）	一	二七六	一八三
同	一	三四三	四四七
同（新一幕物ノ內　大正二）	一	三四三	四四七イ
同　ビョルンソン著　吉田白甲譯（近代劇大系第四卷北歐篇四ノ內　大正一二）	一	三三五	三九九
同（近代劇大系第四卷北歐篇四ノ內　大正一四）	一	三二四	三一八
心力歌講義　內野台嶺　大正七	一	三二八	四三二
人力と能率　フレデリック・エス・リー著　柳澤泰爾譯　大正一一	一	五〇五	三五
人力の經濟　カーヴー著　納武津解　大正一四（日本讀書協會叢書第三）	一	三七七	一九七
神虛論　スエデンボルク著　鈴木貞太郎（大拙）譯　大正四六四二頁	一	五四九	一二
心理療法全書　西川光二郎　大正八	一	三三三	二七六
眞理論者　岩野泡鳴（泡鳴全集第八卷ノ內　大正一〇）	一	五三三	一六九
人倫訓蒙圖彙　一至七　川上邦基編　大正四、五（複製）（珍書刊行會書譜ノ內）	一枚	三二九	一〇二六
同　木村助次郎發行　大正六（複製）	一	三四四	三三三
同（所作入）（由來入）　稀書複製會編　大正九、一〇（複製）	一	四一一	四四四
森林組合一覽　大正四年三月末日　農商務省山林局編　大正四	一	三四六	七
森林組合解說　二田原嘉彥　大正一五	一	五一一	二八
森林組合記念誌（國見保一護施業）　野村敬治編　大正六	一	一九五	一八三
森林組合事例　農商務省山林局編　五〇頁	一	五一七	四四八
森林化學工業界の新問題に就て　三村鐘三郎（成田山講演集ノ內　大正九）	一	四二一	五一

	冊	函	號
森林化學叢書　成美堂發行　大正一一	一	五〇	八
木材防腐保存法　（三浦伊八郎編）			
森林火災統計表　農林省山林局編　大正一五	一	一四、四	七四六
森林火災ト其警防	一	三三	一九九
附　北米合衆國カリホルニア州森林及森林火災ニ關スル法規並ニオレゴン州森林火災法規　農商務省山林局編　大正元			
森林警察の栞　藤原康雄　大正九	一	二九三	二八
森林經理學　植村垣三郎　大正五	一	三五八	一三四
森林暦　滋賀縣內務部森林課編　大正六	一	三三七	九六八
森林昆蟲學　新島善直　大正二	一	三四九	三
森林司法警察官取扱上ノ判例ト攻究	一	三一	七〇三
前田龜太郎　大正七			
同　訂再版　大正一一	一	三一	七〇三イ
森林司法警察事務研究書　第四至七卷　前田龜太郎　大正一〇	四	三八九	三六
森林司法警察事務ニ對スル研究	三	三八九	三六
第一至三卷　前田龜太郎　大正九			
森林事務に就て　長尾榮（栃木縣地方改良講演集ノ內　大正三）	三	三四四	三四五イ
森林樹木ノ種實油調査　內田壯（農商務省山林局報告第一五號ノ內　大正六）	一	四二イ	一三五
森林植物食用竝特殊用途調査書　農商務省山林局編　大正四	一	三三六	九四
森林生活　ディートロー著　水島耕一郎譯　九版　大正二	一	三五〇	二七六
森林生活　手島益雄（蠶業講習叢書第三編）　大正九	一	五〇八	八
森林生活者の手記　青木繁　大正一五	一	一四、四	七四六
森林測候所特別報告　第一號（大正二年）至第一三號（大正一四年）　農商務省山林局（後、林業試驗場）編　大正三至一五	七	一四六	一三九
森林測候所報告　農商務省山林局（後、林業試驗場）編　大正三至一五	一六	一四、六	一三八
森林治水氣象彙報　第一至四號　農商務省林業試驗場編　大正一二、一三	四	一四、六	二二
森林哲學　生の實現　タゴール著　三浦關造譯　大正四	一	三六〇	三三
森林と人生　望月常（松島講演集ノ內　大正八）	三	七〇	一六
人倫と道德　森脇卯一郎編　大正四（格言文庫第二編）	一	三五九	三三
森林土木學　持田軍十郎編　大正二	一	三四九	一九
森林土木工學全書　丸善發行　大正二至七	四	三四三	四九
第一卷　材料學　（石丸文雄）			
第二卷　木工、積工、土工、地形編　（同）			
第三卷　林道、橋梁及森林鐵道編　（同）			
第四卷　運材及貯木編　（同）			
森林に對する見方及扱ひ方　津村昌一　大正一四	一	五四三	二五
同　三版　大正一五	一	五四三	二五イ
森林の歌を蒐めて　狩野幸之助編　大正一一　九二頁	一	五二六	三六
森林ノ氣象ニ及ホス影響　江原貞吉、桃井治三郎（農商務省林業試驗彙報第一號ノ內　大正九）	一四、イ	三五	ロ
森林の水源涵養論　山本德三郎　大正八	一	三七一	一八五
森林の文化的施設と國立公園　田村剛（野幌林間大學講演集第二輯ノ內　大正一五）	一	四、五	一六六

	冊	函	號
森林防火組合一班　大正一二年三月現在　北海道廳拓殖部林務課編　大正一二	一	三六八	一八六
森林放牧竝採草ニ關スル研究　農商務省山林局、植村恒三郎）編　大正七	一	三七八	四
森林伐採　トルストイ著　柳田泉譯（トルストイ全集第二卷ノ內　三版　大正九）		三九〇	三九
森林法令　農商務省山林局編　大正一三	一	一四七	二八六
森林美學　新島善直、村山釀造　大正七	一	三七一	一二〇
森林肥料說　鏑木德一（高等林野講習會講演集ノ內　大正一五）		五八	二六一
森林撫育法　千原勘一郎　大正四	一	三三七	七七
森林保護學　土井藤平　大正八	一	三八〇	一六
同　改訂　大正一四	一	三八〇	一六イ
森林木材立木尺〆材積計算便覽　上原敬二　大正一三	一	五一三	二三七
森林利用學　上、中　上村勝爾　改訂　大正一二、一五	二	三四三	五〇イ
森林利用法（二重一收益一）　高田功　大正九	一	三八〇	六四
森林ロマンス　相葉久江譯　大正九	一	三八五	七四
人類　鈴木文太郎　明治四五　五三八頁	一	三四三	一四三
人類愛　第一輯　坂本清作編　大正一五	一	五四六	一八
人類及其進化　谷津直秀（早稻田講演時局研究號ノ內　大正六）		三六六	二九五
人類及び地球の運命其他　石井重美　大正一三	一	五二八	一四六
人類學及人種學上より見たる北東亞細亞　（西伯利、北滿、樺太）　島居龍藏　大正一三	一	五八	二八
人類學概論　西田巳四郎　大正一五	一	三六八	一八六
人類學概論　早稻田大學出版部發行　大正一三、一五	二	五二八	一八六
第二編　文化人類學（西村眞次）			
第二編　體質人類學（同）			
人類學研究　小金井良精　大正一五	一	一五四三	一八〇
人類學雜誌　東京人類學會發行　第二七卷第一號（明治四四年四月）ヨリ「東京人類學會雜誌」ノ改題）	雜	二六	六一
人類學上より見たる西南支那　鳥居龍藏　大正一五（巽軒叢書ノ內）	一	五二〇	一六ニ
人類學上より見たる我が上代の文化	一	五三四	一三三
第一　鳥居龍藏　大正一四			
人類學寫眞集　日本石器時代土偶ノ部、埴輪土偶之部　東京帝國大學編　明治三八、大正九	二	四〇三	五五
同　埴輪土偶之部　大正九	一	四〇三	五五イ
人類學より見たる南支那　鳥居龍藏　大正一三（亞細亞研究叢書第二輯）	一	五二四	一六三
人類進化史　チャピン著　照沼哲之介譯　大正一五	一	五四七	一二三
人類進化の歸趨　コンクリン著　寺尾新譯　大正一三	一	三九〇	七一
人類進化の研究　丘淺次郎　大正四	一	三六〇	一二四イ
人類進化論　シドニー・ギユリック　大正二　一〇三二頁	一	三四二	四四一
人類進化論に關する智識　現代智識の泉刊行會編　大正一三（思想叢書現代智識の泉「心理論理教育生物學の部」ノ內）	一	五一五	一三〇
人類叢書　成島弘文館發行　大正一二	四	五一五	五一
いろ　現代歐洲の美術　（一氏義良）			
病める基督教　（山崎斌）			

	冊	函	號
は 新創造の歐洲美術（一氏義良）	一	三四九	二七
に 文學の革命期（武藤直治）			
人類と婚姻の歴史 藤浪剛一、織戸正滿 大正元	一	三四九	二七
人類に與ふ ロバート・オーエン著 青野季吉譯 大正一五（世界名著叢書第三）	一	五四五	二〇
人類の新なる欲求 常田力 大正八	一	三八七	八三
人類の遺傳 山内繁雄 大正六（大日本學術叢書第六）	一	三五三	一八
人類の運命 ホームズ著 浮田和民等譯 大正一五	一	三九〇	九三
人類之過去現在及未來 丘淺次郎 大正三（教育講座第三編）	一	三四〇	四三
人類の再生 杉森孝次郎 大正八	一	三六三	一五四
人類の進化 山内繁雄 大正一五	一	五六四	一五四
同 大正一一（文化叢書第一編）	一	五〇五	二六
人類の生存にヴイタミン無くてはならぬ 食物の選擇 高橋克己 大正一二	一	三八五	二三五
人類の祖先（ツケル著 小野秀雄譯 大正四（新知識叢書第二二編）	一	三五	二四九
人類の大恩者ルイ・パストウル氏の傳 マキシム・ヴイサン 大正一四	一	六〇	八一
人類の二大表情 笑と泣に就いて 岡田恒輔（商業經濟論叢第一卷ノ内 大正一三）	一	五〇七	一五九
人類の本 新しき村出版部發行 大正一三	八	五一五	一九
第一 眞鶴（他二篇）（志賀直哉）			
第二 或る社會主義者（他四篇）（長與善郎）			
第四 冬晴れ（他九篇）（千家元麿）			
第五 猫（他六篇）（木村荘八）			
第六、七 三部曲（ストリンドベリイ著 外山楢夫、外村完二譯）			
第八 シエイクスピア（創造的藝術家一）（テーヌ著 木村荘太譯）			
第九 建設の時代（武者小路實篤）	一	三四九	二七
第一〇 丸太（他三篇）（竹友藻風譯）			
人類の本 第一至三、一一 新しき村出版部發行 大正一三	四	五一五	一九イ
第三 女の人の爲に（武者小路實篤）			
第一一 バルザツク（創造的藝術家一）（木村荘太譯）			
人類物語 書き直された世界史 下卷 ヴアン・ルーン著 神近市子譯 大正一三	一	五三三	六四
人類由來 足立文太郎（史的研究ノ内 大正三）	一	三八七	八三
心鈴 第一集 金子元臣編 大正一五	一	三五一	三三一
心靈學 上卷 江原小彌太 大正一一 六七三頁	一	五〇三	一〇七
心靈學 トムソン著 小倉謙、津崎滿治譯（科學大系第四卷第一六編 大正一二）	一	五一五	七
同	一	五一五	七イ
心靈學綱領 新堀諒炳（良平） 大正五	一	三三九	七一〇
心靈學講話 デゼルチス著 高橋五郎譯 大正四	一	三六〇	二六三
新令句解 新井白石（君美） 正德二	一〇	一八一	三五三
心靈現象と心理學 テオドル・フルールノイ著 野尻抱影譯 大正一一（心靈問題叢書第六卷）	一	五〇五	三〇
心靈現象の科學 小熊虎之助 大正一一	一	五三五	二三八
心靈現象の問題 小熊虎之助（近世心理學文庫第四卷） 大正七	一	三七五	五
新工場法の運用 井關十二郎編 再版 大正五	一	三五三	二三四
新令貿業補習教育と青年團 岡篤郎 大正一一	一	二九〇	三六
新令借地法借家法註釋 沼田照義、犀川長作 大正一〇	一	五〇三	八
心靈寫眞の研究 大和田德藏 大正九	一	三八七	一六三
心靈自療法講習錄 一名 神經衰弱獨療法（石） 大正一三 七八頁 古屋景晴（鐵）	一	六〇	七五三
心靈生活 オリヴアー・ロッヂ著 藤井白雲譯 大正六（大日本文明協會刊行書第四期第二〇卷）	一	三五五	三一
心靈叢書 日本心靈學會本部發行 大正一〇	一	五〇〇	二五
第一卷 靈の神秘力と病氣（野村瑞城）			
同 第一卷 大正一三	一	五〇〇	二五イ
神靈治療法 古屋景晴 大正六	一	六〇	七二四
同	一	六〇	七二四イ
心靈治療秘書 渡邊藤交 改版 大正一三	一	六〇	六七六
心靈哲學講義錄 靈理論 上卷 二神宗譚 大正一一	一	四五	五九七
心靈哲學の現狀 高橋五郎 大正八	一	三八七	三六
眞隷行草大辭典 帝國書道研究會編 大正六	二	三七四	五
心靈と氣合術心身修養法講授錄 平岩靈眞 大正一三	一	六〇	七七五
心靈の輝き 新城和一 大正九	一	三九一	九四
心靈の現象 並 補遺 福來友吉 大正五、六	一	三六〇	四九一
心靈の秘密 平田元吉 明治四五	一	三三三	三三七
心靈問題叢書 新光社發行 大正一一、一二	四	五〇五	三〇
第一卷 他界にある愛兒よりの消息（オリヴー・ロッヂ著 野尻抱影譯）			
第二卷 生と死（メーテルリンク著 水野葉舟譯）			
第五卷 幽靈の存在（バーレット著 同譯）			
第六卷 心靈現象と心理學（フルールノイ著 野尻抱影譯）			
神靈矢口渡 平賀源内（平賀源内集ノ内 大正一一）		五〇六	一八二
心靈療法講演集 古屋景晴編 大正一〇	一	三六一	一八八
診療寶典 山田豐 大正一三 五一一頁	一	二六三 四	七一
診療簿餘白 正木不如丘 大正一二	一	二六三	二九五イ
眞曆考 本居宣長著 同鵬嶺校 同清造再校（增補本居宣長全集第六ノ内 大正一五）	一	五一七	一二七
眞曆不審考辨 本居宣長著 同鵬嶺校 同清造再校（增補本居宣長全集第六ノ内 大正一五）	一	四一	九八イ
針路改正、自差算法、角度比例講義問題集 中山海士學館編 大正七 九八頁	一	四一	九八イ
尋六算術新教授書（理論）（實際） 佐藤武、永澤壽角 大正一一	一	三六一	一八八
尋六前期讀方教授細案（應用練習を主としたる） 内外教育資料調査會編 大正一二	一	二六三 四	七一
新六〇六號療法 一名 ネオ・サルバルサム 加藤稔 大正三	一	二六三	二九五イ
尋六理科教授書解說（修正） 加藤彌平次、高村廣吉 大正一三	一	五七	三六
新露西亞印象記 種田虎雄 大正一五	一	二六三 七	一二
新ロシアの研究 大久保留次郎 大正一三	一	五六五	三六
新ロシヤ・パンフレット 新潮社發行 大正一三至一五	一	五三一	七四
第三編 新ロシヤ文學の曙光期（昇曙夢）	五	五三九	二
第四編 新ロシヤ美術大觀（同）			
第五編 プロレ劇と映畫及音樂（同）			
第六編 第二新ロシヤ美術大觀（同）			
第七編 無産階級文學の理論と實相（同）			
新蘆面命 安井算哲（國書刊行會本三十輯第二ノ内 大正六）		三三〇	五一
新論 會澤安 一卷（國民道德叢書第二編ノ内 明治四五）		三三〇	三五

		冊	函	號
新論語(縮刷)	村上俊藏編 大正五	一	三八	二七イ
新論譯註	附 新論と現代 會澤安著 皆川二郎譯註 大正一四	一〇	一六三	一二九
秦淮の夜	谷崎潤一郎傑作全集第五卷ノ內 大正一一)		五〇〇	四
秦皇島の港灣と諸關係	住吉平治 大正一三 (滿鐵調査資料第四二編)	一	一四五	一七イ
親和考	宮川兼次郎編 再版 大正五	一〇	二三四	二三三
新和歌浦と和歌浦	濱口彌編 大正八 三八頁	一	三八八	七五
新早稻田叢書	早稻田大學出版部發行 大正七至一一	七	三七九	二
第一、二編	政治汎論 上、下卷 (ウィルソン著 高田早苗譯)			
第三、四編	軍國主義政治學 上下卷 (トライチケ著 浮田和民譯)			
第五編	歐洲最近外交史 (ドビドゥール著 煙山專太郎譯)			
第六編	歐洲政治思想史 (高橋清吾編)			
第七編	法律及經濟の文化的觀察 (ベロルッハイマー著 中村萬吉譯)			
神話叢書	向陵社(後、群書堂)發行 大正五、六	四	三五五	六七
い	猶太神話 (高瀨俊郎)			
ろ	波斯神話 (フィルダウシー著 土屋文明譯)			
は	北歐神話 上 ニーベルンゲン物語 (武田猛譯)			
に	印度神話 (姑射良譯)			
神話叢書	久保勘三郎 大正一一	二	三八九	八一
	第一編 希臘神話			
	第二編 ヴイーナスとキューピッド			
新藁屋に於て違蠻する一原因に就て	甘利進一 (農商務省)鑛業試驗場彙報第一號ノ內 大正六)	一四三	三六九	イ
親和力	ゲーテ著 益田國基譯 (ゲーテ全集第七卷) 大正一四	一	五三九	一九

ス

		冊	函	號
睡庵清秘錄	浦上春琴 大正八 (藝苑叢書ノ內)	一〇	一九八	三七九
翠雲雜札	翠雲舍松夢 寫本	三	一八一	三六四
翠雲小品畫集	小室翠雲畫 三越吳服店新美術部編 大正一四	一〇	一六五	一三九
翠雲留影	鈴木雲溪編 大正一〇	一〇	一八六	三二六
水雲略畫	上田公長畫 嘉永三 二二枚	一〇	一八三	四九三
同		一帖	一八三	四九三イ
水泳	海澤親光 大正二一 (改造社運動叢書第三編)	一	五一五	五八
同	訂七版 大正一四	一	五一五	五八イ
水泳	佐藤三郎 大正一三 (日本體育叢書第二篇)	一	五〇五	二七
水泳	西村節 大正一二	一	五一三	一六七
水泳技術練習法	井福小樽郎 大正九	一	三九三	三三
水泳競技	杉本傳 大正一五	一	五四七	一九〇
水泳術(通俗圖解)	岩田敏 大正一二	一	五一三	一七〇
水泳術階梯	村上博 大正九	一	三八八	三三一
水泳術教範	帝國尚武會編 明治四五	一	三三九	七六
水泳術と其注意	齋藤巖編 大正一〇	一	三九五	一四八
水泳大觀	池田尚康 大正一一	一	五一三	一九

水泳法及水泳生理學	關正次 改訂 大正一四	一	三九五	一五三イ
水泳名手となるまで	諏訪多富峰 大正六	一	三六四	一九四
水鉛	日本鑛業新聞社編 大正六	一	三六五	五八
水鉛、格魯謨鑛、滿俺及ぼつたーしゆニ就テ	長谷川鐵太郎 大正八	一	三八五	二六
隨緣詞藻	本多晉著 同靜六編 大正一一	一	三二九	三一六
隨緣沙彌語錄	田能村竹田(國書刊行會本田能村竹田全集ノ內 大正五)		三三〇	五〇ろ
水害後の農業	埼玉縣立農事試驗場編 大正二	一	三四四	三一八
水海之世界(國民教育)	北村友吉 大正四 六二三頁	一	三五一	九七
瑞岡珍牛禪師	關戶元峰編 大正一〇	一〇	一二	四四八
隨函攷	岡本保孝自筆稿本 (況齋隨筆第一三冊) 寫本	特一〇	八三	二
隨感隨想	澤柳政太郎 大正四	一	三六〇	一〇四
同	(澤柳全集第二卷ノ內 大正一四)		五三〇	三七
同			五三〇	三七イ
隨感錄	パスカル著 加藤一夫譯 (社會紀念文庫第一二) 大正一〇	一	三五五	一〇〇
隨感錄(向上一)	尺秀三郎 大正五	一	三六〇	三六八
推究的日本歷史	上卷 及川儀右衞門 大正一五	一	五五六	一八
隨喜帳	(九一堂叢書第二編ノ內 大正一五)	五四九	八一	
水鄉めぐり	小池素康 再版 大正八	一	四一三	六八

スイエ—スイケ

水鄉めぐり	田山花袋 大正九	一	三九六	一四
水銀蒸氣整流器	松浦一郎 大正一四 (電氣試驗所調査報告第一七號)	一	四五	一〇イ
水金製造ニ關スル研究	米田種一 大正一四 (大阪工業試驗所報告第五回第一七號)	一	四三	四九八
同		一	四三	四九八イ
水銀精製裝置	野原彝夫 (東京工業試驗所報告第八回ノ內 大正元)	一	四三	四八イ
水銀法ニ依ル電解苛性曹達製造ニ就テノ研究	山崎甚五郎 大正七 (東京工業試驗所報告第一三回第三號)	一	四三	一一七
同		一	四三	一一七
水銀避雷器に就て	笠井完、高岸英夫 大正一三 (電氣試驗所研究報告第一三九號)	一	四三	一一七ロ
水銀避雷器に就て	窖田良太郎 大正一四 (電氣試驗所研究報告第一五七號)	一	四五	九
垂釣卵	蠻龍 大正一 初篇七卷、後篇五卷 (眞宗全書第四五卷)	一	四六	七
翠光	第三集 福田翠光編 大正一二	一	四六	一四六
西瓜の栽培と其販賣法	米田義一、角田榮滅 大正一四	一	四一	一四四
西瓜甜瓜栽培秘法	山川永作、山本正道 明治四五 五四頁	一	三九	五六
水軍大將李忠武公傳	朝鮮、李景俊 謄寫版	一	〇三	三九一
水郡鐵道成立經過	根本正編 大正八	一	三七二	二四〇
醉月居詩詞鈔	清、葉世熊 (光緒年間)	一	二五	一二四
水月帖	久保田米齋編 大正一一	一	二	五九一
水軒擊壺	川田正澂 大正一五	一	五六	二六二

		冊	函	號
翠軒雜錄	南朝之部　立原翠軒編　寫本	一	一八一	四〇六
水言鈔（國寶三一）	（江談鈔）　古典保存會編　大正一四（複製）	一	一三九	二九四
同		特一	一三九	二九四イ
翠軒先生手簡	小宮山昌秀編　寫本（立原萬（翠軒）ノ手簡也）	一	一〇四	三四八
水源地トシテノ富士山	附　高天ケ原問題　神原信一郎　大正六	一	三三七	二五五
隨見錄	ユーゴー著　本間武彥譯（ユーゴー全集第一卷ノ內　大正一〇）	一	三五五	九三イ
水國記	田山花袋（花袋紀行集第三輯ノ內　大正一二）		五一五	七七
醉古堂劍掃	明、陸紹珩編（漢文叢書第九ノ內　大正一〇）		三七五	四三
水滸傳（現代語譯）	前編　蒲原春夫譯　大正一五	一	五五一	三一
（標註訓釋）水滸傳	平岡龍城譯　大正三至五	一五	一一	二一六
水滸傳物語	鈴木悅（世界名著物語第一〇編）	一	三四〇	四三
水滸傳雪挑	河竹默阿彌（默阿彌脚本集第一九卷ノ內　大正一一）		三九〇	二一
隨齋諧話	夏目成美著　野田別天樓校註　大正一四（古俳書文庫第一一篇）	一	五一五	一二九
水彩畫（誰にも描ける）	水彩畫研究所編　大正八	一	三八六	五六
水彩畫家	島崎藤村（名家傑作集第四編）	一	三五	二七一
水彩畫教授の理論と實際	齋藤始雄　大正一五	一	二六三	三二六
水彩畫の描き方	丸山晩霞　三版　大正一二	一	五二三	六六イ
水彩畫の描き方	三宅克己　大正六	一	三六一	一四三
水彩畫の新學習（自由表現）	橫井曹一　大正一三	一	五一三	一七三
水彩畫の新學習（自由表現）	橫井曹一　大正一三	一	一八一	四〇六
水言鈔（國寶三一）	（江談鈔）　古典保存會編　大正一四（複製）	一	一三九	二九四
同		特一	一三九	二九四イ
翠軒先生手簡	小宮山昌秀編　寫本（立原萬（翠軒）ノ手簡也）	一	一〇四	三四八
水源地トシテノ富士山	附　高天ケ原問題　神原信一郎　大正六	一	三三七	二五五
隨見錄	ユーゴー著　本間武彥譯（ユーゴー全集第一卷ノ內　大正一〇）		三五五	九三イ
水國記	田山花袋（花袋紀行集第三輯ノ內　大正一二）		五一五	七七
醉古堂劍掃	明、陸紹珩編（漢文叢書第九ノ內　大正一〇）		三七五	四三
水滸傳（現代語譯）	前編　蒲原春夫譯　大正一五	一	五五一	三一
（標註訓釋）水滸傳	平岡龍城譯　大正三至五	一五	一一	二一六
水滸傳物語	鈴木悅（世界名著物語第一〇編）	一	三四〇	四三
水滸傳雪挑	河竹默阿彌（默阿彌脚本集第一九卷ノ內　大正一一）		三九〇	二一
隨齋諧話	夏目成美著　野田別天樓校註　大正一四（古俳書文庫第一一篇）	一	五一五	一二九
水彩畫（誰にも描ける）	水彩畫研究所編　大正八	一	三八六	五六
水彩畫家	島崎藤村（名家傑作集第四編）	一	三五	二七一
水彩畫教授の理論と實際	齋藤始雄　大正一五	一	二六三	三二六
水彩畫の描き方	丸山晩霞　三版　大正一二	一	五二三	六六イ
水彩畫の描き方	三宅克己　大正六	一	三六一	一四三
水彩畫の新學習（自由表現）	橫井曹一　大正一三	一	五一三	一七三

		冊	函	號
水彩畫の新學習（自由表現）	橫井曹一　大正一三	一	五一三	一七三イ
水彩新畫集　第四至七輯	三宅克己　大正八	四	四一九	一三三
瑞彩帖	東京府編　大正一三	特一	一三九	二九四イ
同		別一	四〇七	八六イ
膵臟疾患治療法	大野禧一（治療全書卷三ノ內　大正三）		六〇	三三五
隨想錄	新渡戶稻造　大正七	一	三一	三八九イ
隨相論	解十六諦義　德慧造　陳、眞諦譯（大正新脩大藏經第三二卷論集部ノ內　大正一四）	特	四四	三七四
同			八六	三九一
水左記	源俊房（史料通覽ノ內　大正五）		三四二	四八九
水產	同書院發行　第五卷第一一號（大正六年一一月）ヨリ	雜四三	六	四八九ニ
水產界	水產會發行　第四〇〇號（大正五年一月）ヨリ（「大日本水產會報告」ノ改題）	雜四三	一	四八九ニ
水產改良案內	熊本縣水產試驗場發行　大正六	一	二四二	四三〇
第一報　鯛五智網	（黑田藤五郎）	一	二四二	四三〇イ
水產講習所一覽	大正二至一四年　同所編　大正二至一四	六	二九六	三
水產講習所試驗報告	同所編　大正元至四	六	二四二	四五七イ
第八卷				
第一冊	鰹節製造法中徵付ニ關スル研究　第一回（西村寅三、木村金太郎）			
	製造地ノ差異ト鰹節ノ品等成分トノ關係（西村寅三、坪田甲三）			
第二冊	漁業用鹽試驗報告　第二回（菊地健等）			
第四冊	多木町養魚場試驗報告　明治四三、四四年度（日暮忠、鎌ケ江東作）			
	多木町養魚場鯉卵孵化試驗成績報告　明治四五年度（同）			
魚種改良試驗　第二報	（日暮忠、橘英三郎）			
第五冊	鰻魚梯架設試驗			
第八冊	鱈乾燥試驗報告（藤原咲平等）			
第九冊	冬木町養魚場試驗報告　大正元年度（日暮忠等）			
第一〇冊	鮑中ノ硫黃化合物ニ就テ（山川洵、山本祥吉）介汁中ノ「グリコーゲン」ニ就テ（山川洵、內田孝雄）			
	魚介類ノ「エッキス」ニ就テノ調査（山川洵）鰹節研究　「第一至三回」（山川洵、山本祥吉）			
第九卷				
第一冊	油漬罐詰用油ノ檢定（小野辰次郎、關根豐）			
第二冊	たらば蟹罐詰原料剝肉處理時間ノ長短ノ肉質ニ及ボス影響（松井秀三郎、深山義道）			
	たらば蟹甲殼肥料ノ化學的成分（松井秀三郎）			
	重要蝦蟹類調查　第一報（中澤毅一）			
第三冊	心太ノ凍凝狀態ニ就テ（星野三郎等）			
	冷藏魚肉ノ研究　第二報（妹尾秀實、星野三郎）			
第四冊	海苔簀立粗密試驗（岡村金太郎、東道太郎）			
	海苔簀立養條件試驗　第一報（同）			
	秋季海苔附著盛期試驗　第一報（同）			
第五冊	海苔肥料試驗　第一報（中野治房、東道太郎）			
	罐詰原料トシテたらばがに雌雄肉ノ優劣ニ就キテ　雌雄たらばがに血液並ビニ肉質ノ成分比較（松井秀三郎）			
	罐詰トセル花咲蟹ノ成分（松井秀三郎、松生義勝）			
	たらばがにノ肉及其雌雄ニ依ル相異（中澤毅一）			
	製罐機械ニ就テ（星野三郎）			
	卷締罐ト普通罐トノ經濟上ノ比較（星野佐紀）			
第六冊	綱類腐敗ニ關スル試驗（川合角也等）			
	各種綱糸類ノ腐朽ニ就テ（寺田寅彥）			
	網糸腐敗菌ニ關スル研究（西村寅三、山添兵造）			
	纖維腐敗ニ關スル試驗（川合角也）			
	網糸染色防腐試驗　第二回報告（西村寅三、山添兵造）			
	樫皮固形單寧越幾斯ニ關スル試驗（同）			
第七冊	中宮祠湖產鰍寄生繩蟲調查（石井重美）			
	金魚「てふ」ノ研究（中澤毅一）			
第一〇卷				
第一一冊	鱒族養殖試驗報告　第一報（日暮忠）			
	芝沼、丸沼、大尻沼ノ水溫調查　第一報（田中阿歌麿）			
附錄	活鰻運搬試驗（鐘ケ江東作）			
	獨逸ニ本邦產生鰡ノ輸送試驗（日暮忠）			
第二冊	鰊搾粕製造ニ際シテ得ラル、煮熟汁液ノ成分竝斯クシテ廢棄セラル、窒素ノ價格及其利用法（松井秀三郎、市島徵三郎）			
	鰊搾粕殘渣利用試驗（松井秀三郎）			
	水膠製造試驗報告（菊地健）			
	烏賊墨汁利用試驗（池田晏平）			
	海驢皮鞣製試驗報告（菊地健、谷村重忠）			
	製革上石灰戾劑トシテ鰹內臟ノ利用（同）			
	石灰戾劑トシテ柔魚內臟ノ利用（同）			
	鰹節研究　第四至一〇回（山川洵等）			
第三冊	「ヒスチヂン」ニ就テ　第一報（山川洵、關根豐）			
	海產物ノ腦漿ニ就テ　第一報（山川洵、內田孝雄）			
	鰹節製造法ニ就テ東北五縣出張報告（山川洵）			
第四冊	附錄　介類ノ煮汁報告			
	罐詰內容物ニ於ケル熱傳導ノ狀態試驗（西村寅三、木村金太郎）			
	罐詰內熱傳導ノ理論（藤原咲平）			
	適度ニ充塡セル罐詰ノ熱ノ傳導狀態ト加熱セル罐詰ノ熱ノ遞減スル狀態（伊谷以知二郎、伊藤眞二）			
	附錄　飲食物被掩材料ノ性質ト微菌侵害トノ關係（西村寅三、木村金太郎）			
第五冊	網ニ對スル水ノ抵抗ノ研究　第一次報告（寺田寅彥等）			
第六冊	養殖魚類利用試驗　第一回報告（伊谷以知次郎等）			
水產講習所試驗報告	第八卷第一至一〇冊、第九卷第一至七冊、第一〇卷第一至六冊、第一一卷第一至六冊、第一二卷第一至五冊、第一三卷第一至六冊　同所編　大正元至七			
第八卷				
第三冊	養蠣改良試驗報告（妹尾秀實）	六	一四三	四五七イ
第六冊	たらばかに調查報告（中澤毅一）			
	たらばかに製造調查（松井秀三郎）			
	附錄　米國ニ於ケルろぶすたー保護（水產講習所編）			
第七冊	沃度灰製造改良試驗報告（阪元淸）			
第一一卷				
第一冊	布良鮪延繩漁船設計（春日信市、橋本德壽）			

ソコロフ式乾燥機試驗　第一至四回（伊谷以知二郎等）　水　一　三四九　一六四
新式卷締機及液狀護謨試驗（同）　水　一　三四九　一六四イ
自記乾燥計（星野三郎）　水　一　三四九　一六四ロ
第二册　駿河灣產櫻蝦調查報告（中澤毅一）　水　一　四七　三三
重要蝦蟹類調查　第二報告（同）　水　一　四七　三三イ
瀨戶內海蝦調查（同）　水　一　四七　三三ロ
海藻播殖用岩掃除器（岡村金太郎、森灝）　水　一　四七　三三ハ
清一郎）　水　一　四七　三三ニ
第三册　養魚飼料試驗報告（日暮忠、川村久治郎）　水　一　八七　一六四
冬木町養魚池鯉產卵孵化成績　大正二三年度（同）　水　一　四七　三三ホ
丸沼養魚試驗池水質調查報告（酒井順三郎）　水　一　四七　三三ロ
第四册　鰻ニ就テ（丸川久俊）　水　雜　四三　三五
「シラス」鰻運搬試驗（川村久治郎）　水　一　八七　一六四
第五册　館山灣ニ於ケル浮性魚卵並ニ其稚兒（神谷尙志）　水　一　四七　三三ヘ
第六册　罐詰傳熱試驗報告（伊谷以知二郎、田和駒吉）　水　一　四七　三三ト
第一二卷
第一册　新シキ「プロタミン」ニ就キテ（山川洵等）　水　一　四七　三三チ
第二册　柔魚鹽辛ノ成熟並ビニ貯藏中ニ於ケル窒素化合物ノ分解及ビ之ニ對スル食鹽ノ影響ニ就キテ（松井秀三郎、深山義道）　水　一　四七　三三イ
第三册　乾海苔ノ價格及ビ淺草海苔ノ品質ト成分ニ就キテ（同）　水　一　四七　三三ロ
東京灣ニ於ケル海苔場ノ海水ノ窒素及ビ其他ノ成分ニ就キテ（松井秀三郎）　水　一　四七　三三ハ
魚肉ノ混入セル砂土ノ鑑別ニ就キテ（松井秀三郎、深山義道）　水　一　四七　三三ニ
寒天原料ノ成分ニ就キテ　第一報（同）　水　一　八七　一六四
鰛メ粕肉眼鑑定ノ標準ノ化學的解釋（同）　水　雜　四三　三五
鰊假漬ノ際得ラル、廢物ニ就キテ（同）　水　一　八七　一六四イ
罐詰トセルたらばがに肉ノ「黑變」ニ於ケル含硫黃物ノ分解ニ就キテ（同）　水　一　四七　三三ホ
罐詰トセル蝦肉ノ「軟化」ニ就キテ　第一報（松井秀三郎、角英悅）　水　一　四七　三三ヘ
まがきトいたばがきノ比較（同）　水　一　四七　三三ト
鹽鮞ノ研究　第一報（松井秀三郎等）　水　一　四七　三三チ
小蝦罐詰製造調查及ビ「軟化」ノ原因及ビ防止策（松井秀三郎）　水　一　四七　三三リ
第四册　鰛油漬試驗報告（小野辰次郎、鈴木直辰）　水　一　四七　三三ヌ

第五册　淡水飼養魚類ノ白點病調查報告（石井重美）　水　一　三五　一七
本邦產鯉ノ「ふいらりあ」病觀察（同）　水　一　三五　一七イ
赤潮ニ就テ（岡村金太郎）　水　一　三五　一七ロ
海水中ニ溶解セル酸素瓦斯含量ニ就テ（酒井順三郎）　水　一　三五　一七ハ
赤潮海水中ノ酸素ニ就テ（同）　水　一　三五　一七ニ
海苔肥料試驗　第二報（中野治房、東道太郎）　水　一　三五　一七ホ
第一三卷
第一册　鰛油漬試驗報告（小野辰次郎、鈴木直辰）　水　一　三五　一七ヘ
第二册　海苔色素試驗　第一報告（中野治房、東道太郎）　水　一　三五　一七ト
第三册　てんぐさ成長試驗（岡村金太郎）　水　一　三五　一七チ
第四册　鰹肉ノ研究（松井秀三郎等）　水　一　三五　一七リ
鰹節ノ研究　第一、二回（同）　水　一　三五　一七ヌ
第五册　罐詰トセル蝦肉ノ「軟化」ニ就キテ　第三報（松井秀三郎、角英悅）　水　一　三五　一七ル
罐詰蝦肉ノ「雌雄」ニ於ケル成分ノ相違（同）　水　一　三五　一七ヲ
魚膠及ビ食用「ゼラチン」中ノ無機鹽ニ就キテ（同）　水　一　三五　一七ワ
腐敗セルあげまきヨリ「プトレシン」ノ分離（松井秀三郎）　水　一　三五　一七カ
九州製紙會社排水ノ亞硫酸含量並ビニ其玖磨川ニ及ボス影響（松井秀三郎、角英悅）　水　一　三五　一七ヨ
第六册　養鱒試驗報告　第二報（日暮忠）　水　一　三五　一七タ
菅沼丸沼大尻沼水溫調查報告　第二報（田中阿歌麿）　水　一　三五　一七レ
水產講習所圖書目錄　附　洋書目錄　水產講習所編　明治四五　水　一　三七　五五
水產學綱要　杉浦保吉　大正九　水　一　三八〇　一〇三
同　訂四版　大正一四　水　一　三八〇　一〇三イ
水產學講義　安達誠三　再版　大正二　水　一　一四　六四一
水產學通論　藤田經信　大正七　水　一　三七一　一三六
水產組合一覽　農商務省水產局編　大正三　水　一　三七七　一六七
水產組合要覽　農商務省水產局編　大正九　水　一　四二　一四三
水酸化「アルミニウム」及ビ鐵ノ洗滌損失ニ就テ　內田謙一（臺灣總督府中央研究所工業部報告第一〇號ノ內　大正一五）　水　一　四二　二八五イ

同　訂再版　大正七　水　一　三四九　一六四
水產關係法規　大日本水產會編　大正一〇　同　一　三五　一七
同　再版　大正一一　同　一　四二　一四三
同　三版　大正一三　同　一　四二　一四三イ
水產經濟　山本美越乃　大正二（經濟全書第二卷經濟各論第一部第六編）　水　一　八七　一六四
水產研究誌　樂水會發行　第一四卷第一號（大正八年一月）　水　雜　四三　三五
水產事務協議會要錄　（大正八、九、一〇、一一、一二、一三年開催）　農林省水產局編　大正八至一五　水　一　四二　一四三ロ
水產製造ニ關スル調查試驗研究項目及內容目錄幷ニ抄錄集　水產講習所編　大正八　水　一　四二　一四三ハ
水產抄說　寫本　水　一　四二　一四三ニ
水產叢書　青森縣編　寫本　明治一二　水　一　三七一　一七〇
水產增殖調查書　第一至三冊　農林省水產局編　大正一一五　水　一　一六五　九五
水產調查報告　第一至六、一二至一八冊　北海道水產試驗場編　大正三至一五　水　一　三七　一七
水產統計要覽　農商務省水產局編　大正三　水　一　三七二　一七三
水產統計年鑑　大正元、二、七年　農商務省水產局編　大正二至九　水　一　四二　一四三ハ
水產動植物精義　倉上政幹　大正一四　水　一　五四二　二二六
水產動物油五種　（八目鰻油、「テフザメ」肝油、虎河豚肝油、眞海豚肝油、螢烏賊油）　辻本滿丸　內　大正一五）（東京工業試驗所報告第二一回第六號ノ　水　一　四二　二一七
翠洲詩存　安藤正胤　大正一四　水　一　六六　三三四

水產動物油五種　（八目鰻油、「テフザメ」肝油、虎河豚肝油、眞海豚肝油、螢烏賊油）　辻本滿丸　內　大正一五）（東京工業試驗所報告第二一回第六號ノ　水　一　四二　二一七ロ
水產卜科學　岸上鎌吉　（漁業組合事業講演集上卷ノ內　大正八）　水　一　三七一　一六九
水產年鑑　大正一四年　帝國水產會編　大正一四　水　一　四四　七二
水產年鑑　大正二、三年　農商務省水產局編　大正四、六　水　二　四三　六九イ
水產ノ奬勵補助ニ關スル地方規程　農商務省水產局編　大正四　水　一　三三六　一一三
水產防疫研究叢書　大日本水產會發行　大正一五　水　一　五六四　四五
魚介類とコレラ、チフスとの關係（遠山祐三）　水　二　八五　二五四
水產寶典　一、二編　大日本水產會編　大正五　水　一　八五　二五四イ
同　〔一編〕　三版　大正一四　水　一　四七　一五四
水產法規集　河野常藏編　大正六　水　一　五四五　一三
水產パンフレット　下關水產遂究社發行　大正一四　水　一　四二　二八五イ
第一編　水產製造秘法解義（水產製造の奧義秘訣の公開）（安井商策）
水產物輸出振興幷配給消費ニ要スル施設概要　（鱈、鰊、鰤、鯖、秋刀魚）　臨時產業調查局編　大正九　水　一　三六八　七六
水產貿易ニ就テ　入江魁（漁業組合事業講演集上卷ノ內　大正八）　水　三七一　一六九
水產養殖志　山本由方編　寫本　水　三〇　二八九　三三
水產養殖法講義　日暮忠、越田德次郎　明治四五　水　一　三四二　二六
水產養殖法講義　安藤正胤　大正一四　水　一　六六　三三四

炊事顧問軍隊糧食調査　秋穗益實　大正九　一　三八　四三五
水質硬度ノ定量方法ニ就テ　粕谷隆次（臺灣總督府研究所報告第二回ノ內　大正二）　一　四、二　二八五
水質試驗報告　鈴木秀幹等（南滿洲鐵道株式會社中央試驗所報告第一輯ノ內　大正四）　一　四、三　四五一
水質試驗法ニ關スル研究　鈴木秀幹等（南滿洲鐵道株式會社中央試驗所報告第二輯ノ內　大正四）　一　四、三　四五一
水死人の持つてゐた手紙　モウパッサン著　安成四郎譯（モウパッサン全集第一二卷ノ內　大正一〇）　特一〇　八三〇　一七五
水晶の栓　ルブラン著　佐佐木茂索、高橋邦太郎譯（モオリス・ルブラン全集第五）　大正一三　一　五二七　三
水車及調速機の故障と取扱法　田中茂　大正一三　一　五八八　一三三
同　訂三版　大正一五　一　五二八　一三一
水車小屋　秋田雨雀（現代戲曲全集第一四卷ノ內　大正一四）　五二〇　三五
水車調速機及水壓調整裝置　前、後編　田中茂　大正一四　二　五三七　一〇一
水準測量實行法　附　同附圖、同記載例　陸地測量部編　三　三三七　二四六
瑞松　平井六華編　大正一一　一〇　一四六　二八八
水蒸氣張力及濕度表補遺　土屋宣義編　大正四　一　一四、六　一二
隋書律曆志中の三百六十律に就て　田邊尙雄　大正二（東洋學藝雜誌第三〇卷第三八三號別刷）　一　三四四　二九九
水拙手簡　（續群書類從第一三輯ノ下文筆部ノ內　再版　大正一五）　八〇　三一
水素イオン講話　川村一水　大正一四　一　五三七　五七
水素イオンに關する知識　附　水素イオン濃度測定法、一般イオンの生物學的意義　加藤元一　大正一四　一　五四二　一三二
水素イオン濃度測定法　標示藥法之部、瓦斯電池法の部　水谷通治　大正一四、一五　二　五四二　九九
隨身様の話　齋田喬　大正一五（兒童圖書館叢書第二七編）　一　五一五　一二
水心子正秀全集　川口陽編　大正一五（刀劍叢書第一編）　一　五六〇　一三
醉人の妻と隱者の夕暮　久保天隨　改二三版　大正三　一　九〇　一四九
瑞西　內藤民治（世界實觀第三卷ノ內　大正四）　四〇八　二〇
瑞西工場法令、印度工場法　社會局編　大正一四（勞働保護資料第一九輯）　一　四、五　一七三
瑞西國電氣供給料金論　遞信省電氣局編　再版　大正五　一　三六四　一二六
瑞西債務法（日本民法ト對比）　水口吉藏譯　大正三　一　三五三　五五
瑞西の義民　科外教育叢書刊行會編（科外教育叢書第二二）　大正六　一　三五五　八四
瑞西の疾病及災害保險　協調會編　大正九　一　三九七　五三
瑞西より　守田有秋　大正七　一　三六四　九
彗星　神田茂　大正一三　一　五三七　五
醉世九劑　藤澤南岳　大正四　一〇　二〇三　三四七
彗星の話　新城新藏（科學十講第二講　大正元）　三四九　六二
水拙手簡　（續群書類從第一三輯ノ下文筆部ノ內　再版　大正一五）　八〇　三一
水素イオン講話　川村一水　大正一四　一　五三七　五七
水素イオンに關する知識　附　水素イオン濃度測定法、一般イオンの生物學的意義　加藤元一　大正一四　一　五四二　一三二
水素イオン濃度測定法　標示藥法之部、瓦斯電池法の部　水谷通治　大正一四、一五　二　五四二　九九

水素イオン濃度の測定法と其植物病害研究上の應用　西門義一（農學研究第九卷ノ內　大正一五）　雜　三八　イ　二
水素いおん濃度ノ比色定量法ニ就テ　神野幾馬（盛岡高農同窓會學術彙報第二卷ノ內　大正一四）　一四五　八六
隋蘇孝慈墓誌銘　晚翠軒發行　大正五　一〇　一四五　一八七
水素の化學工業に於ける位置　木村惠吉郎（東京商科大學創立五十周年記念論文集ノ內　大正一四）　五一二　三二七
隋代及唐代滿洲圖　西紀五八九―六六八年（滿洲歷史地理第一卷附圖ノ內　大正二）　三四八　六〇
同　特　一　一四、二　イ　三七五　イ
醉桃庵雜筆　鈴木桃野　寫本　二卷　一〇　一〇七　三九七　二二
水道及瓦斯に就て　比留間敏（都市講演會講演集ノ內　大正一〇）　三九七　二二
水稻原種案內　福島縣立農事試驗場編　大正八　一　三七三　二九八
水稻原種並びに採種の話　秋田縣立農事試驗場編　大正七　一　三七三　一四
水稻採種圃ノ經營方法　靜岡縣立農事試驗場編　大正七　一　三七二　一二四
水稻作の改良　沖繩縣立農事試驗場編　大正一一　一六頁　一　三九七　三八九
水道事業報告書　第五回（大正六年四月一日至同七年三月三一日）　大阪市役所編　一　四、四　四五三
水稻試驗成績　兵庫縣立農事試驗場編　大正六　一　三三九　九五五

水素イオン濃度ノ測定法ト其植物病害研究上ノ應用　西門義一（農學研究第九卷ノ內　大正一五）　雜　三八　イ　二
水素いおん濃度ノ比色定量法ニ就テ　神野幾馬（盛岡高農同窓會學術彙報第二卷ノ內　大正一四）　一四五　八六
隋蘇孝慈墓誌銘　晚翠軒發行　大正五　一〇　一四五　一八七
水素の化學工業に於ける位置　木村惠吉郎（東京商科大學創立五十周年記念論文集ノ內　大正一四）　五一二　三二七
隋代及唐代滿洲圖　西紀五八九―六六八年（滿洲歷史地理第一卷附圖ノ內　大正二）　三四八　六〇
同　特　一　一四、二　イ　三七五　イ
水稻　北海道農事試驗場編（同場彙報第一三號）　大正九　一　一四、二　イ　三七五　イ
醉桃庵雜筆　鈴木桃野　寫本　二卷　一〇　一〇七　三九七　二二
水道及瓦斯に就て　比留間敏（都市講演會講演集ノ內　大正一〇）　三九七　二二
水稻原種案內　福島縣立農事試驗場編　大正八　一　三七三　二九八
水稻原種並びに採種の話　秋田縣立農事試驗場編　大正七　一　三七三　一四
水稻採種圃ノ經營方法　靜岡縣立農事試驗場編　大正七　一　三七二　一二四
水稻作の改良　沖繩縣立農事試驗場編　大正一一　一六頁　一　三九七　三八九
水道事業報告書　第五回（大正六年四月一日至同七年三月三一日）　大阪市役所編　一　四、四　四五三
水稻試驗成績　兵庫縣立農事試驗場編　大正六　一　三三九　九五五

水稻子實脫落ニ關スル調査報告　竹內叔雄　大正二（臺灣總督府中央研究所農業部報告第八號）　一　一四、二　イ　二八五　ロ
水稻種子の發芽に關する研究　鈴田巖　大正一五（臺灣總督府中央研究所農業部彙報第二九號）　一　一四、二　イ　二八五　ハ
水稻純系淘汰試驗經過報告　其一、二　新潟縣農事試驗場編　大正一〇、一四（同場）特別報告第一三、一八號）　一　一四、二　イ　二八一　ロ
水稻成育期間ニ於ケル養分ノ吸收ニツキテ　林忠昭、馬場茂　大正八（新潟縣農事試驗場）特別報告第九號）　二　一四、二　イ　二八一　ロ
水稻內地種栽培試驗並に調査成績　礒永吉、伊藤勝治　大正一三（臺灣總督府中央研究所農業部彙報第一四號）　一　一四、二　イ　二八五　ハ
水稻ニ關スル試驗成績報告　新潟縣農事試驗場編（同場）特別報告第一七號）　大正一一、一二　一　一四、二　イ　二八一　ロ
隋唐ニ朝高句麗遠征の地理　松井等（滿洲歷史地理第一卷第六編　大正二）　特　三四八　六〇　イ
同　一　三七三　二四一
水稻ノ有效分蘗　和田歌吉　大正八　一　三四九　一七六
水稻之栽培　鳥原重夫、高石萬兵衛　大正二　一　五二四　三三九
水稻ノ二期作　高知縣立農事試驗場編　大正一四　五七頁　一　一四、二　イ　二八五　ロ
水稻ノ肥料要素吸收ニ關スル研究　尾方保見　大正一五（臺灣總督府中央研究所農業部報告第二〇號）

水稻ノ滿俺吸收量ニ就テ　今井道、塚崎清章（臺灣總督府研究所報告第一回ノ內　大正二）　冊一四二イ　函二八五
水道の利益　內務省衛生局編　大正二　一　三三九　二五九
水稻品種及其分布面積　磯永吉、伊藤勝治　大正一三（臺灣總督府中央研究所農業部彙報第一三號）　一　一四二イ　二八五ハ
水稻品種分布調査成績　滋賀縣內務部編　大正一二　一　一四二イ　五三六
水道用鑄鐵直管及異形管類規格　上水協議會編　大正一四　一　五四〇　九二
水中「アムモニア」ノ檢出法ニ就テ　安井五郎（南滿洲鐵道株式會社中央試驗所報告第一輯ノ內　大正四）　一四二イ　四五一
水中「クロール」ノ定量ニ就テ　鈴木秀幹（南滿洲鐵道株式會社中央試驗所報告第一輯ノ內　大正四）　一四二イ　四五一
水竹居畫集　天號　八木岡春山編　大正一五　五三　九四
水治療法　佐野彪太（日本內科全書卷二第一冊ノ內　大正二）　一　六〇　六八七
水治療法　（及其他の物理的療法）　田原鎭雄　大正一四　一　六〇　六八七
隨丁道護書啓法寺碑　隋、丁道護書　博文堂編　大正一三　一〇　四二　二〇
水底の喫煙者（詩集）　森田留吉　大正一二　一　五一七　一四三
水調集（戲曲）　大村嘉代子　大正一四　一　五四四　一〇五
水田蔬菜栽培法　（臨時報告第一九號）　長崎縣農事試驗場編　大正六　一　三三六　二九三
水天宮七百年祭紀念勸業共進會畫報　古山省吾編　大正三　一　四一九　三〇
水天宮利生深川　河竹默阿彌（默阿彌脚本集第一三卷ノ內　大正一〇）　三九〇　二
同　（默阿彌全集第一八卷ノ內　大正一四）　五三七　四三

水天供現行記　（續群書類從第二五輯ノ下釋家部ノ內　大正一三）　冊八〇　函三一イ
水都を描く　レニエ著　草野貞之譯　大正一五（佛蘭西文學譯註叢書第三篇）　一　五四八　一四
粹な親鸞樣（諷刺評論）　加藤美命　大正一一（ゼントルマン叢書第五編）　一　五一五　二一
水巴句帖　渡邊義編　大正一一　一　五〇六　二六〇
水藩雜錄　寫本　〔水戶藩ノ農政幷ニ同藩士ノ建議書等ヲ纂錄セリ〕　三　二一三　一八〇
水藩諸家文稿　寫本　一　一八一　三六九
水藩人物肖像　（三一人）　清通寫　寫本　萬延元　一　別四　四
翠微（歌集）　村上成之　大正一四（アララギ叢書第一九編）　一　三九七　一三九
隨筆　同社發行　第一卷第一號（大正一二年一一月）至第二卷第一號（大正一三年一二月）　三　雜八　七四
隨筆　人文會出版部發行　第一卷第一號（大正一五年六月）　雜八　七四イ
隨筆抄出　ヨリ　一五　一〇四　三七三
隨筆目錄　支那風物研究會發行　大正一五　一　五四九　一〇四
其一　臧琳經義雜記目錄　（山口察常編）　一　五三一　九六
隨筆賴山陽　市島春城　大正一四　一　五三一　九六イ
同　三版　大正一四　一　五三一　九六イ
同　訂正　大正一五　一　五三一　九六ロ
水府寺社便覽　高倉嵐明等編　小宮山楓軒等寫　寫本　特七〇　八二六　九五
水府寺社便覽草稿　高倉嵐明等編　寫本　特四〇　ひ　八六
水平運動と其の考察　文化研究會編　大正一二（文化パンフレット第一六輯）　一　五〇〇　六一

水平運動批判　佐野一男　大正一三　一　五三五　六五
水平の行者　栗須七郎　大正一三　一　五三五　五三
水平民族史物語　西村文則　大正一四　一　五三五　一六三
水邊　倉田百三（現代戲曲全集第八卷ノ內　大正一四）　五一〇　二五
水墨畫の起源及價値　瀧精一（明治聖德記念學會紀要第七卷ノ內　大正六）　一四五　一
水墨集　北原白秋　大正一二　一　五三三　一〇
粹菩提禪悟野晒　河竹默阿彌（默阿彌脚本集第一三卷ノ內　大正一一）　三九〇　二
水沫所漂經　高島寬我譯（現代意譯根本佛教聖典叢書第六卷ノ內　大正一三）　五一五　一〇四
スイムフォニイ解說　柿沼太郎編　大正一四（レコード音樂叢書第一編）　一　五四一　一七
醉茗詩集　河井醉茗　大正一二　一　五一七　一〇九
水喻經　羽溪了諦、甲斐實行譯（現代意譯根本佛教聖典叢書第一〇卷ノ內　大正一三）　五一五　一〇四
水溶液に於けるチアナミド及其鹽の電離に就て　龜山直人（臨時窒素研究所報告第三號ノ內　大正一一）　一四二イ　四七
水溶液に於けるデイチアンデイアミドの電離に就て　龜山直人（臨時窒素研究所報告第三號ノ內　大正一一）　一四二イ　四七
睡餘漫筆　安井息軒　謄寫版　大正一〇　三四頁　一〇　一八六　三二
瑞龍公世家　永山近彰編　大正三　一〇　二二三　五七
同　一〇　二二三　五七イ
瑞龍小景　藤田祖印編　大正三　一　三三七　一七

瑞龍碑誌纂　寫本　〔瑞龍ハ水戶德川家累世ノ墓所ナリ〕　二〇　一八一　三七九
瑞龍名山太平興國南禪禪寺第二祖勅諡南院國師御傳略　上村觀光編　大正一〇（一六頁「題簽ニハ「南院國師」トアリ）　一　三九三　一四三
水理學　水谷鍈　大正一三　一　三三二　三九二
水理學理論及應用　森慶三郎　大正一五　一　五四二　一八九
水陸稻栽培の研究　川上桂作　大正一四　一　五三七　一一六
水陸稻多收法（特殊研究）　川上桂作　大正八　一　三七一　一八二
水陸產物製造集　寫本　特一〇　さ　四四
推理的日本地理學提要　山本幸雄　大正一五　一　五三二　二六六
水理ト灌漑　齋藤美代司　大正一四　一　五四二　二六九
水利問答　陶山鈍翁（日本經濟叢書卷四ノ內　大正三）　三四六　一八
同　（改訂日本經濟叢書第四卷ノ內　大正一二）　四四　三七三
水力　金子登　明治四五　一　三三七　六三五
水力　田邊朔郎　大正二　一　三四二　三三〇
水力講話　宮城音五郎（最新理科講演集ノ內　大正一〇）　三八五　一五四
水力學　沖巖　大正一三　一　五〇七　一六〇
水力學　生源寺順　大正一四　一　五四二　三五
水力學及水力機械　田中不二（應用力學第二編）　大正四　一　三三七　一九イ
同　再版　大正六　一　三三七　一九ロ

水力機械學　上、下卷　伊藤萬太郎　大正三、四　冊　二　函　二六九　號　二六六
同　六版　大正一三　二　三四九　二六六イ
水力系統　小澤淨吾編　大正一五（電氣機械試驗法第五編）　一　五二一　一九
水力タービン　内丸最一郎　再版　大正六　一　三六五　八七
同　前、後編　訂六版　大正一三　二　三六五　八七イ
同　前編　一　三六五　八七ロ
水力タービン　理論構造及設計　小野信雄　大正一四　一　五四三　一〇六
水力タービン講義附圖　エンヂニヤリング社發行　大正一一　一　三九七　三七三
水力調査書　第一至七卷　遞信省編　大正一二　七　四〇九　六六
同　第一至六卷　大正一三、一四　六　四〇九　六六イ
同　六　四〇九　六六ロ
水力電氣工事編　井上福一郎　大正三（土木叢書ノ内）　一　三三〇　四七
水力電氣鐵筋混凝土管　設計及工作法　杉村信近　大正七　一　三六五　九四
水力發電所　久保進　大正三　一　三四九　四一
同　一　三四九　四一イ
同　一　三四九　四一ロ
同　再版　大正四　一　三四九　四一ハ
同　増訂三版　大正四　一　三四九　四一ニ
同　一　三四九　四一ホ

水力發電所　久保進　四版　大正八　一　三四九　四一ヘ
水力發電所　後篇　福田豐　大正九（電機學校叢書第一五卷ノ二）　一　三三〇　三三
同　二　三三〇　三三イ
同　前、後篇　四、八版　大正一三（電機學校叢書第一五卷ノ一、二）　一　三三〇　三三ロ
水力發電所及變電所之設計　朝倉元次　大正五　二　三三〇　三三ハ
推理力檢査問題の選定　大阪市大寶小學校編（兒童教育研究會紀要第二卷ノ内　大正九）　一　三五一　一〇四
垂綸子　三浦晉（梅園全集上卷ノ内　大正元）　一　三五五　八七
瑞寮史　木村忠二郎編　大正一五　二　三六五　八七イ
睡蓮の花咲く國　堀正旗（實塚叢書第五編）　大正一三　一　三五五　八七ロ
睡蓮の夢　澤谷虹兒（虹兒畫譜第一）　大正一三　二七　三五四　一九六
水練早合點　小堀常春（國書刊行會本雜藝叢書第二ノ内　大正四）　一　五四三　一〇六
水路要報　水路部發行　第一年第一號（大正一一年九月）　一　三九七　三七三
瑞鹿の名山　敬俊　大正一〇　一　三四九　四一ホ
水路告示集　明治四四年　水路部編　大正元　一　三四九　四二
同　明治四四至大正元、三至五年　水路部編　大正二至六　一　三四九　四二イ
同　明治四四至大正二年　大正三　一　三四九　四二ロ
水路雜俎　第八至一〇號　水路部編　大正八至一二　一　三四九　四二ハ
水路誌　附錄　第一至三卷　水路部編　大正五、七　一　三四九　四二ニ
水路測量術　井内金太郎編　大正三　一　三四九　四二ホ

水路測量術　商船學校編　大正九　一　三六一　一〇八
水路圖誌改補心得　水路部編　第一改版　大正二　一　九三　六三イ
水路圖誌取扱心得　水路部編　大正五　一　水　三三　一イ
同　第一改版　大正一一　一　水　三三イ
水路圖誌目錄　大正七至九、一一、一二、一四、一五年　水路部編　大正七至一五　七　水　二七
水路圖誌目錄（刊行）　明治四五、大正二、五至七年各一月一日調査　水路部編　明治四五至大正七　五　一八　二三四
同　大正三年四月一日調査　大正三　一　四〇　五九八ロ
水路ト溜池　仲野雄介、山崎利雄　大正八　一　三八一　二七
水路部沿革史　附錄付　明治二至一八年　同部編　大正五　三　水　二六
水路部刊行海軍海圖式　記號及略語例　同部製　大正五　一　枚　八九　七六
水路部刊行海圖索引　同部發行　大正六　六　枚　海索　二

第七　菲律賓諸島及東叢島東部
第八　支那海及東叢島西部

水路部刊行海圖索引　同部發行　大正九　二　枚　海索　二
第一　世界全圖　へ
第二　中部太平洋
第三　北洲樺太及千島列島　附露領沿海州
第四　本洲四國及九州　附朝鮮東部及露領沿海州南部
第五　内海及九州
第六　朝鮮及支那東岸北部
第七　南西諸島及支那東岸南部
第八　菲律賓諸島
第九　東叢島東部及濠洲北部
第一〇　支那海及東叢島西部
第一一　北太平洋南西部

水路里程表　水路部編　大正一〇　一　水　三七
趨異遺傳及進化　ロック著　阿部文夫譯　大正二（大日本文明協會刊行書第二期第一六編）　一　三四三　五
スウイス日記　辻村伊助　大正一一　一　五一九　八
樞要集　（續群書類從第二四輯ノ上武家部ノ内　大正一四）　八〇　三一
同　八〇　三一イ
瑞典　内藤民治（世界實觀第一〇卷ノ内　大正五）　八〇　三一ヌ
瑞典　（日本關係事情）　瑞典輸出貿易協會編　水上鐵次郎譯　大正一一　四〇八　二〇
瑞典製鐵業　和田佐一郎（世界製鐵業第六編　大正八）　一　三九八　七五
瑞典保險業法　農商務省商務局編　明治四五　三三一　三七
瑞典マッチ　チエホフ著　中村白葉譯（世界短篇小說大系探偵家庭小說篇ノ内　大正一五）　一　四七　一〇〇
菘翁印譜　並補　大正八、九（藝苑叢書ノ内）　五三〇　四五
一　一九八　三九一

		冊	函	號
菘翁舊藏	宋拓館本十七帖 晩翠軒發行 大正六	一	一三七	一七三
菘翁山家集	貫名苞書 大正一一	一	一三八	二四四
菘翁書赤壁賦	貫名苞書 大正元	一	一三七	一六一
菘翁眞蹟山家集	貫名苞書 大正二	一	一四五	一七三
菘翁眞迹奉獻帖	貫名苞書 大正二（賀茂御祖神社藏版）	一	一四五	一七五
菘翁眞蹟松居遊見叟碑文稿	二種 貫名苞書 大正一四	一	二〇三	一三八
菘翁先生楷書朱子家訓帖	貫名苞書 大正元	一	一三七	一五八
菘翁先生歸去來辭	貫名苞書 大正六	一帖	一三七	一七六
菘翁大觀	高橋太華編 大正六	一	四二〇	一九
菘翁大字心經帖	貫名苞書 大正一五	二帖	二へ	四六
菘翁貫名先生墨蹟	貫名苞書 大正二	一帖	一三七	一六三
菘翁白玉井銘	貫名苞書 大正一四	一	一四二	二九
菘翁臨十七帖	貫名苞書 大正一三	一	二〇三	二一四
數雅	杉原直友稿本 寫本	特八	八三一	六七
數概念の擴充と數學教育	小川通司 大正一三	一	二六三 四	七六 イ
崇高への道	古屋芳雄 大正一四	一	一五三	五八
數學講義	松本小七郎等 大正五	一	一三五	二四
數學科教授の實際	廣島高等師範學校附屬中學校數學研究會編 大正一一 三五頁	一	二六三 四	七三

		冊	函	號
數學科教授ノ實際	廣島高等師範學校附屬中學校數學研究會編 大正一二 六五頁	一	二六三 四	八七
嵩鶴書談	清鶴舍 五卷（日本書談大觀中編隨筆ノ內 大正六）	一	一三八	二四四
數學教育資料	第一輯 市川準一等編 大正一三	一	二五九 五	六九
數學教育の革新	鍋島信太郎編 大正一五	一	二六三 四	一三六
數學教育の根本問題	小倉金之助 大正一三（教育問題叢書第六編）	一	二五九 五	五一
數學教育名著叢書	山海堂發行 大正一五	一	三三三	四六九
第二編	エミル ボレル 代數學（ボレル著 石井省吾譯）	一	二四一	二〇七
數學教授用重要ナル數表幷標準曲線	山內爲編 大正六	一	二四一	二六六
數學公式	附 要項及ビ諸表 藤田外次郎等 大正七	一	二四一	二六六 イ
同	訂三版 大正八	一	二四一	二六六 イ
數學史	ボアイエー著 林鶴一譯 大正五（數學叢書第一九編）	一	四三	二八六
數學辭典叢書	長澤龜之助編 一〇版 大正元	二	九八	一五〇 イ
問題解法	續幾何學辭典			
同	再版 明治四五	二	九八	一五〇 ロ
問題解法	三角法辭典 並見出			
同	三、一六版 大正元	二	九八	一五〇 ハ
問題解法	幾何學辭典			
問題解法	三角法辭典			
同	一一版 大正二	二	九八	一五〇 ヘ
問題解法	代數學辭典 並見出			

		冊	函	號
數學史物語	清水英一 大正一五	一	一五四七	二三一
數學者の手帳から	清野耕治 大正六	一	二六一	一五三
數學諸論大要	渡邊孫一郎 大正一〇	一	二八一	一二九
數學叢書	大倉書店發行 大正元至九	一三	四三	二八六
第一四編	級數概論（林鶴一、小倉金之助）			
第一五編	幾何學原理（ヒルベルト著 林鶴一、小野藤太譯）			
第一六編	算術四則問題 第二ノ一（林鶴一）			
第一七編	同 第二ノ二（同）			
第一八編	おいらる代數學 不定解析論（整數論ノ一部）（オイレル著 林鶴一、小野藤太譯）			
第一九編	數學史（ボアイエー著 林鶴一譯）			
第二〇編	初等幾何學 作圖法（エンリケス著 林鶴一譯）			
第二一編	三角方程式（林鶴一、蓮池良太郎）			
第二二編	初等方程式論（林鶴一、小野藤太）			
第二三編	射影幾何學（林鶴一、西村秀雄）			
第二四編	省略算及簡便算（フアスビンデル、ローゲル著 林鶴一譯）			
第二五編	初等微分方程式（林鶴一、蓮池良太郎）			
第二六編	初等幾何學 定量問題（林鶴一、中島宗治）			
同	第二一編 再版 大正一一	一	四三	二八六 イ
數學大全	林茂增 大正三	一	三五一	三五
數學定理及び公式集（將校必携）	研數學會編 大正三	一	三七	二九三
數學的棋道實戰大觀	附錄付 森田幸次郎 大正九	一〇	一二	三五三
數學讀本	井出彌門 大正一五	一	五六四	一六七
數學と形而上學者	ラツセル著 松本悟朗譯（ラツセル叢書第四編） 大正一〇	一	三九九	一七
數學之基礎	米山國藏 大正一四	一	五四二	一四

		冊	函	號
數奇傳	田岡嶺雲（佐代治） 明治四五	一	三三	二八三
數字活論	宇都宮吉造 大正七	一	三七二	一八五
數字上より觀たる浦鹽斯德商港	南滿洲鐵道株式會社哈爾賓事務所調査課編 大正一五（哈調資料第五三號）	一	一四五	八五
數字上ヨリ見タル	千葉市ノ變遷 附錄 名勝舊蹟 大正一五 同市役所編	一	五三四	二八〇
數線陣地ノ攻防	高屋庸彥 大正一〇	一	三一八	四六三
ズウダアマンの「故郷」に描かれたる思想問題	島村抱月（抱月全集第二卷ノ內 大正九）	一	三七九	一一
趨庭所聞	林述齋 謄寫版 大正一〇 二卷 四〇頁	一	六	三六九
ズウデルマン傑作集	ズウデルマン著 村上靜人譯編 大正七（泰西傑作集第七）	一	三五五	八七
ズーデルマンの「故郷」に就いて	島村抱月（抱月全集第七卷ノ內 大正九）	一	三七九	二
數度宵談	西村遠里（日本經濟叢書卷一一ノ內 大正四）	一	三四六 四	一八
數の心理に立脚したる低學年の算術教授	佐藤隆德 大正一三	一	二六三	九〇
スーフーイズム	荒木茂（世界聖典全集後輯第一五世界聖典外纂ノ內 大正一二）	一	三三五	三七二
崇文叢書	崇文院編 大正一五（複製）	一五	〇 一五四	六〇
第一輯	一至四 書說摘要（安井息軒） 卷一至四			
	五、六 蕉窓文草（林述齋） 卷一一二			
	八 蕉窓永言（同） 卷一一二			
	一〇至一三 一七至二三 慊堂全集（松崎慊堂） 卷一至七			
	篆隸萬象名義 卷第一之二、二第二之一、二			
數理哲學概論	ラッセル著 宮本鐵之助譯 大正一一	一	三八五	一九二
數理哲學研究	田邊元 大正一四	一	五一〇	一三〇

		冊	函	號	
數理統計	龜田豐治朗（國勢ノ院統計講習會講演錄ノ內 大正一〇）		四五	五六三	
同	（國勢院統計講習會講演錄ノ內 大正一二）		五八	四八	
同	（統計局統計講習會講演錄ノ內 大正一三）		五八	四八イ	
同	（內閣統計局統計講習會講演錄ノ內 大正一五）		五八	四八ロ	
數理統計序論	佐藤保兒（神戶高等商業學校開校二十周年記念講演及論文集ノ內 大正一三）		五三〇	六	
數理之友	武藤錢吉 大正七	一	三六五	一一〇	
スール一海及セレベス海	スール一叢島 水路部製 二・一×三・一 大正五	一枚	洋	四八ハ	
スール一叢島諸港	水路部製 大正八 二・一×一・五	一枚	洋	八一イ	
スール一叢島諸港泊地	水路部製 大正九 二・一×一・五	一枚	洋	二六七	
末口直徑ニ依ル丸太材積算定ノ一法ニ就テ	山本和藏（有村常清（農商務省）林業試驗彙報第一一號ノ內 大正一二）		一四三	一二五ロ	
末黑のすゝき	平塚茂喬（日本經濟叢書卷三二ノ內 大正六）		三四六	一八	
スエデンボルグ	鈴木貞太郎（大拙） 大正二		一三五	一九八	
スエデンボルグ	鈴木貞太郎（世界聖典全集後輯第一五世界聖典外纂ノ內 大正一二）		三三五	三七二	
末廣五十三驛圖會（東錦繪）	附 忠臣藏八景、誠忠武士銘銘傳、古今名婦傳、佛げんじ五十四帖等 豐國畫	別一帖	四八	二	
末廣五十三次	國貞等畫 五五枚	別二〇	ろ	一一	
末松文庫藏書目錄	佐藤正之編 大正一二 三六頁		三一七	一三九	
酢及醬油製造法講義	鴨田修治編 大正六		三六一	一〇七	
スカーレット・レター	ホーソン著 神芳郎譯 大正一二		三五二	九	
菅江諸桂の飼ひ方	柴田直吉 大正九（東進社講演集第一卷）	一〇	一八六	二七一	
麥繪百人一首	菱川師宣畫（日本風俗圖繪第二輯ノ內 大正三）	特	一九五	一七六	
同		特	一九五	一七六イ	
菅谷史	菅與吉 大正二	一	三三九	二七八	
菅沼丸沼大尻沼水溫調查報告	第一、二報（水產講習所試驗報告第一〇卷第一冊第二三卷第六冊ノ內 大正三、七） 田中阿歌麿		一四二イ	四五七イ	
須川溫泉之栞	附 磐井名勝記 黑澤政吉編 大正二 四〇頁	一	三三九	二〇四	
菅原寺起文遺戒狀	行基撰（大日本佛教全書第一一九冊ノ內 大正四）	一	三五三	一〇	
菅原傳授手習鑑	（時代狂言傑作集第三卷ノ內 大正一五）		五四五	一六	
菅原道眞（立志教訓）	聖堂藏人 大正七	一	三七六	六八	
巢枉から巢脾になるまで	吉里修三（ポケット養蜂叢書第三編） 大正九	一	三八九	三	
巢鴨總攬	中山由五郎編 大正一四	一	五三	七〇	
巢鴨日記	第一至三 岩野泡鳴（泡鳴全集第一二卷ノ內 大正一〇）		五〇〇	一	
スガンさんの山羊	ドオデエ著 山內義雄譯（世界短篇小說大系佛蘭西篇上ノ內 大正一五）		五二〇	四五	
スキー	稻田昌植 大正五		三六〇	二七八	
スキー	小熊和助編 大正二		九四	七九一	
スキーイング	木原賢太郎編 大正一五		五四九	四三	
スキーイング	笹川速雄（日本體育叢書第一三篇） 大正一三		五〇五	二七	
SKIING教程	東京帝國大學々友會スキー山岳部編 大正一三		三五八	一八三	
スキーイング初步	東京帝國大學々友會スキー山岳部編 大正一五	一	五四七	八九	
スキーをはく人の爲に	鐵道省運轉局編 大正一五	一	五三四	四三九	
スキー家に	高橋進 大正八	一	三	八八〇	
スキー競技法	西澤勝次 大正一四	一	五四七	五七	
スキージヤムピング	廣田戶七郎 大正一二	一	五一三	二〇三	
スキー術	鶴見宣信 明治四五 九二頁	一	九四	七六五	
スキー術	山口十八、金井勝三郎 大正五	二	三六〇	二八九	
スキー術解說書	黑田毅編 大正四	一	七〇	三〇	
同	再版 大正一〇	一	七〇	三〇イ	
スキー術教程	福地義二郎、六鹿一彥 大正九	一	三九五	六三	
スキー術早わかり	丸山晚霞 大正一一	一	五一三	六七	
スキーの要領	白鳥恒雄等 大正一〇	一	三九五	二一八	
杉浦重剛先生	大町桂月、猪狩史山 大正一三 七八八頁	一	五一九	一三四	
杉亭二自叙傳	河合利安編 大正七	一	三五四	九一	
主基齋田記錄	香川縣編 大正七	一	三六七	四〇	
主基齋田記錄	香川縣編 大正七	一	一〇	二八七	
主基齋田寫眞帖	香川縣編 大正五	一	四一九	八三	
すぎ種子ニ對スル藥液ノ處理ト發芽率トノ關係ニ就テ	原田庄三（農商務省）林業試驗彙報第一六號ノ內 大正一四）	一四イ	二三ロ		

スキイースキノ

		冊	函	號	
すぎ心材色黑變ニ關スル研究	藤岡光長、高橋憲三（農商務省）林業試驗報告第一六號ノ內 大正七）	一	一四二イ	一二五	
數寄道次第	寫本（茶道叢書第三四册）	特一〇	八三	二七	
すぎ單純老齡林分間伐法試驗實行報告	仙臺林業試驗支場編（農商務省）林業試驗彙報第一四號ノ內 大正一三）	一四二イ	一二五ロ		
主基地方（明治聖代の大嘗祭）	安川文時 大正四	一	三二七	七二	
すぎ苗赤枯病ニ對スル銅石鹼液効力試驗	第一、二回 肱黑友三（農商務省）林業試驗彙報第一〇、一六號ノ內 大正一二、一四）	一四二イ	一二五ロ		
すぎ苗赤枯病ノ驅除豫防ニ關スル試驗	今枝直規（農商務省）林業試驗報告第一四號ノ內 大正五）	一四二イ	一二五		
杉苗赤枯病ノ研究	川村清一（農商務省）林業試驗報告第一〇號ノ內 大正二）	一四二イ	一二五		
すぎ苗赤枯病ノ研究	第二回報告 北島君三（農商務省）林業試驗報告第一四號ノ內 大正五）	一四二イ	一二五		
すぎ苗木ノ形狀調查	佐多一至（農商務省）林業試驗彙報第一四號ノ內 大正一三）	一四二イ	一二五ロ		
すぎ苗插木養成ノ實驗	栗林武二郎（農商務省）林業試驗彙報第三號ノ內 大正一〇）	一四二イ	一二五ロ		
すぎ苗ノ癌腫病ニ關スル研究	北島君三（農商務省）林業試驗報告第一八號ノ內 大正八）	一四二イ	一二五		
杉苗ノ施肥期ニ關スル試驗	守屋重政（農商務省）林業試驗報告第一〇號ノ內 大正一）	一四二イ	一二五		
すぎ樹枝枯病ニ就テ	北島君三（農林省）林業試驗報告第二六號ノ內 大正一四）	一四二イ	一二五		

		冊	函	號
杉のしづ枝	荷田蒼生子 二卷（女流文學全集第四卷ノ內 大正八）	三七	一六四	ろ
すぎノ樹齡査定及植栽年度鑑定法ニ關スル研究	藤岡光長 大正九（農商務省）林業試驗報告第二〇號）	一	一四二	イ 一三五
すぎノ立皮剝カ材ノ乾燥ニ及ホス影響	高橋憲三（農商務省）林業試驗彙報第一四號ノ內 大正一三）	一	一四二	イ 一三五 ロ
椙原品	森鷗外（鷗外全集第七卷ノ內 大正一二）	一	五二〇	一 イ
同		特	五二〇	一 イ
杉の實（小酒一句集）	安井知之 大正一一	一	五〇六	二六七
すぎ林ノ生長及收穫	寺崎渡（農商務省）林業試驗報告第一一號ノ內 大正三）	一	四二	イ 一三五
杉葉油ニ關スル研究	內田壯（農商務省）林業試驗報告第一一號ノ內 大正三）	一	四二	イ 一三五
杉原親憲傳	杉原謙編	一〇	二四	二〇二
杉檜の造林經營	狩野幸之助 大正三	一	三八	一一
杉村パンフレット	杉村倉庫發行 大正一一至一三	七	五五	一〇
第一	倉庫營業及保管（片山元彥譯）			
第二	米國倉庫業法（米原容次郎）			
第四	日本倉庫業史（桑野鷺助）			
第五	冷藏保管（濱口楠之進）			
第六	米國に於ける物品販賣制度の趨勢（西川喜計）倉庫と商品取引所との關係（齋田藤吉）			
第七	倉庫業者ノ費用計算法（片山元彥）			
第八	洋紙の研究（桑野鷺助、片山元彥）			
杉村浩詩集	杉村浩 大正一二	一	一五三	三
杉本龜卜神祕鈔（皇國古傳）	杉本鐵幸 大正三	一〇	一二八	二六三
數寄屋繪圖	寫本（茶道叢書第二一〇冊）	一〇	八三	一五四
杉藥師靈驗	賤機物語 藤原非想 大正一二 五七頁	一	三九三	五五八
數寄家建築圖案	第一輯 伊藤虎三 大正一四	一	四一六	一二四
數寄屋法則	寫本（茶道叢書第二一二冊）	一〇	八三三	一五六
杉山博士紀念志	岡島松次郎編 大正八	一	三八三	三六
すぎ山行苗木速成法試驗	野路策三（農商務省）林業試驗彙報第六號ノ內 大正一一）	一	四二	イ 一三五 ロ
過ぎゆく日	德田秋聲 大正一五	一	五一七	四五一
「スクアラン」（「ドデカ、ヒドロスクアレン」）ノ乾溜	外山修之、土屋知太郎（東京工業試驗所報告第二〇回第二號ノ內 大正一四）	一	四二	イ 一七
生成物ニ就テ		一	四二	イ 一七 ロ
同				
「スクアレン」及ビ「コレステリン」ヨリ石油ノ生成	川合誠治、小林修明（東京工業試驗所報告第一八回第一號ノ內 大正一二）	一	四二	イ 一七
同		一	四二	イ 一七 ロ
「スクアレン」ノ水素加成物ニ就テ	辻本滿丸（東京工業試驗所報告第一八回第二號ノ內 大正一二）	一	四二	イ 一七
同		一	四二	イ 一七 ロ
スクールダンス	石橋藏五郎、寺岡英吉 大正元	一	二九	四三
スクールダンス	印牧季雄 大正一三	一	五二	九八
直ぐ書ける新らしい手紙の泉	佐々木主潮編 大正一〇	一	五〇一	八七

		冊	函	號
數寄屋繪圖	寫本（茶道叢書第二一〇冊）	一〇	八三	一五四
杉藥師靈驗	賤機物語 藤原非想 大正一二 五七頁	一	三九三	五五八
數寄家建築圖案	第一輯 伊藤虎三 大正一四	一	四一六	一二四
數寄屋法則	寫本（茶道叢書第二一二冊）	一〇	八三三	一五六
杉山博士紀念志	岡島松次郎編 大正八	一	三八三	三六
すぎ山行苗木速成法試驗	野路策三（農商務省）林業試驗彙報第六號ノ內 大正一一）	一	四二	イ 一三五 ロ
過ぎゆく日	德田秋聲 大正一五	一	五一七	四五一
「スクアラン」（「ドデカ、ヒドロスクアレン」）ノ乾溜	外山修之、土屋知太郎（東京工業試驗所報告第二〇回第二號ノ內 大正一四）	一	四二	イ 一七
生成物ニ就テ		一	四二	イ 一七 ロ
同				
「スクアレン」及ビ「コレステリン」ヨリ石油ノ生成	川合誠治、小林修明（東京工業試驗所報告第一八回第一號ノ內 大正一二）	一	四二	イ 一七
同		一	四二	イ 一七 ロ
「スクアレン」ノ水素加成物ニ就テ	辻本滿丸（東京工業試驗所報告第一八回第二號ノ內 大正一二）	一	四二	イ 一七
同		一	四二	イ 一七 ロ
スクールダンス	石橋藏五郎、寺岡英吉 大正元	一	二九	四三
スクールダンス	印牧季雄 大正一三	一	五二	九八
直ぐ書ける新らしい手紙の泉	佐々木主潮編 大正一〇	一	五〇一	八七

		冊	函	號
少ない肥料でとりいれの早い米と麥の大增收	農藝研究會編（家庭實益叢書ノ內） 大正七	一	三六九	に一七
直ぐに役立つ家禽素人醫者	大森清次郎 大正八	一	二八六	一五一
すぐにわかる麥作增收の話	高橋陸郎（農家經營叢書第四編） 大正五	一	三五	三五二
救と道	山中峯太郎（我れ爾を救ふ第三集ノ內 大正一一）	五〇〇		一六
救ひなき祈り	アンドレーフ著 伊藤欽二譯 大正一〇	一	二九六	三一七
救の解說	ゼームス・エイチ・ブルックス著 千葉勇五郎譯 大正五	一	三二五	四〇三
救のない人生	加藤一夫（加藤一夫著作集第二編） 大正九	一	三七五	四六
救は反省より	田中王堂 大正一一	一	五〇三	一八七
直ぐ間に合ふ家庭よろづの心得	熊谷發之助 大正七	一	三六一	一九七
スグ間に合ふ現代的商業書簡文	清水正己 大正一四	一	五四一	一三七
スグ間に合ふ商業手紙の書方	久城果堂 大正六	一	三六四	二五五
スグ間に合ふ商用ハガキの書き方	清水正己 大正五	一	三六一	二五
直ぐ間に合ふ新案住宅圖集	大澤一郎 大正九	一〇	四二三	九二
すぐ役に立つ日用智識の活用	深尾韶 大正八	一	三八八	六〇
直ぐ役に立つ婦人の手紙	婦人教育會編 大正一五	一	五一七	五八一
スケーティング	五代正友（日本體育叢書第一九篇） 大正一五	一	五〇五	二七
スケート	一 松宮三郎編 大正一〇 五〇頁	一	三九三	二六
菅笠日記	本居宣長 一卷（勤王文庫第三編ノ內 大正一〇）	三七九	九	
同	（日記紀行集ノ內 大正一一）	五一四	二九	
スケッチそのをり〳〵	奥村土牛畫 大正六	一	三七一	四二
スケッチの描き方	中澤弘光、森脇忠 大正六	一	三六三	一八八
（全譯）スケッチブック（原文ノ評註）	上、下卷 大正一〇、一二 森卷吉	二	三三三	三九一
スケッチ旅行鞄もの語り	鶉澤四丁 大正九	一	三八三	八一
助六心中	都一中語物（文藝叢書第一二冊世話淨瑠璃名作集ノ內 大正三）	二四五		一ぬ
助六と道德	島村抱月（抱月全集第一卷ノ內 大正八）	一	三七九	一一
助六の圖（ゑいー）	勝川春扇畫	一	別七	五三
助六由緣江戶櫻	（続本正本日本戲曲名作大系第一卷ノ內 大正一四）	一	五二九	五五
助六所緣江戶櫻	寫本（臺帳叢書ノ內）	一	一二五	一八三
助六由緣江戶櫻の型	遠藤爲春、木村錦花 大正一四	一	五三八	九〇
凄い眼	正宗白鳥（白鳥傑作集第一卷ノ內 大正一〇）	五〇〇		四八
スコーアリング	星野龍猪（日本體育叢書第九篇） 大正一二	一	五〇五	二七
スコットン廣告心理學	ウヲルター・ゲル・スコット著 佐々木十九譯 大正一三	一	三六〇	一〇一
蘇格蘭童話集	ダグラス著 松村武雄譯（世界童話大系第七卷蘇格蘭篇ノ內 大正一五）	一	五二〇	一〇
すごろく	メリメエ著 厨川白村、一宮榮誠譯（メリメエ傑作集ノ內 大正四）	三五七	三六	
雙六考	西澤仙湖（米二郎）著 同笛畝編（仙湖遺稿集ノ內 大正九）	二	三四〇	
双六拾種	月曜會編 大正一四	一	四一六	一一
須崎港灣調查書	大正一一年 高知縣高岡郡須崎町編 大正一二	一	五一八	一七
洲崎晴嵐之圖	（團扇繪） 貞秀畫	一	別七	一六四

朱雀日記　谷崎潤一郎（潤一郎傑作全集第三巻ノ內　大正一〇）　冊 一　函 三九三　號 三五六

須佐神社概要　須佐建親編　大正一一　冊 一　函 五一五〇　號 四五

スシンの厄難　ウナムーノ著　永田寛定譯（世界短篇小說大系南歐及北歐篇ノ內　大正一五）　冊 一　函 五一五〇　號 四五

鈴鹿郡郷土誌　三重縣同郡教育會編　大正四　冊 一　函 三四八　號 二九七

鈴縣衣續篇　（國書刊行會本信仰叢書ノ內　大正四）　冊 一　函 三三〇　號 四九を

鈴川式計算圖表　鈴川孫三郎　大正一三　冊 一　函 五〇九　號 一〇六

鈴木朗書入萬葉和歌集　實永六底本ト爲シ更ニ宣長、大平、田中道麿ノ諸說ニ自己ノ考ヲ書入レ猶幾多ノ異本ニツキ校正セルモノナリ〔鈴木朗ガ今井似閑書入ノ本居本ヲ寫シテ〕　冊 特三〇　函 　號 せ一三

鈴木和泉守　宮城縣古川中學校同窓會發行　大正一〇　四六頁　冊 一　函 一八六　號 三三

鈴木重胤大人贈位奉祝祭獻詠集　大瀧直之助編　大正一〇　二七枚　冊 一　函 一八六　號 三四一

鈴木重胤の眞人物　樹下快淳　大正一四　五二頁　冊 一　函 五二四　號 三六三

同　（明治聖德記念學會紀要第二四卷ノ內　大正一四）　冊 一　函 一四五　號 一

鈴木石橋先生　石橋先生百年祭典會編　大正一三　八一頁　冊 一　函 五二四　號 九四

鈴木泉三郎戲曲全集　鈴木泉三郎　大正一四　冊 一　函 五二八　號 一七六

鈴木大雜集　第一至五　日本史籍協會編　大正七、八　冊 五　函 三一六　號 一四七

鈴木藤吉郎　森鷗外（鷗外全集第七卷ノ內　大正一一）　冊 一　函 五二〇　號 一

同　冊 特一　函 五二〇　號 一イ

鈴木療養所報告　第一至三　鈴木孝之助　大正二至一四　冊 三　函 六〇　號 四〇七

珠洲郡志　和田尙軒（文次郎）　增訂再版　大正四　冊 一　函 三三七　號 七四五

鈴子の戀　田山花袋（花袋全集第一〇卷ノ內　大正一三）　冊 一　函 五一五　號 三六

須須神社誌　植木直一郎　大正一三　冊 一　函 一〇〇　號 一八六

錫ノ電氣化學的反應並ニ鹽化第二錫ノ電解還元法ニ關スル報告　山崎甚五郎（東京工業試驗所報告第九回ノ內）　冊 一　函 一四二イ　號 一一七

鈴屋古風歌集　本居宣長（近世萬葉調短歌集成第一卷ノ內　大正一四）　冊 一　函 五四四　號 四三

鈴屋文書　三村清三郎編　明治四四　七〇頁　冊 一　函 二四九　號 一三

進むべき俳句の道　高濱虛子　大正七　冊 一　函 三七七　號 八一

進むべき道　南條文雄　大正六　冊 一　函 二六三　號 一六八

すゞめ衣　八卷目・加藤雀庵寫本（雀庵稿本第六）　冊 特一　函 　號 さ四三

雀のお宿（童話選集一）　巖谷小波編　大正一一　冊 一　函 五〇五　號 二七三

雀の生活　北原白秋　大正九　冊 一　函 二九一　號 五七

雀類ニ關スル調査成績　內田清之助等（鳥獸調査報告第一號）　大正一二　冊 一　函 一四二イ　號 五三ロ

同　冊 一　函 一四二イ　號 五三イ

鈴蘭の歌へる　西尾操、小林綾子　大正一二　冊 一　函 五一六　號 一四四

同　大正一四　冊 一　函 五一六　號 一四イ

硯の栞　山口弘達、後藤朝太郎　大正一〇　冊 一　函 一八六　號 三三八

すゞりの水　大町桂月　大正二　冊 一　函 三三八　號 二〇〇

硯破　鷲尾順敬等註（國文東方佛教叢書第九卷文藝部上ノ內　大正一五）　冊 一　函 五三九　號 六七

進んで○○を敵とすべし　酒井勝軍　大正一三　冊 一　函 五三三　號 九五

裾野の傳說狸のお寺　長坂宗芳、池谷青水　大正一三　冊 一　函 五一四　號 二一三

裾模様集　安田百助編　大正一二　冊 一　函 一〇九　號 二七

裾模様圖案協會作品集　第一回　同會編　大正一三　冊 一　函 一一三　號 一六三

スタイナツハ氏若返り法研究　神保三郎、諸岡存　大正一一　附マルシヤル氏埃及事件報告、明治二〇年頃ノ帝國大學擴張案、西洋唱歌々詞譯稿、美術畫法順序表等　寫本　冊 一　函 六一　號 三一三

斯丁因氏書翰　瀧精一　大正一〇（財團法人啓明會講演集第四回）　冊 一　函 一四五　號 三〇

スタイン氏發見の燉煌書に就て　谷崎潤一郎傑作全集第二卷ノ內　大正一〇）　冊 一　函 二〇五　號 四一

スタツケルベルグ社會學入門　尾戸長熊編　大正六（哲學入門叢書第一編）　冊 一　函 三六四　號 一七三

スタンダアル戀愛論　スタンダアル著　渡邊康夫譯　大正一四　冊 一　函 五四六　號 二六

スチエパンチコヂ村と其の住人　ドストイエフスキー著　古館清太郎譯（ドストイエフスキー全集第二卷ノ內　大正一五）　冊 一　函 三七五　號 四七イ

スチエパンチコヂ村の人々　ドストイエフスキー著　古館清太郎譯（ドストイエフスキー全集第一四卷ノ內　大正一二）　冊 一　函 三七五　號 四七

スチル氏架空電力輸送　電氣工學會編　大正一四　冊 一　函 五四七　號 一三

スチルモンド市長　マーテルリンク著　鷲尾浩譯（マーテルリンク全集第七卷ノ內　大正一一）　冊 一　函 三九〇　號 五一

スチルモンドの市長　メーテルリンク著　山村魏譯　大正一一　冊 一　函 一五〇六　號 二七

「ステアリン」酸　田原良純編（化學工業全書第二冊ノ內　四版　明治四三）　冊 一　函 四五　號 一九〇ニ

ステインドグラス圖案集　建築畫報社編　冊 一　函 三三七　號 二〇四

Statementの監査に就いて　田中栞（會計學論叢第七集ノ內　大正一二）　冊 一　函 三五六　號 三九

捨兒　小山內薰（小山內薰戲曲全集第一卷ノ內　大正一五）　冊 一　函 五一七　號 四四八

同　（現代戲曲全集第一一卷ノ內　大正一四）　冊 一　函 五三〇　號 三五

洋杖材料染抜ニ關スル諸種ノ試驗　三村鐘三郎（農商務省）林業試驗彙報第三號ノ內　大正一〇）　冊 一　函 一四二イ　號 二五ロ

棄てられた人　モウパッサン著　前田晃譯（モウパッサン全集第二卷ノ內　大正九）　冊 一　函 三九〇　號 四一

捨てられる迄　谷崎潤一郎傑作全集第二卷ノ內　大正一〇）　冊 一　函 五〇〇　號 四

棄てる物なし（廢物活用）　矢野政代　大正七　冊 一　函 三八六　號 六

ステンシル圖按法　我妻榮吉　大正一〇　冊 一　函 四三三　號 六三

數藤斧三郎君　同君遺稿出版會編　大正七　冊 一　函 三五四　號 八三

崇德院御製講義　附頓證寺法樂和歌　青井常太郎編　大正一二　冊 一　函 五三三　號 七五

崇德院御製集　崇德天皇聖蹟敬仰會編　大正一一　冊 一　函 六七　號 三九一

ストックホルムの殉教者　ストリンドベルグ著　小泉鐵譯　大正五（ストリンドベルグ著作集第二卷）　冊 一　函 七一　號 五五八

ストックホルム平和會議草案　トルストイ著　宮原晃一郎譯（トルストイ全集第八卷ノ內　大正八）　冊 一　函 三九〇　號 三九

ストラスブルガー植物學　エドワード・ストラスブルガー等著　三宅驥一、草野俊助譯　大正二、五　上卷　第一冊　形態學ノ部　第二冊　生理學ノ部　下卷　第一冊　隱花植物ノ部　冊 三　函 三三七　號 一三四

ストリンドベルク　小島德彌（聖哲の懺悔ノ內　大正一四）　ストリンドベルク著　新潮社發行　大正一二　冊 四　函 五〇五　號 六五

ストリンドベルク戲曲全集　冊 一　函 五三六　號 六四

第二卷　自然主義戲曲二部作　ストリンドベルク著　蘇武緑郎（利三郎）譯　一　三八　二八九
父親（楠山正雄譯）　大正三
なかま同士（同）　ストリンドベルク著
十一の一幕物　新潮社發行　大正一二
ジユリー孃（同）　至一四　五　五〇五　六六
債鬼（同）
賤民（バリア）（同）
熱風（サムウム）（同）
より強いもの（同）
きづな（同）
火いたづら（同）
死の前に（同）
最初の警告（同）
母の愛（同）
第三卷　ダマスクスへ（同）
夢の戲曲（同）
白鳥姫（中谷德太郎譯）
第四卷　罪と罰（三井光彌譯）
死の舞踏（同）
第五卷　祝祭曲　降臨祭（楠山正雄譯）
復活祭（同）
仲夏祭（同）
小劇場曲　稻妻（同）
燒跡（同）
幽鬼曲（同）
火焰（同）

ストリンドベルク自叙傳狂者の告白　（インフエルノ）　ストリンドベルク著　蘇武緑郎（利三郎）譯　一　三三八　二八九

ストリンドベルク小說全集　ストリンドベルク著　新潮社發行　大正一二　五　五〇五　六六
第一卷　女中の子（福田久道譯）
第二卷　魂の發展史（秦豐吉譯）
第三卷　痴人の告白（三井光彌譯）
第四卷　不和（伊藤武雄譯）
孤獨（同）
第五卷　地獄（秦豐吉譯）
傳說（同）

ストリンドベルク全集　ストリンドベルク著　岩波書店發行　大正一三至一五　六　五一五　一三八
第一　ダマスクスへ（茅野蕭々譯）
第二　或魂の發展（和辻哲郎譯）

第三　自然主義的戲曲　小宮豐隆譯　一　七一　五五八
父（小宮豐隆譯）
「令孃ユリー」序（同）
令孃ユリー（茅野蕭々譯）
友だち（同）
第四　痴人の告白（和辻哲郎、林達夫譯）
第五　島の農民（草間平作譯）
第六　幕間曲集　稻妻（小宮豐隆譯）
燒跡（大庭米治郎譯）
幽靈曲（小宮豐隆譯）
火刑（大庭米治郎譯）

ストリンドベルグ著作集　ストリンドベルグ著　洛陽堂發行　大正五
第二卷　ストックホルムの殉教者（小泉鐵譯）　一　五二三　一五三

ストリンドベルク童話集　ストリンドベルク著　舟木重信譯　大正一三　一　五一六　二三一

ストリンドベルクの最後の戀　アンニイ・フアルクネル著　秦豐吉譯　大正一三　一　三六四　二八〇

ストリンドベルグ評傳　廣津和郎　大正八　（泰西文豪評傳叢書第三編）　一　三二四　三三七

ストロージヤー式自働電話交換　中村精次郎　大正二

ストロージヤー式自働電話交換機に就て　山根幸知　（電氣試驗所第二部研究會講演集ノ內　大正三）　三三七　二〇一

砂子の殘月　二卷　（江戸叢書卷の九ノ內　大正六）　三五三　二一

同　三五三　二三

砂時計　イエエッ著　小山內薰譯　（近代劇大系第九卷英及愛蘭篇ノ內　大正一三）　五一五　二六

同　（近代劇大系第九卷英及愛蘭篇ノ內　大正一四）　五一五　二六イ

砂に描く　吉田絃二郎　大正一三　一　五一九　九七

砂に書く　與謝野晶子　大正一四　一　五一六　二三

砂の枕（詩集）　堀口大學　大正一五　一　五五一　七三

沙原を步む（詩集）　大谷忠一郎　大正一三　一　五一三　一七〇

すねもの　太田秀雄編　大正三　一　三五〇　三八五

すねものの奇人變人　樋口紅陽　大正一〇　一　三九六　一七九

巢內信善遺稿　日本史籍協會編　大正一一　一　三一六　一六四

スノー純正哲學概論　スノーディン著　木下乙市譯　大正一四　一　五三六　八七

酢の造り方　永木曉三郎　大正一五　一　五六四　一三三

諏訪案內　長野縣諏訪郡生產物品評會協贊會編　大正六　一　三六四　三〇九

周防鑄錢司史　米光長三郎編　大正一一　三三頁　一　一〇一　一二

周防國風土記　寫本　二七三卷　八六　一〇〇

諏訪郡生產物品評會報告　長野縣同郡農會編　大正六　一　三三六　三〇三

諏訪研究　栗岩英治編　大正五　一　三三五　四三
（信濃鄉土史研究叢書第一）

諏訪湖　第一編　田中阿歌麿　大正三　一　三四八　一七四

巢箱給與に依る鳥類保護　內田清之助、葛精一　大正一一　七六頁　一　三九七　三三五

同　再版　大正一三　一　三九七　三三五イ

諏訪湖の研究（湖沼學上より見たる）　上、下卷　田中阿歌麿　大正七　一　三六五　六九

諏訪史　第一卷　鳥居龍藏　大正一三　一　六三　二四三

諏訪氏系圖（修補）　延川和彥著　飯田好太郎補　大正一〇　二　一　五二八

諏訪史料　第二輯　一卷之上、下　飯田好太郎編　大正四　二〇　二〇六　一五五

諏訪史料叢書　同刊行會編　大正一四、一五　四〇　一六二　一四六

第一卷　年內神事次第舊記
諏訪神社祭典古式
諏訪上下兩社年內神事大略　附　上下兩社御社祭古今
（岩本尙賢）

第二卷　諏訪大明神畫詞
諏訪大明神御本地緣起
諏訪上下宮祭祀再興次第

第三卷　神長守矢滿實書留
御頭帳
御頭役請執帳
諏訪社物忌令
社令記

第四卷　諏訪社御頭關係諸記錄

諏訪神社祭禮書帖　大正六、七年　藤木喜平編　大正六、七　一　四一九　九五

諏訪神社誌　第一卷　太田亮　大正一五　一　五五三　一六五

諏訪神社資料（官幣中社）　上、中卷　飯田好太郎編　大正四、五　二〇　二〇三　四〇三

諏訪製絲工業地案內　中央蠶絲新聞社編　大正三　一　三六〇　一五

諏訪大明神繪詞　（續群書類從第三輯ノ下神祇部ノ內　再版　大正一四）　八〇　三二ロ

諏訪原新田訪問記　林忠太郎　大正三　一　三三九　四六〇

スピード（航空界自働車界最高權威）　日本自動車學校出版部發行　第五九號（大正一二年一月）　雜　三一　八三

巢引鳥の飼ひ方　佐伯大太郎　大正一五　一　五六四　二

スフインクスは笑ふ　安部ヨリミ　大正一三　一　五三三　一七一

スプリングの設計及び製造　服部宗三　大正一二　一　五二一　二四

スペイドの女王　プーシユキン著　梅田寬譯　（世界短篇小說大系露西亞編上ノ內　大正一四）　五二〇　四五

西班牙　內藤民治　（世界實觀第七卷ノ內　大正五）　四〇八　一三〇と

		冊	函	號
西班牙馬	モウパッサン著（モウパッサン全集第一四巻ノ内 大正一一）	一	三九〇	四一
西班牙國假釋放ニ關スル法令集	フエルナンド・カダルスト著 司法省調査課譯 大正一二（司法資料第二八號）	一	四五	五四
（獨修）西班牙語全解	第一、二巻 村岡玄 大正一三	二	三三	三七六
（獨修）西班牙語全程	村岡玄 大正七	一	三三	二〇
西班牙語手ほどき	第一巻 酒井祥州（市郎）大正一五〔題簽ニハ「獨習西班牙語講義」トアリ〕	一	五二四	二二九
西班牙語讀本（會話—獨修—）	村岡玄 大正一四	一	三三三	五九
西班牙語リーダー（獨習）	酒井市郎編 大正五	一	三三	一五六
西班牙童話集	山崎光子譯（世界童話大系第二三巻獨逸、西班牙篇ノ内 大正一五）		五〇	一〇
西班牙の極盛と其衰因	シモン著 當田宗七譯（興亡史論第二一巻史論叢錄上ノ内 大正七）	一	三五五	八九
スペースモヤウ	岩佐有彩編 大正一二	一〇	一〇九	二七一
スペードの女王	プーシュキン著 山村魏譯 大正一〇（プーシュキン小說集ノ内）	一	三九六	九三
スペキユレーション	（財界雄飛の技） 田中正之 大正二	一	三四九	一〇九
スペクトルにつきて	矢野道也（印刷局研究所調査報告第五號ノ内 明治四四）		一四五	一三
スポーツ・パンフレット	朝香屋書店發行 大正一三	三	五二七	一二
	この頃の野球術（守備篇）（小泉葵南）この頃の庭球術（前衛篇）（澤善之助）この頃の泳ぎ方（太田忠德）			
スポーツマンの心臟	福島東作 大正一四	一	五四一	一二九
スポーツマンの精神	矢島鐘二 大正一三	一	二七六	三三七

		冊	函	號
スポート	龍洋社發行 第四巻第三號（大正一一年四月）至第四巻第一二號（大正一二年一月）〔「交通機關雜誌乘りもの」ノ改題〕 平瀨龍吉 大正六	一	雜三	イ五〇
スポルジョンの生涯	スポルヂョン著 栗原基、赤井米吉譯 大正五	一	三三五	四九二
住井廼一隅	下巻 伊藤虎三 大正一五	一	三三五	四五四
須磨子	菊池幽芳 大正八	一〇	四三三	三三三
同	大正一三（幽芳全集第一〇巻）	一	三七七	三三三
同		一	五二四	二二七
同		特 一	五二五	二七イ
蘇麻答臘西岸	第一 アチエー頭至チンクク灣 水路部製 大正元 三二・三×二・二	一	三三	五九
同	大正七 三二×二・一	一	三三	一五六
スマトラ島視察復命書	打田庄六（移民調査報告第八ノ内 明治四五）		三三一	六四
スマトラ東側水路誌	水路部編 大正九	一〇	三五五	八九
同	追補 第一 大正一三	一	水三	イ三
スマトラ南岸諸分圖	水路部製 大正四 二・一×一・六	一	洋四一	イ三
同	大正一四 二・〇七×一・五〇	一	洋四一	ロ三
相撲	樋渡傷次郎 大正一二（日本體育叢書第八篇）	一	五〇五	二七
相撲隱雲解	式守蝸牛 大正一五	一〇	一七三	九五
相撲今昔物語	子明山人 九巻（國書刊行會本新燕石十種第四ノ内 大正二）		三四三	四ろ
相撲四十八手（圖解奥傳—）	五味鎖 大正七	一	七三	四六イ
相撲四十八手極意（取方—見方—）	葛生勇 大正六	一	三六四	一六二

		冊	函	號
相撲四十八手の研究	大阪毎日新聞社編 大正九	一	三九三	六六
相撲傳書	木村重直（近古文藝溫知叢書第六編ノ内 明治四四） 再版	一〇	四三	イ三
角力展覽會圖譜	近藤英治編 大正七	一〇	四九	一〇二
相撲錦繪	國貞等畫 四七枚	別一軸	亥二	八七
相撲錦繪	豐國畫	三〇枚	別七	二七
相撲年鑑	附 京阪合併相撲 山本義一 大正二	一	八八	三六七
相撲の取方と見方（學生—紳士—）	木村東作、木村越後 大正六	一	三九	八六五
相撲評林（新板—歌仙—）	能見角氏 寶暦六 一二枚	一〇	京	乙三九
すまふ評林（新版—歌仙—）	能見角氏（國書刊行會本德川文藝類聚第一二評判記ノ内 大正三）	特	三三〇	四九ろ
須磨舞子古蹟名勝史（實地—踏査—）	藤井龜若 大正二	一	三五〇	二四
須磨名所案内記	杉山春已 大正二 一四頁	一	三三九	一九五
須磨名勝誌	坂井次永編 大正一一	一	三九三	三三一
墨繪草紙	島村抱月（抱月全集第六巻ノ内 大正八）		三七九	一一
墨繪の獨習（手本—解說附—）	本方秀麟、石野隆 大正一二	一	五一三	一八二
墨書龍湖水乘切	河竹默阿彌（默阿彌全集第六巻ノ内 大正一四）	一	五二七	四三
炭竈ニ關スル研究	三村鐘三郎（農商務省山林業試驗報告第一四號ノ内 大正五）	一四	イ二	二三五
炭燻醋酸石灰製造法	牧駿次 大正四（通俗工藝叢書第二編）	一	三五五	一〇
住み心地よき家の建て方	太田作 大正九	一	二五五	八〇
住み心地よき住宅と庭園（素人にわかる—）	菊地修一郎 大正一三	一	五〇七	一七

		冊	函	號
住み心地よき住宅と庭園（素人にわかる—）	菊地修一郎 大正一四	一	五〇七	イ一七
住み心地よき中流住宅	近間佐吉 大正九	一	三六一	九六
墨染の聖者	前田聰瑞 大正一三	一	五〇四	二七三
すみだ川	永井荷風（荷風全集第四巻ノ内 大正九）		三一	八三四
隅田川續俤	寫本（松島松作芝居臺帳第二六）	一〇	八二四	ニ
隅田川續俤	奈河七五三助（世話狂言傑作集第一巻ノ内 大正一四）		五二七	六四
隅田川心中	岡本綺堂（綺堂戲曲集第一〇巻ノ内 大正一四）		五二七	一六
隅田川全圖雪中景（東都名所—）	廣重畫 三枚	別一帖	ゑ	二七
隅田川の圖（積翠物）	國直畫	別一枚	別七	一二四
墨田川梅柳新書	曲亭馬琴 六巻（婦人文庫第六回小說ノ内 大正三）		三四〇	三七イ
隅田川花御所染	鶴屋南北（大南北全集第六巻ノ内 大正一五）		五二九	八
同	（文藝叢書第九册劇脚本集ノ内 大正三）		五二九	八イ
隅田川夜渉の圖	國周畫		三四五	ニ
隅田川落雁（東都名所—八景之内—）	芳虎畫	別一枚	七	一二五
隅田川渡しの圖（東都名所圖會—）	廣重畫	別一枚	七	九六
炭諸書附覺帳	寫本（靈岸島桐屋源藏店ノ文化中ノ覺書ナリ）	別一帖	ゑ	一七一
隅田堤櫻盛	英泉畫	三枚	別七	一五一
隅田堤の景	縦の古木 貞虎畫	三枚	別七	一四三

スミタースンツ

		冊	函	號
隅田の橋姫	泉鏡花（鏡花全集第一四巻ノ内　大正一五）		五一〇	四四
同			五二〇	四四イ
住友銀行三十年史	同行編　大正一五	一	一五二	一四一
住友別子鑛業所氣象年報	大正四至一四年　住友新居濱氣象觀測所編　大正六至一五	六	一四六ニ	一六〇
角倉素庵筆 諸曲本	山姥　角倉素庵自筆　寫本	別一〇	京	三七八
速に麥飯帝國を建設せよ	村本喜代作編　大正八	一	三七三	三七五
炭燒の煙	江見水蔭（世界短篇小說大系日本篇上ノ内　大正一四）		五一〇	四五
炭燒の研究	萬代信三郎　大正一一　九四頁	一	五一三	二
炭燒の娘	長塚節　大正四	一	三五七	五四
炭屋の船	岩野泡鳴（泡鳴全集第一卷ノ内　大正一〇）		五〇〇	一
角山筹篁翁薦事圖錄	山田得多（古香）編　大正一一	三〇	二一	五六二
住吉神社神代記考證	栗田寬（栗里先生雜著上卷ノ内　明治四三）		二三	二四五イ
住吉物語	池邊義象等校註（校註國文叢書第一四册ノ内　大正四）		三四五	二
住吉物語	藤井乙男、有川武彥（國文新譯文庫ノ内）大正一〇	一	三八九	六九
すみれ草	北村久備著　池邊義象等校註（校註國文叢書第一册ノ内　大正元）		三四五	二
すみれ日記	巖谷小波（世界短篇小說大系日本篇上ノ内　大正一四）		五三〇	四五
陶山先生事狀	唐坊直（日本經濟叢書卷一三ノ内　大正四）		三四六	一八
スラヴ語比較文法	（音韻及語形論）　久保田滿年　大正一五	一	三三三	四六五
スラに與へる手紙	プリニイ著　柳田泉譯（世界短篇小說大系古代篇ノ内　大正一四）		五三〇	四五

		冊	函	號
Surie-Awase	Suwa Kanenori　大正一二		三三七	三三四
スル海一菲律賓諸島バシラン海峽	水路部製　大正三　二・一×三・一	一枚	洋	五七ロ
同	大正六　二・一×三・二	一枚	洋	五七ハ
スル海及セレベス海	スル叢島及ボルネオ北東岸水路部製　明治四五　二・三×三・三	一枚	洋	四九ロ
同	大正五	一枚	洋	四九ハ
駿河記	桑原藤泰編　寫本	特三七〇	け	三一
駿河國輿地全圖	寫本　二・五×五・二	一枚	一九	一七三
駿河舞	歌曆書（寬政年間）	特三〇	へ	二九イ
駿河灣產櫻蝦調查報告	中澤毅一（水產講習所試驗報告第一一卷第二册ノ内　大正四）		一四二イ	四五七イ
スローイング	二村忠臣　大正一一（日本體育叢書第四篇）	一	五〇五	二七
汕頭商埠	安重龜三郎　大正一二	一	五一四	一五〇
汕頭帝國領事館管內事情	打田庄六（南支那及南洋調查第五九輯）大正一一	一	一四二イ	四七八
坐る人間の評論	野口米次郎　大正一四（ヨネ・ノグチ著作集第二編）	一	五一七	五三
駿遠豆御道のしをり	寫本	一帖	三三四	七八
駿國雜志	卷四〇至四五下　附　附圖第二、三卷　阿部正信編　明治四五至大正五	三〇	二四六	一五三
寸地經濟宅地利用實行の指導	片山熊太郎　大正五	一	三九八	二三五
寸地經濟宅地利用農藝の實際	（玉川村に於ける模範的施設）片山熊太郎　大正四	一	三九八	一五
駿豆鐵道案內	鳥澤豐吉編　大正八	一	三七三	三〇九

セ

		冊	函	號
寸鐵	一名人生裏面觀　附錄　チエスターフヰールド卿の格言　英文付　ラ・ロシフコー著　高橋五郎譯　大正二	一	三五〇	一三四
寸鐵論理學	渡邊又次郎　明治四五	一	八八	三六八
駿東郡富士郡全圖	附富士箱根、大山附近交通圖　田中吉助製　大正四　〇・八×一・〇	一枚	八九	二四六
寸法床棚圖集	金子清吉　大正一五	一	五四〇	一〇九
世阿彌十六部集（校註）	附觀阿彌世阿彌事蹟考　野々村戒三編　大正一五	一	五六四	一八三
世阿彌十六部集意譯	能と謠の根原　池內信嘉　大正一五	一	五四七	二五七
稅	帝國地方行政學會發行　第二卷第九號（大正一三年一〇月）ヨリ	雜	三一	一〇六
性愛	スタンダール著　大戸徹誠譯　大正一二	一	三九〇	六〇
同		一	三九〇	六〇イ
聖愛	益富政助編　大正一一	一	五〇三	一三〇
聖アウグステイヌス懺悔錄	中山昌樹譯　大正八	一	三九二	八一
聖アウグステイヌス懺悔錄	中山昌樹譯　大正一三（信仰叢書第二編）	一	五一七	二
同		一	五一七	二イ
井蛙抄	（續群書類從第一六輯ノ下和歌部ノ内　再版　大正一四）		八〇	二二ロ
青蛙堂鬼談	岡本綺堂（綺堂讀物集第二）大正一五	一	五二九	四〇
聖暗（自敘傳）	宮崎安右衛門　大正一二	一	五一七	二六四
聖闇の境より	金子白夢　大正一三	一	五〇四	二八〇
西遊街道圖繪	寫本	特二〇	せ	九九
西遊記	橘南谿（文藝叢書第一一册紀行文編ノ内　大正三）		三四五	一り
政友會罪惡史	安藤音三郎　大正八	一	三六三	一二五
政友會罪惡史論	宗伏高信　大正五	一	三二九	八一七
聖遊廓	「ヒジリ」ヲ見ヨ			
西遊スケッチ	和田垣謙三　三版　大正四（大正名著文庫第二〇編）	一	三四〇	三六
西游日簿	稀書複製會編　大正一五（複製）	一〇	一六五	一五三
西遊日誌抄	永井荷風（荷風全集第二卷ノ内　大正八）		三一	八二四
西域考古圖譜	香川默識編　大正四	別二	四一〇	三六
西域之佛教	附　附圖　羽溪了諦　大正三　五〇六頁	一	三二四	三七八
西域發見の繪畫に見えたる服飾の研究	原田淑人　大正一四（東洋文庫論叢第四）	一	一四五	一六一
同		一	一六	二六四
西域物語	本多利明（日本經濟叢書卷一二ノ内　大正四）		三四六	八
性意識の哲學化	杉森孝次郎　大正一三	一	五三五	二六四
青衣集	詩歌研究會編　大正一四	一	五五一	一七
青衣の乙女	ウイリアム・ル・クウー著　藤岡良三譯　大正一三（アルス・ポピュラアー・ライブラリー第四）	一	五二七	八
清苑	一、二　大鐙濟影編　大正八、九	二	四一九	二三五
青淵修養百話	澁澤榮一著　井口正之編　大正四	二	三五六	二三四
靜園詩鈔	勝島仙之助　大正六	一	一七一	六五
青淵實業講話	澁澤榮一著　蘆川忠雄編　大正一二	一	五一三	八八

スンテーセイエ

		冊	函	號
清園諄辭集	久保惠鄰 大正一〇	一	一二	四七二
青淵先生訓言集	矢野由次郎編 大正八	一	三一	八四七
青淵先生世路日記(雨夜物語)	玉利紹堂(傳十)編 大正二	一	三五〇	七五
製鹽方法概要	坂出專賣支局編 大正九	一	三九七	八三
青淵百話	澁澤榮一 明治四五	二	三四二	一七九
西歐を行く	大藤治郎 大正一四(現代詩人叢書第一八編)	一	三八九	七八
西歐藝術	近代之部 第一、二輯 中井宗太郎編 大正八	一	四一三	二四
西歐宗教名畫集	第一至一三輯 大正一四、一五 石川光哉編	一三	四一四	一一
西歐文明と人類の將來	トルベツコイ著 島野三郎譯 大正一五	一	五四六	一二八
西歐名作物語	野田卯一(水田明) 大正一五	一	五四九	一七
生を教育に求めて	櫻井祐男 大正一〇 六一六頁	一	二五九	四三五
生を賭して	沖野岩三郎 大正八(沖野岩三郎著作集第一)	一	三七五	四〇
聖恩	中川六三郎編 大正二	一	三三一	七三
聖恩	平井義男編 再版 大正元	一	三三一	二七
聲音學本位獨文進階	ア・ハーン、澤井要一 大正一三 九三頁	一	三三三	五四四
政界革新運動と實業同志會	武藤山治 大正一二	一	五二一	八二イ
同	大正一二	一	五二二	一八二イ
政界革新に就て	尾崎行雄 大正一〇(我思ふ所第二册)	一	三九七	二三七
政界革新論集	朝日新聞社編 大正一〇	一	五〇二	一三

		冊	函	號
稅界閑話	嶺田丘造 大正一三	一	五三	七三
政界縱橫記(人物評論)	久木獨石馬 大正一五	一	五五六	四五
政界の革新	德富猪一郎 大正一三	一	五一六	一九七
政界の表裏	無名隱士 大正七	一	三六二	五一
青海波	與謝野晶子 明治四五	一	三三九	三三
同	大正二	一	三三九	三イ
清海曼荼羅合讃	眞阿 正德二	一	一〇三	二〇八
西航雜記	高山謹一 大正九	一	三九四	一八
濟厦略記	佐藤一齋(日本經濟叢書卷二六ノ內 大正五)	三	四一四	一八
性格解剖學	カテリン・ブラックフォード等著 安東源治郎譯 大正一一	一	五〇三	六二
星岳畫集	(星岳保勝會編) 大正元	特一	四一八	一七
聲樂三十講	ルイザ・テトラツイーニ著 小松平五郎譯 大正一五	一	五六四	一七七
正學指要	高松芳孫(國民道德叢書第三編ノ內 明治四五)	一	三三〇	三五
晴霞句集	多代女 二卷(女流文學全集第四卷ノ內 大正八)	三	七一	一四ろ
製革上石灰戻劑トシテ鰾內臟ノ利用	菊地健(水產講習所試驗報告第一〇卷第二册ノ內 大正三)	一四二	四五七	イ
同		一四二	四五七	イ
聖學道統略譜	松井暉辰編 寫本 二〇枚	一	二六	二五〇
正確な證文のかき方	辯護士(いらず)一 春日昇一郎 大正一一	一	五〇三	九七
性格破產者	江口渙 大正九	一	三九一	一〇一

		冊	函	號
製革用人工脫灰劑ノ製造	川端滿三 大正一三(大阪工業試驗所報告第五同第九號)	一	一四二	イ四九八
生か死か	江部鴨村 大正七	一	三七七	四六
清河眞叢	寫本(是眞書譜ニシテ庄司竹眞ノ模セルモノ)	特 三	〇 さ	六五
靜嘉堂秘籍志	第一至五〇卷 同堂文庫編 大正六至八	二五	一六二	三七
靜嘉堂文庫略史	同文庫編 大正一三	一	五二四	一二三
青甲社書集	第一 川上昌熏編 大正一三	一	四一八	八五
齊家論	石田梅巖(勘平)一卷(修養文庫第五編世俗訓ノ內 大正九)		三七五	三五
同	(日本經濟叢書卷八ノ內 大正四)		三四六	一八
清鑑	第一集 武倉賢造編 大正三	一	三三一	一〇七
靜感	水野錬太郎 大正四	一	三六〇	三三四
星巖印譜	大正八(藝苑叢書ノ內)	一	一九八	三九五
清巖茶話(招月雜談)	雛川親當(續群書類從第一六輯ノ下和歌部ノ內 再版 大正二四)		八〇	三三ロ
西巖了慧禪師語錄	修義等編 二卷(大日本續藏經第六〇七册ノ內 明治四五)		二三五	二
青丘詩鈔	朝鮮總督府編 大正四(高麗以前ノ詩歌ヲ擇集シ同府所藏ノ古活字ヲ以テ印刷セルモノ)	一	二一七	一二九
生氣應用家庭看護法	石井常造 大正一四	一	六〇	七八四
正義を求める心(論集)	大杉榮 大正一〇	一	五〇三	四三
生氣自强療法	石井常造 大正一四	一	六〇	七一
成賀堂叢書	民友社發行 大正二至一二	一	五三	八〇
第二編	櫟翁稗說	一	三九〇	七イ
第五編	月江和尙錄	一	三九〇	七八

		冊	函	號
第六編	戶田左門覺書(戶田氏鐵)	一	三〇七	一〇八
第八編	茂睡考(山東京山)	一	三六三	一六四
同 別册	茂睡考解說(佐佐木信綱)	一	三六三	二一
第九編	大梅夜話(一)絲	一	三九七	三三七
同 別册	大梅夜話解說	二	一四五	五四
第一〇編	論語抄 一至五	二	三三〇	三五
同 別册	論語抄解題	一	五〇六	一〇七
第一一編	襟帶集	一	五六五	二八
同 別册	南浦文之和尙(森慶造)		三五三	七〇
第一二編	卜養狂歌集(鰐形屋板、柏屋與市板)(半井卜養)	一	五五五	三七
第一三編	平洲先生小語(細井德民)	二	一四七	三三六
生起的方法と批判的方法	得能文(中島教授在職二十五年記念論文集ノ內 大正八)	一	三六三	一六四
正義と自由と財產	中澤臨川 大正九	一	三六三	二一
正義と鬪爭	ラッセル著 時國理一譯 大正九	一	三九七	三三七
正義と法律(法律研究)	松倉慶三郎 大正一〇 一八頁	二	一四五	五四
正義と貧民	其一、二 スミス著 司法省調查課譯 大正一五(司法資料第八七、八八號)	三	三三〇	三五
正氣歌	藤田彪(國民道德叢書第三編ノ內 明治四五)	一	五〇六	一〇七
世紀の傳說	ユーゴー著 福士幸次郎譯 大正一一	一	五六五	二八
正義の殿堂より	大森洪太 大正一五	三	五三	七〇
正義ノ法理觀	仁保龜松(穗積先生還曆祝賀論文集ノ內 大正四)	二	一四七	三三六
靜居遺稿	近藤芳介 大正七	一	五六五	三七
政局を繞る人々	山浦貫一 大正一五	一	五三五	八〇
政局の黎明に躍動する人々	石井三二馬 大正一四	一	三九〇	七イ
政局は斯くして動く	ビスマルク著 定金右源二譯 大正一三	一	三九〇	七八

		冊	函	號
聲曲類纂補遺	齋藤月岑（音曲叢書第二編ノ内 大正三）		三四〇	三〇イ
同	（國書刊行會本新燕石十種第四ノ内 大正二）		三四三	四ろ
生魚仕入前金滯出入一件	寫本（魚問屋御留書第九冊）	一	一八九	三三一
整鋸法傳習書	富森芳太郎 大正三	一	二〇三	三〇三
成器錄	加藤卯吉 大正六	一	二九八	一四
征空	尾崎行輝 大正五	一	三六〇	三五〇
青化「アルカリー」ノ製造ニ就テ	浦野三郎（朝鮮總督府中央試驗所報告第二回ノ内 大正六）		一四二イ	三六二
世外庵鑒賞	國華社發行 明治四五	特一	四一〇	一四
世外侯事歷維新財政談	澤田章編 大正一〇	三	二	四八五
聖會歷史物語	第一卷 三好甫（理泉） 大正九	一	二九二	一六〇
生化學提要	柿内三郎 大正一四	一	四七	五七四
生化學的微量定量法	小金井良一 大正一三	一	四七	二五六
同 再版	大正一五	一	四七	二五六イ
政化間記	源正邦編 寫本 文化一四	〇	二〇五	一九八
精華硯譜	湯川玄洋 大正七	四	四八	三七
精華集（前賢遺墨—）	第一輯第一至五卷 附 別冊解題 大正一四	五軸	一一〇	を
生果桃樹栽培新書	矢卷朝雄 大正三	一	三二九	三九八
生活	博文館發行 第一卷第一號（大正二年七月）至第六卷第八號（大正七年八月）	二	雜五四	七三

		冊	函	號
生活遊步	成田友春 大正一五	一	五三六	一九六
生活を基調とせる兒童數學	兒童數學研究會編 大正一五	一	二六三	一三 四
生活を藝術として	西村伊作 一二版 大正一三	一	五一三	二四六
生活を教育にまで	志垣寬 大正一一	一	二五三	二四五
生活及社會觀	湯原元一 大正三	一	三四九	三八五
生活朝寢坊か朝起か	加藤美命 大正一二 九〇頁	一	三九三	五三四
生活改造問題批判	佐々木吉三郎 大正九	一	三六二	二三三
生活改善を基調とせる家事精說	石澤吉麿 大正一一	一	五一三	四七
生活改善家事の科學的革新	石澤吉麿 大正一四	一	五一三	四七イ
生活改善大和式調理加工法講習全書	千葉青波 大正一四	一	五四一	一九一
生活改善系統的家政講話	甲斐久子 大正一一	二	三八〇	一九三
生活改善家庭百科全書	加藤美命 大正九 一三三〇頁	一	三四七	七八
生活改善調查決定事項	生活改善同盟會編 大正一二	一	五一八	三
生活改善と電氣	電熱編 石川芳次郎、佐伯光太郎 大正一二	一	三八五	二五四
生活改善の意義	乘杉嘉壽（社會教育講演集ノ内 大正一〇）	六 二七五		一九
生活改善の栞	生活改善同盟會編 大正一三	一	五一〇	六四
生活改善の枝折（復興必讀—）	伊藤宜良 大正一三	一	五一五	一三
同		一	五一五	一三イ
生活向上を基調としての田園家政學研究	片岡重助 大正一四	一	五四一	八六

		冊	函	號
生活酵母による醱酵作用に對するFurfurolの影響	平友恒ノ内（臺灣總督府中央研究所工業部報告第七號 大正一四）	一	四二イ	二八五
生活革新の機來る	三宅やす子 大正一二	一	五二五	一九
生活苦と職業問題	失業者に直面して 安田龜一 大正一三	一	五三五	六三
生活觀照としての讀方學習と綴方	福井保 大正一四	一	二六三 二	二〇五
生活創造綴方の教育	田中豐太郎 大正一三	一	二六三 二	一九〇
生活指導に立脚したる低學年教育の研究	靜岡師範學校附屬小學校編 大正一五	一	二五三	二四六
生活戰術	浮田和民 大正八	一	二七六	二五二
生活と苦惱	壺坂精神文化研究所編（人生隧筆選集第一編） 大正一五	一	五四八	六二
生活と藝術	長與善郎 大正一五（村の本第九篇）	一	五五〇	五三
生活と藝術叢書	東雲堂發行 大正四	二	三五	二六〇
生活と文化	金子馬治 大正八	一	三八七	二五
生活と兩性問題	ギルマン著 大日本文明協會譯 大正八	一	三七六	二五四
生活内省と修身教育	河野通穎 大正一五	一	二五三	三三七
生活難	坂西由藏（財政經濟と生活問題「日本の生活問題」ノ内 大正三）	一	三五六	五一
生活難憂ふべきか	關一（財政經濟と生活問題「日本の生活問題」ノ内 大正三）	一	三五六	五一
生活難救濟と財政經濟と產業の勃興と	田中穗積（財政經濟と生活問題「日本の生活問題」ノ内 大正三）	一	三五六	五一
生活難と商業組織改善の意味	上田貞次郎（財政經濟と生活問題「日本の生活問題」ノ内 大正三）	一	三五六	五一
生活難の原因と其解決方法	氣賀勘重（財政經濟と生活問題「日本の生活問題」ノ内 大正三）	一	三五六	五一
生活難の根本的解決法を論ず	向軍治（財政經濟と生活問題「日本の生活問題」ノ内 大正三）	一	三五六	五一
生活難の根本的救濟	河上肇（財政經濟と生活問題「日本の生活問題」ノ内 大正三）	一	三五六	五一
生活難の罪は何處にあるか	星野勉三（財政經濟と生活問題「日本の生活問題」ノ内 大正三）	一	三五六	五一
生活と統一	（叢文閣バンフレット第二輯ノ内 大正一四）	一	五〇三	六
生活と犯罪	附錄 婦人の犯罪 勝水淳行 大正一〇	三九三	八〇二	
		一	五〇二	一五三

	冊	函	號
生活難は人間の宿命である　大西猪之介（財政經濟と生活問題「日本の生活問題」ノ内　大正三）	一	三五六	五一
生活難問題解決の一法　津村秀松（財政經濟と生活問題「日本の生活問題」ノ内　大正三）	一	三五六	五一
生活の改善　棚橋源太郎（救化資料第二輯）　大正一四	一	三九三	七二九
生活の改善研究　文部省普通學務局編　大正一一	一	五〇三	二六四
生活の改善に就て　棚橋源太郎（文化生活に關する講演集ノ内　大正一二）	一	五一八	四七
生活の河　關口次郎（日本戲曲集第二輯ノ内　大正一五）	一	五三七	六一
生活の藝術化　本間久雄　大正九	一	三六八	二九一
同　大正一五	一	五四七	八一
生活の盃　ブウニンゾ著　原久一郎譯（現代露西亞文藝叢書第一ノ内　大正一二）	一	五一五	一〇五
生活の至上樣式としての究竟審美の一線　櫻井祐男　大正一一	一	五〇三	一七三
生活の力となる道德　西川光次郎　大正六	一	三六三	一六九
生活の始り　石井重美　大正七	一	三六一	二七六
生活の花　長與善郎　大正七	一	三七七	五七
生活の火　小川未明編　大正一一	一	五〇六	一八六
生活費省減問題　キング著　柳田泉、宮澤末男譯　大正八（大日本文明協會刊行書第四期第四四卷）	一	三五五	三
生活文化の悲觀樂觀　池田林儀　大正一五（學藝講演通信社パンフレット第一二編）	一	五二四	三八九
生活表現と綴方指導　丸山林平　大正一三	一	二六三	一七八
生活味（今昔一夜話一）　七五三龜吉編　大正一三	一	三五六	五一
生活問題（生活の經濟的研究）　森本厚吉　大正九	一	四五	五三
生活問題を如何に解決するか　本多精一（財政經濟と生活問題「日本の生活問題」ノ内　大正三）	一	三五六	五一
生活問題及其の根本的救治策　浮田和民（財政經濟と生活問題「日本の生活問題」ノ内　大正三）	一	三五六	五一
生活問題と鹽問題に就て　山本美越乃（財政經濟と生活問題「日本の生活問題」ノ内　大正三）	一	三五六	五一
生活問題と其解決策　寺尾隆一（財政經濟と生活問題「日本の生活問題」ノ内　大正三）	一	三五六	五一
生活問題と農村問題　田中穗積　大正二	一	八八	三七三
生活問題の大體を論ず　堀切善兵衞（財政經濟と生活問題「日本の生活問題」ノ内　大正三）	一	三五六	五一
生活より宗教へ　ウイリアム・チューダー・ジョンス著　植木謙英譯　大正一五	一	五三六	一九八
菁華帖　廣島高等師範學校繪畫同好會編　大正二	一	一〇九	二三一
精華帖　日出新聞編輯局編　大正八	一	一五九	一二六
正課放課時間及運動會に於ける遊戲の實際　土屋耕一　大正五	一	二七六	二〇三
靜窩謾錄　淺田宗伯門人編　寫本	一	一二一	三三一
製菓百華帖見本　橋本彌五郎　大正二	一	二一三	五六三
正貨問題　菅野肇　大正七	一	三六三	七三
青卷　ストリンドベリー著　柳英彥譯　大正一〇	一	五〇一	一七六
請願　エーヴェルス著　森鷗外譯（鷗外全集第一六卷ノ内　大正一三）	一	五二〇	一
請願　エーヴェルス著　森鷗外譯（鷗外全集第一六卷ノ内　大正一三）	特	五二〇	一イ
靜寬院宮御事蹟（我國女性最高典型）　桑原隲旭　大正一五	一	五四九	七〇
靜寬院宮日誌　靜寬院宮（國書刊行會本史籍雜纂第五ノ内　明治四四）	一	四一	一九イ
稅關及關稅　渡部明　大正一一	一	五一三	四五
製罐機械ニ就テ　星野三郎（水產講習所試驗報告第九卷第五册ノ内　大正三）	一	一四、三	四五七イ
同	一	一四、二	四五七イ
誓願寺緣起（繪詞要略一）　慧明撰　二卷（大日本佛教全書第一一七册ノ内　大正二）	一	三五三	一〇
靜觀と思想　岡田哲藏　大正四（近代思潮叢書第七編）	一	三四〇	四七
請願人　サルトウイコフ著　八杉貞利譯　大正一三（海外文學新選第二〇編）	一	五一五	一三〇イ
同	一	五一五	一三〇イ
齊桓問對　澤村維顯（琴所）（日本經濟叢書卷六ノ内　大正三）	一	三四六	一八
同（改訂日本經濟叢書第六卷ノ内　大正一二）	一	五三〇	六七
稅關論　小林行昌　大正一三	一	五三〇	六七
聖訓一斑　千葉胤明（明治天皇聖德奉頌講演集ノ内　大正一〇）	一	三九八	三三
聖訓拜照日蓮大士眞實傳　小川泰堂編　大正一〇	一	三九三	二〇一
成蹊遺稿　三宅質　大正一二	一	五一〇	五九
淸溪稿（續群書類從第一三輯ノ下文筆部ノ内　再版　大正一五）	一	八〇	三二ロ
整經機標準動作　大日本紡織學會編　謄寫版　大正一〇	一	一	四二七
整形外科學圖譜　第一輯　高木憲次、田代義德編　大正一〇	一	五四	六八
成蹊實務學校一覽　中村春二　大正三（題簽ニハ「桃蹊錄」トアリ）	一	三五九	三五
靑谿書院全集　第二編　池田禎藏　大正二	二	三三七	八六
成蹊小學校之一年間　小瀨松次郎　大正六	一	一七二	三五
成蹊叢書　成蹊學園發行　大正八、九	四	三九五	四一
第一編　導く人の爲めに（中村春二）			
第二編　第二里を行く人（三浦修吉）			
第三編　蘆笛集（小瀨松次郎）			
第四編　茶味（奥田正造）			
第五編　子供の心（小瀨松次郎）			
星經淘汰　山縣昌貞（山縣大貳遺著ノ内　大正三）	一	三八	三八〇ろ
盛京通鑑　八卷（滿蒙叢書第三卷ノ内　大正一〇）	一	三七九	七
同	一	三七九	七イ
盛京典制備考　八卷（滿蒙叢書第三卷ノ内　大正一〇）	一	三七九	七
同	一	三七九	七イ
生計費調査報告　大正九年大正一〇　神奈川縣內務部編　三五頁	一	三七八	一七四
生計費問題　社會政策學會編（社會政策學會論叢第六册）　大正二	一	七八	九三
整隆鼻法　附　鼻病療法　鴨田脩治　大正三	一	三七	二九八
淸系略記　關口隆正編（夢界叢書ノ内　大正二）	一	三三九	二三
靜曉　彩美會編　大正一〇	一〇	四三	三六
性教育　山本宣治　大正一二	一	六〇	七四二
性教育概論　市川源三（最近思潮教育夏季講習錄大正一一年度ノ内　大正一一）	一	三五八	三九
性教育の問題（道德教育上注目すべき）　原房孝　大正一四	一	六〇	七九九